

松本市の
教育に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和3年5月
松本市教育委員会

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回答状況	2
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	幼稚園・保育園・養護学校保護者	3
(1)	回答者属性	3
(2)	学校等（保育園・幼稚園を含む）とのかかわりについて	4
(3)	子どもの教育について	5
(4)	家庭や地域での教育について	10
(5)	その他	14
2	小学生・中学生保護者	15
(1)	回答者属性	15
(2)	学校等（保育園・幼稚園を含む）とのかかわりについて	17
(3)	子どもの教育について	20
(4)	家庭や地域での教育について	46
(5)	その他	53
3	小学生・中学生	54
(1)	回答者属性	54
(2)	学校生活について	58
(3)	普段の生活について	75
(4)	家庭や地域のことについて	86
(5)	将来やその他のことについて	92

4	教職員・保育士・幼稚園教諭	95
	(1) 回答者属性	95
	(2) 子どもの教育について	105
	(3) 家庭や地域の教育について	134
	(4) その他	138
5	一般調査	143
	(1) 回答者属性	143
	(2) 子どもの教育について	144
	(3) 家庭や地域での教育について	150
	(4) 生涯学習について	158
	(5) その他	166

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、教育に関する市民の意見を把握し、今後の教育行政推進の参考にするとともに、「第3次松本市教育振興基本計画」を策定していく上での基礎資料とすることを目的として実施したものです。

2 調査対象

1 児童・生徒 小学校：3年生、6年生 中学校：3年生 任意の1又は2クラス	【小学校】鎌田・清水・島内・寿・岡田・今井・明善・四賀・安曇・ 13校 奈川・梓川・才教学園・信大附属松本 【中学校】高綱・菅野・筑摩野・山辺・開成・信明・安曇・波田・ 10校 才教学園・信大附属松本
2 保護者 「1 児童・生徒」の掲載校に係る保護者に加え、右の一覧校・園の保護者	松本養護学校の保護者（小学校3年、6年、中学校3年） 【保育園】さくら・渚・のぼら・今井・寿・みつば・梓川西・松本 【幼稚園・認定こども園】松本・信大附属・松本青い鳥・ささべ 12園の年長クラス保護者
3 教職員等 「1 児童・生徒」、「2 保護者」の掲載校・園に係る教職員等に加え、右の一覧校の教職員等	【高等学校】松本蟻ヶ崎・松本深志・松本工業・松本筑摩・ 7校 松商学園・エクセラン・信濃むつみ
4 一般	市内に住民登録のある18歳以上の方から1,500名を無作為抽出（外国籍の方を含む。）

3 調査期間

令和2年10月30日から令和2年11月30日

4 調査方法

- ・ 市内保育園、幼稚園・認定こども園、小学校、中学校、養護学校、高等学校は前回調査との経年比較のため、同じ学校を抽出しています。
- ・ 児童生徒の調査対象数は市内学校の地理的な偏りに考慮して母集団の構成比に近づくように各校1クラスまたは2クラスを選定して調査しています。また、学校を通じて児童・生徒及び保護者の調査票を配布し、1つの封筒で回収することで児童・生徒と保護者の関係性を調査できるようにしています。
- ・ 一般アンケートは郵送郵送で調査用紙を送付し、回答後、同封した返信用封筒で回収しました。

5 回収状況

	配布数（通）	有効回答数（通）	有効回答率（％）
幼稚園・保育園・ 養護学校保護者	1,641（1,172）	1,266（1,035）	77.1（88.3）
小中学生保護者			
小 中 学 生	1,299（881）	1,020（836）	78.5（94.9）
教 職 員	1,479（1,513）	1,101（981）	74.4（64.8）
一 般	1,500（2,188）	653（776）	43.5（35.5）
合 計	5,919（5,754）	4,040（3,628）	68.3（63.1）

※（ ）内は前回数値（平成28年度調査時）

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・クロス集計のコメントは、有意水準5%で比率検定を行い、差が認められたものについてコメントしています。

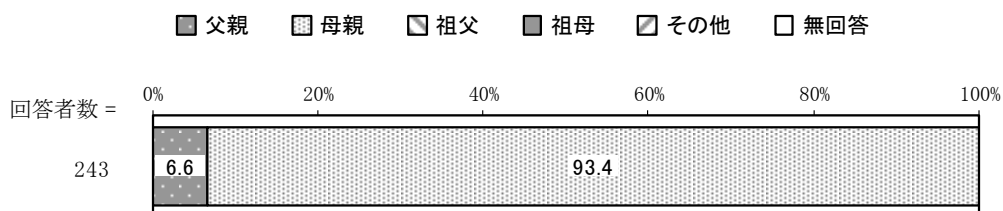
Ⅱ 調査結果

1 幼稚園・保育園・養護学校保護者

(1) 回答者属性

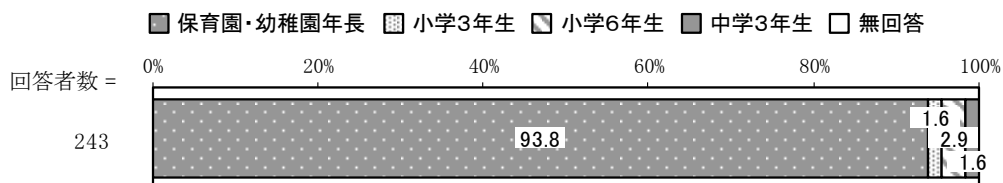
問1 お子さんとの続柄は何ですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



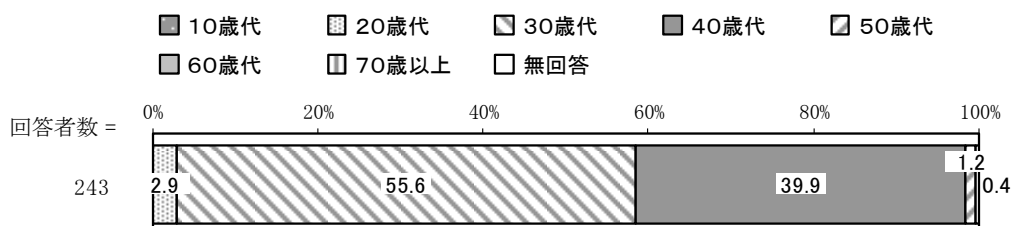
問2 お子さんは、何年生ですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



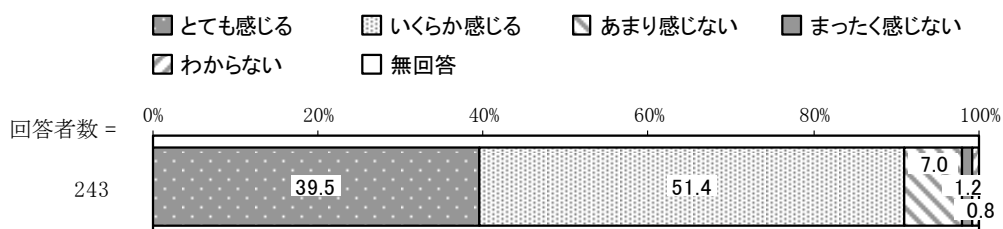
問3 あなたは何歳ですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



問4 あなたは松本市に親しみや愛着を感じますか。

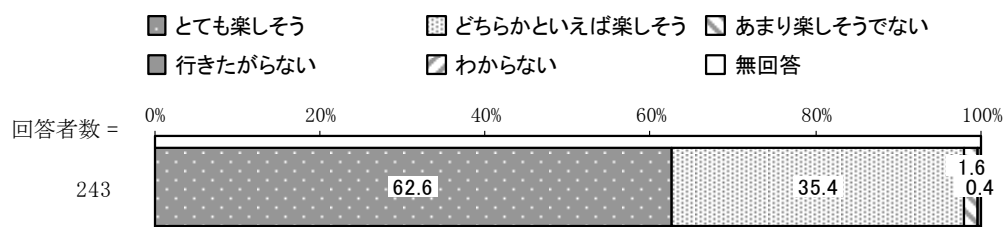
「とても感じる」と「いくらか感じる」をあわせた“愛着を感じる”の割合が 90.9%、「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“愛着を感じない”の割合が 8.2%となっています。



(2) 学校等（保育園・幼稚園を含む）とのかかわりについて

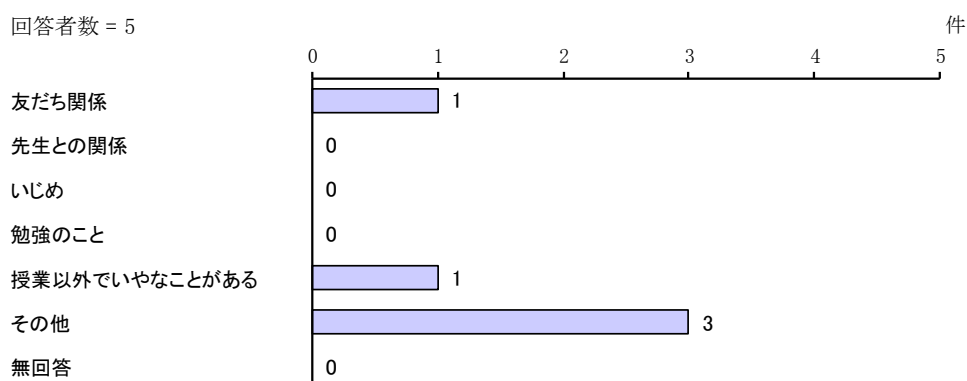
問5 あなたのお子さんは、学校等に楽しく通っていますか。

「とても楽しそう」と「どちらかといえば楽しそう」をあわせた“楽しそう”の割合が 98.0%、「あまり楽しそうでない」の割合が 1.6%、「行きたがらない」の割合が 0.4%となっています。



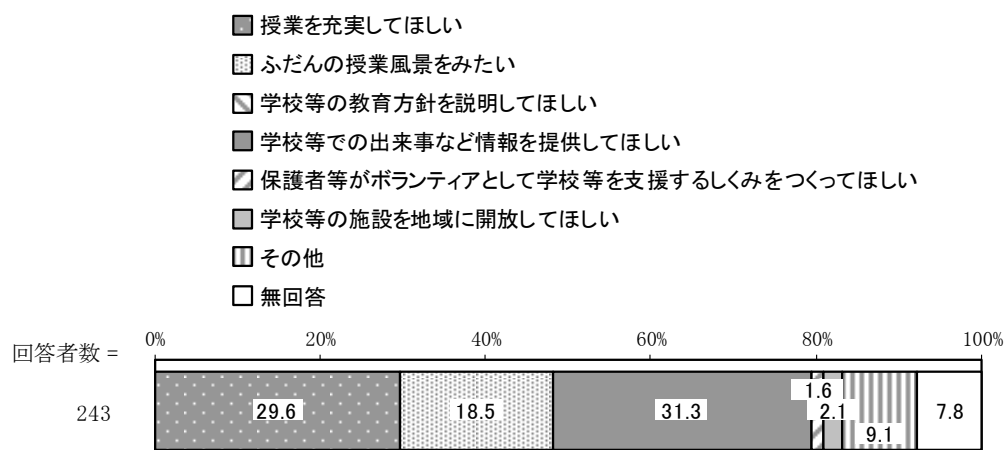
問6 問5で「あまり楽しそうでない」、「行きたがらない」、「わからない」と回答した方にお聞きします。 その理由は、何だと思えますか。（最もあてはまるもの1つに○）

「友だち関係」、「授業以外でいやなことがある」が1件となっています。



問7 あなたは、お子さんが通っている学校等に対して何を望みますか。 （最もあてはまるもの1つに○）

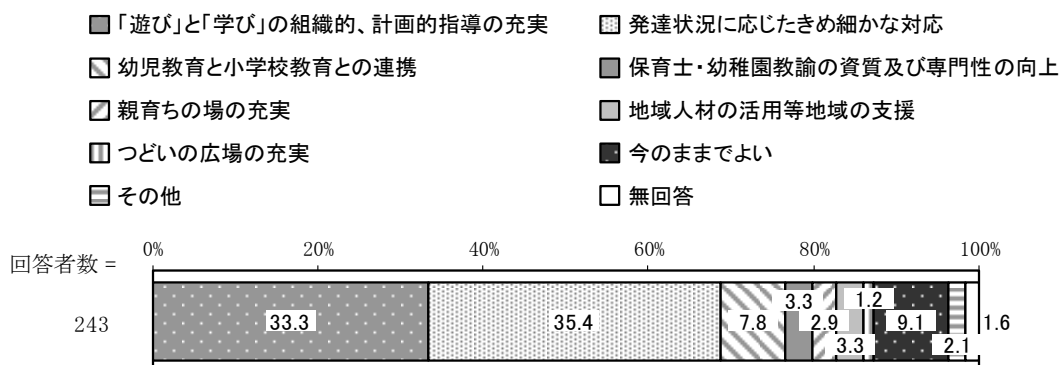
「学校等での出来事など情報を提供してほしい」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「授業を充実してほしい」の割合が 29.6%、「ふだんの授業風景をみたい」の割合が 18.5%となっています。



(3) 子どもの教育について

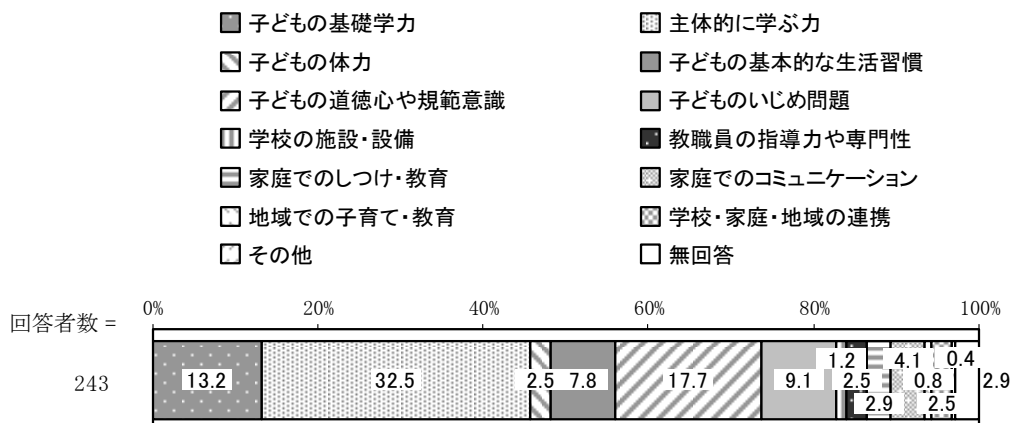
問8 幼児教育の充実には、どのような取り組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「発達状況に応じたきめ細かな対応」の割合が35.4%と最も高く、次いで「遊び」と「学び」の組織的、計画的指導の充実」の割合が33.3%となっています。



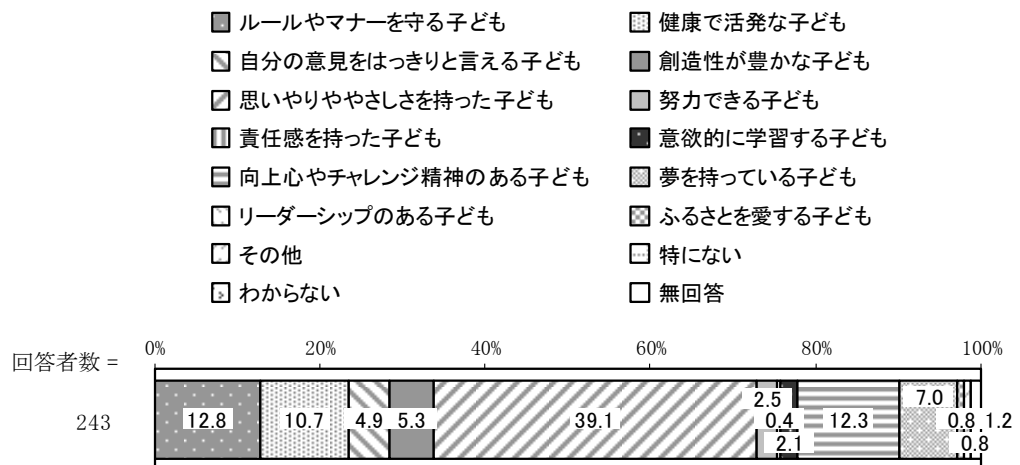
問9 子どもの教育について、あなたが関心のあることは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「主体的に学ぶ力」の割合が32.5%と最も高く、次いで「子どもの道徳心や規範意識」の割合が17.7%、「子どもの基礎学力」の割合が13.2%となっています。



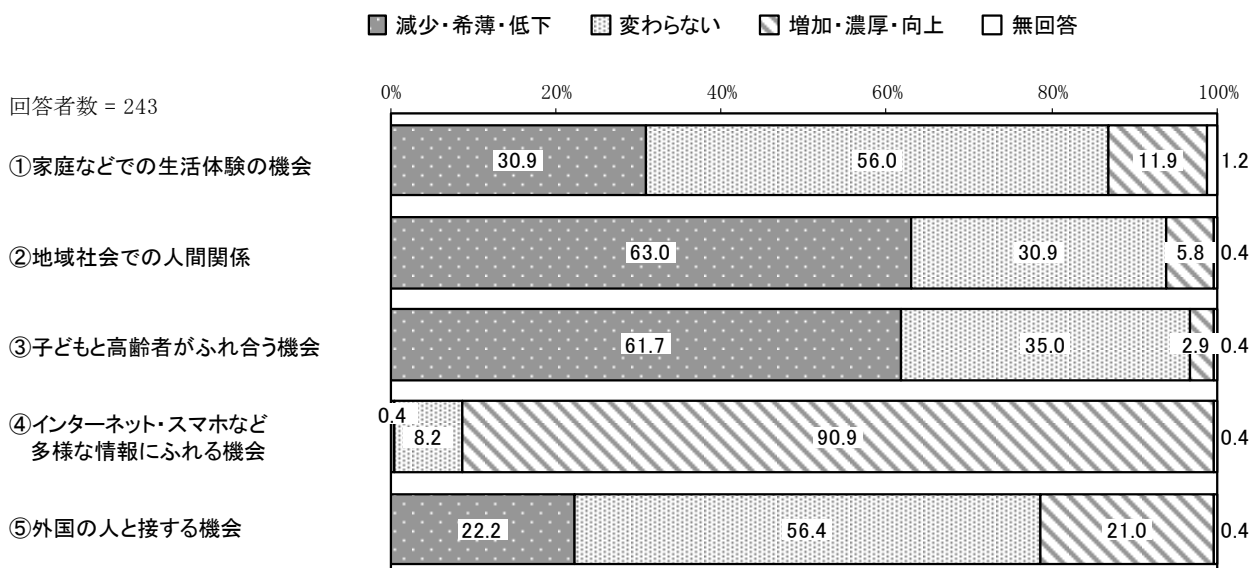
問 10 あなたは、松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか。

「思いやりやさしさを持った子ども」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「ルールやマナーを守る子ども」の割合が 12.8%、「向上心やチャレンジ精神のある子ども」の割合が 12.3%となっています。



問 11 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。（○は①～⑤ごとに1つ）

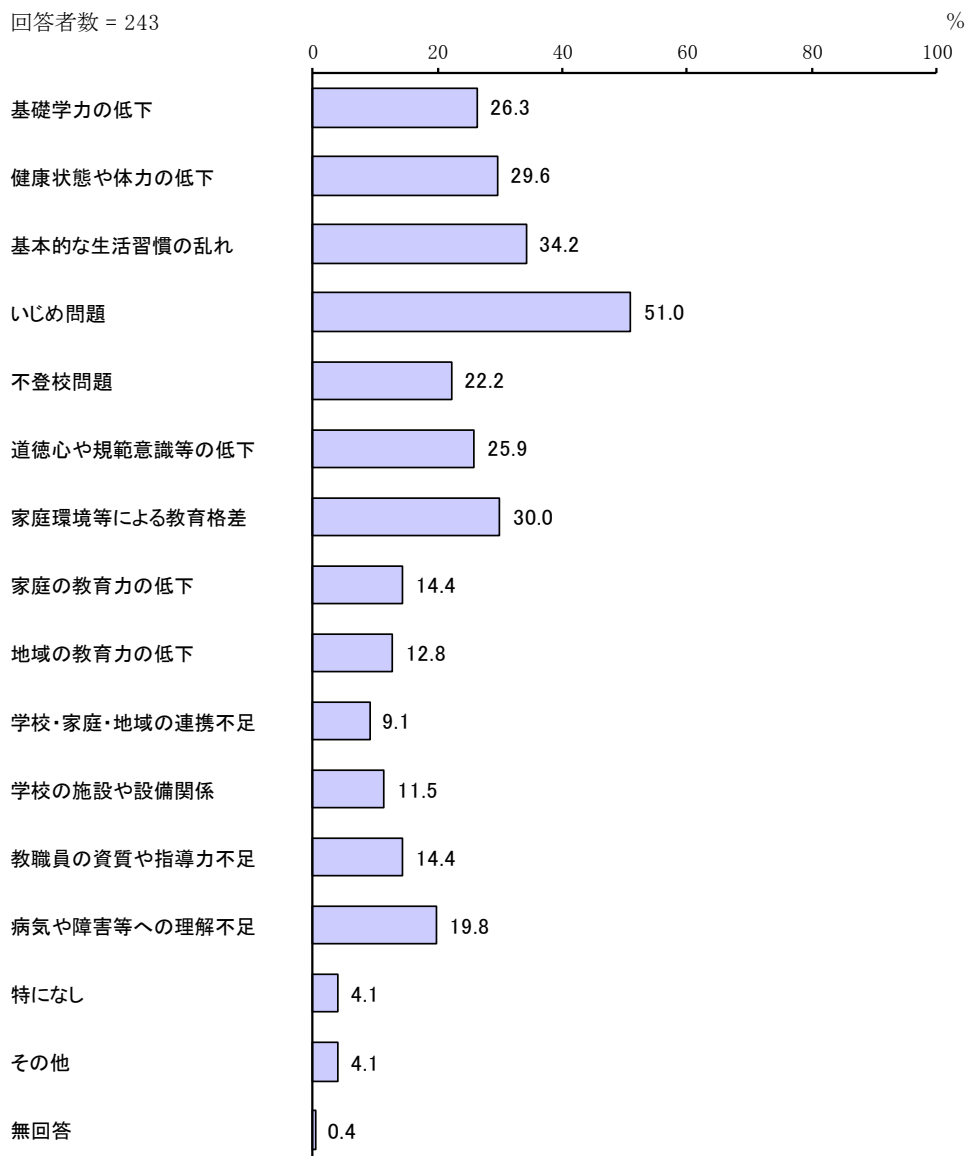
『②地域社会での人間関係』『③子どもと高齢者がふれ合う機会』で「減少・希薄・低下」の割合が高く、約6割となっています。また、『④インターネット・スマホなど多様な情報にふれる機会』で「増加・濃厚・向上」の割合が高く、約9割となっています。



問 12 子どもの教育に関して課題は何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「いじめ問題」の割合が51.0%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣の乱れ」の割合が34.2%、「家庭環境等による教育格差」の割合が30.0%となっています。

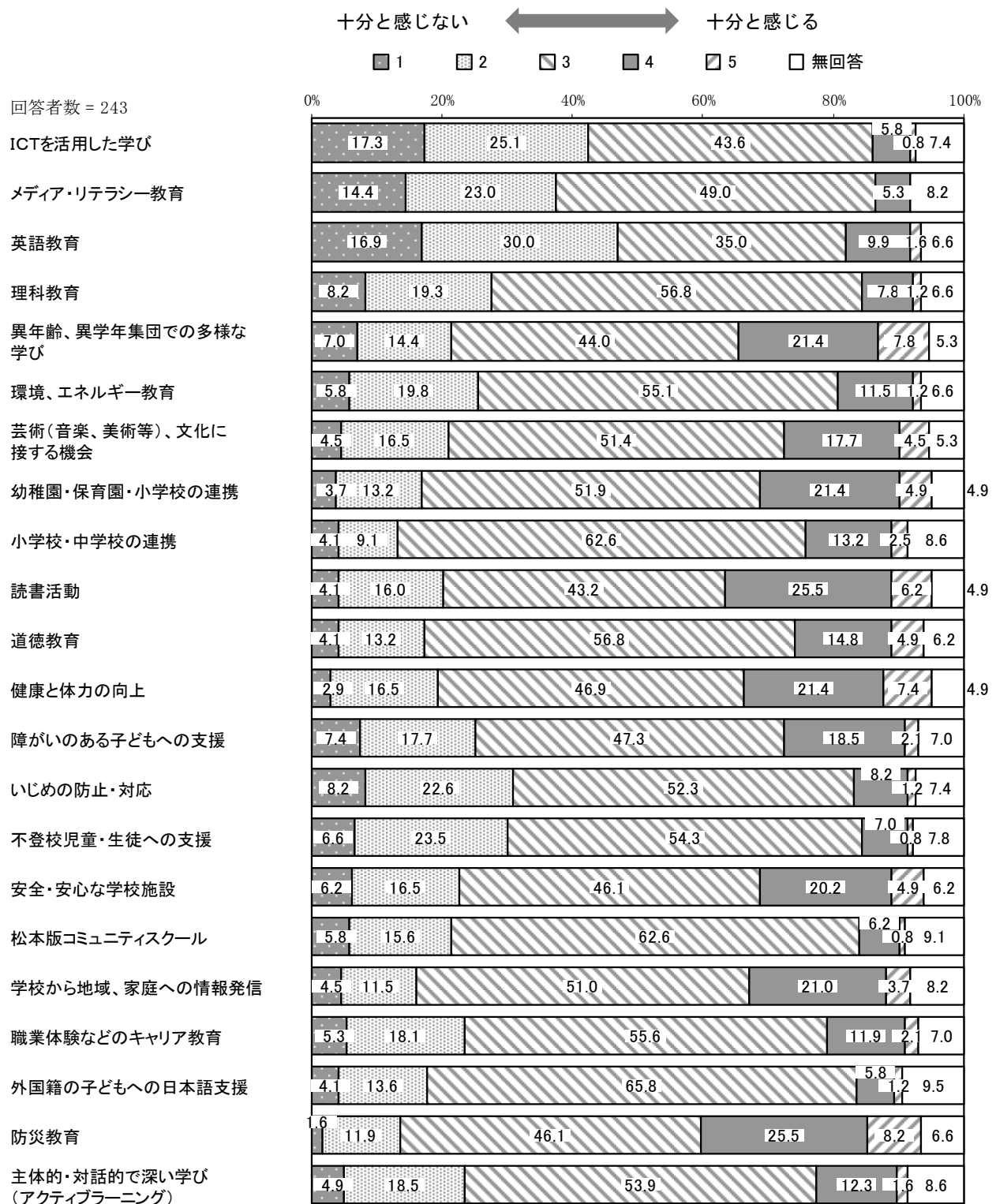
回答者数 = 243



問 13 松本市の教育について「現在の状況」と「今後の重要度」について、それぞれ5段階であなたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで○をつけてください。

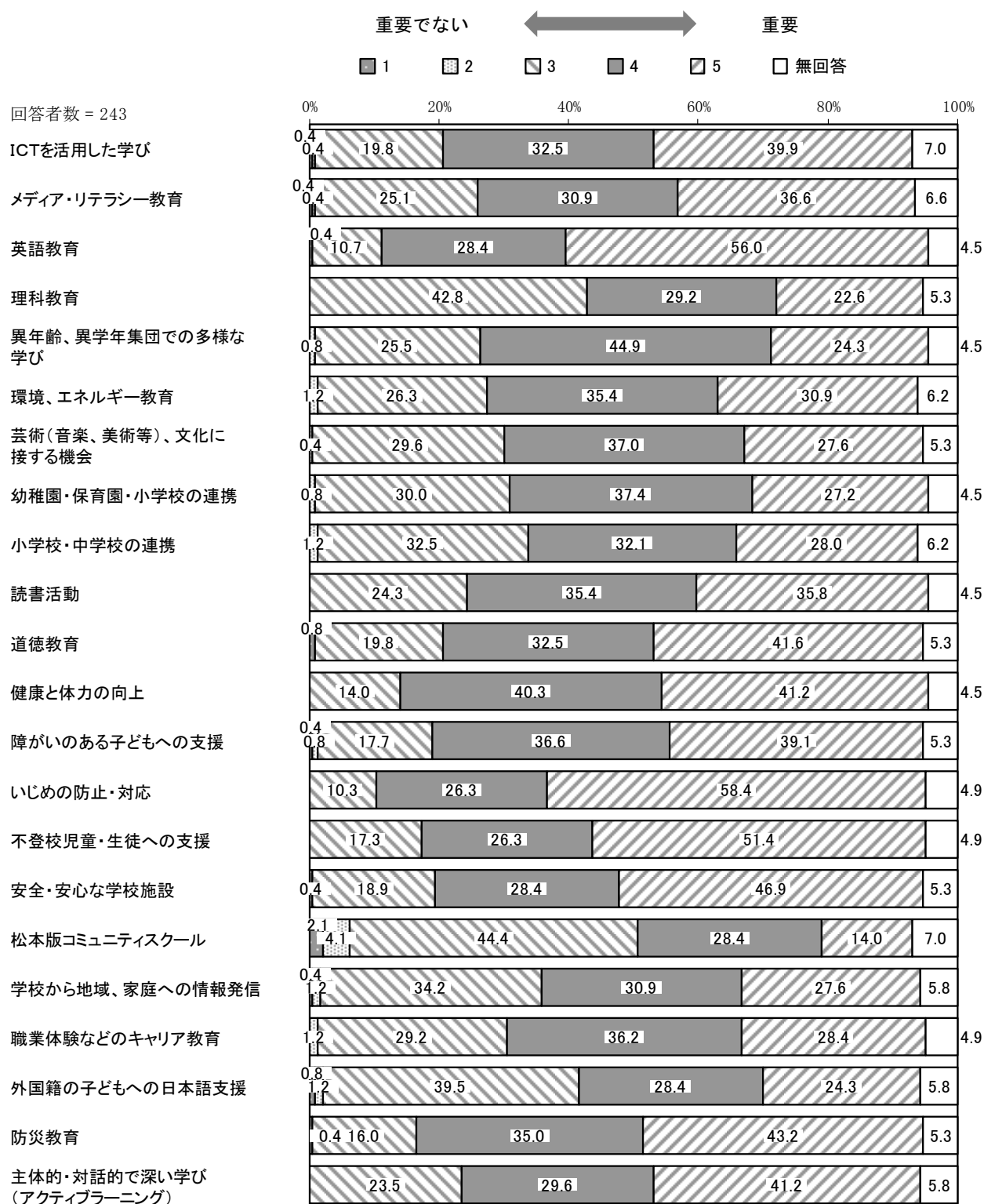
1. 現在の状況

『ICTを活用した学び』『英語教育』で「1」と「2」をあわせた“十分と感じない”の割合が高く、4割を超えています。また、『異年齢、異学年集団での多様な学び』『読書活動』『健康と体力の向上』『防災教育』で「4」と「5」をあわせた“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。



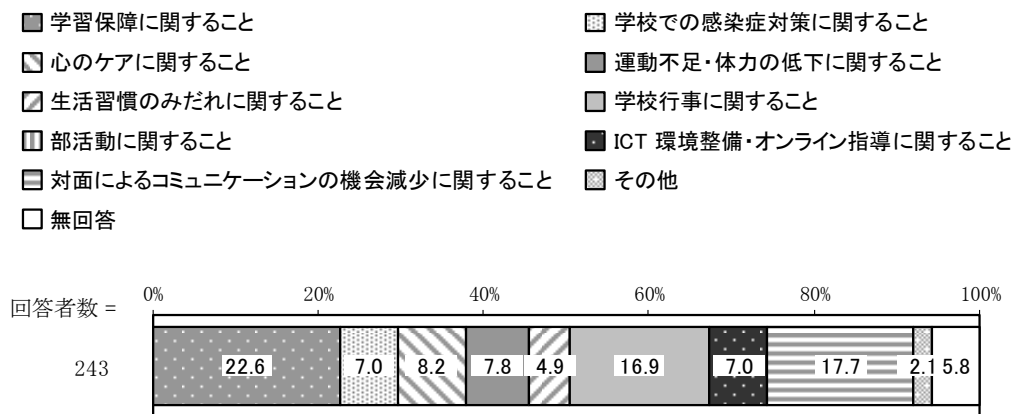
2. 今後の重要度

すべての項目で「4」と「5」をあわせた“重要”の割合が5割を超えています。特に『英語教育』『健康と体力の向上』『いじめの防止・対応』では“重要”の割合が高く、8割を超えています。



問 14 新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。現在の状況下における松本市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。（最もあてはまるもの 1 つに○）

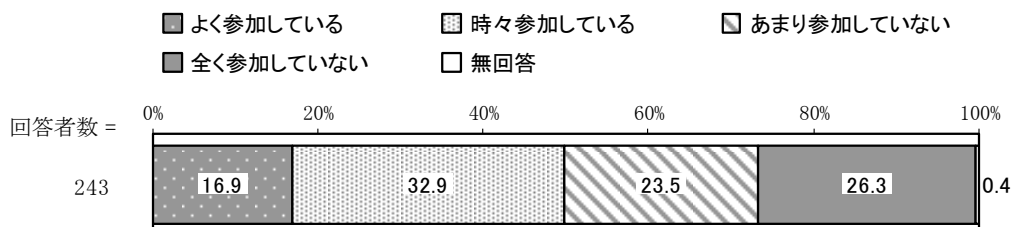
「学習保障に関すること」の割合が 22.6%と最も高く、次いで「対面によるコミュニケーションの機会減少に関すること」の割合が 17.7%、「学校行事に関すること」の割合が 16.9%となっています。



（４）家庭や地域での教育について

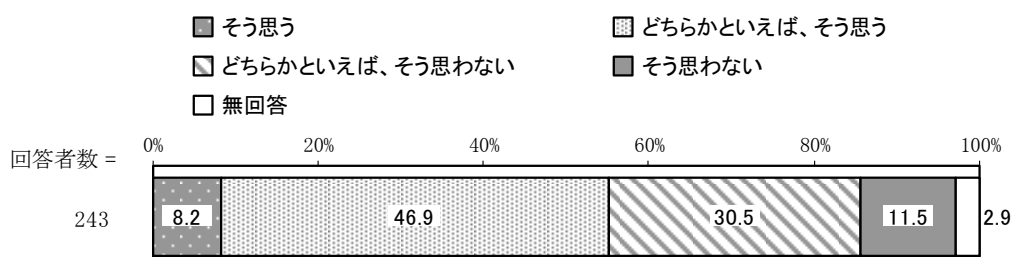
問 15 昨年 1 年間で、地域の行事にお子さんと一緒に参加していますか。

「よく参加している」と「時々参加している」をあわせた“参加している”の割合が 49.8%、「あまり参加していない」と「全く参加していない」をあわせた“参加していない”の割合が 49.8%となっています。



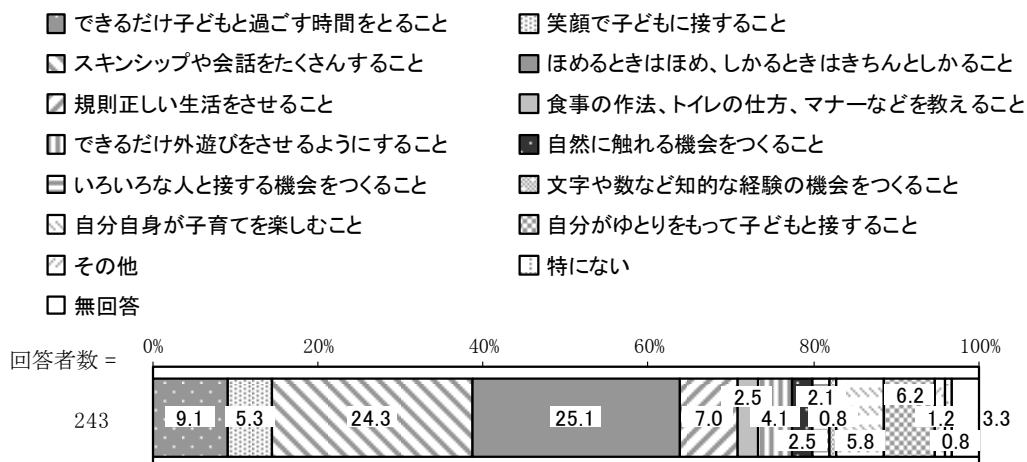
問 16 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子どもたちの教育に関わってくれる人が多いと思いますか。

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」をあわせた“そう思う”の割合が 55.1%、「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が 42.0%となっています。



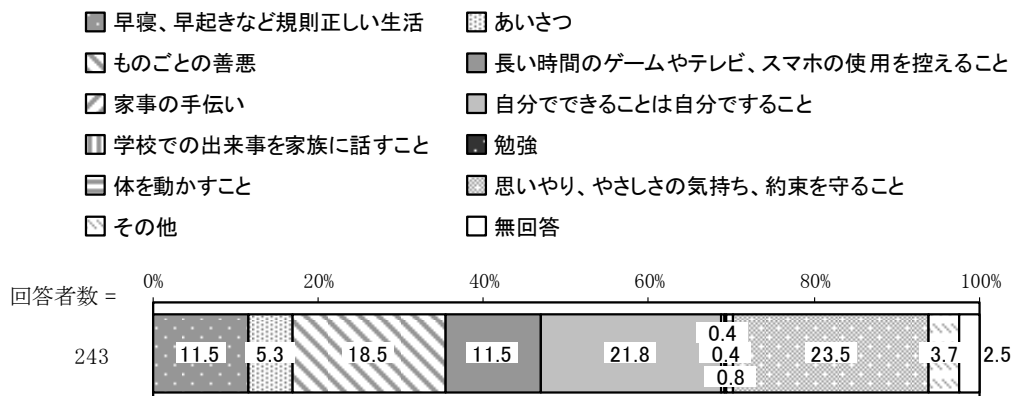
問 17 あなたが子育てで大切にしていることはどんなことですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること」の割合が25.1%と最も高く、次いで「スキンシップや会話をたくさんすること」の割合が24.3%となっています。



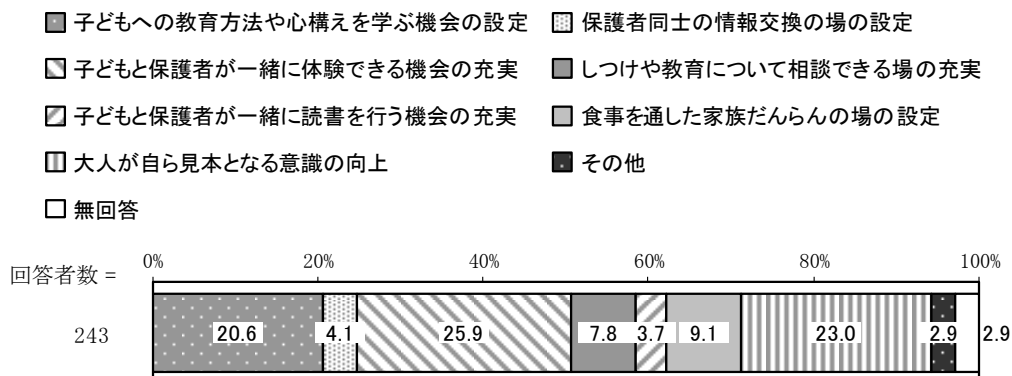
問 18 あなたが、自分のお子さんによく注意することは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「思いやり、やさしさの気持ち、約束を守ること」の割合が23.5%と最も高く、次いで「自分でできることは自分ですること」の割合が21.8%、「ものごとの善悪」の割合が18.5%となっています。



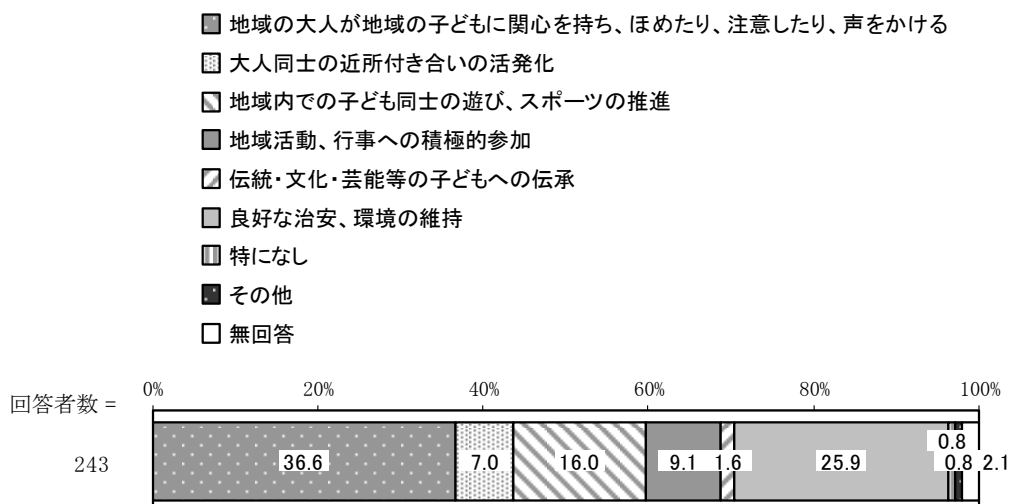
**問 19 あなたは、家庭での教育力向上にどのような取り組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)**

「子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実」の割合が 25.9%と最も高く、次いで「大人が自ら見本となる意識の向上」の割合が 23.0%、「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が 20.6%となっています。



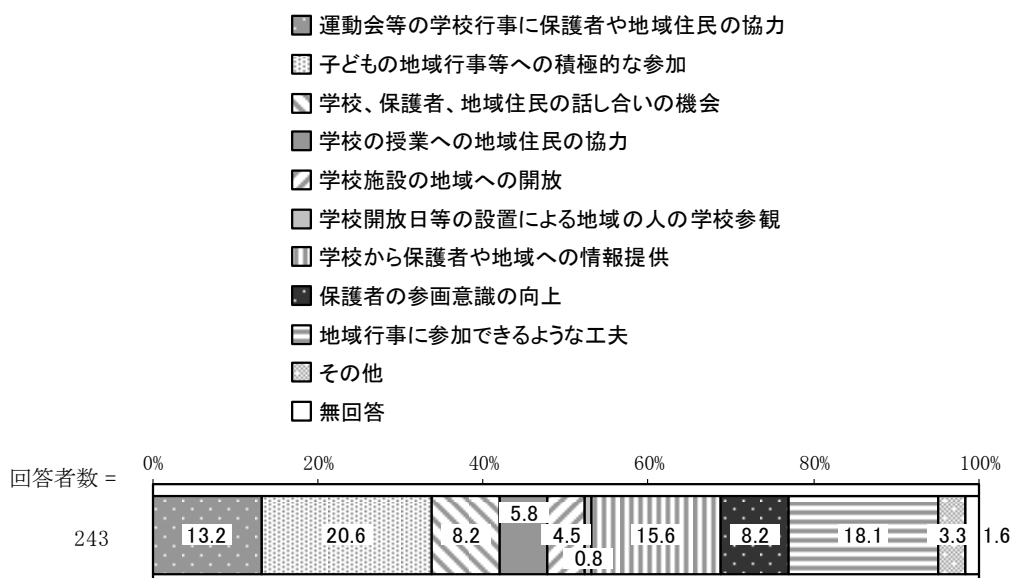
問 20 あなたは、地域で子どもを育てるためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

「地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「良好な治安、環境の維持」の割合が 25.9%、「地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進」の割合が 16.0%となっています。



問 21 あなたは、学校、家庭、地域が連携協力するためには何が必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

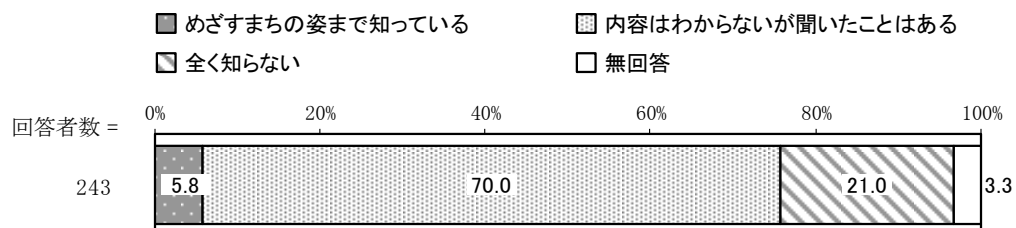
「子どもの地域行事等への積極的な参加」の割合が20.6%と最も高く、次いで「地域行事に参加できるような工夫」の割合が18.1%、「学校から保護者や地域への情報提供」の割合が15.6%となっています。



(5) その他

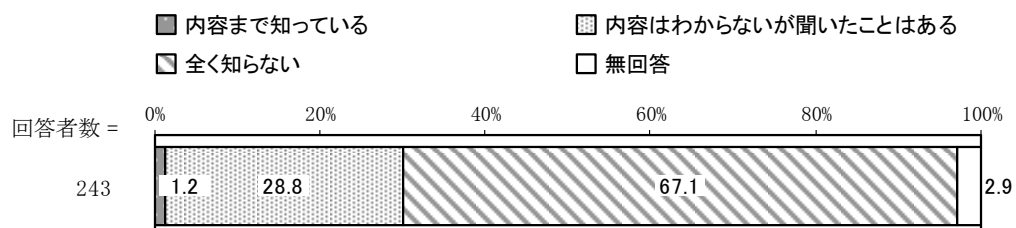
問 22 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「全く知らない」の割合が 21.0%となっています。



問 23 あなたは、「まつもと市民生きいき活動」を知っていますか。

「全く知らない」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 28.8%となっています。

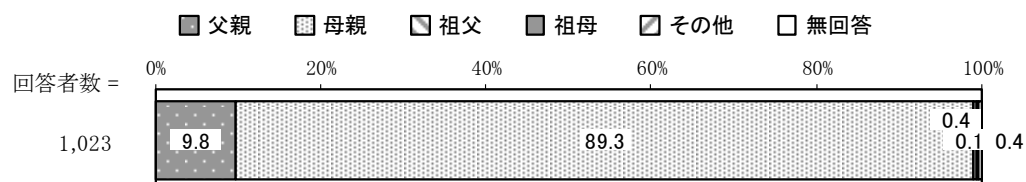


2 小学生・中学生保護者

(1) 回答者属性

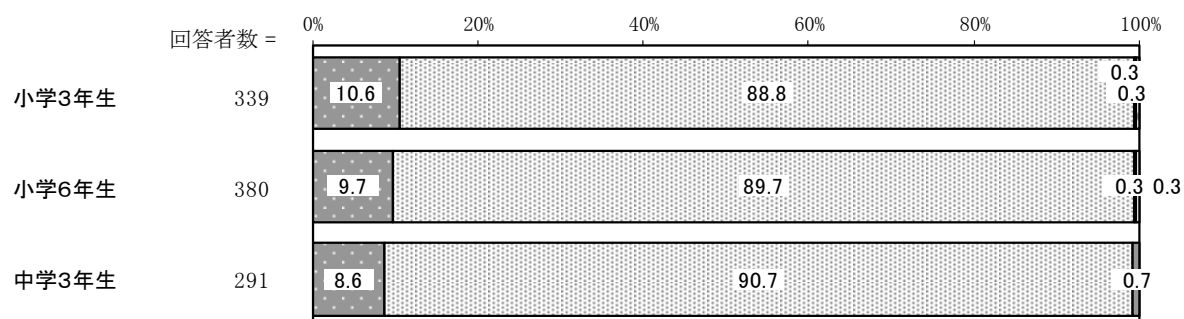
問1 お子さんとの続柄は何ですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



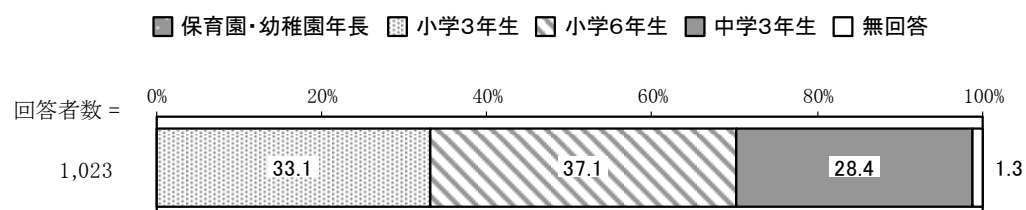
【子どもの学年別】

回答結果は、以下の通りとなっています。



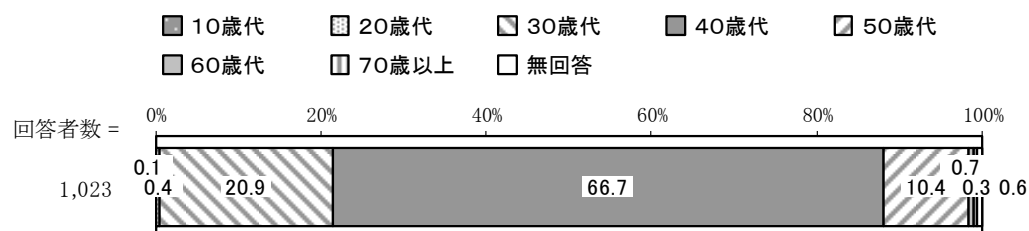
問2 おさんは、何年生ですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



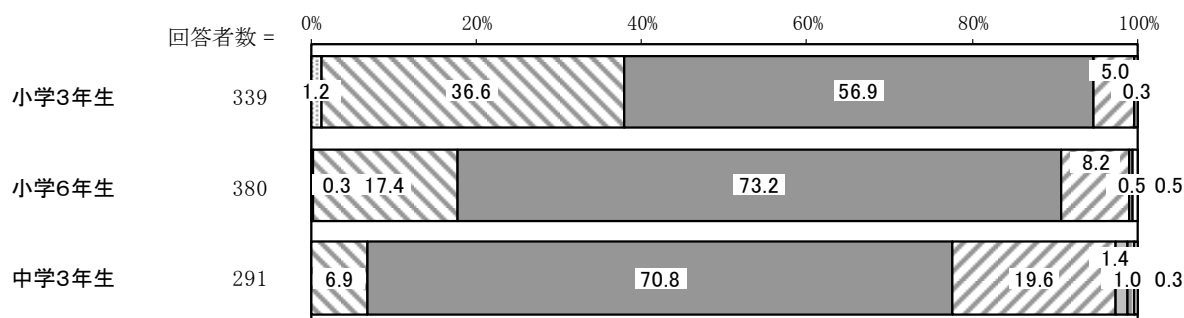
問3 あなたは何歳ですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



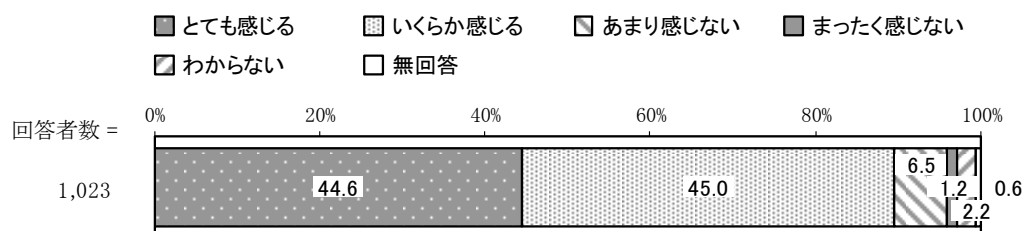
【子どもの学年別】

回答結果は、以下の通りとなっています。



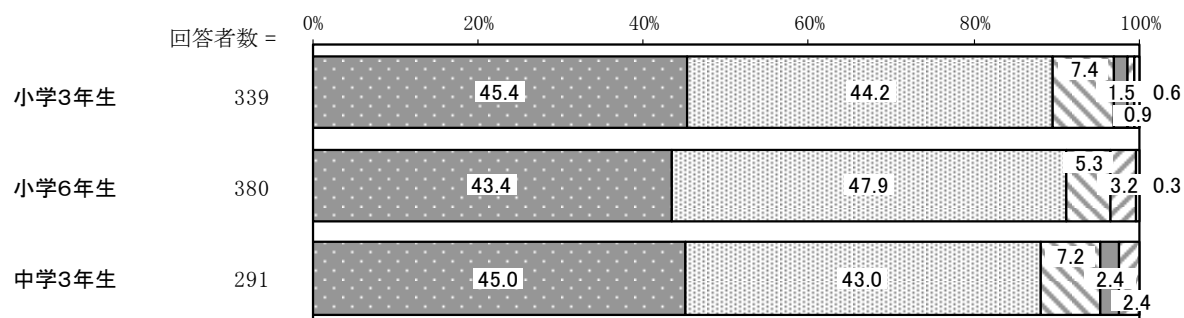
問4 あなたは松本市に親しみや愛着を感じますか。

「とても感じる」と「いくらか感じる」をあわせた“愛着を感じる”の割合が 89.6%、「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“愛着を感じない”の割合が 7.7%となっています。



【子どもの学年別】

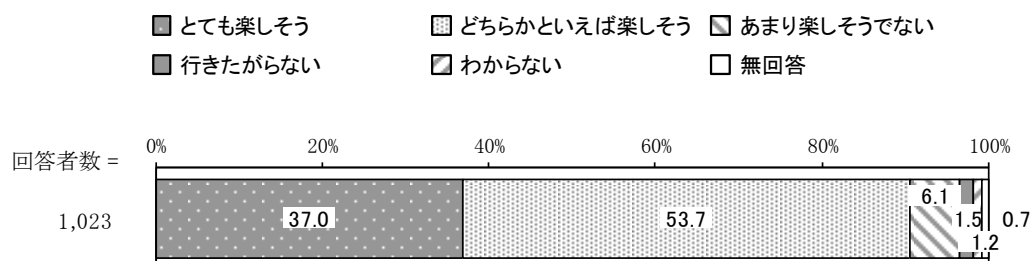
子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



（２）学校等（保育園・幼稚園を含む）とのかかわりについて

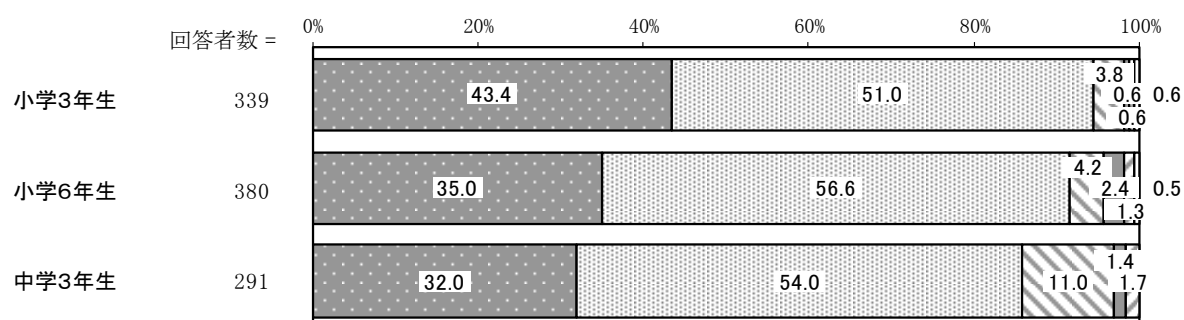
問５ あなたのお子さんは、学校等に楽しく通っていますか。

「とても楽しそう」と「どちらかといえば楽しそう」をあわせた“楽しそう”の割合が 90.7%、「あまり楽しそうでない」の割合が 6.1%、「行きたがらない」の割合が 1.5%となっています。



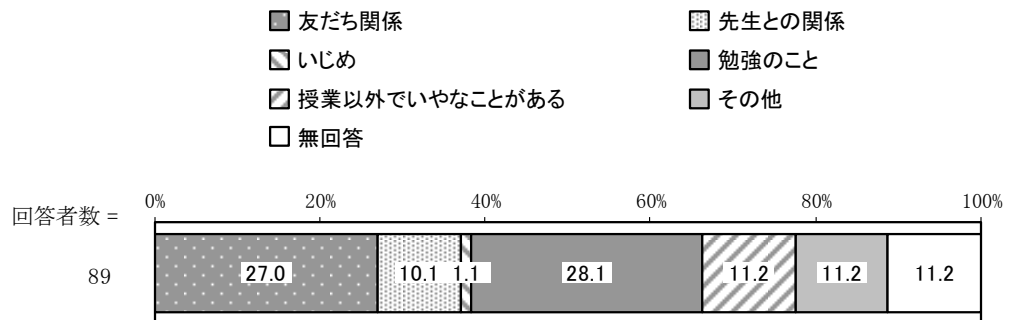
【子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、学年が下がるにつれ“楽しそう”の割合が高くなっており、小学3年生で9割半ばとなっています。また、他に比べ、中学3年生で「あまり楽しそうでない」の割合が高く、約1割となっています。



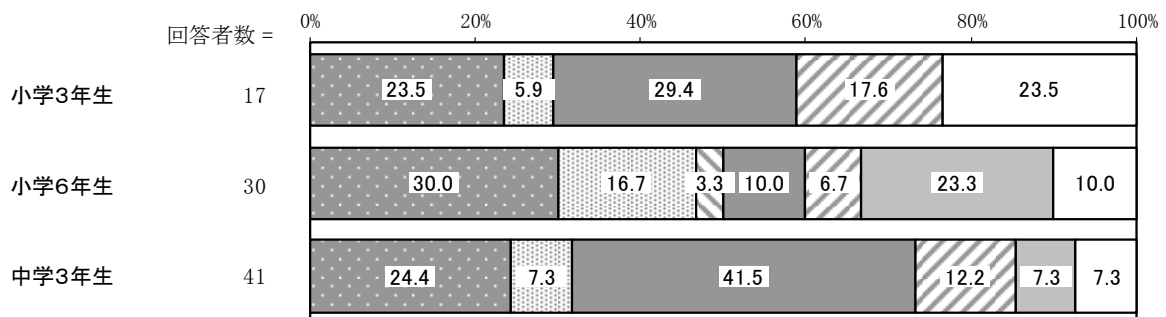
問6 問5で「あまり楽しそうでない」、「行きたがらない」、「わからない」と回答した方にお聞きします。
その理由は、何だと思えますか。(最もあてはまるもの1つに○)

「勉強のこと」の割合が28.1%と最も高く、次いで「友だち関係」の割合が27.0%、「授業以外でいやなことがある」の割合が11.2%となっています。



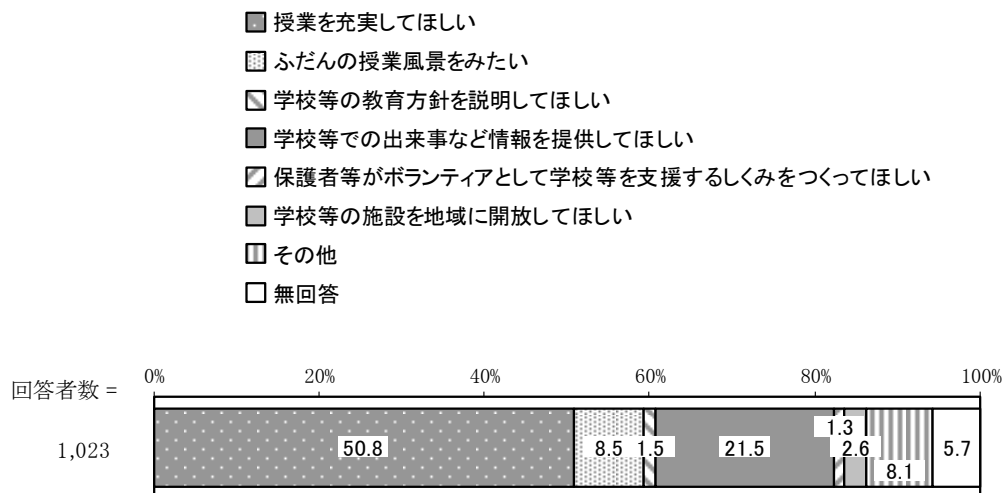
【子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、他に比べ、小学6年生で「勉強のこと」の割合が低く、1割となっています。



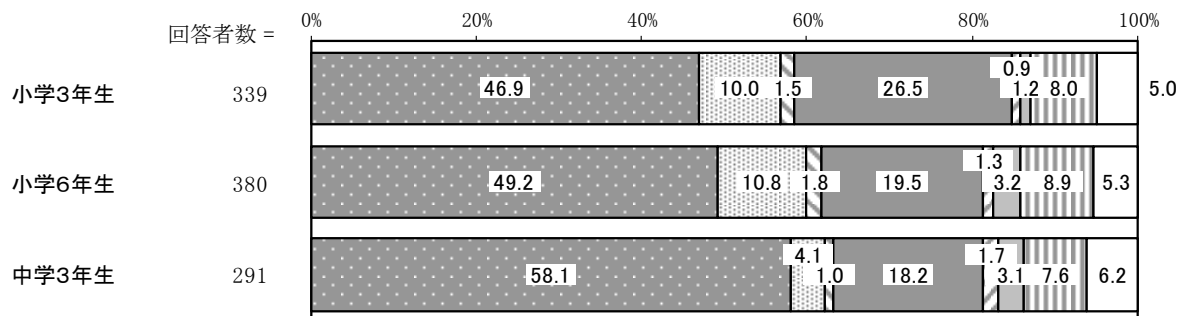
問7 あなたは、お子さんが通っている学校等に対して何を望みますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「授業を充実してほしい」の割合が50.8%と最も高く、次いで「学校等での出来事など情報を提供してほしい」の割合が21.5%となっています。



【子どもの学年別】

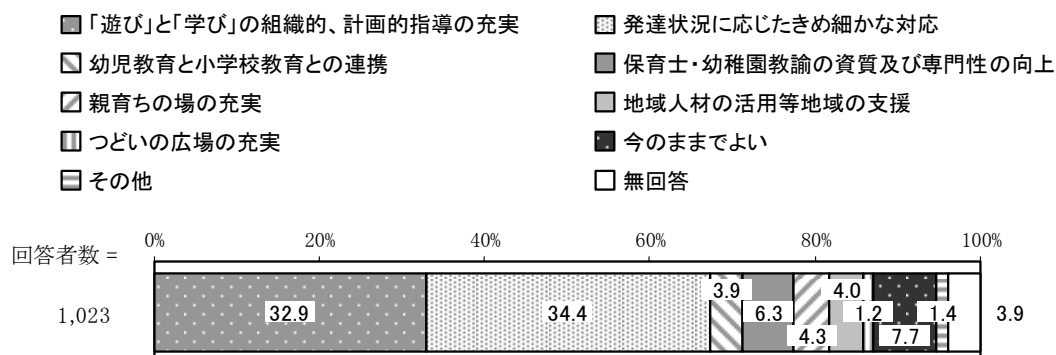
子どもの学年別でみると、他に比べ、中学3年生で「授業を充実してほしい」の割合が高く、約6割となっています。また、小学3年生で「学校等での出来事など情報を提供してほしい」の割合が高く、2割半ばとなっています。一方、他に比べ、中学3年生で「ふだんの授業風景をみたい」の割合が低くなっています。



(3) 子どもの教育について

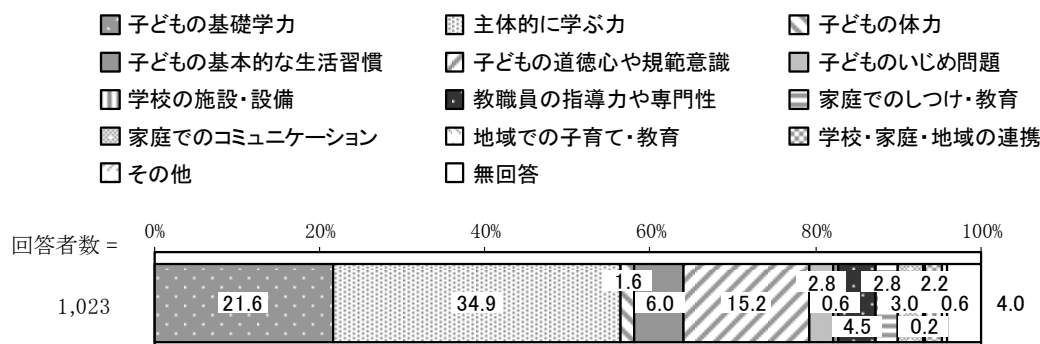
問8 幼児教育の充実には、どのような取り組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「発達状況に応じたきめ細かな対応」の割合が34.4%と最も高く、次いで「遊び」と「学び」の組織的、計画的指導の充実」の割合が32.9%となっています。



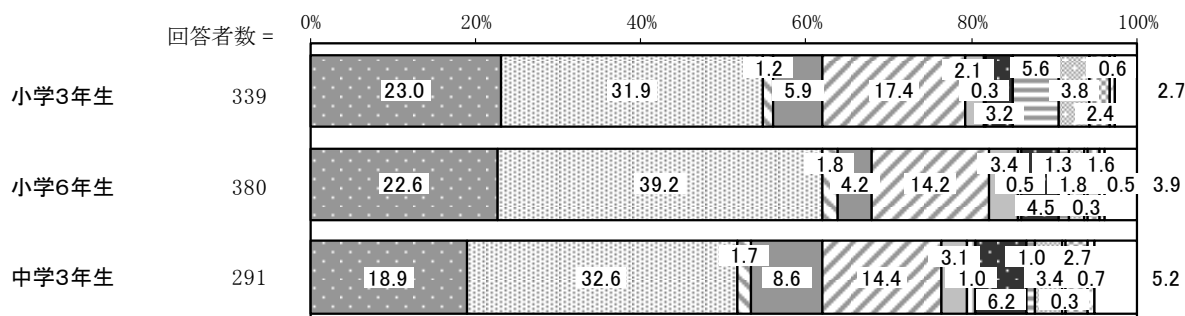
問9 子どもの教育について、あなたが関心のあることは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「主体的に学ぶ力」の割合が34.9%と最も高く、次いで「子どもの基礎学力」の割合が21.6%、「子どもの道徳心や規範意識」の割合が15.2%となっています。



【子どもの学年別】

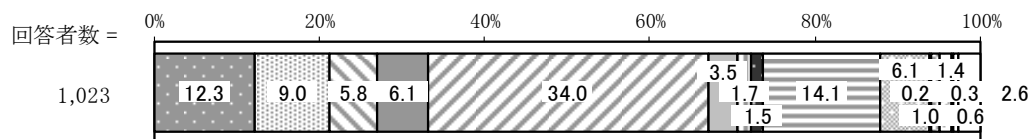
子どもの学年別でみると、他に比べ、小学6年生で「家庭でのしつけ・教育」の割合が高くなっています。



問 10 あなたは、松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか。（最もあてはまるもの1つに○）

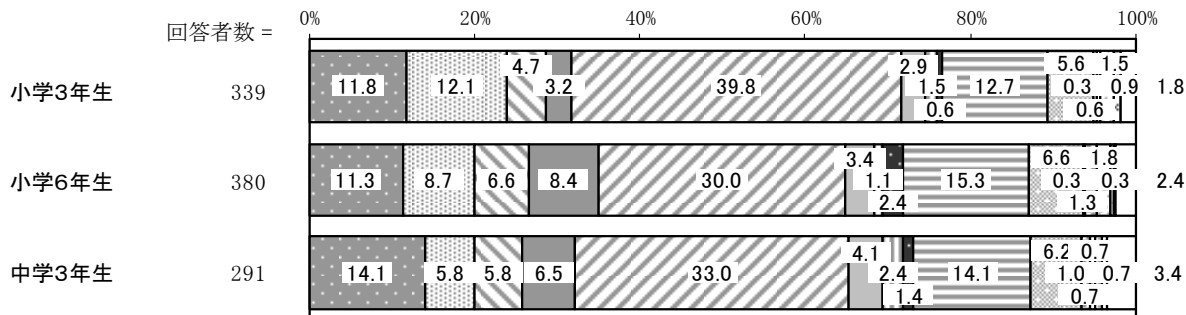
「思いやりややさしさを持った子ども」の割合が34.0%と最も高く、次いで「向上心やチャレンジ精神のある子ども」の割合が14.1%、「ルールやマナーを守る子ども」の割合が12.3%となっています。

- | | | |
|-----------------|--------------------|---------------------|
| ■ ルールやマナーを守る子ども | ■ 健康で活発な子ども | ■ 自分の意見をはっきりと言える子ども |
| ■ 創造性が豊かな子ども | ■ 思いやりややさしさを持った子ども | ■ 努力できる子ども |
| ■ 責任感を持った子ども | ■ 意欲的に学習する子ども | ■ 向上心やチャレンジ精神のある子ども |
| ■ 夢を持っている子ども | ■ リーダーシップのある子ども | ■ ふるさとを愛する子ども |
| ■ その他 | ■ 特にない | ■ わからない |



【子どもの学年別】

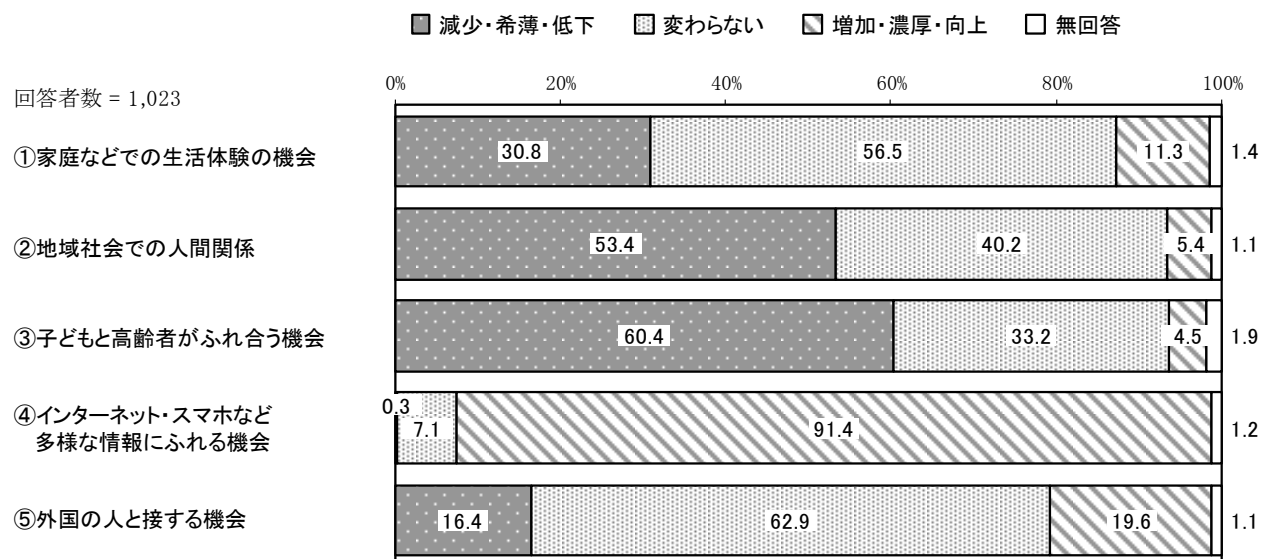
子どもの学年別でみると、他に比べ、小学3年生で「思いやりややさしさを持った子ども」「健康で活発な子ども」の割合が高くなっています。一方、他に比べ、小学3年生で「創造性が豊かな子ども」の割合が低くなっています。



問 11 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。（〇は①～⑤ごとに1つ）

『②地域社会での人間関係』『③子どもと高齢者がふれ合う機会』で「減少・希薄・低下」の割合が高く、特に『③子どもと高齢者がふれ合う機会』で約6割となっています。

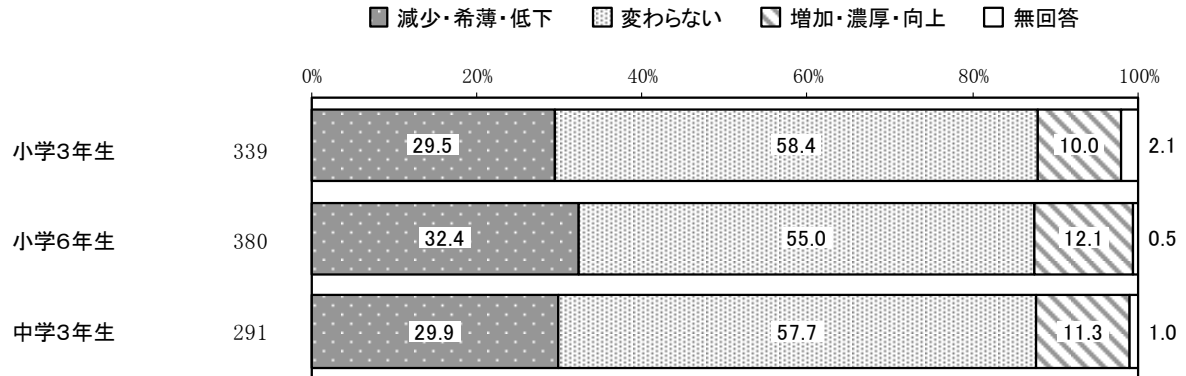
また、『④インターネット・スマホなど多様な情報にふれる機会』で「増加・濃厚・向上」の割合が高く、約9割となっています。



【子どもの学年別】

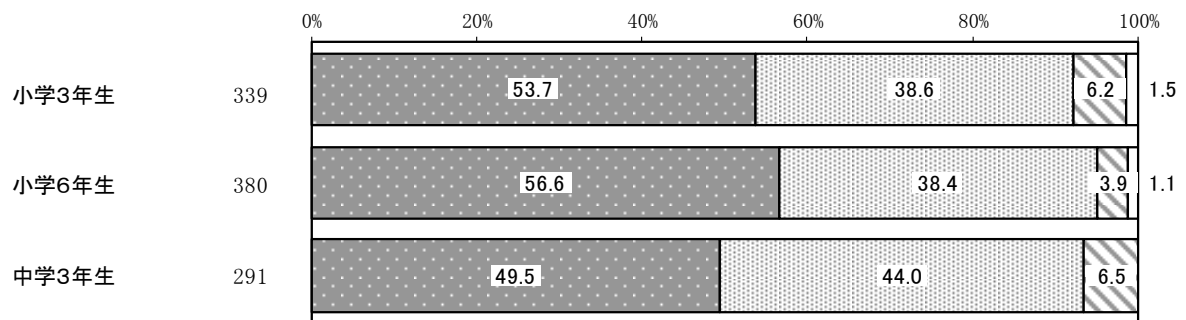
①家庭などでの生活体験の機会

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



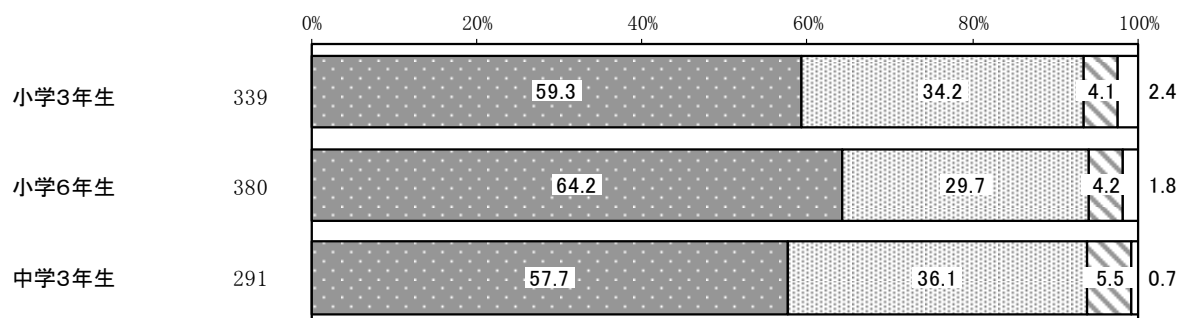
②地域社会での人間関係

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



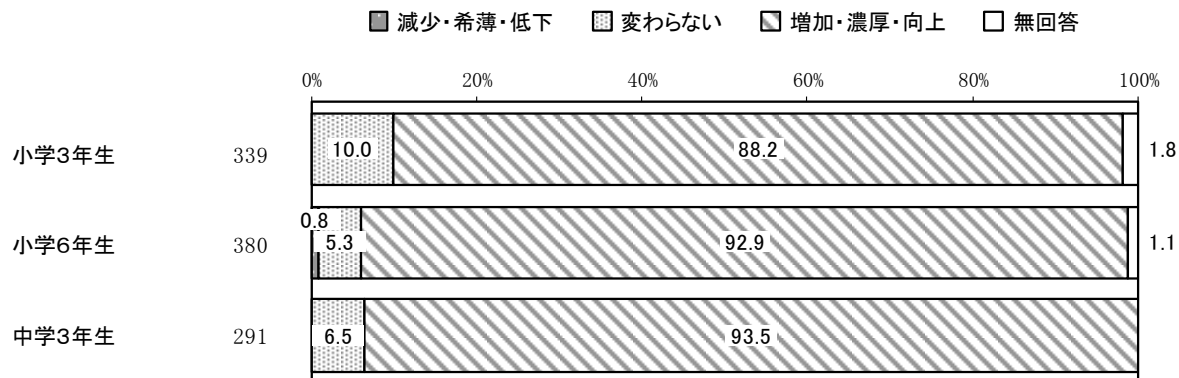
③子どもと高齢者がふれ合う機会

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



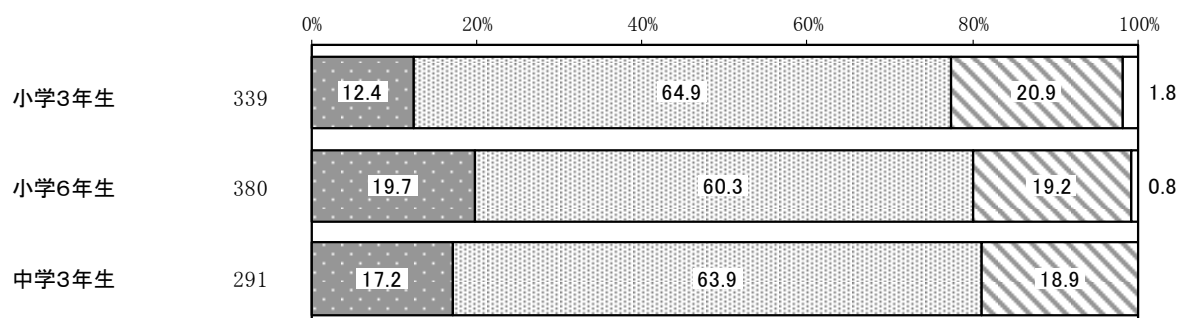
④インターネット・スマホなど多様な情報にふれる機会

子どもの学年別でみると、他に比べ、小学3年生で「変わらない」の割合が高く、1割となっています。一方、他に比べ、小学3年生で「増加・濃厚・向上」の割合が低くなっています。



⑤外国の人と接する機会

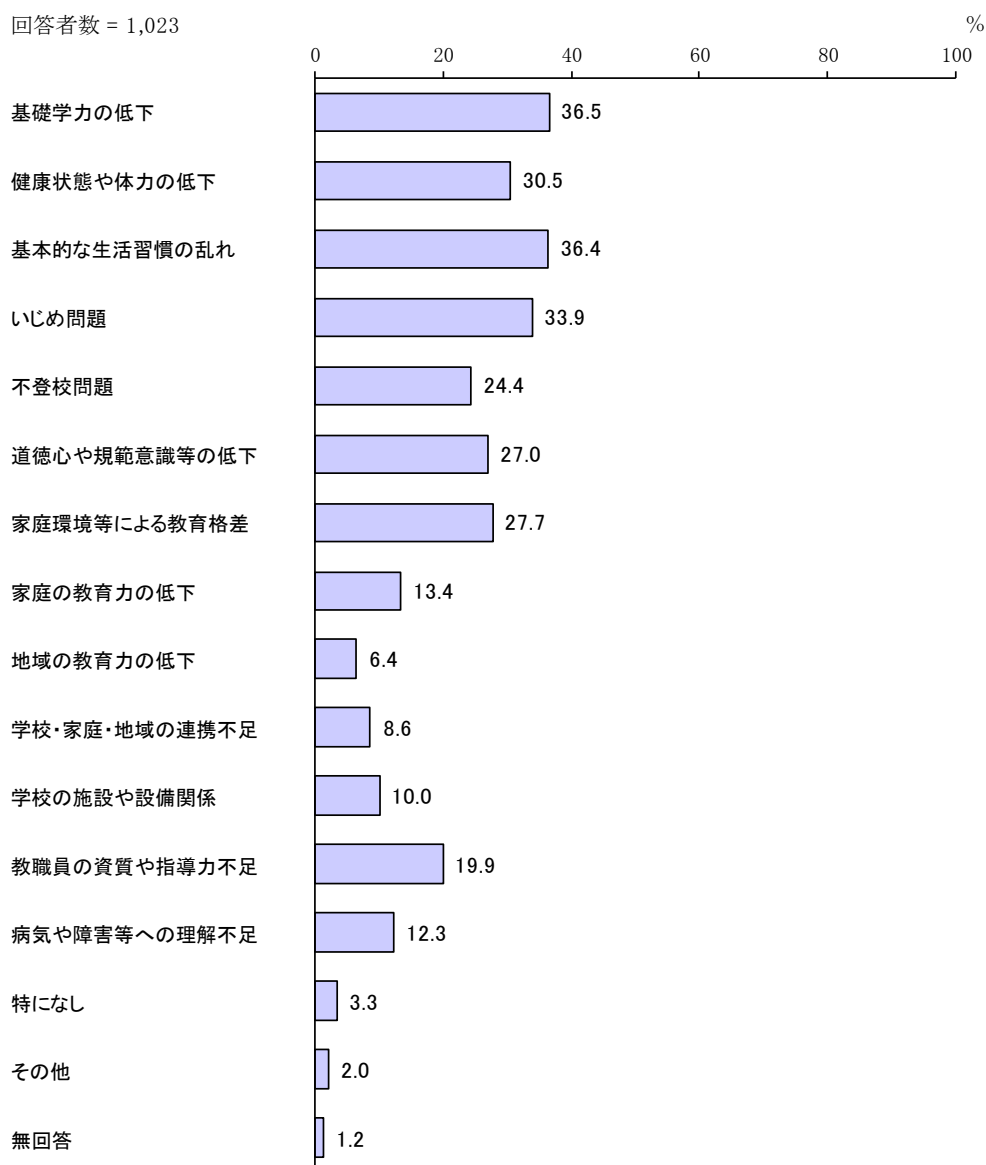
子どもの学年別でみると、小学3年生に比べ、小学6年生、中学3年生で「減少・希薄・低下」の割合が高く、約2割となっています。



問 12 子どもの教育に関して課題は何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「基礎学力の低下」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣の乱れ」の割合が 36.4%、「いじめ問題」の割合が 33.9%となっています。

回答者数 = 1,023



【子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、他に比べ、中学３年生で「基礎学力の低下」の割合が高く、４割半ばとなっています。

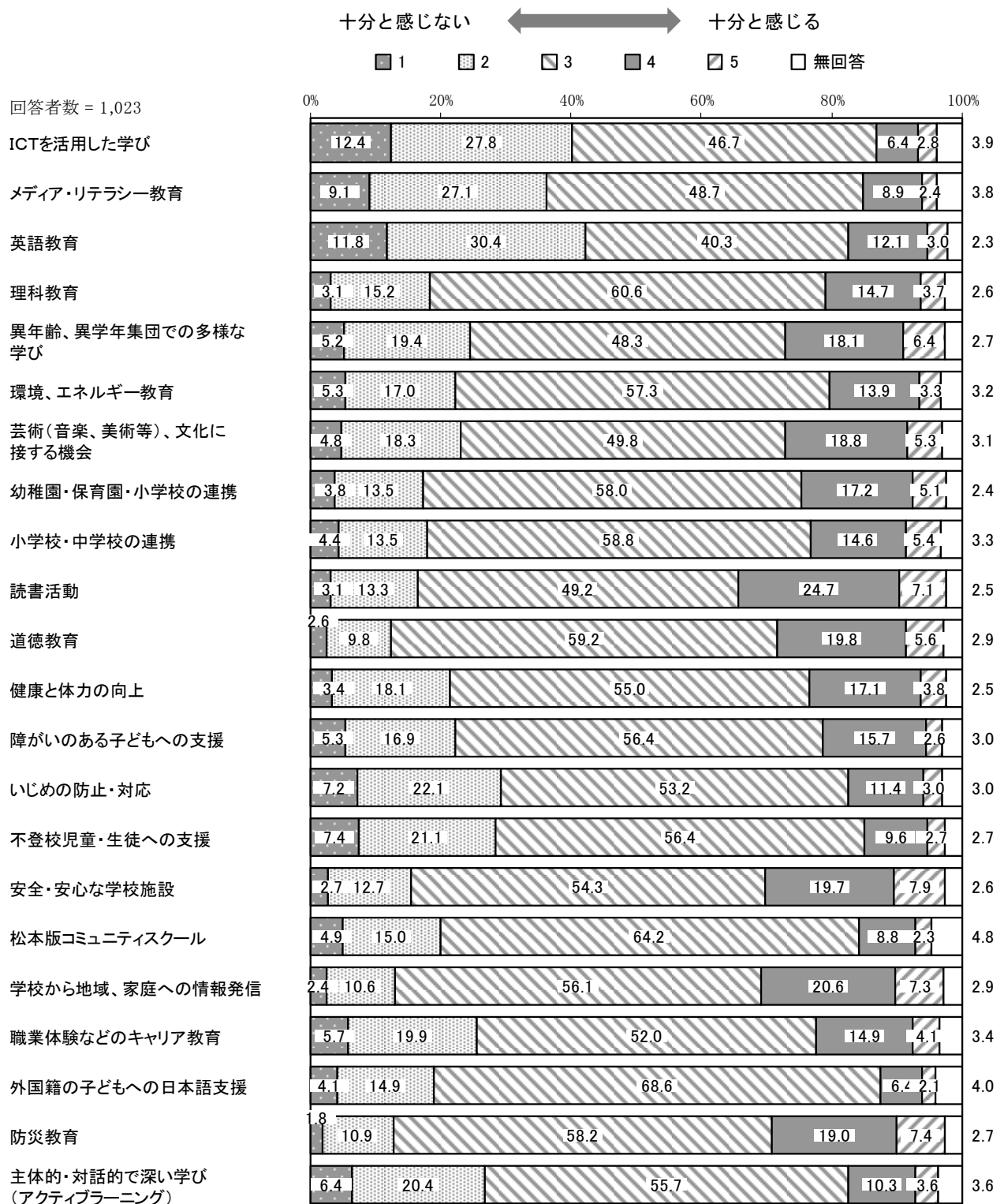
単位：％

区分	回答者数 (件)	基礎学力の低下	健康状態や体力の低下	基本的な生活習慣の乱れ	いじめ問題	不登校問題	道徳心や規範意識等の低下	家庭環境等による教育格差	家庭の教育力の低下	地域の教育力の低下	学校・家庭・地域の連携不足	学校の施設や設備関係	教職員の資質や指導力不足	病気や障害等への理解不足	特になし	その他	無回答
小学校３年生	339	32.7	30.7	35.7	38.1	22.4	28.9	24.5	11.8	6.5	8.6	7.1	18.9	13.3	4.1	1.5	0.9
小学校６年生	380	33.4	32.6	34.5	31.3	22.1	24.7	27.4	14.5	6.1	10.0	10.5	19.7	11.6	3.4	1.6	1.8
中学校３年生	291	44.3	27.5	39.2	32.6	29.2	28.2	31.3	13.7	6.5	7.2	12.7	21.6	12.4	2.4	2.7	—

問 13 松本市の教育について「現在の状況」と「今後の重要度」について、それぞれ5段階であなたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで○をつけてください。

1. 現在の状況

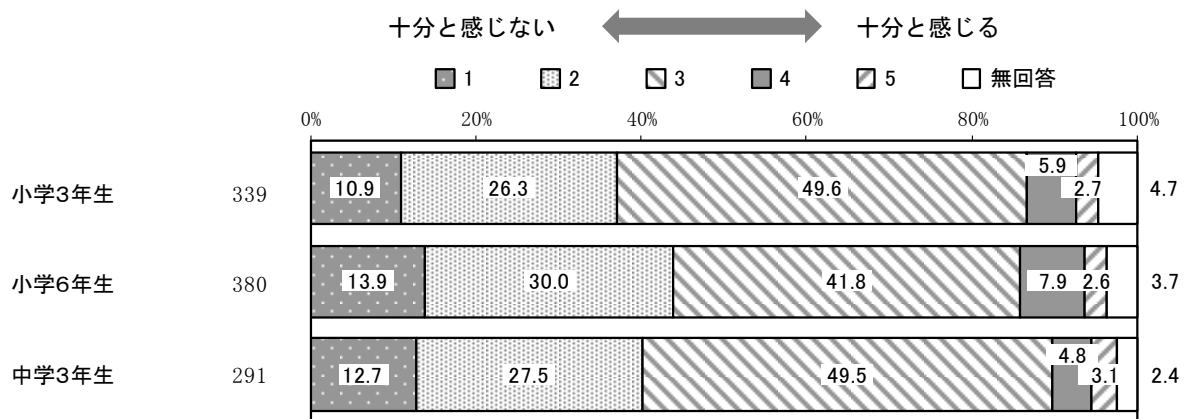
『ICTを活用した学び』『英語教育』で「1」と「2」をあわせた“十分と感じない”の割合が高く、約4割となっています。また、『読書活動』『安全・安心な学校施設』『学校から地域、家庭への情報発信』で「4」と「5」をあわせた“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。



【子どもの学年別】

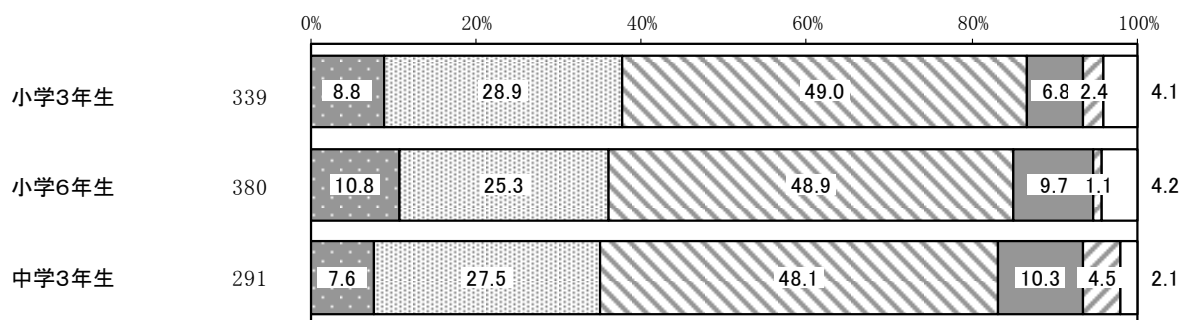
① ICTを活用した学び

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



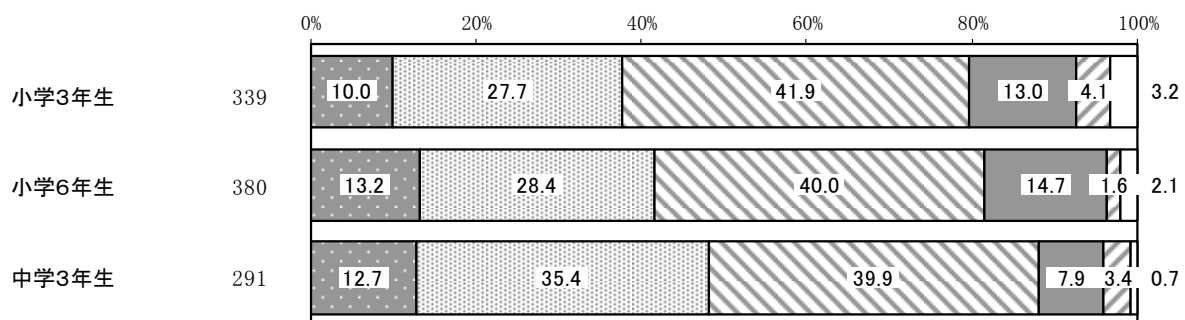
② メディア・リテラシー教育

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



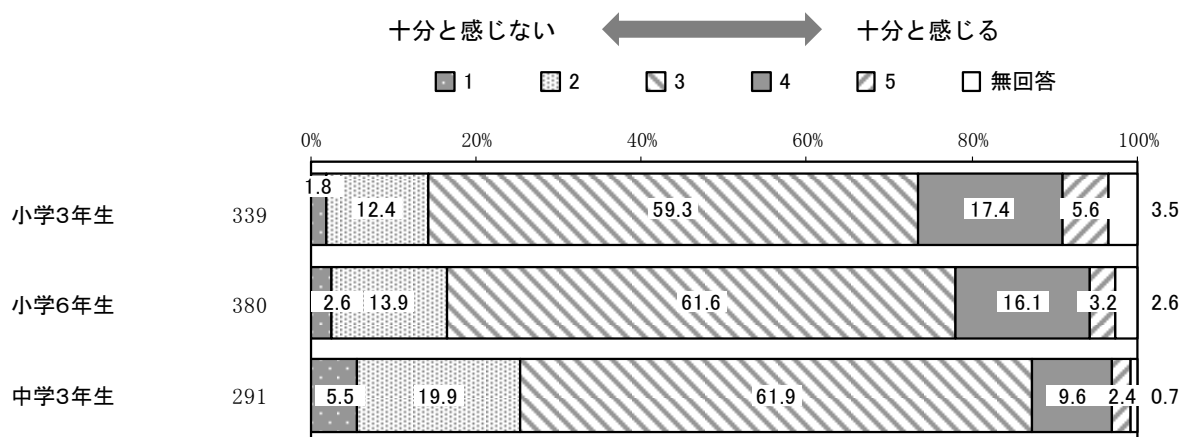
③ 英語教育

子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ“十分と感じない”の割合が高くなっており、中学3年生で約5割となっています。



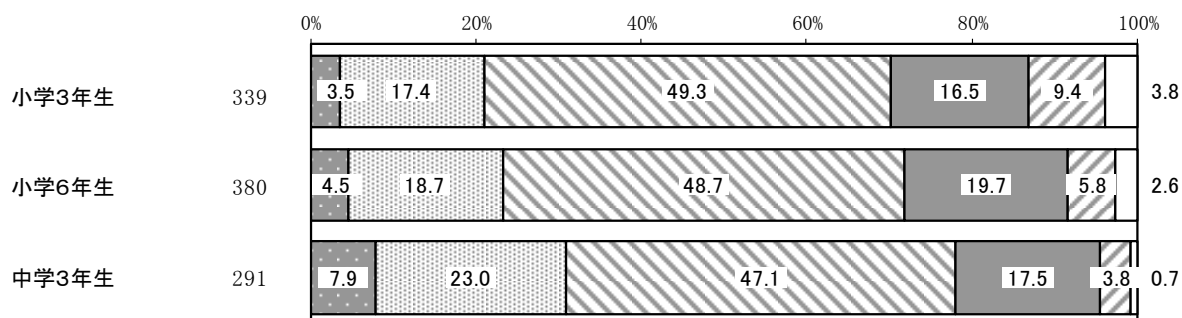
④理科教育

子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ“十分と感じない”の割合が高くなっており、中学3年生で2割半ばとなっています。



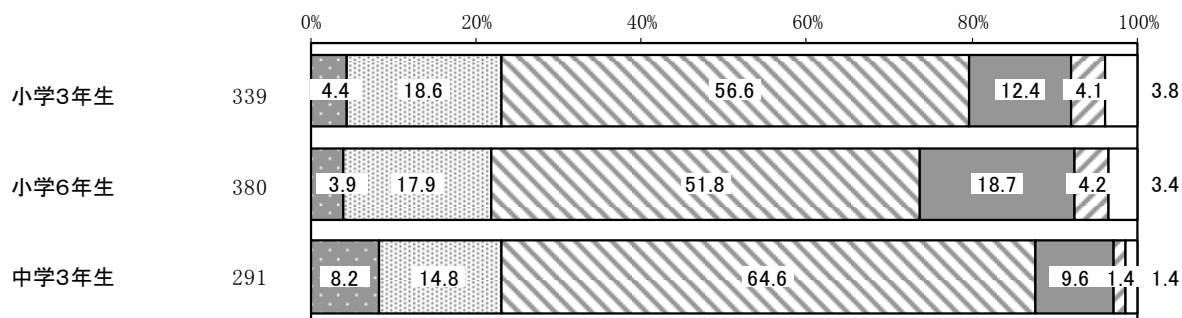
⑤異年齢、異学年集団での多様な学び

子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ“十分と感じない”の割合が高くなっており、中学3年生で約3割となっています。



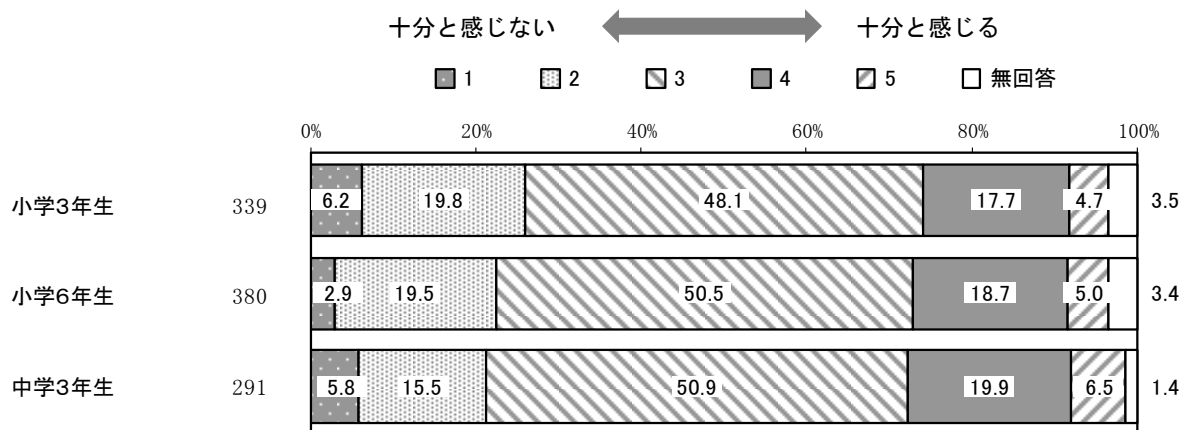
⑥環境、エネルギー教育

子どもの学年別でみると、他に比べ、小学6年生で“十分と感じる”の割合が高く、約2割となっています。



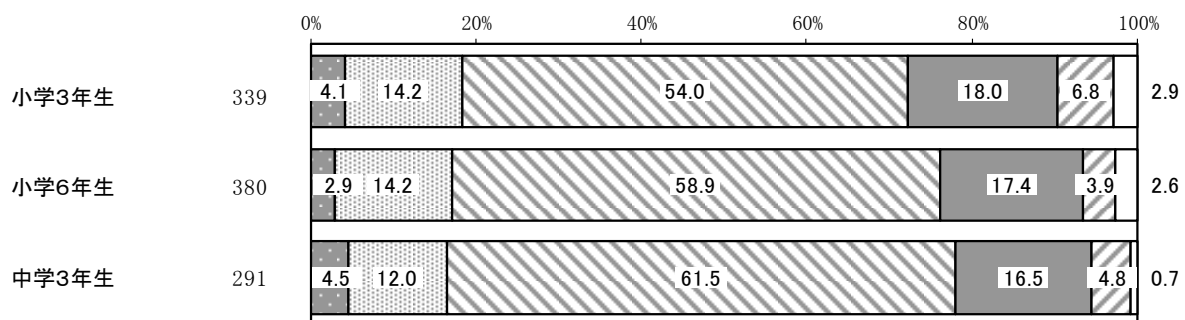
⑦芸術（音楽、美術等）、文化に接する機会

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



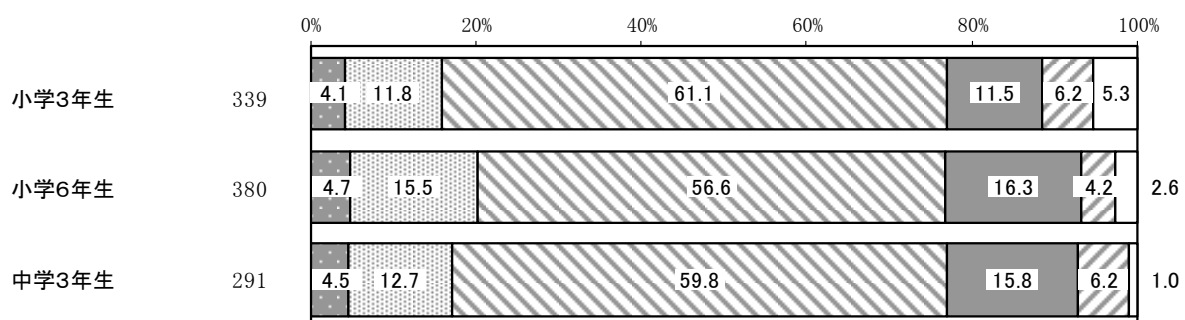
⑧幼稚園・保育園・小学校の連携

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



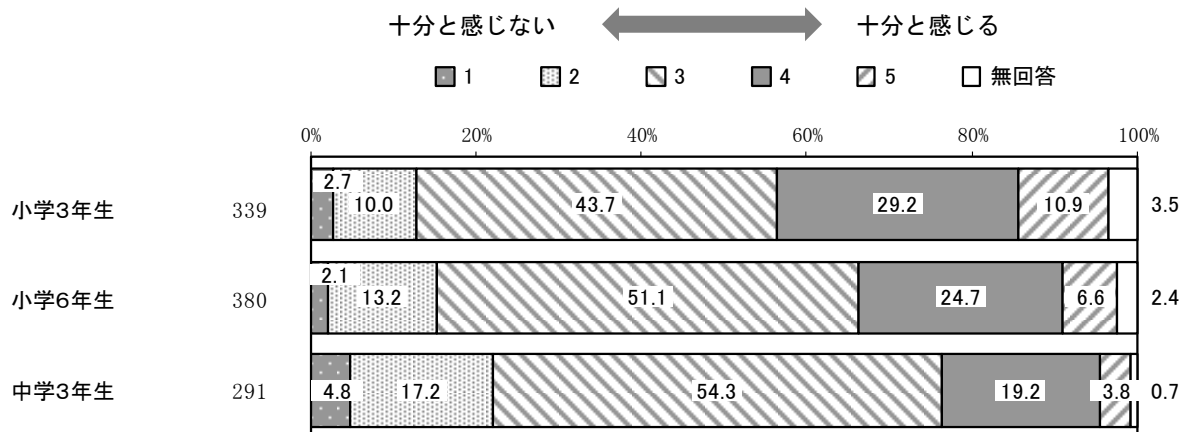
⑨小学校・中学校の連携

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



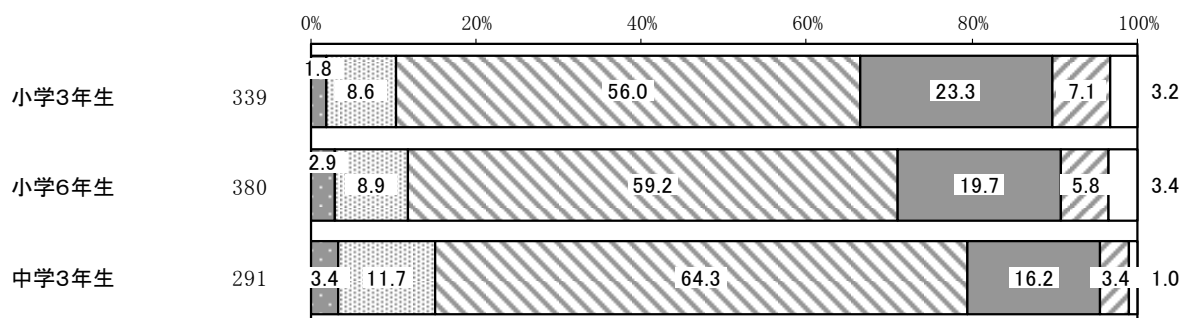
⑩読書活動

子どもの学年別でみると、学年が下がるにつれ“十分と感じる”の割合が高くなっており、小学3年生で約4割となっています。



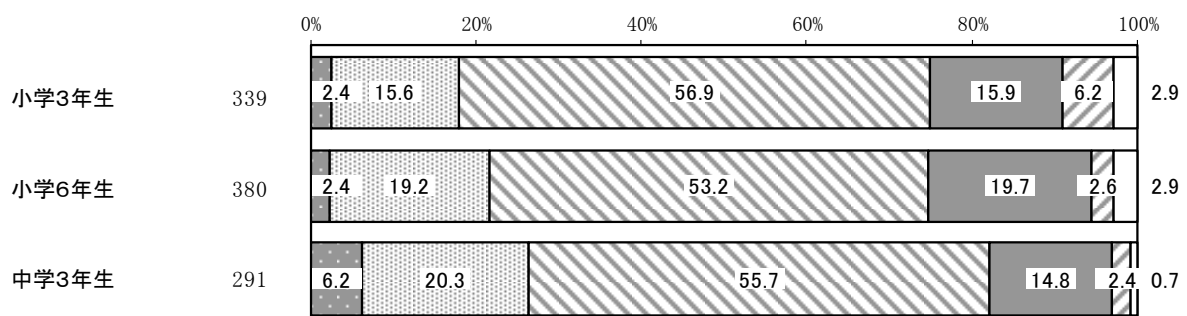
⑪道徳教育

子どもの学年別でみると、学年が下がるにつれ“十分と感じる”の割合が高くなっており、小学3年生で約3割となっています。



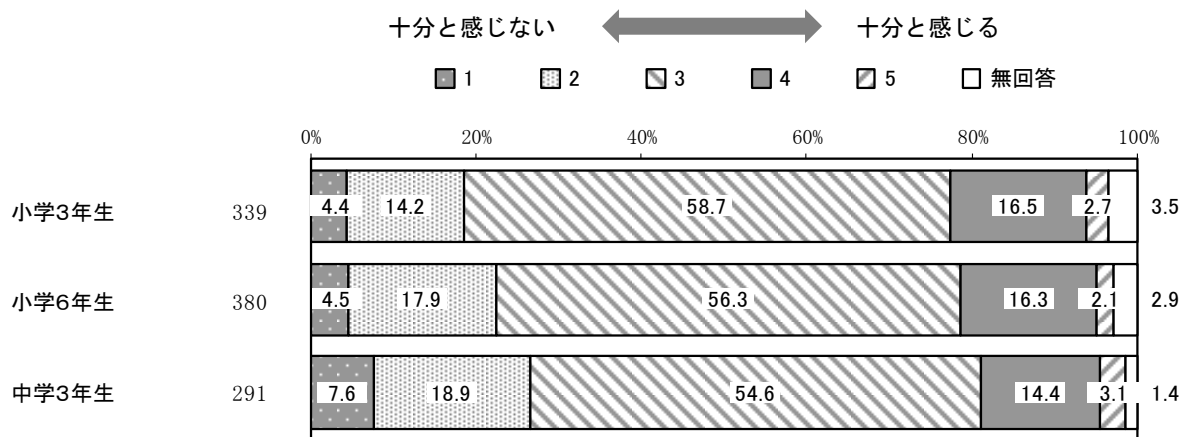
⑫健康と体力の向上

子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ“十分と感じない”の割合が高くなっており、中学3年生で2割半ばとなっています。



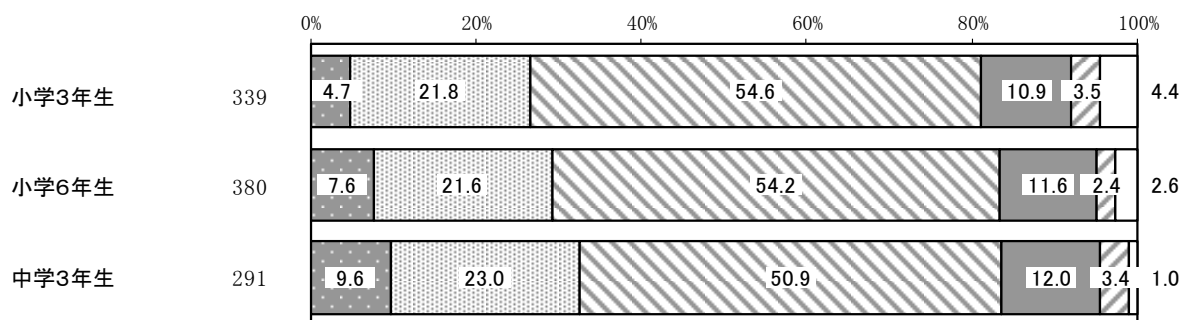
⑬障がいのある子どもへの支援

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



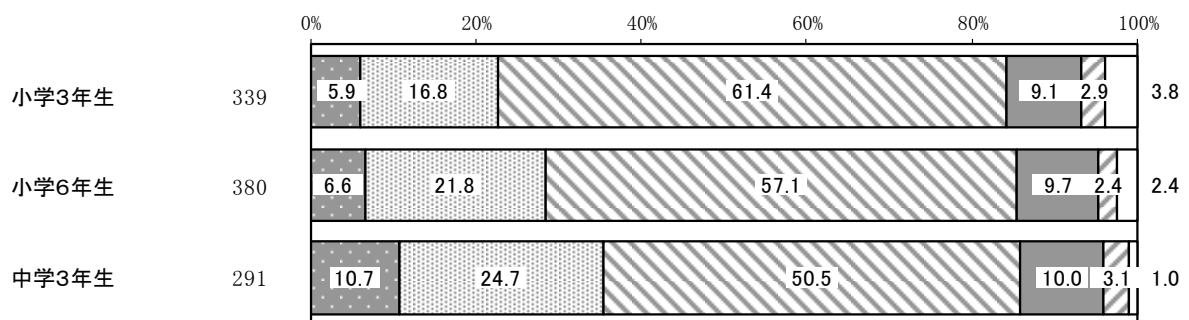
⑭いじめの防止・対応

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



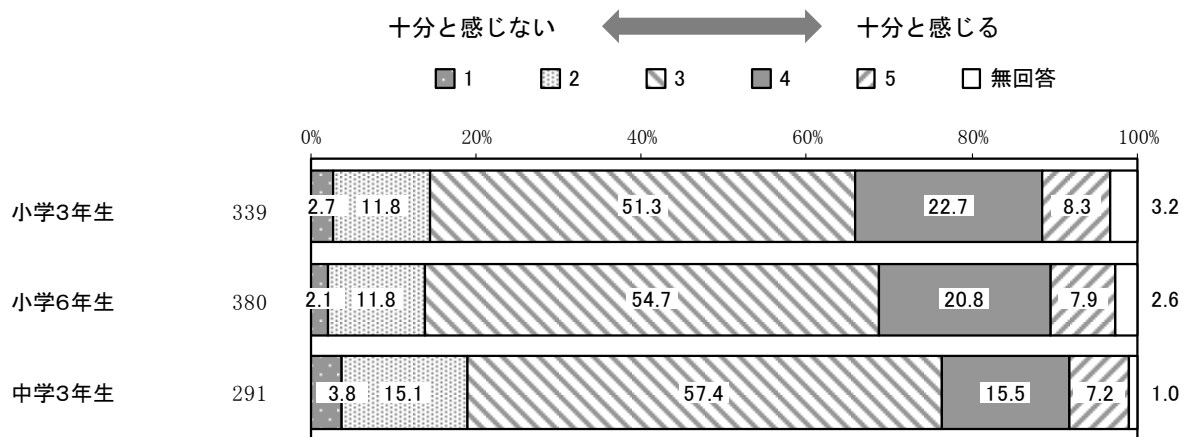
⑮不登校児童・生徒への支援

子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ“十分と感じない”の割合が高くなっており、中学3年生で3割半ばとなっています。



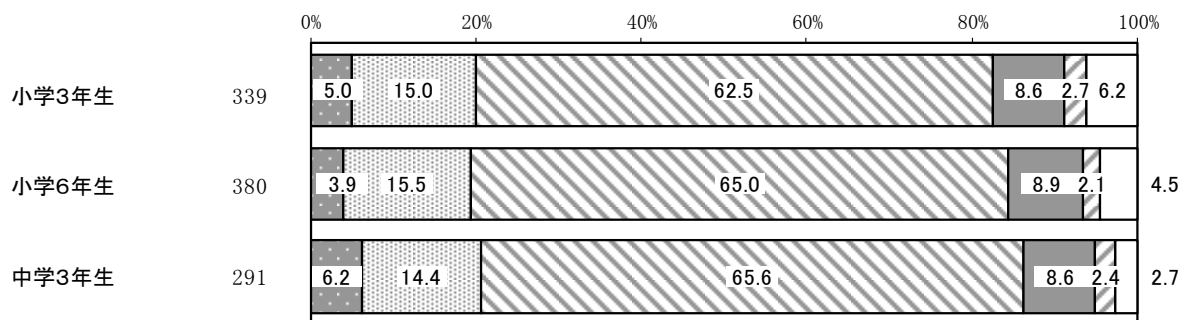
⑯安全・安心な学校施設

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



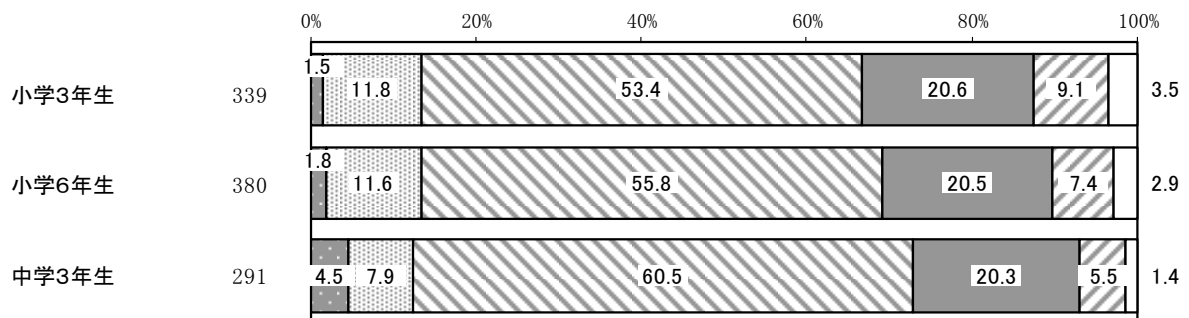
⑰松本版コミュニティスクール

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



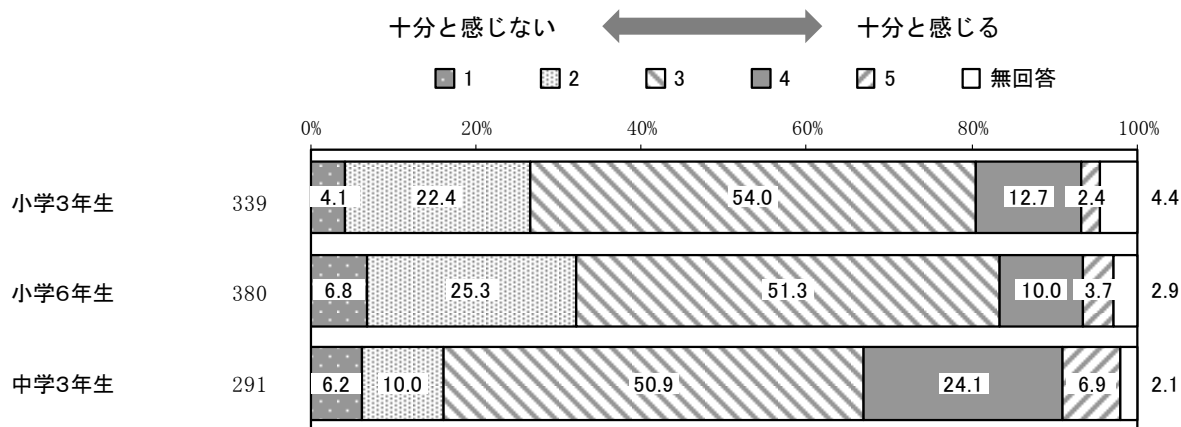
⑱学校から地域、家庭への情報発信

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



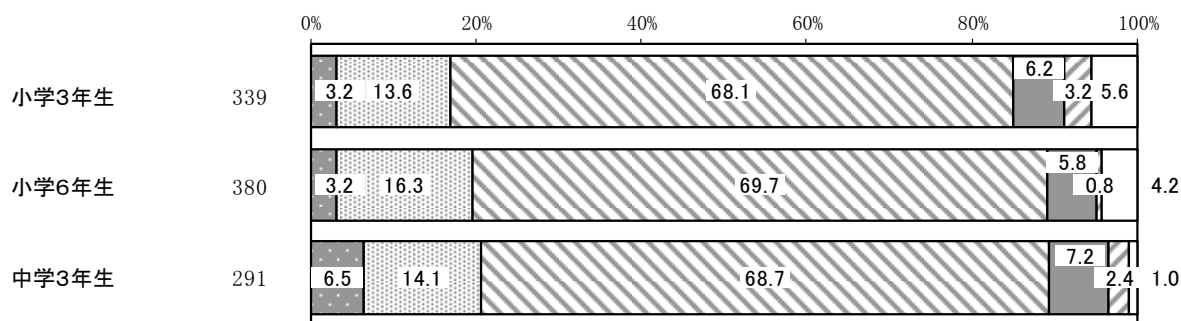
⑱職業体験などのキャリア教育

子どもの学年別でみると、他に比べ、中学3年生で“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。また、他に比べ、小学6年生で“十分と感じない”の割合が高く、約3割となっています。



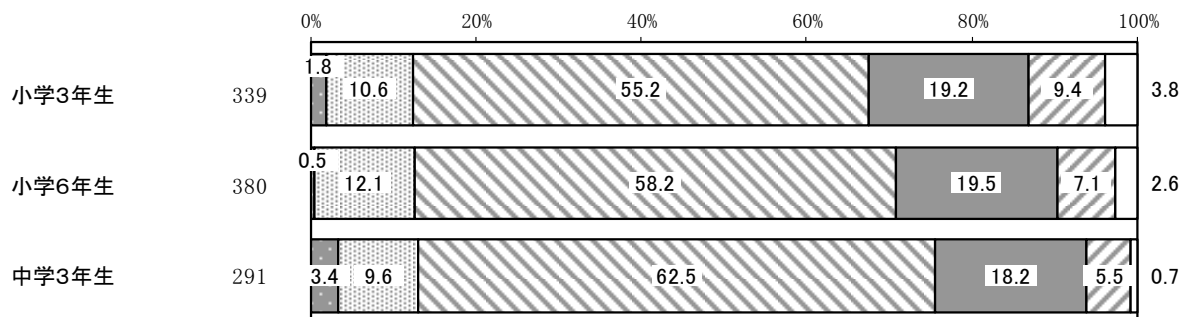
⑳外国籍の子どもへの日本語支援

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



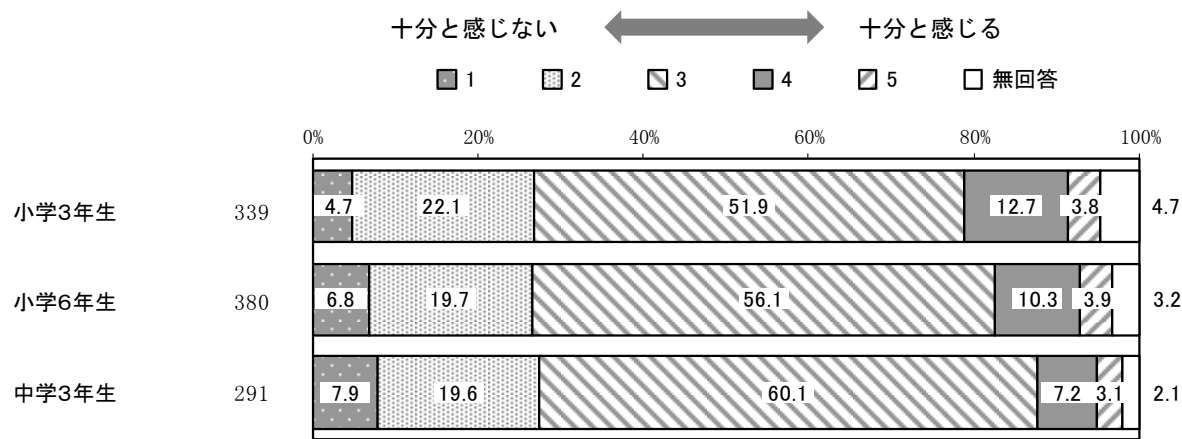
㉑防災教育

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



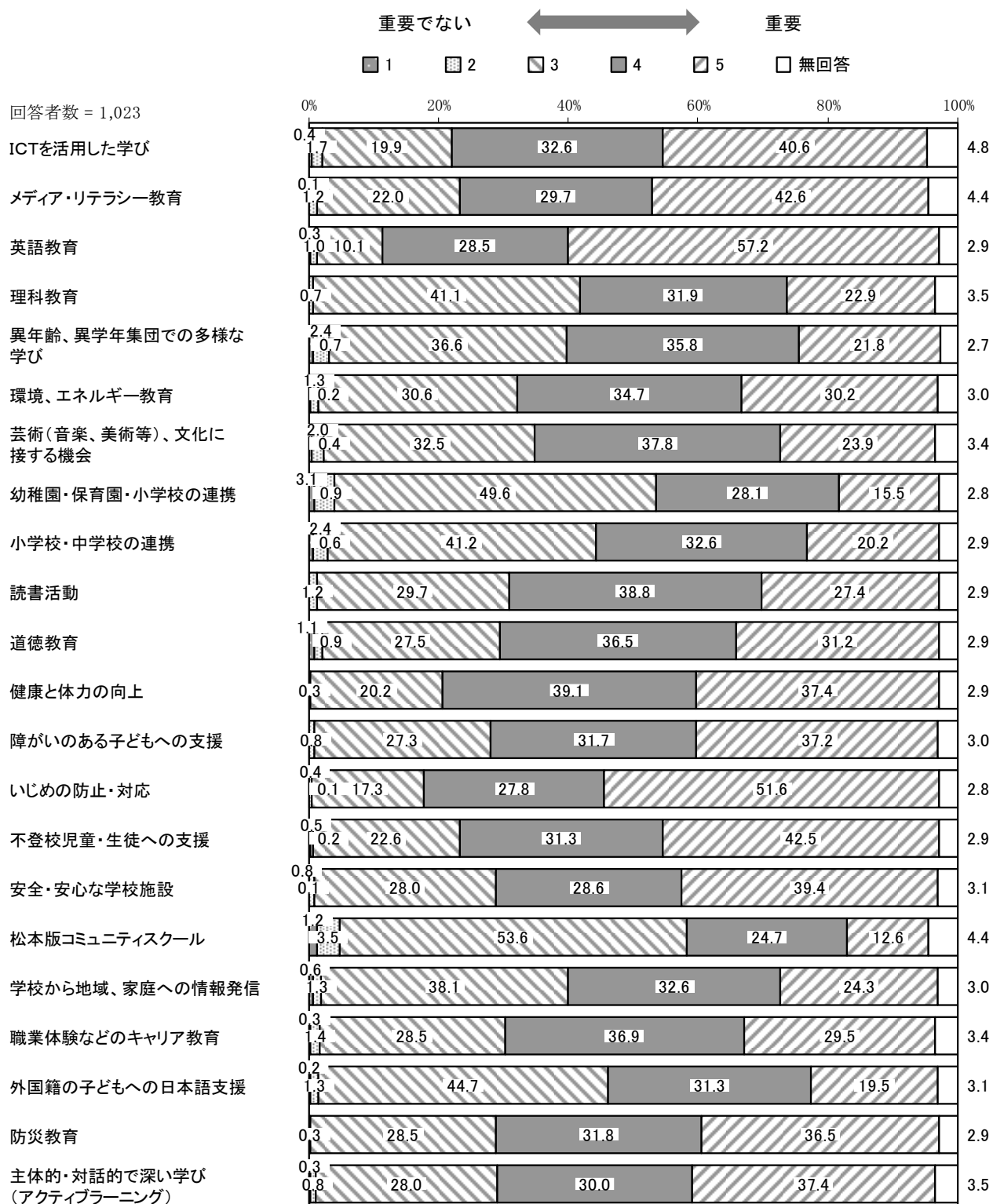
②主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



2. 今後の重要度

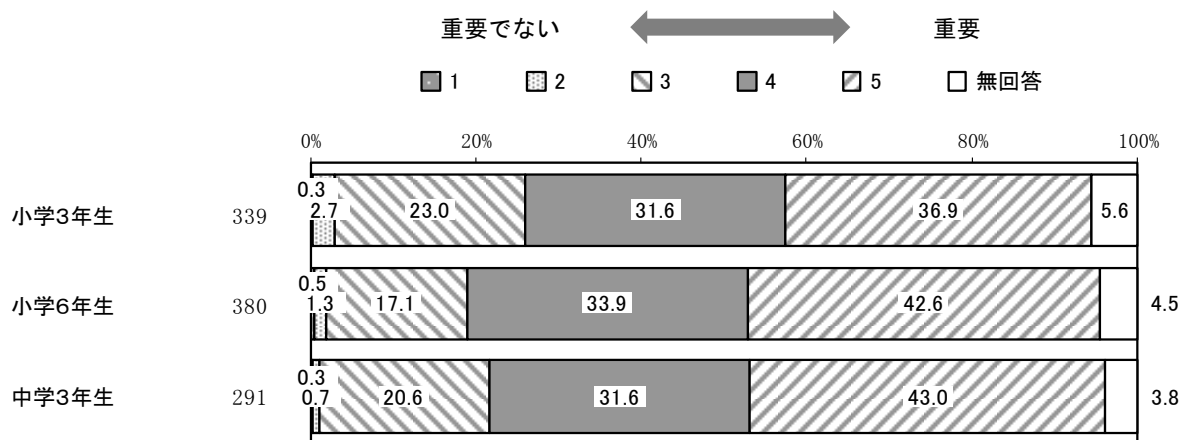
すべての項目で「4」と「5」をあわせた“重要”の割合が高く、特に『英語教育』で8割半ばとなっています。



【子どもの学年別】

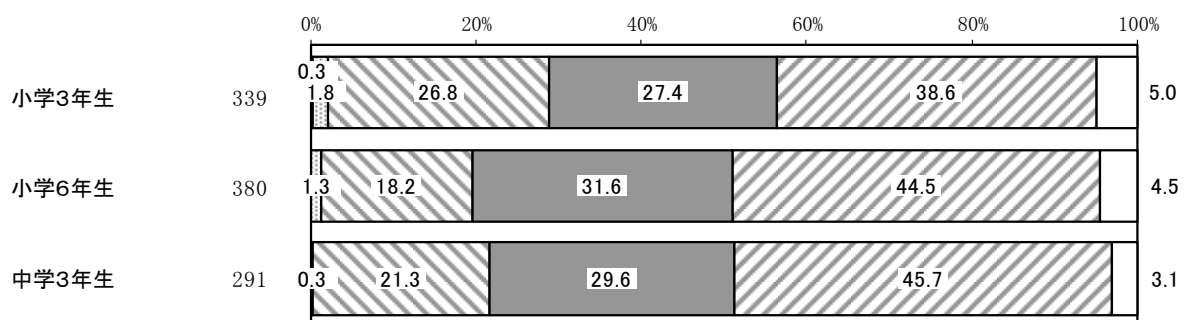
① ICTを活用した学び

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



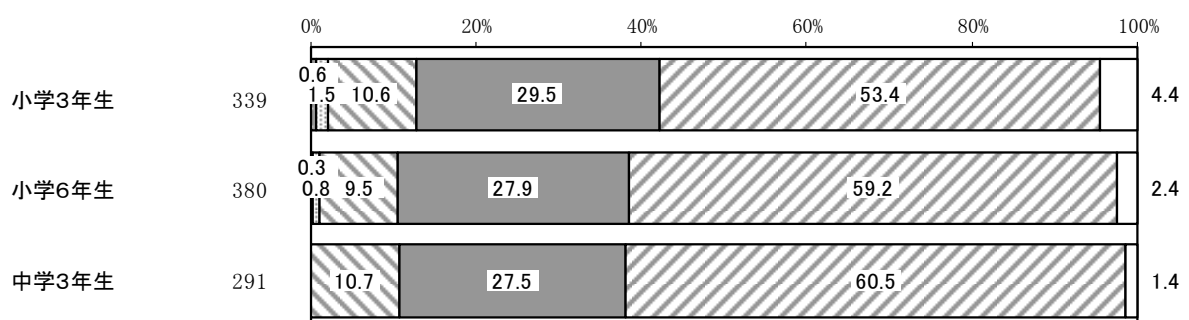
② メディア・リテラシー教育

子どもの学年別でみると、小学3年生に比べ、小学6年生、中学3年生で“重要”の割合が高く、7割半ばとなっています。



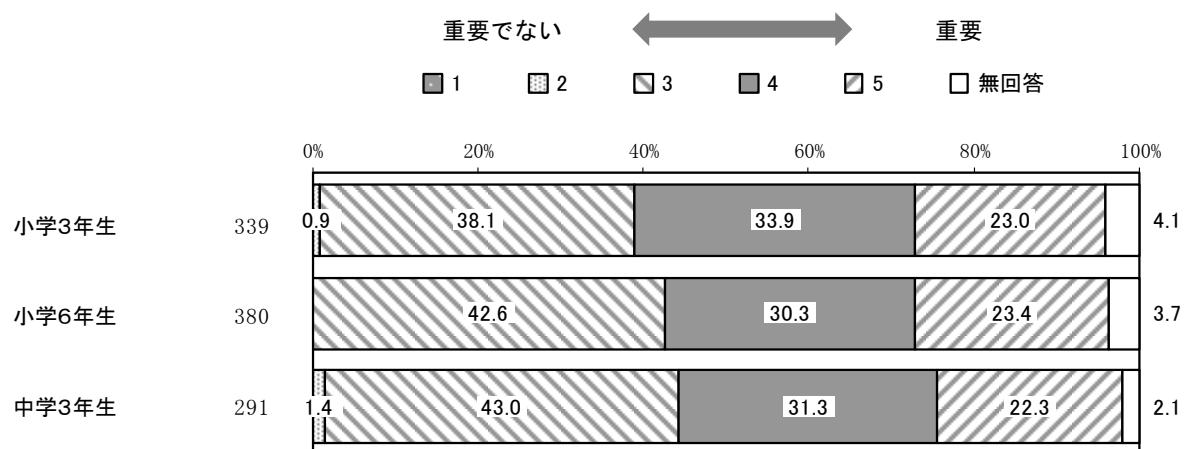
③ 英語教育

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



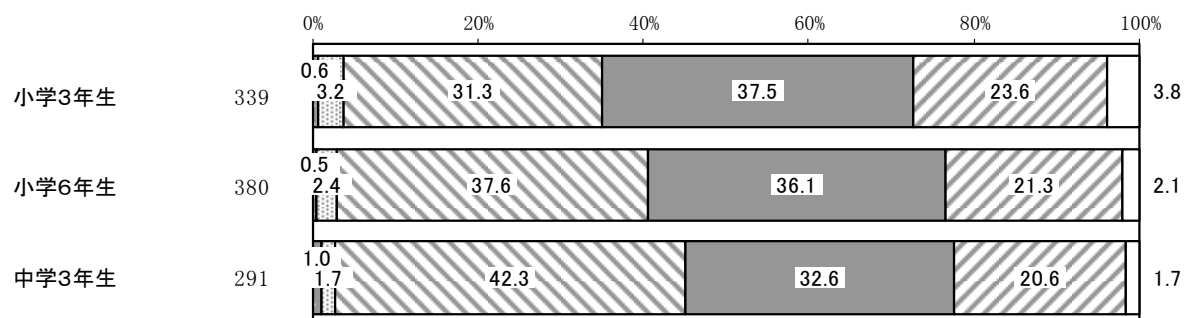
④理科教育

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



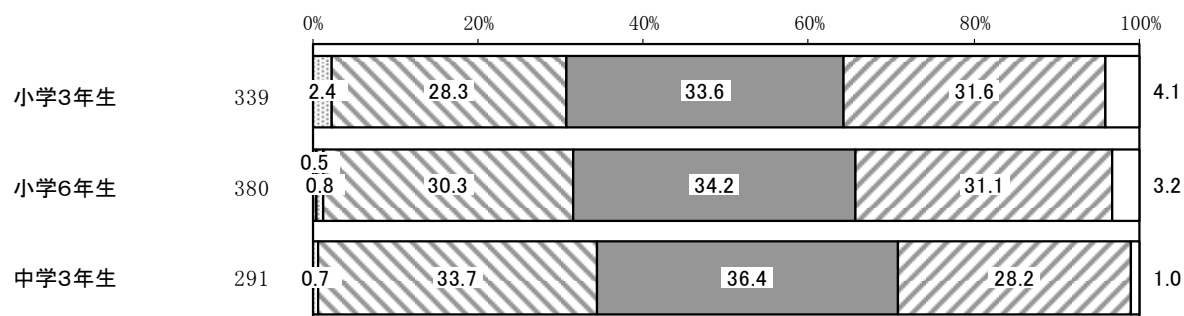
⑤異年齢、異学年集団での多様な学び

子どもの学年別でみると、学年が下がるにつれ「3」の“どちらともいえない”の割合が高くなっており、中学3年生で4割を超えています。



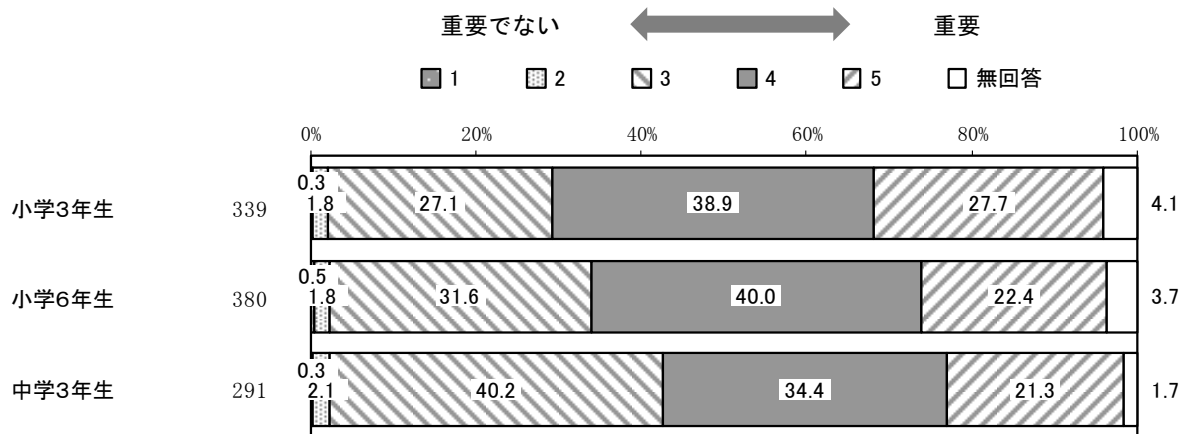
⑥環境、エネルギー教育

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



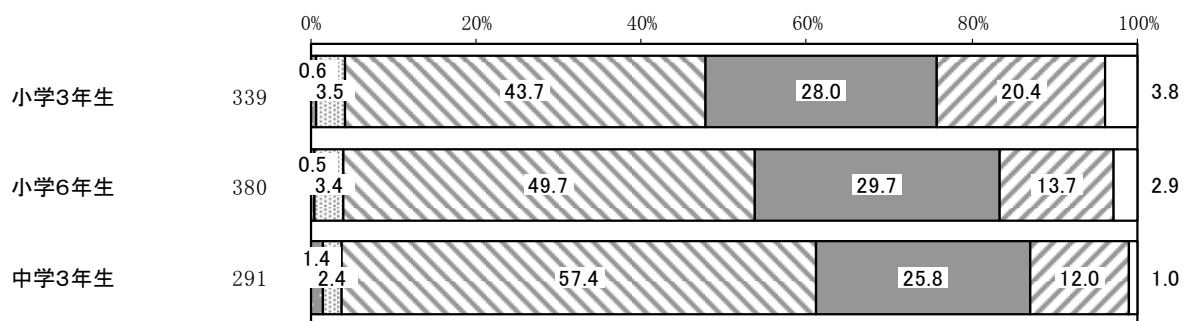
⑦芸術（音楽、美術等）、文化に接する機会

子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ“どちらともいえない”の割合が高く、“重要”の割合が低くなっています。



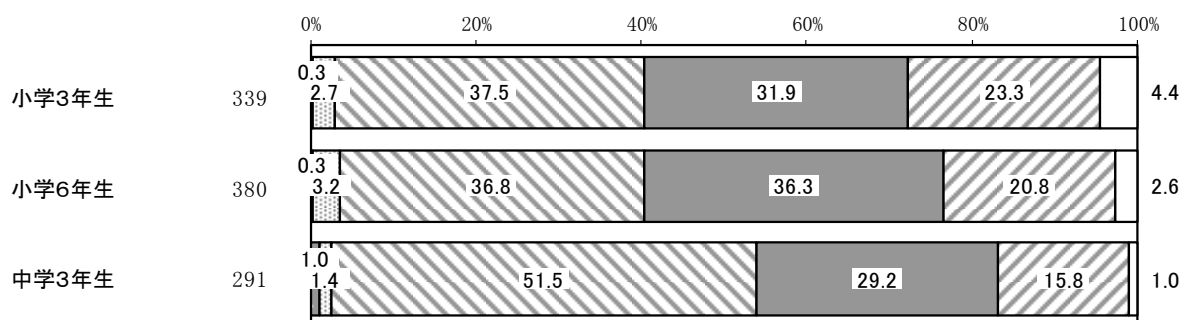
⑧幼稚園・保育園・小学の連携

子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ“どちらともいえない”の割合が高く、“重要”の割合が低くなっています。



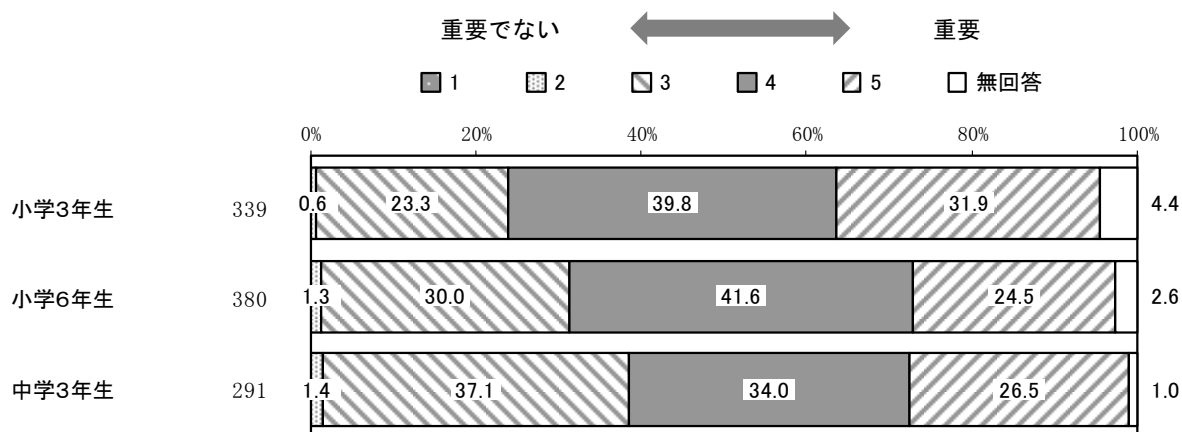
⑨小学・中学の連携

子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ“どちらともいえない”の割合が高く、“重要”の割合が低くなる傾向がみられます。



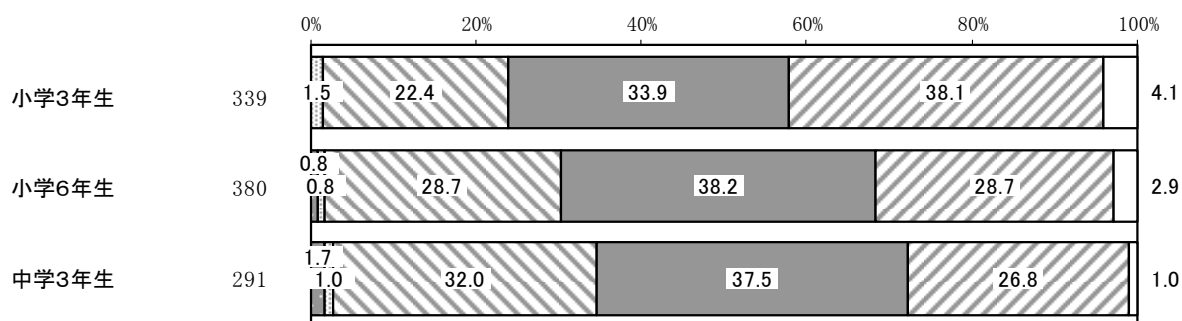
⑩読書活動

子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ“どちらともいえない”の割合が高く、中学3年生で3割半ばとなっています。また、学年が下がるにつれ“重要”の割合が高くなっており、小学3年生で約7割となっています。



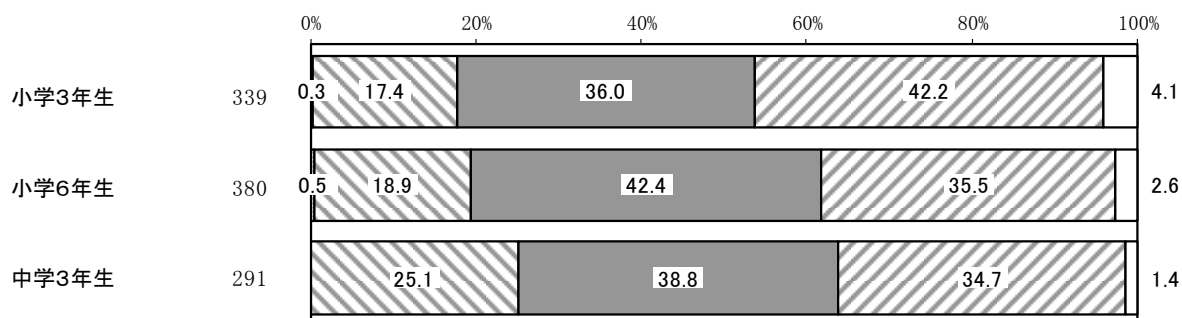
⑪道徳教育

子どもの学年別でみると、学年が下がるにつれ“どちらともいえない”の割合が低くなっており、小学3年生で約2割となっています。



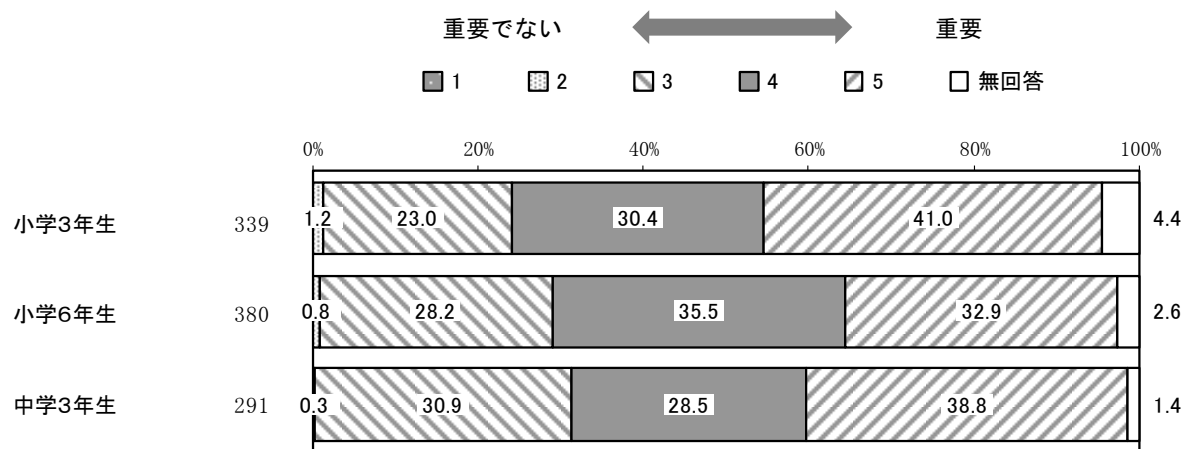
⑫健康と体力の向上

子どもの学年別でみると、他に比べ、中学3年生で“どちらともいえない”の割合が高く、2割半ばとなっています。



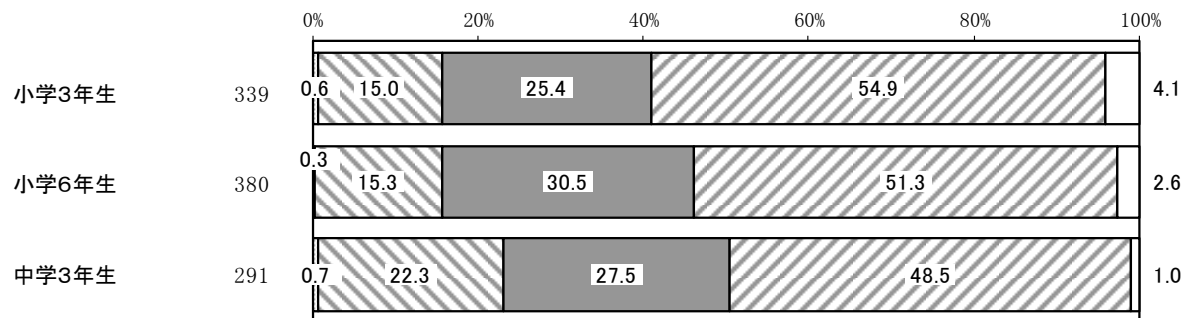
⑬障がいのある子どもへの支援

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



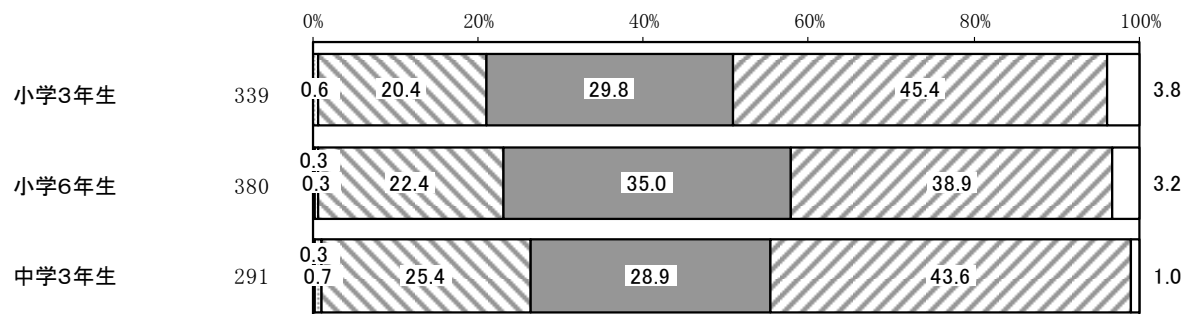
⑭いじめの防止・対応

子どもの学年別でみると、他に比べ、中学3年生で“どちらともいえない”の割合が高く、約2割となっています。



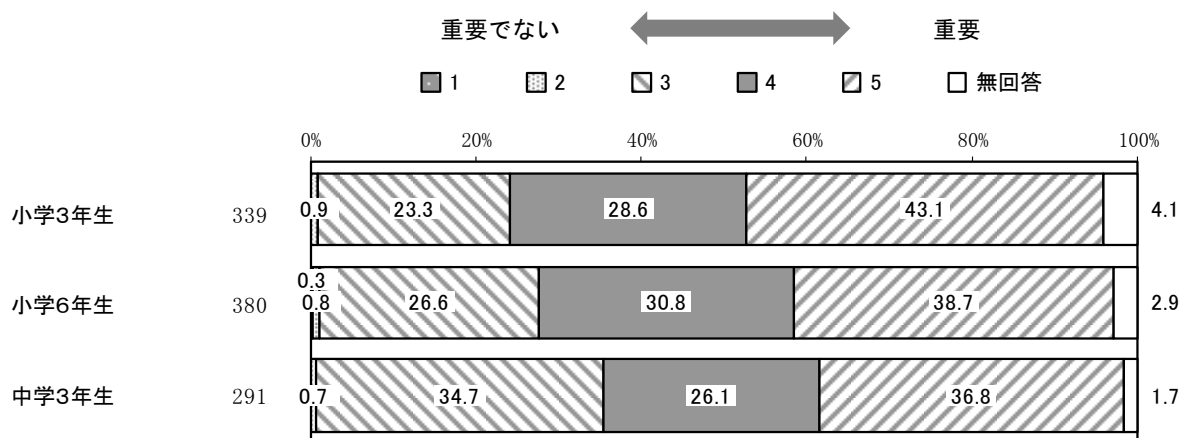
⑮不登校児童・生徒への支援

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



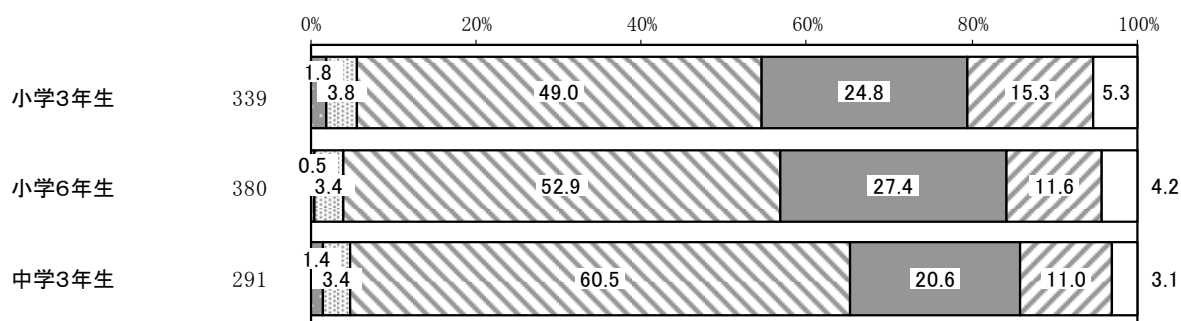
⑯安全・安心な学校施設

子どもの学年別でみると、他に比べ、中学3年生で“どちらともいえない”の割合が高く、3割半ばとなっています。



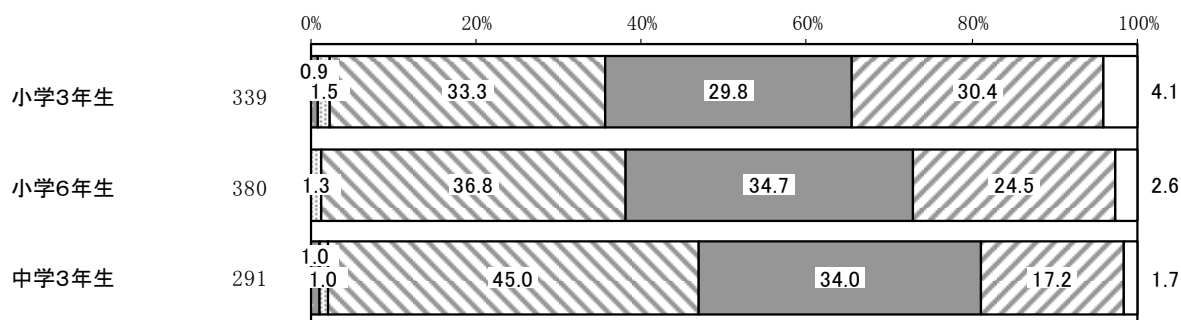
⑰松本版コミュニティスクール

子どもの学年別でみると、中学3年生に比べ、小学3年生、小学6年生で“重要”の割合が高く、約7割となっています。また、他に比べ、中学3年生で“どちらともいえない”の割合が高く、約6割となっています。



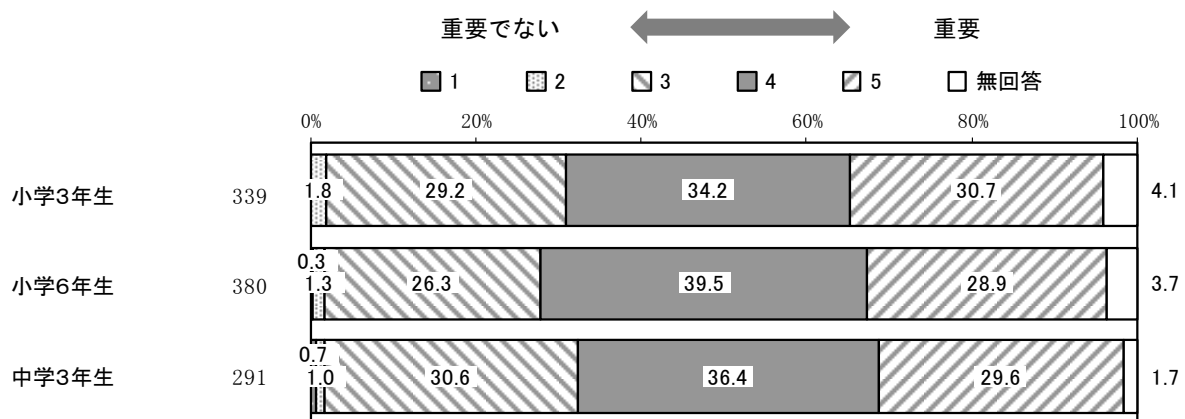
⑱学校から地域、家庭への情報発信

子どもの学年別でみると、他に比べ、中学3年生で“どちらともいえない”の割合が高く、4割半ばとなっています。



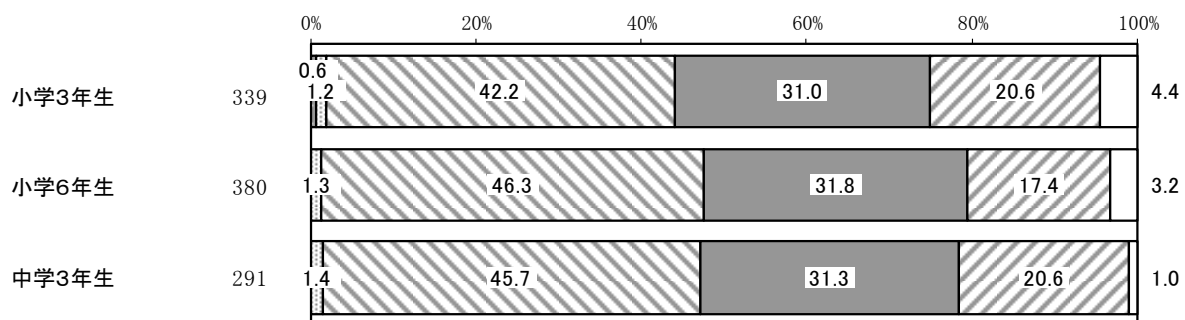
⑱職業体験などのキャリア教育

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



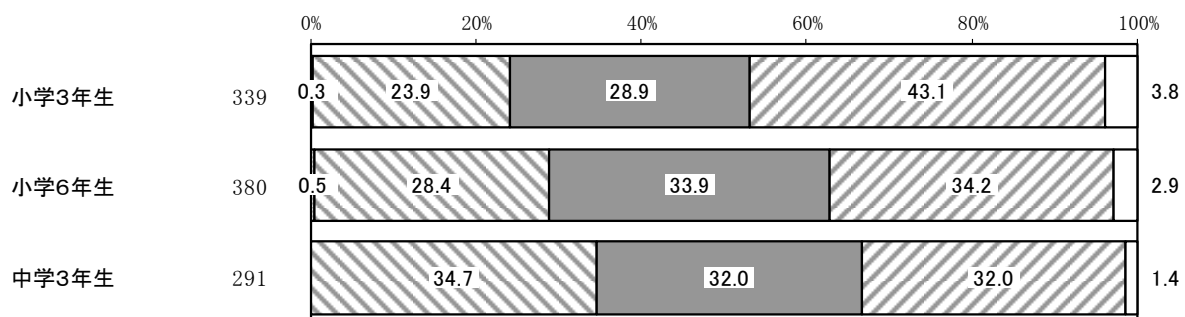
⑳外国籍の子どもへの日本語支援

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



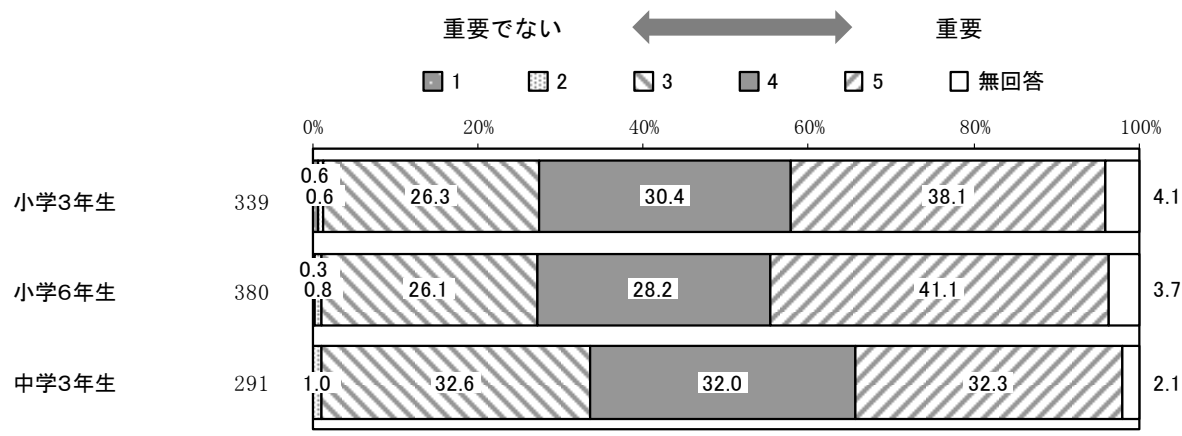
㉑防災教育

子どもの学年別でみると、他に比べ、中学3年生で“どちらともいえない”の割合が高く、3割半ばとなっています。



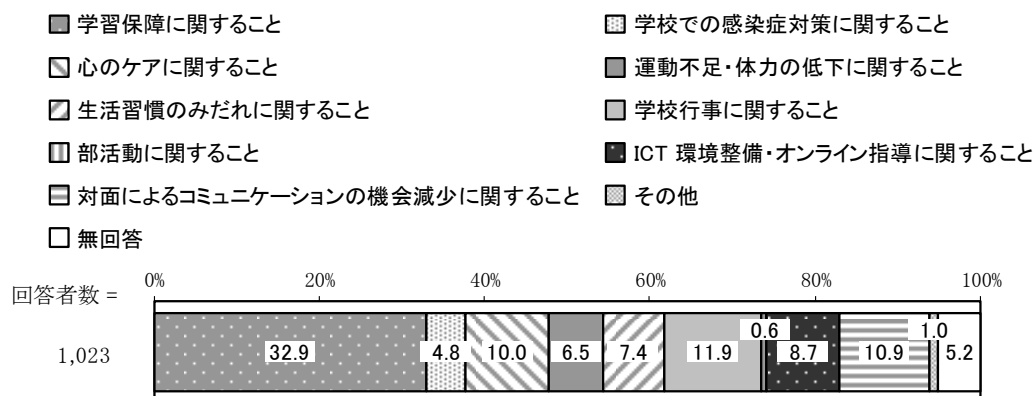
②主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



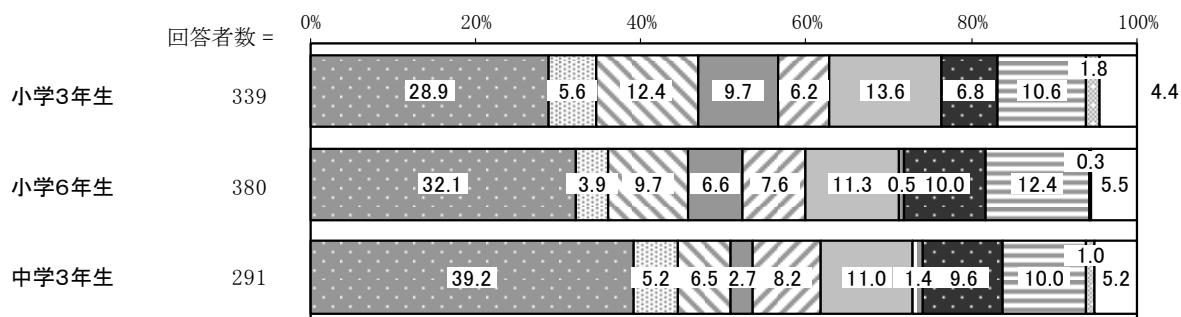
問 14 新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。現在の状況下における松本市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。（最もあてはまるもの1つに○）

「学習保障に関すること」の割合が32.9%と最も高く、次いで「学校行事に関すること」の割合が11.9%、「対面によるコミュニケーションの機会減少に関すること」の割合が10.9%となっています。



【子どもの学年別】

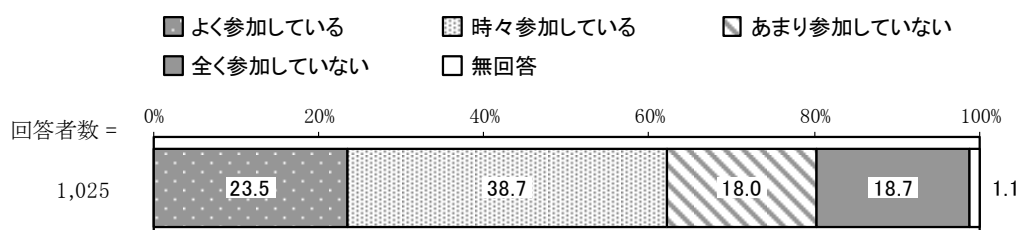
子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ「学習保障に関すること」の割合が高くなっており、中学3年生で約4割となっています。また、他に比べ、小学3年生で「運動不足・体力の低下に関すること」の割合が高く、約1割となっています。



（４）家庭や地域での教育について

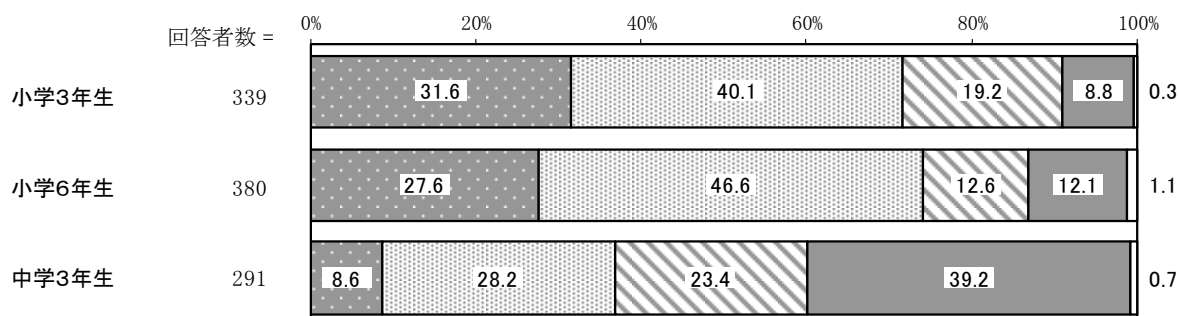
問 15 昨年１年間で、地域の行事にお子さんと一緒に参加していますか。

「よく参加している」と「時々参加している」をあわせた“参加している”の割合が 62.2%、「あまり参加していない」と「全く参加していない」をあわせた“参加していない”の割合が 36.7%となっています。



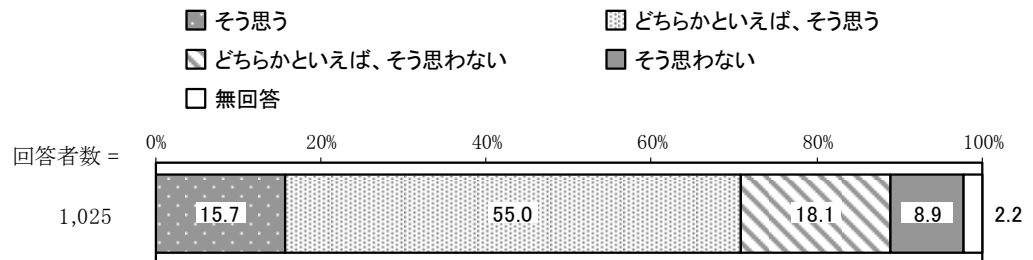
【子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、中学３年生に比べ、小学３年生、小学６年生で“参加している”の割合が高く、７割半ばとなっています。



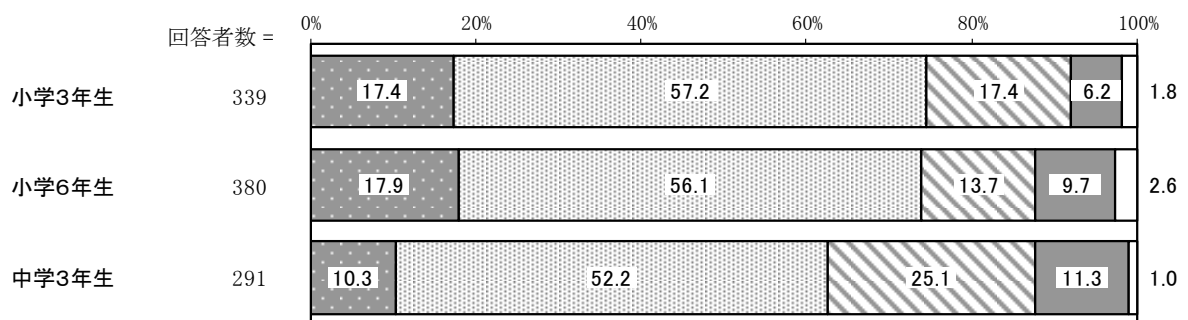
問 16 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子どもたちの教育に関わってくれる人が多いと思いますか。

「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」をあわせた“そう思う”の割合が70.7%、「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が27.0%となっています。



【子どもの学年別】

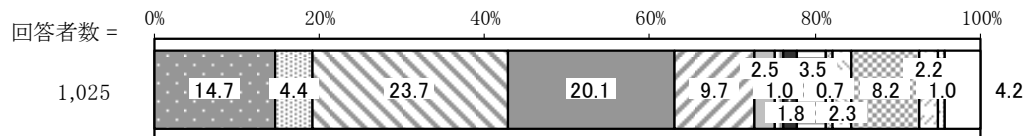
子どもの学年別でみると、中学3年生に比べ、小学3年生、小学6年生で“参加している”の割合が高く、7割半ばとなっています。



問 17 あなたが子育てで大切にしていることはどんなことですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

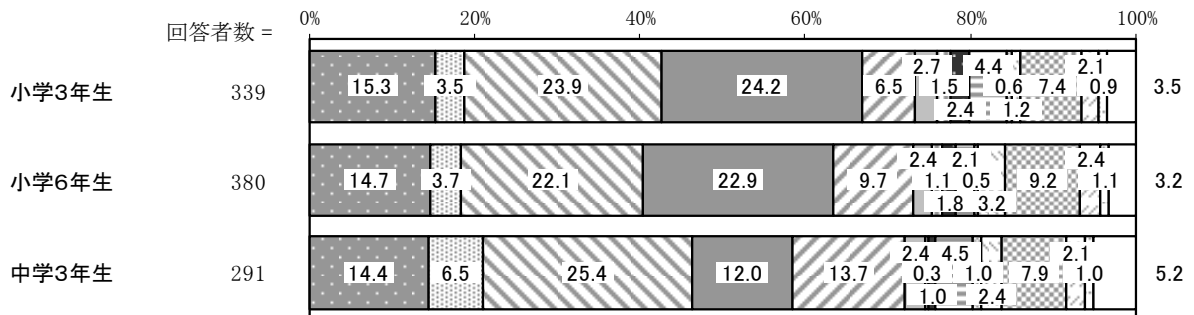
「スキンシップや会話をたくさんすること」の割合が23.7%と最も高く、次いで「ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること」の割合が20.1%、「できるだけ子どもと過ごす時間をとること」の割合が14.7%となっています。

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| ■ できるだけ子どもと過ごす時間をとること | ■ 笑顔で子どもに接すること |
| ■ スキンシップや会話をたくさんすること | ■ ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること |
| ■ 規則正しい生活をさせること | ■ 食事の作法、トイレの仕方、マナーなどを教えること |
| ■ できるだけ外遊びをさせるようにすること | ■ 自然に触れる機会をつくること |
| ■ いろいろな人と接する機会をつくること | ■ 文字や数など知的な経験の機会をつくること |
| □ 自分自身が子育てを楽しむこと | ■ 自分がゆとりをもって子どもと接すること |
| ■ その他 | □ 特にな |
| □ 無回答 | |



【子どもの学年別】

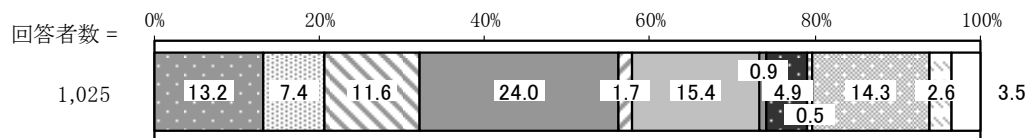
子どもの学年別でみると、中学3年生に比べ、小学3年生、小学6年生で「ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること」の割合が高く、2割半ばとなっています。また、他に比べ、中学3年生で「規則正しい生活をさせること」の割合が高く、1割半ばとなっています。



問 18 あなたが、自分のお子さんによく注意することは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

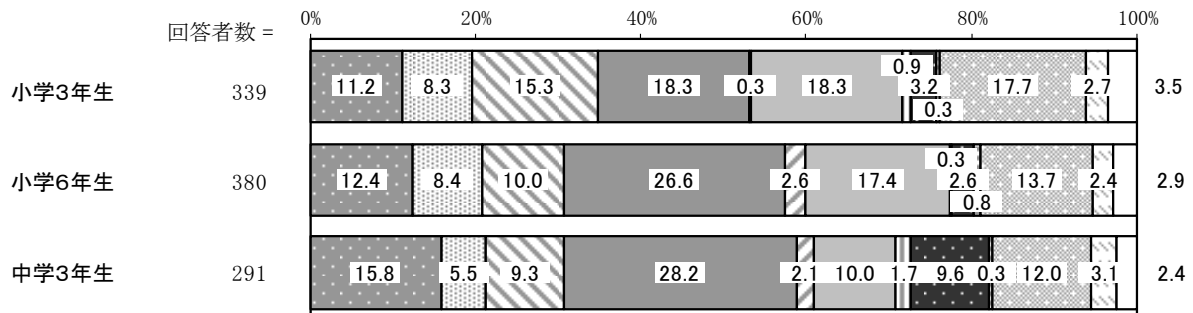
「長い時間のゲームやテレビ、スマホの使用を控えること」の割合が24.0%と最も高く、次いで「自分でできることは自分ですること」の割合が15.4%、「思いやり、やさしさの気持ち、約束を守ること」の割合が14.3%となっています。

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| ■ 早寝、早起きなど規則正しい生活 | ■ あいさつ |
| ■ ものごとの善悪 | ■ 長い時間のゲームやテレビ、スマホの使用を控えること |
| ■ 家事の手伝い | ■ 自分でできることは自分ですること |
| ■ 学校での出来事を家族に話すこと | ■ 勉強 |
| ■ 体を動かすこと | ■ 思いやり、やさしさの気持ち、約束を守ること |
| ■ その他 | □ 無回答 |



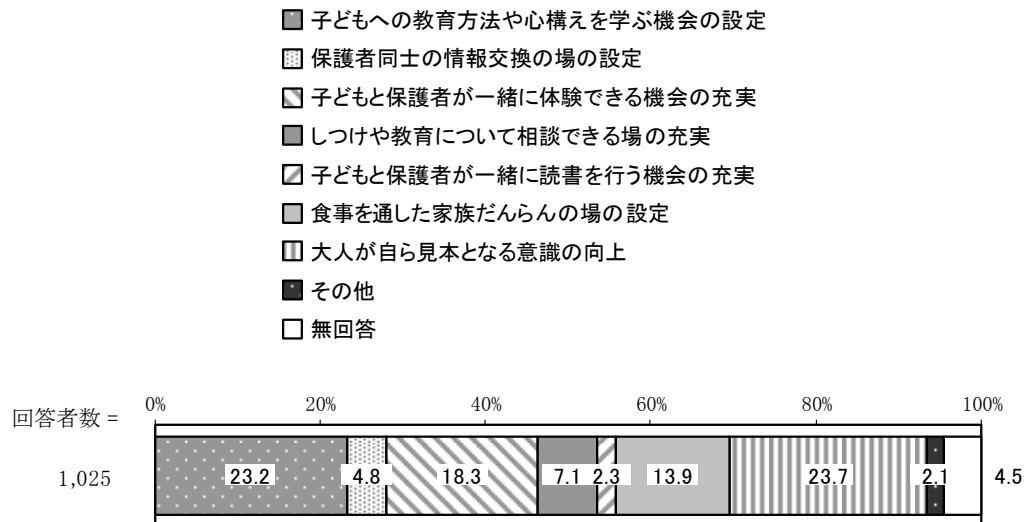
【子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ「長い時間のゲームやテレビ、スマホの使用を控えること」「勉強」の割合が高くなる傾向がみられます。また、中学3年生に比べ、小学3年生、小学6年生で「自分でできることは自分ですること」の割合が高く、約2割となっています。



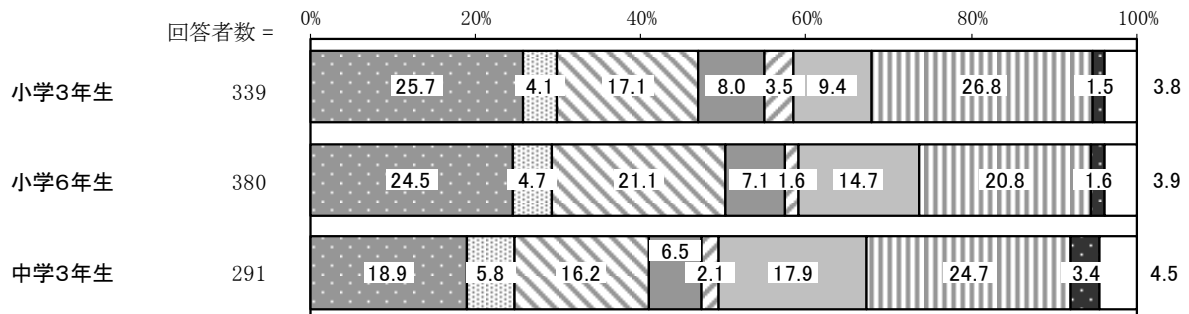
問 19 あなたは、家庭での教育力向上にどのような取り組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「大人が自ら見本となる意識の向上」の割合が23.7%と最も高く、次いで「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が23.2%、「子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実」の割合が18.3%となっています。



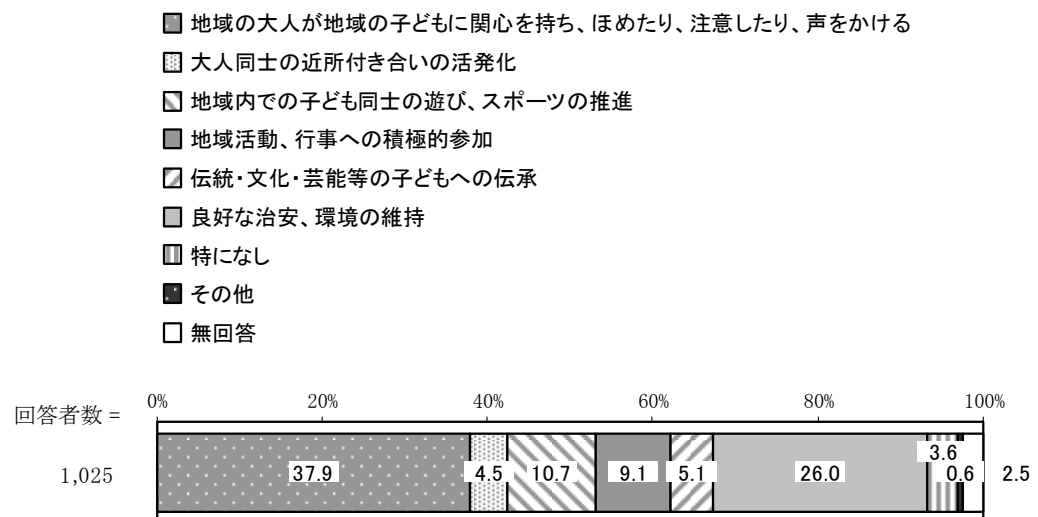
【子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ「食事を通した家族だんらんの場の設定」の割合が高くなっており、中学3年生で約2割となっています。



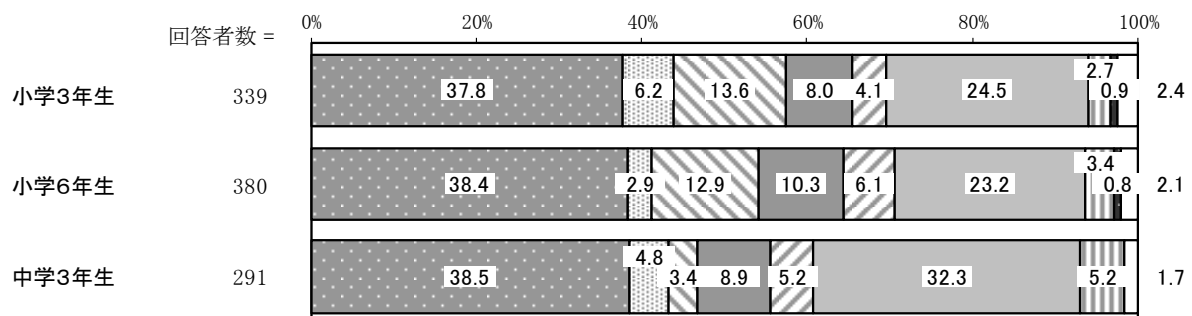
問 20 あなたは、地域で子どもを育てるためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。（最もあてはまるもの1つに○）

「地域の大人が地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」の割合が37.9%と最も高く、次いで「良好な治安、環境の維持」の割合が26.0%、「地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進」の割合が10.7%となっています。



【子どもの学年別】

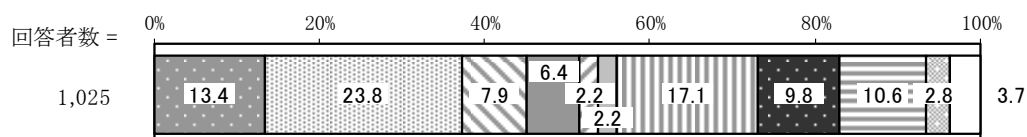
子どもの学年別でみると、他に比べ、中学3年生で「良好な治安、環境の維持」の割合が高く、約3割となっています。一方、他に比べ、中学3年生で「地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進」の割合が低くなっています。



問 21 あなたは、学校、家庭、地域が連携協力するためには何が必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「子どもの地域行事等への積極的な参加」の割合が23.8%と最も高く、次いで「学校から保護者や地域への情報提供」の割合が17.1%、「運動会等の学校行事に保護者や地域住民の協力」の割合が13.4%となっています。

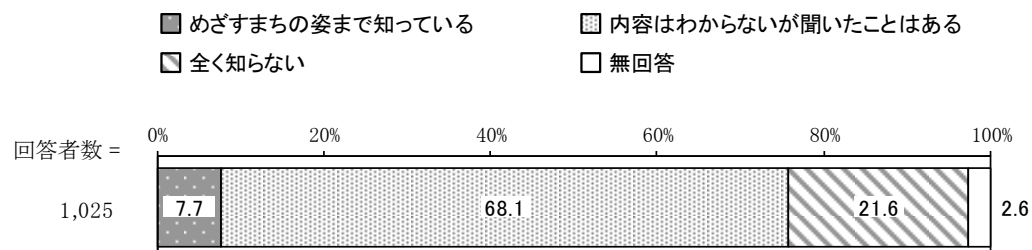
- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ■ 運動会等の学校行事に保護者や地域住民の協力 | ■ 子どもの地域行事等への積極的な参加 |
| ■ 学校、保護者、地域住民の話し合いの機会 | ■ 学校の授業への地域住民の協力 |
| ■ 学校施設の地域への開放 | ■ 学校開放日等の設置による地域の人の学校参観 |
| ■ 学校から保護者や地域への情報提供 | ■ 保護者の参画意識の向上 |
| ■ 地域行事に参加できるような工夫 | ■ その他 |
| □ 無回答 | |



(5) その他

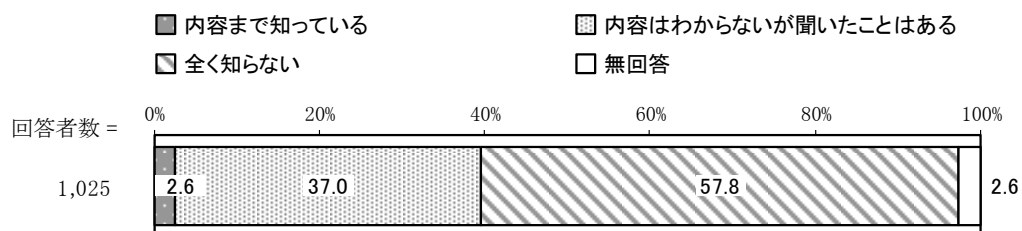
問 22 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「全く知らない」の割合が 21.6%となっています。



問 23 あなたは、「まつもと市民生きいき活動」を知っていますか。

「全く知らない」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 37.0%となっています。

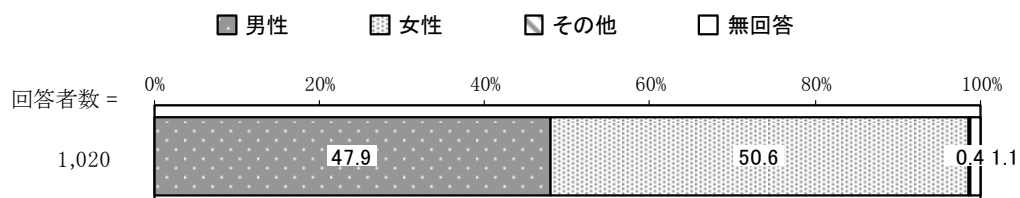


3 小学生・中学生

(1) 回答者属性

問1 あなたの性別をお答えください。

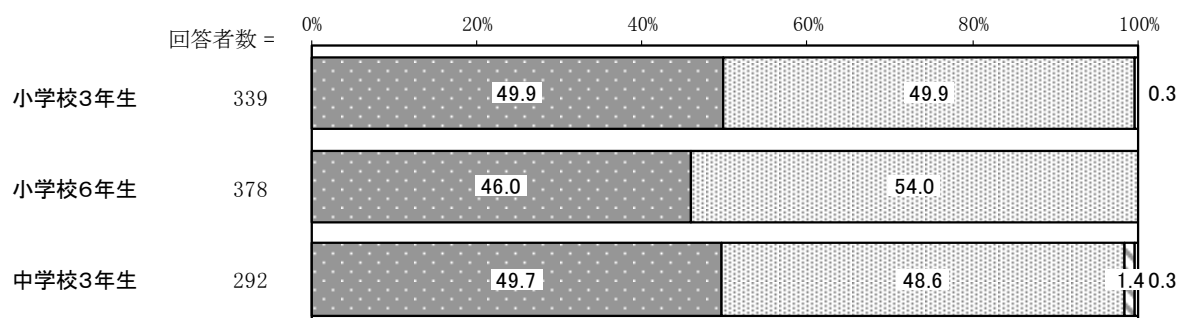
回答結果は、以下の通りとなっています。



【学年別】

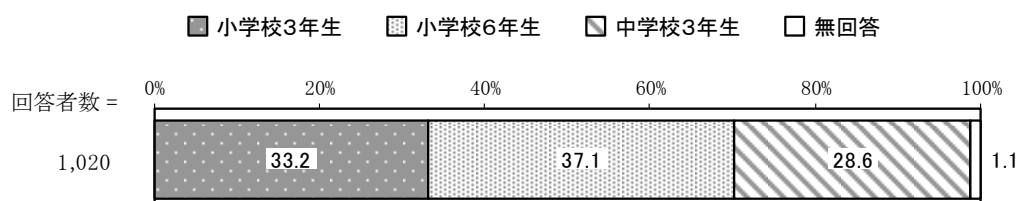
回答結果は、以下の通りとなっています。

中学校3年生の“その他・無回答”の標本誤差は0.3%～3.1%となり、中学生以上では性的マイノリティが存在する可能性があります。



問2 あなたは何年生ですか。

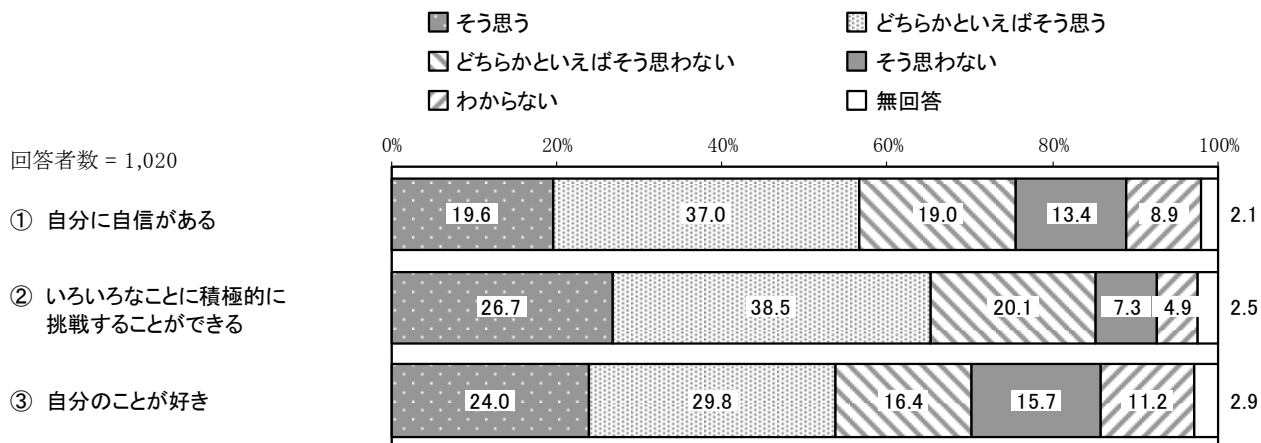
回答結果は、以下の通りとなっています。



問3 あなた自身についてお聞きします。

(①～③の各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけに○)

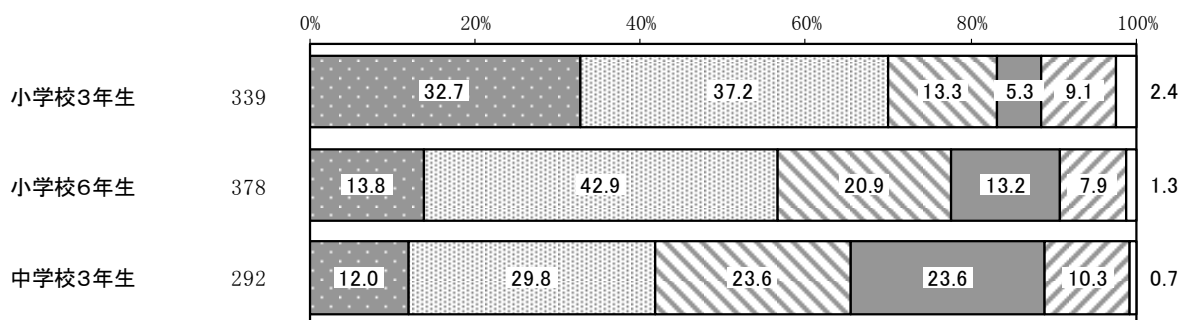
『② いろいろなことに積極的に挑戦することができる』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、6割半ばとなっています。



【学年別】

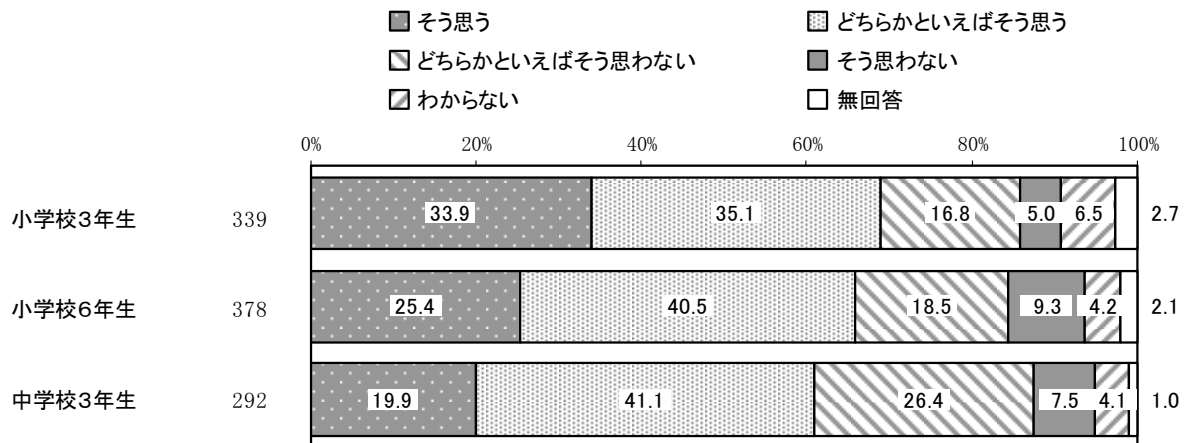
①自分に自信がある

学年別でみると、学年が下がるにつれ“そう思う”の割合が高くなっており、小学校3年生で約7割となっています。



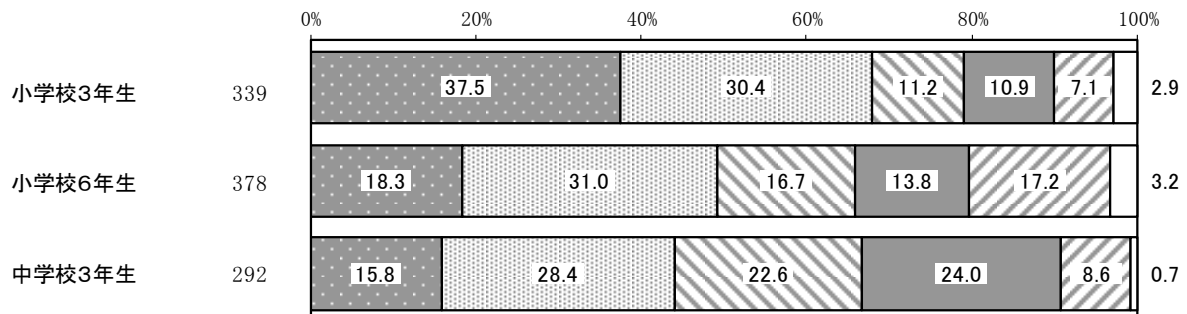
②いろいろなことに積極的に挑戦することができる

学年別でみると、学年が下がるにつれ“そう思う”の割合が高くなっており、小学校3年生で約7割となっています。



③自分のことが好き

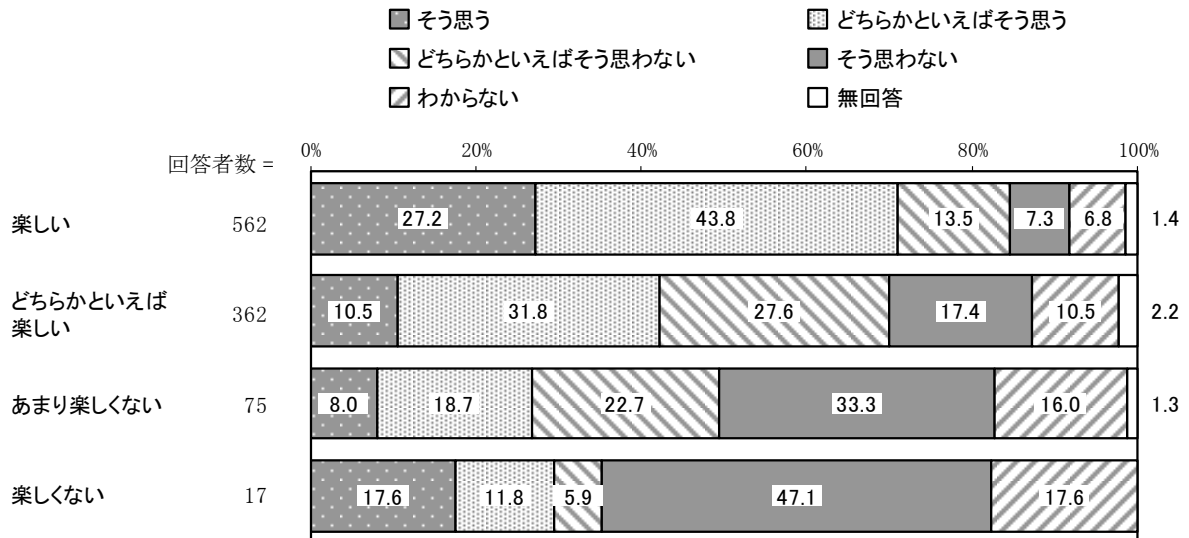
学年別でみると、学年が下がるにつれ“そう思う”の割合が高くなっており、小学校3年生で約7割となっています。



【学校が楽しいか別】

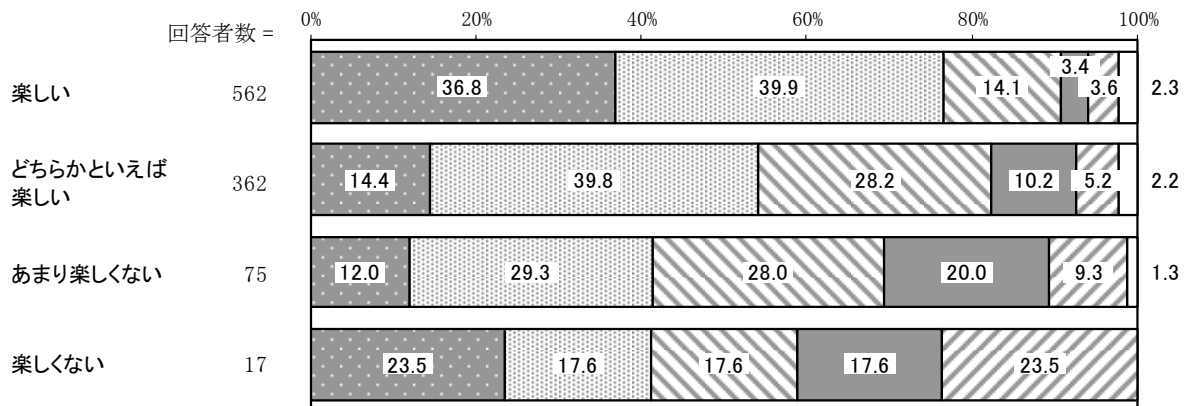
①自分に自信がある

学校が楽しいか別でみると、他に比べ、楽しいで“そう思う”の割合が高くなっています。



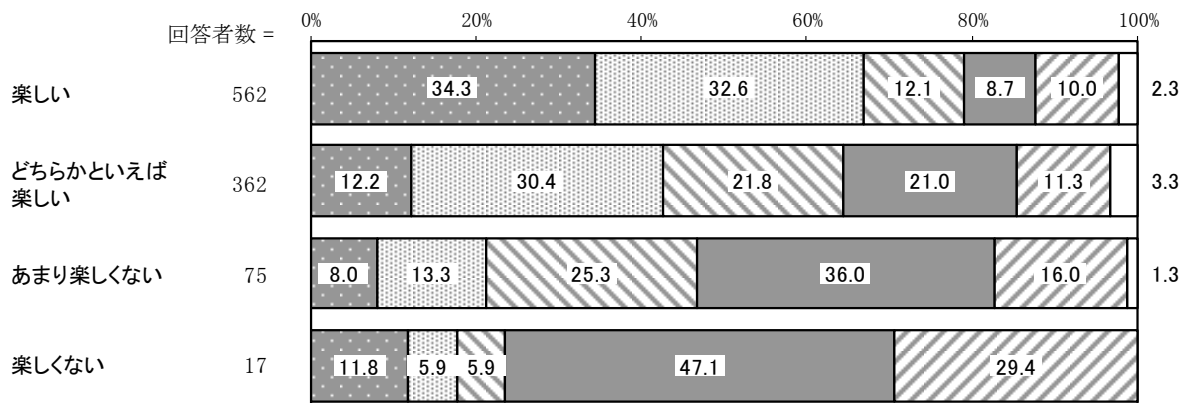
②いろいろなことに積極的に挑戦することができる

学校が楽しいか別でみると、他に比べ、楽しいで“そう思う”の割合が高くなっています。



③自分のことが好き

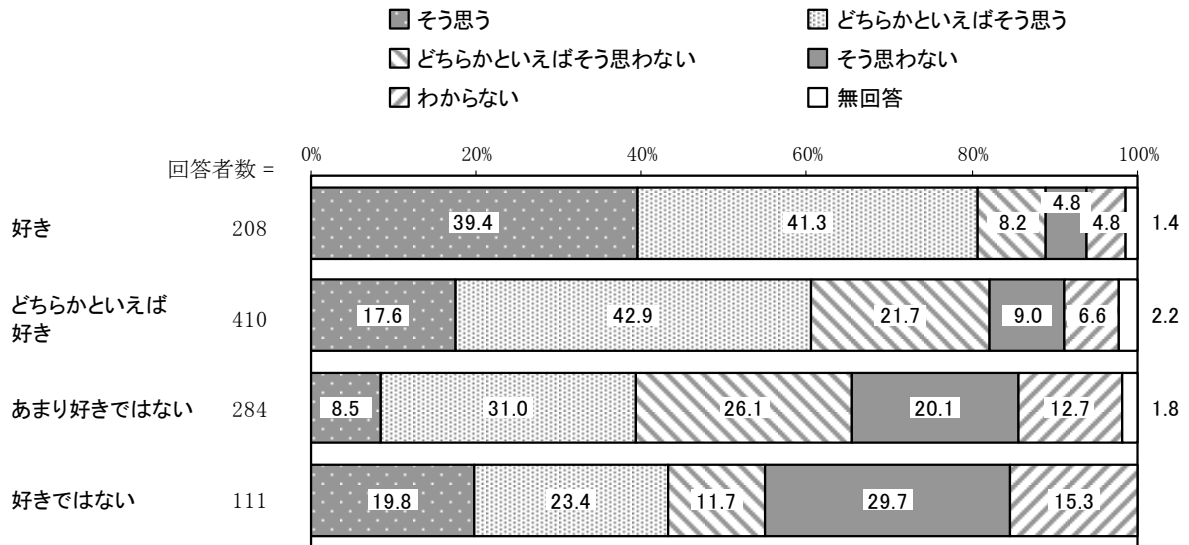
学校が楽しいか別でみると、他に比べ、楽しいで“そう思う”の割合が高くなっています。



【勉強の好き・嫌い別】

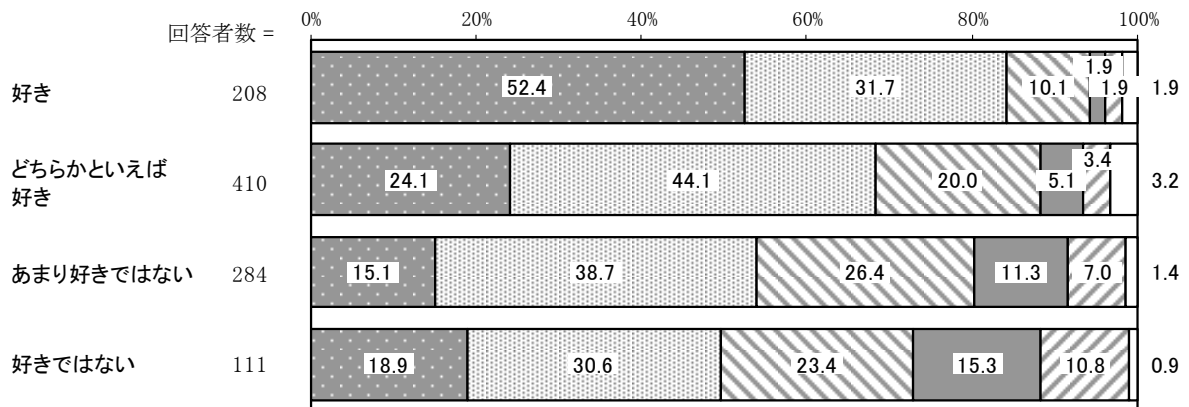
①自分に自信がある

勉強の好き・嫌い別でみると、他に比べ、好きで“そう思う”の割合が高くなっています。



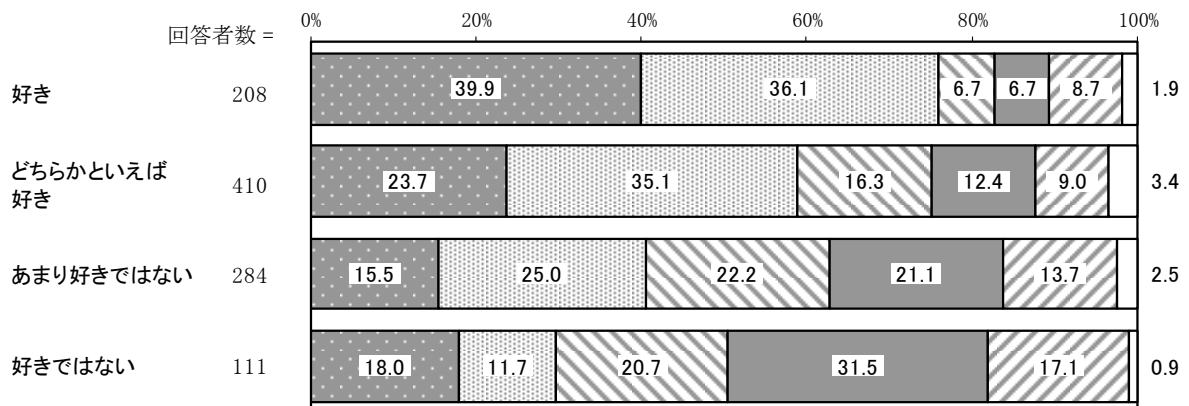
②いろいろなことに積極的に挑戦することができる

勉強の好き・嫌い別でみると、他に比べ、好きで“そう思う”の割合が高くなっています。



③自分のことが好き

勉強の好き・嫌い別でみると、他に比べ、好きで“そう思う”の割合が高くなっています。

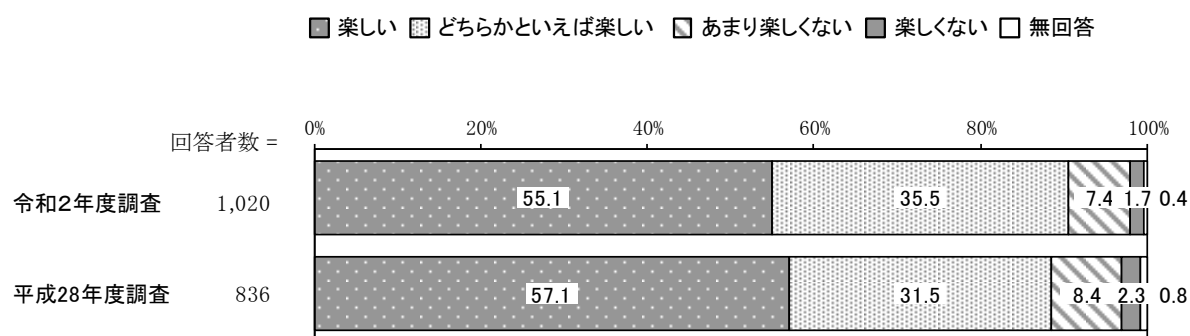


(2) 学校生活について

問4 あなたは、学校が楽しいですか。

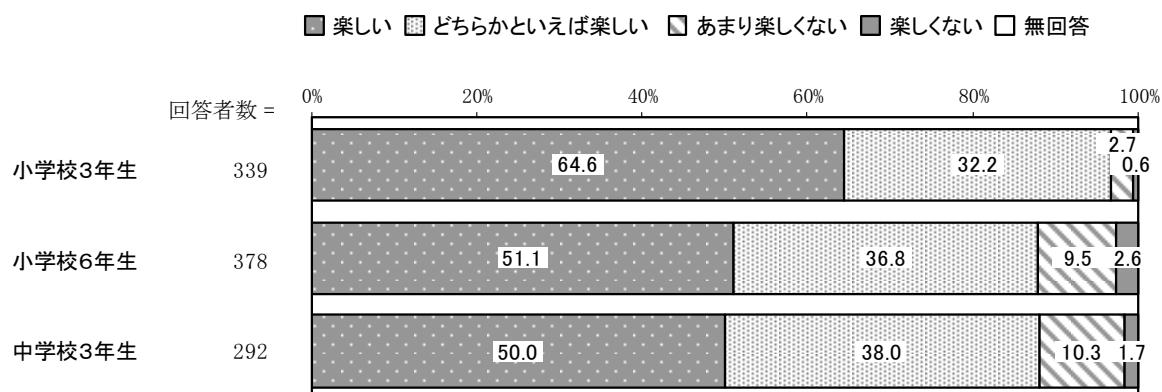
「楽しい」と「どちらかといえば楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が90.6%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が9.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



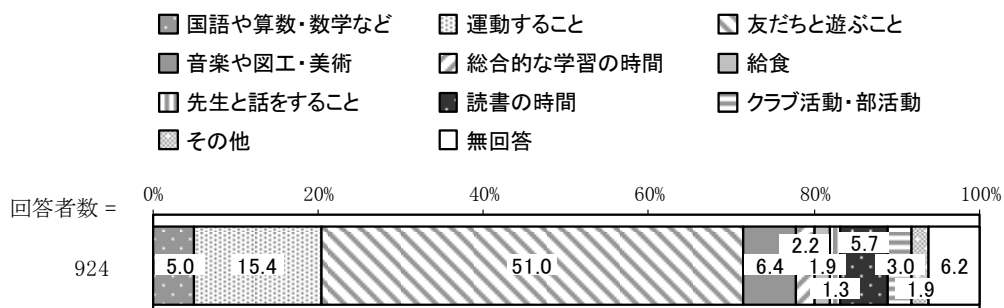
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“楽しい”の割合が高く、9割半ばとなっています。



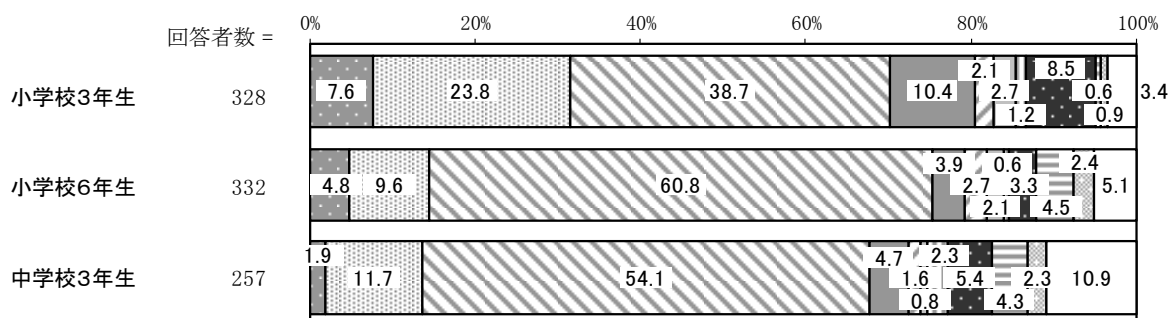
問5 問4で「楽しい」、「どちらかといえば楽しい」と答えた方にお聞きします。
学校で何をすることが楽しいですか。(最もあてはまるもの1つに○)

「友だちと遊ぶこと」の割合が51.0%と最も高く、次いで「運動すること」の割合が15.4%となっています。



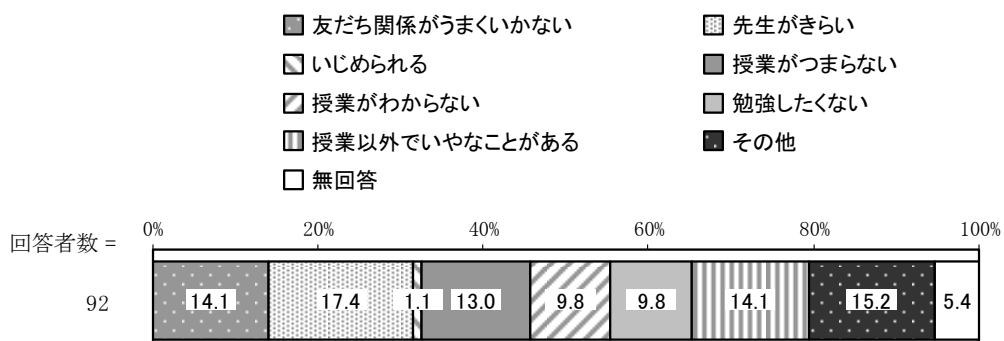
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で「友だちと遊ぶこと」の割合が高く、約6割となっています。また、小学校3年生で「国語や算数・数学など」「運動すること」「音楽や図工・美術」「読書の時間」の割合が高くなっています。一方、他に比べ、小学校3年生で「クラブ活動・部活動」の割合が低くなっています。



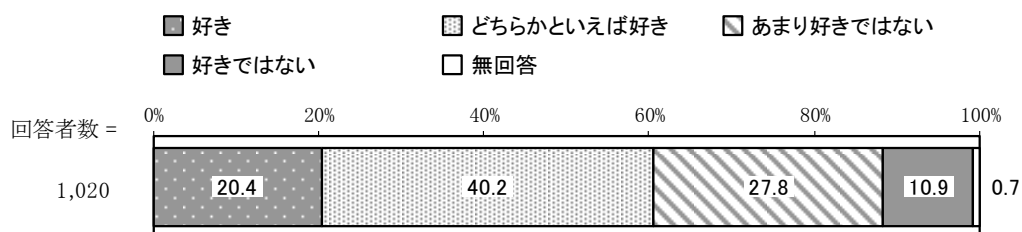
問6 問4で「あまり楽しくない」、「楽しくない」と答えた方にお聞きします。
どうして、楽しくないのですか。(最もあてはまるもの1つに○)

「先生がきらい」の割合が17.4%と最も高く、次いで「友だち関係がうまくいかない」、「授業以外でいやなことがある」の割合が14.1%となっています。



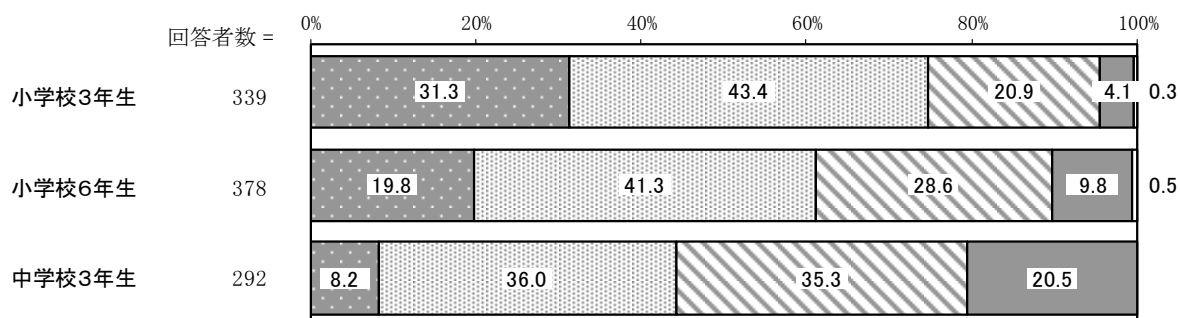
問7 あなたは、勉強することが好きですか。

「好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた“好き”の割合が60.6%、「あまり好きではない」と「好きではない」をあわせた“好きではない”の割合が38.7%となっています。



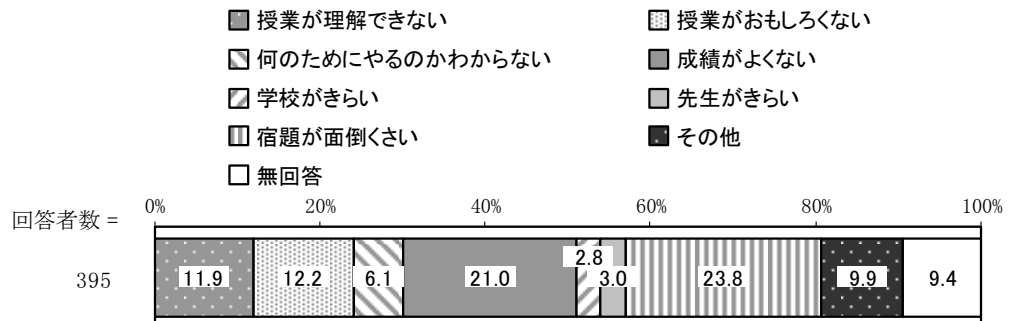
【学年別】

学年別でみると、学年が下がるにつれ“好き”の割合が高くなっており、小学校3年生で7割半ばとなっています。



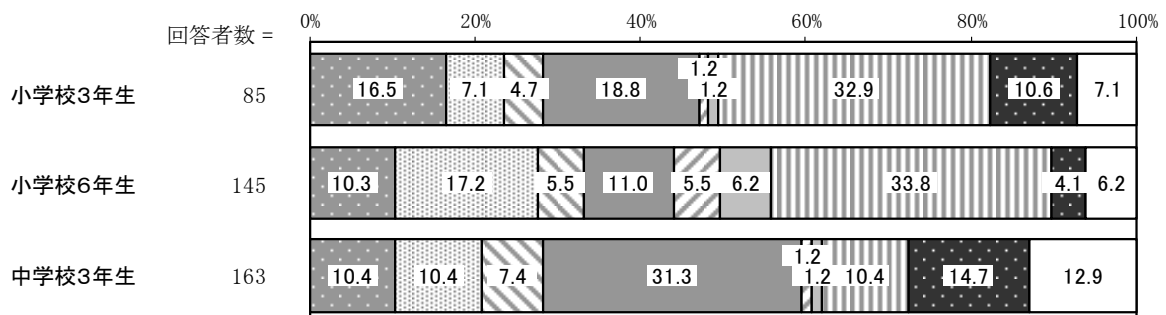
問8 問7で「あまり好きではない」、「好きではない」と答えた方にお聞きします。
 どうして勉強することが好きではないのですか。(最もあてはまるもの1つに○)

「宿題が面倒くさい」の割合が23.8%と最も高く、次いで「成績がよくない」の割合が21.0%、
 「授業がおもしろくない」の割合が12.2%となっています。



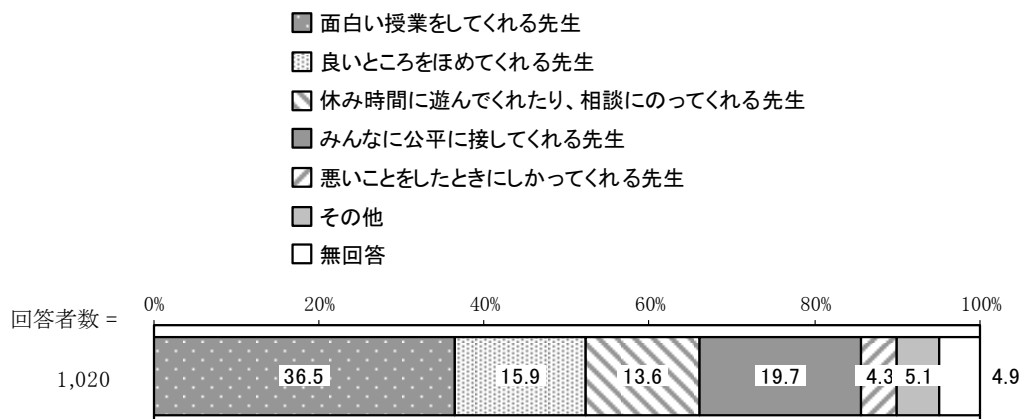
【学年別】

学年別でみると、学年が上がるにつれ「成績がよくない」の割合が、学年が下がるにつれ「宿題が面倒くさい」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、小学校6年生で「学校がきれい」「先生がきれい」の割合が高くなっています。



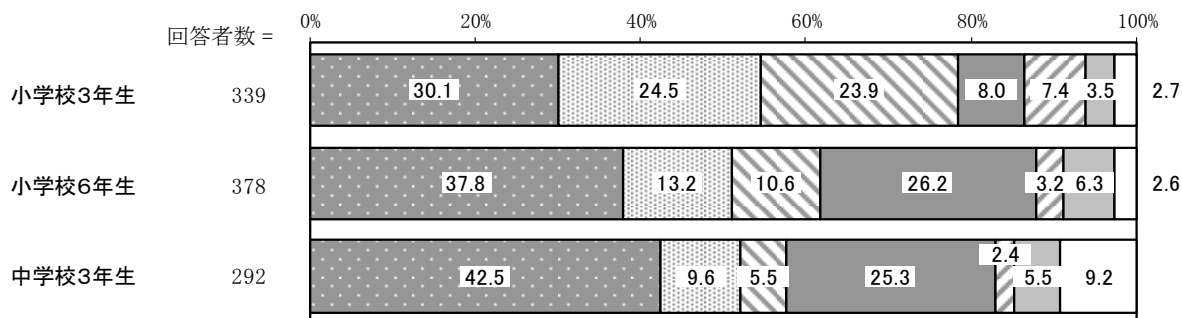
問9 あなたは、どんな先生が好きですか。(最もあてはまるもの1つに○)

「面白い授業をしてくれる先生」の割合が36.5%と最も高く、次いで「みんなに公平に接してくれる先生」の割合が19.7%、「良いところをほめてくれる先生」の割合が15.9%となっています。



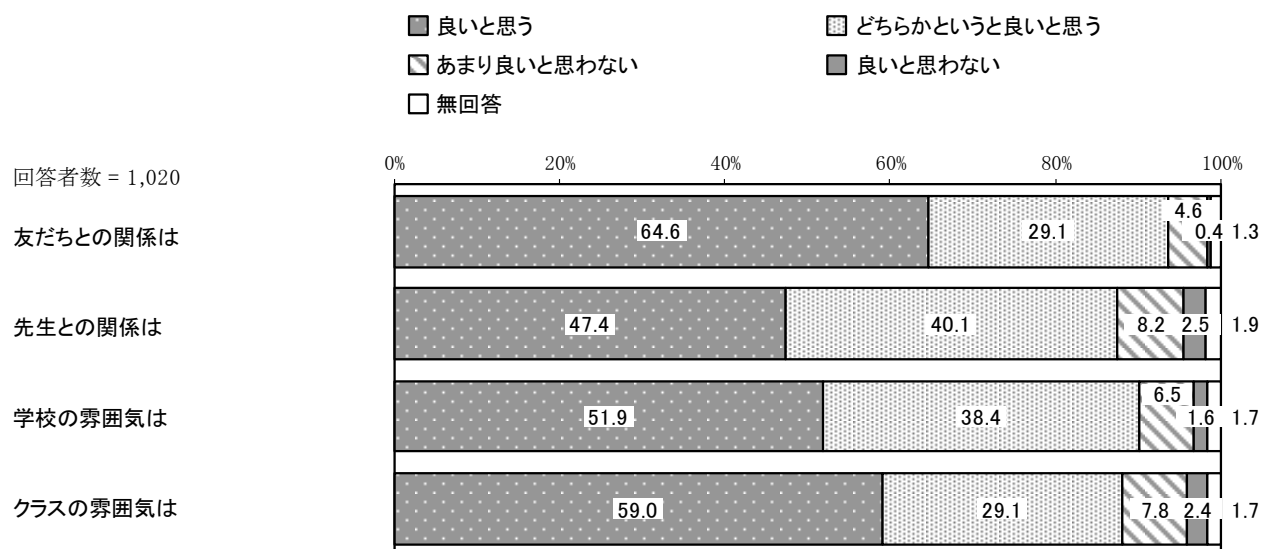
【学年別】

学年別でみると、学年が上がるにつれ「面白い授業をしてくれる先生」の割合が、学年が下がるにつれ「良いところをほめてくれる先生」「休み時間に遊んでくれたり、相談にのってくれる先生」「悪いことをしたときにしかってくれる先生」の割合が高くなっています。また、小学校3年生に比べ、小学校6年生、中学校3年生で「みんなに公平に接してくれる先生」割合が高く、2割半ばとなっています。



問 10 あなたは、次の項目についてどのくらい良いと思いますか。

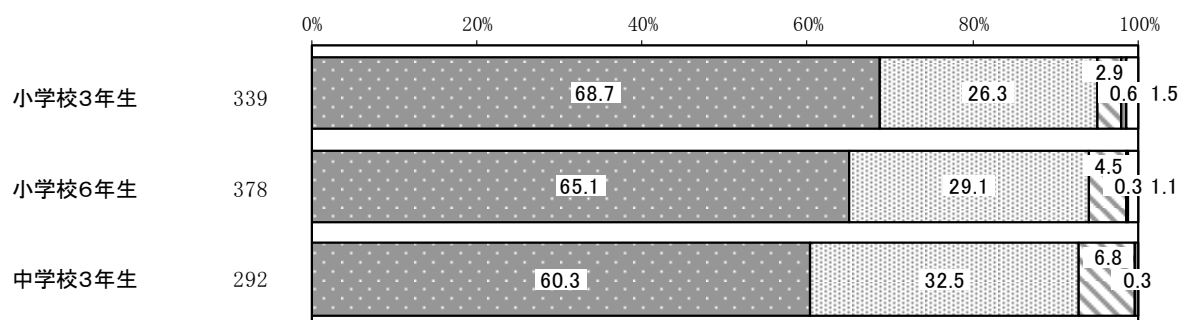
すべての項目で「良いと思う」と「どちらかというと思う」をあわせた“良いと思う”の割合が高く、約9割となっています。



【学年別】

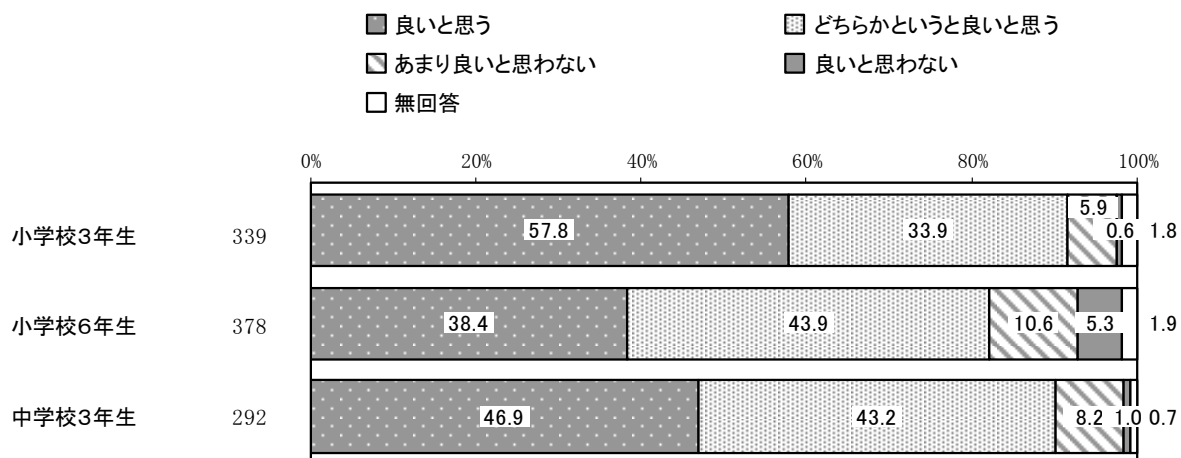
①友だちとの関係

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



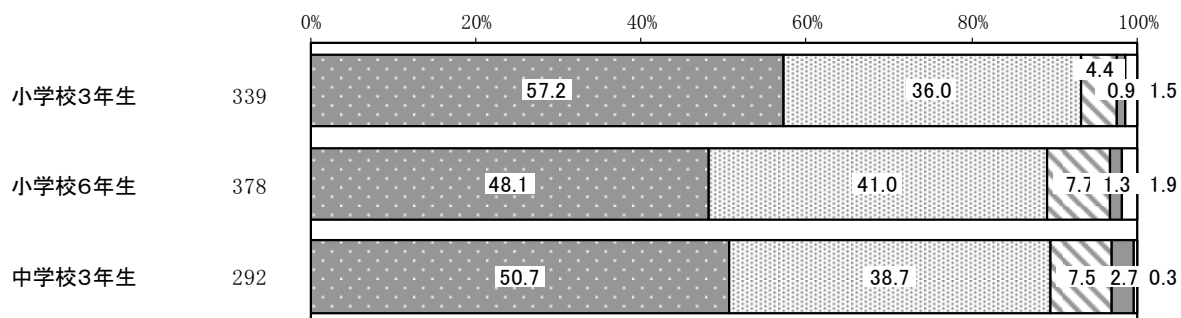
②先生との関係

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“良いと思わない”の割合が高く、1割半ばとなっています。



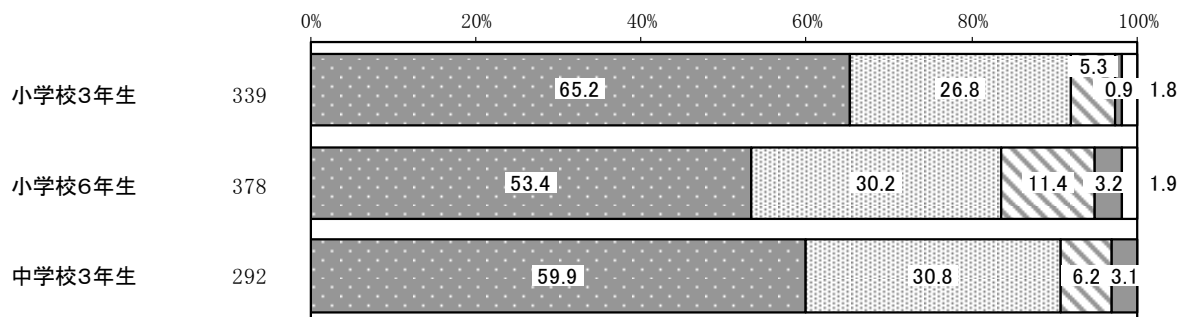
③学校の雰囲気

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



④クラスの雰囲気

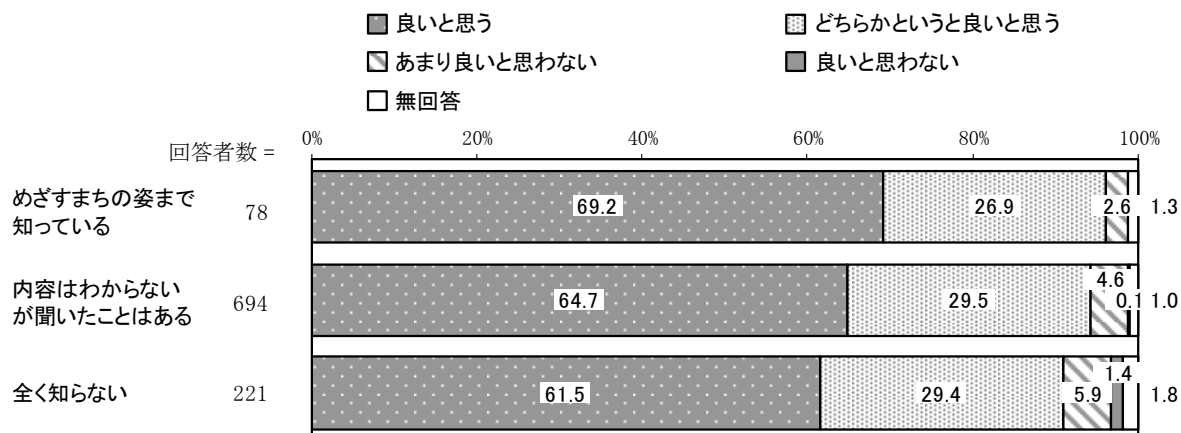
学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“良いと思わない”の割合が高く、1割半ばとなっています。



【保護者の「学都松本」の認知度別】

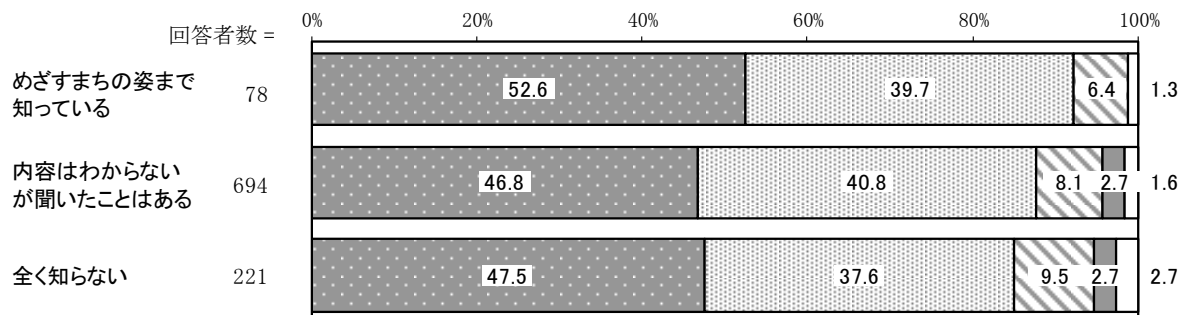
①友だちとの関係は

保護者の「学都松本」の認知度別でみると、他に比べ、めざすまちの姿まで知っているで“良いと思う”の割合が高くなっています。



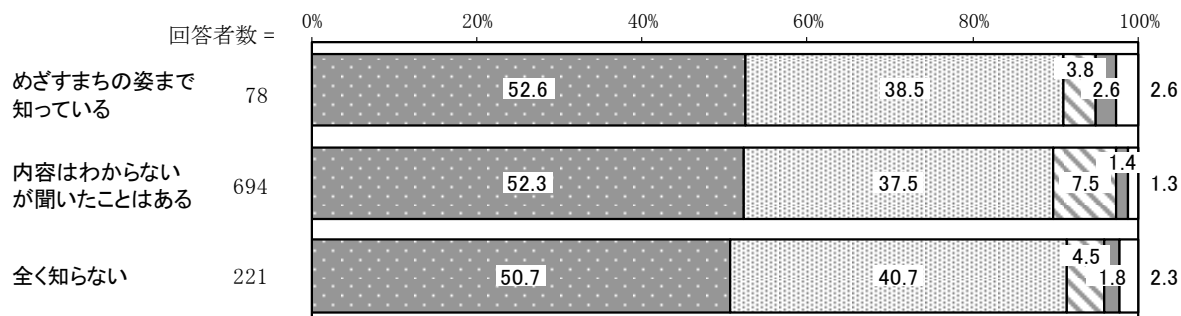
②先生との関係は

保護者の「学都松本」の認知度別でみると、他に比べ、めざすまちの姿まで知っているで“良いと思う”の割合が高くなっています。



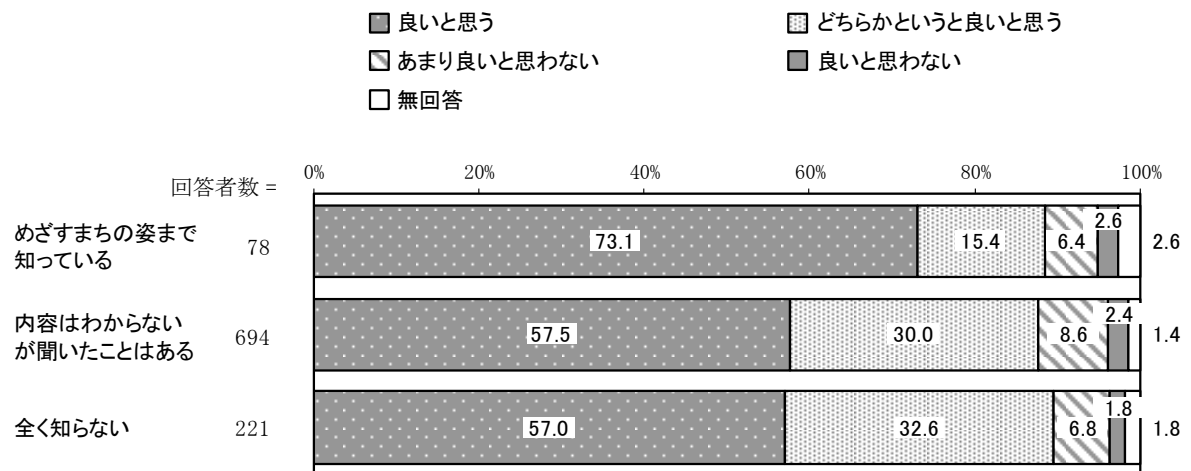
③学校の雰囲気は

保護者の「学都松本」の認知度別でみると、大きな差異はみられません。



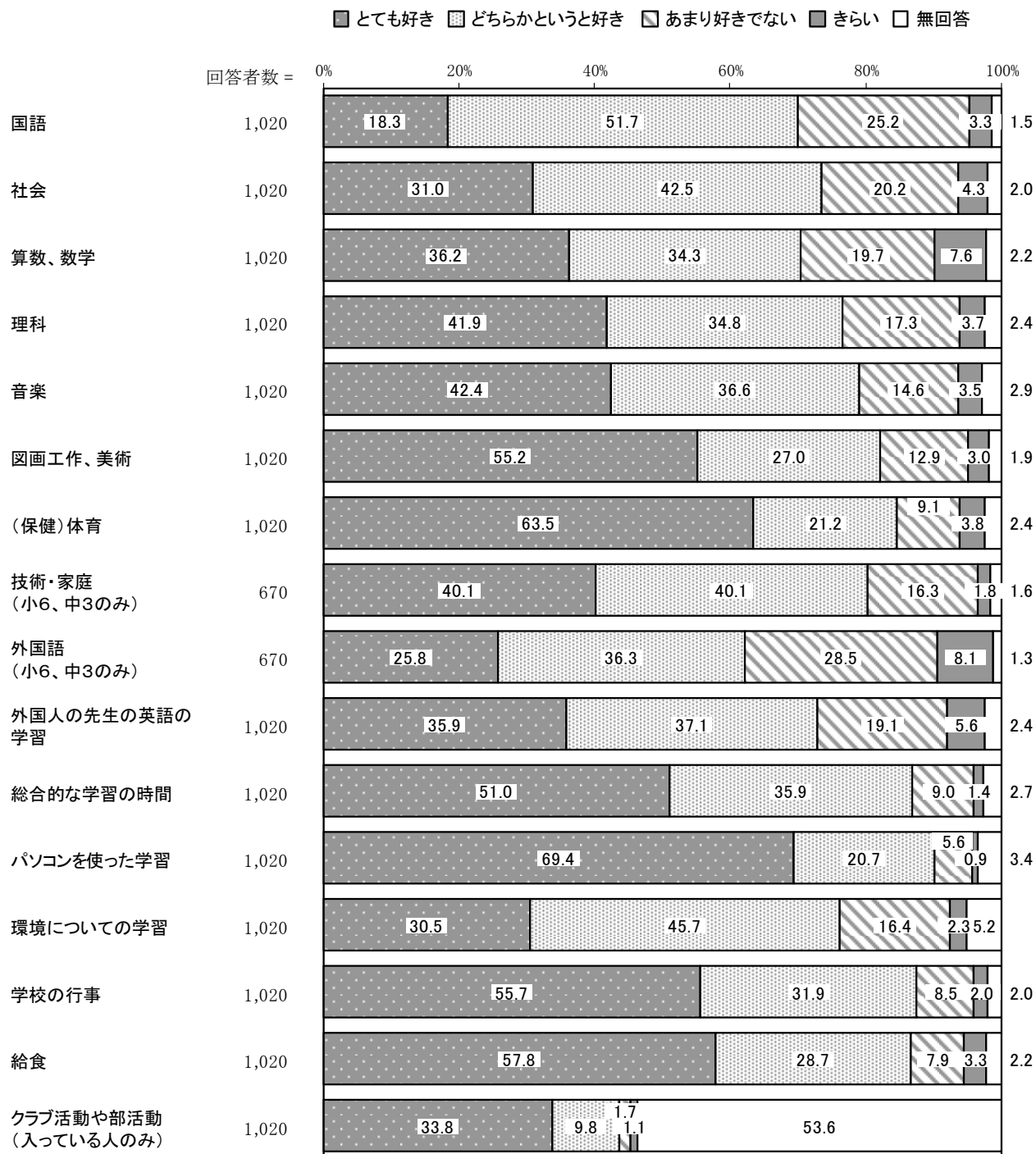
④クラスの雰囲気は

保護者の「学都松本」の認知度別でみると、大きな差異はみられません。



問 11 あなたは、次の項目についてどのくらい好きですか。

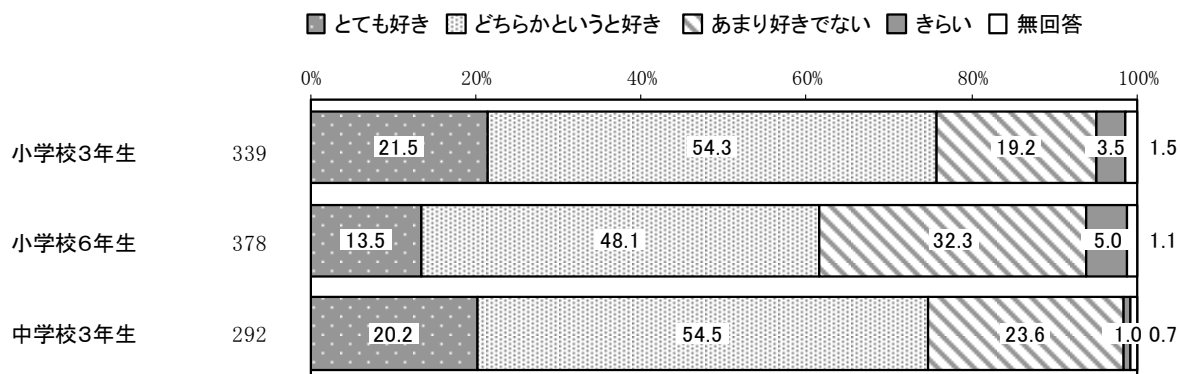
『パソコンを使った学習』『学校の行事』で「とても好き」と「どちらかというと好き」をあわせた“好き”の割合が高く、約9割となっています。また、『外国語』で「あまり好きではない」と「きらい」をあわせた“好きではない”の割合が高く、3割半ばとなっています。



【学年別】

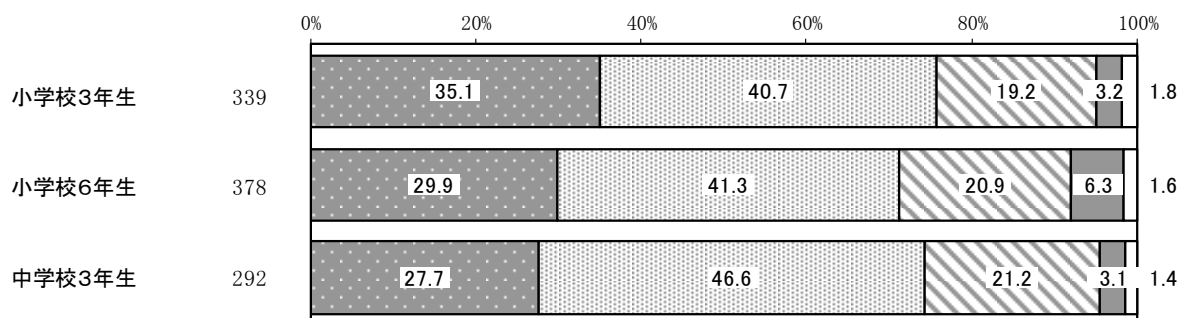
①国語

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“好きではない”の割合が高く、約4割となっています。



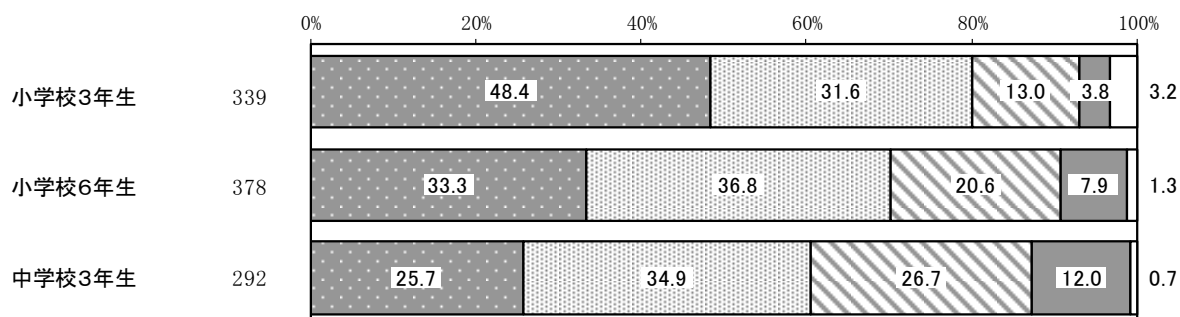
②社会

子どもの学年別でみると、大きな差異はみられません。



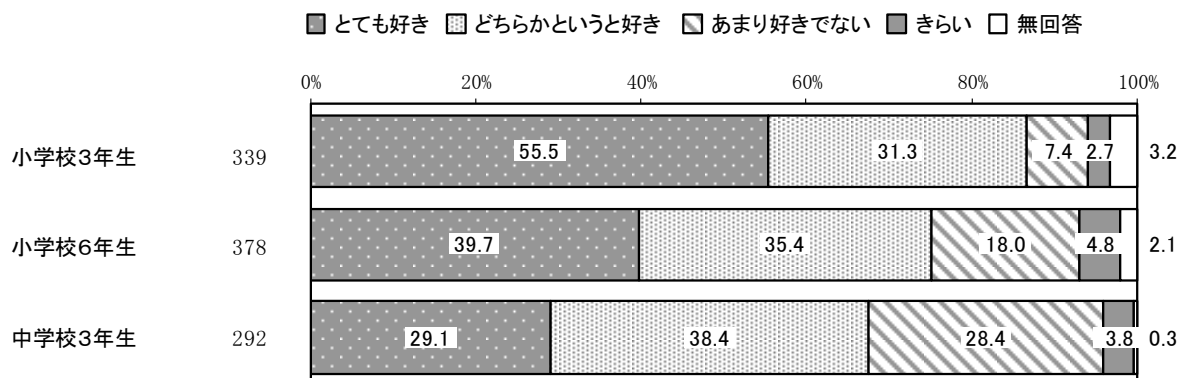
③算数、数学

学年別でみると、学年が上がるにつれ“好きではない”の割合が高くなっており、中学校3年生で約4割となっています。



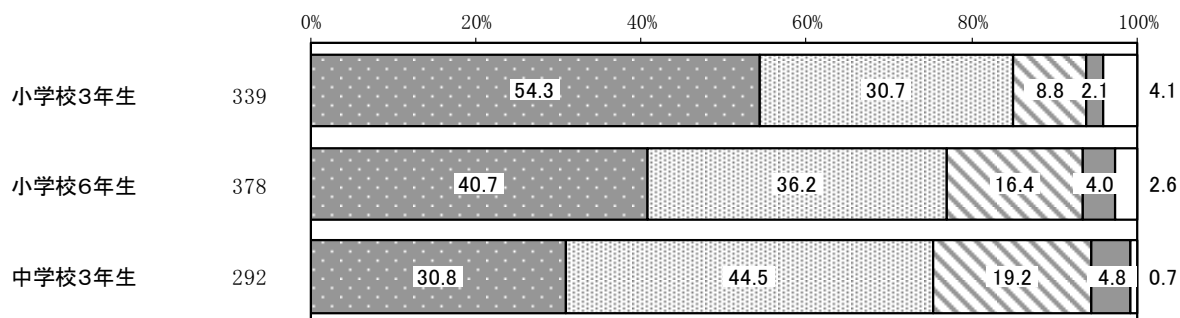
④理科

学年別でみると、学年が上がるにつれ“好きではない”の割合が高くなっており、中学校3年生で約3割となっています。



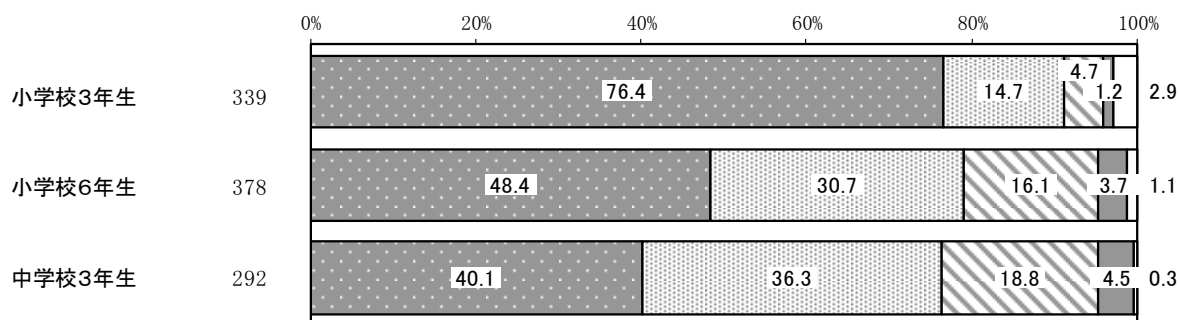
⑤音楽

学年別でみると、学年が上がるにつれ“好きではない”の割合が高くなっており、中学校3年生で2割半ばとなっています。



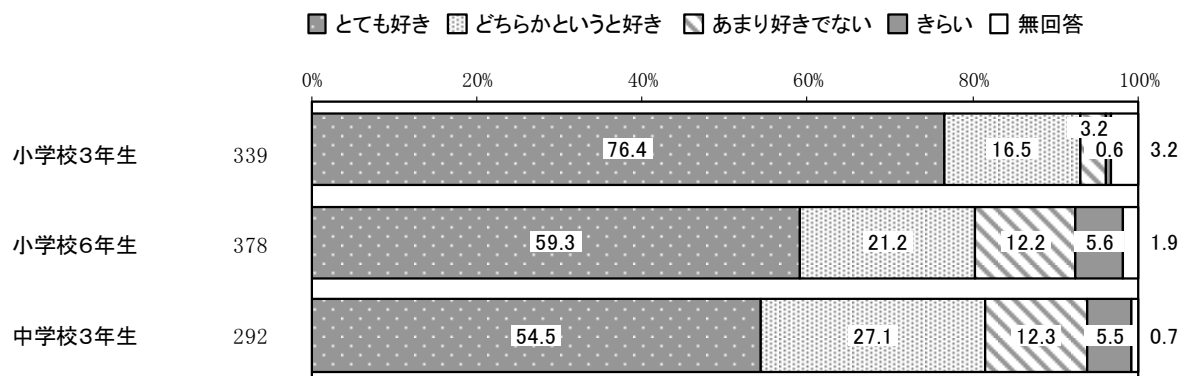
⑥図画工作、美術

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“好き”の割合が高く、約9割となっています。



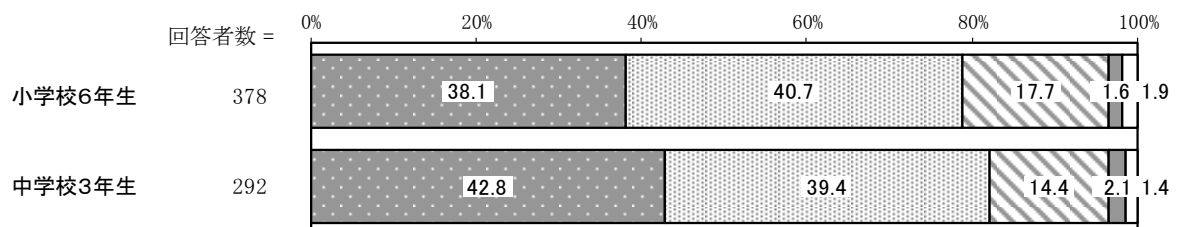
⑦（保健）体育

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“好き”の割合が高く、約9割となっています。



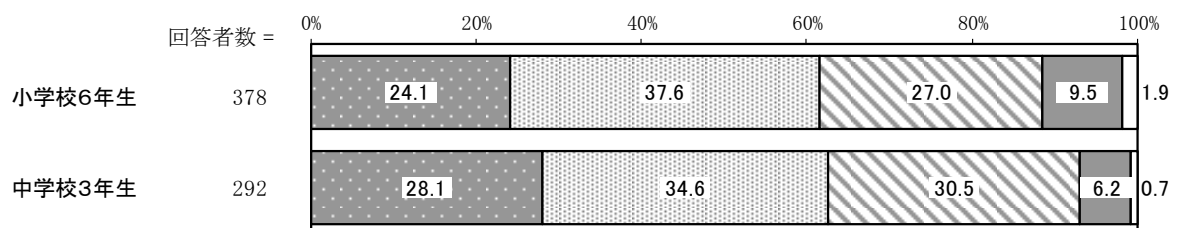
⑧技術・家庭（小6、中3のみ）

学年別でみると、大きな差異はみられません。



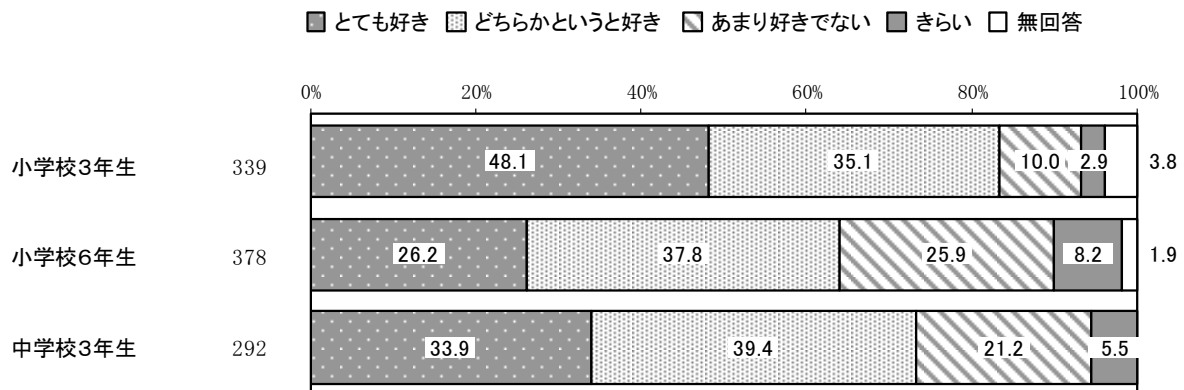
⑨外国語（小6、中3のみ）

学年別でみると、大きな差異はみられません。



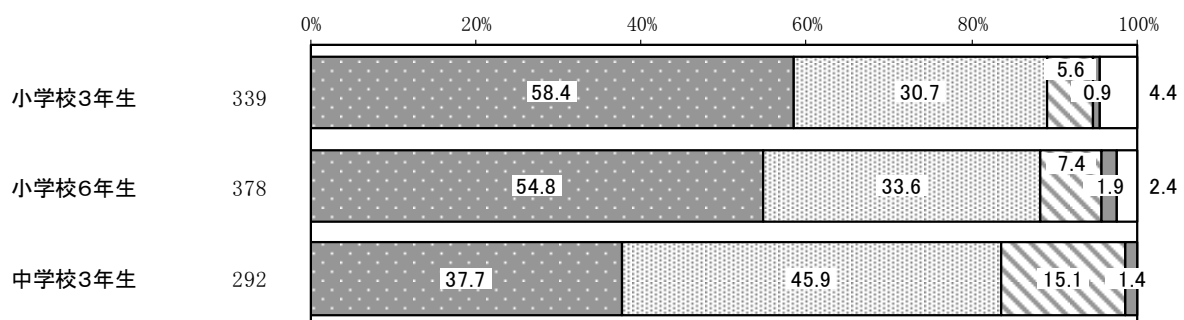
⑩外国人の先生の英語の学習

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で“好き”の割合が高く、約8割となっています。また、小学校6年生で“好きではない”の割合が高く、3割半ばとなっています。



⑪総合的な学習の時間

学年別でみると、学年が上がるにつれ“好きではない”の割合が高くなっており、中学校3年生で1割半ばとなっています。



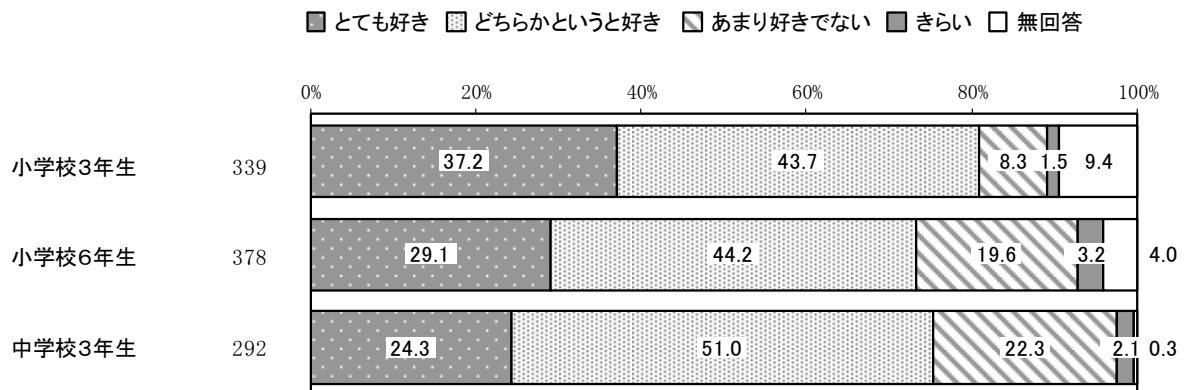
⑫パソコンを使った学習

学年別でみると、学年が上がるにつれ“好きではない”の割合が高くなっており、中学校3年生で約1割となっています。



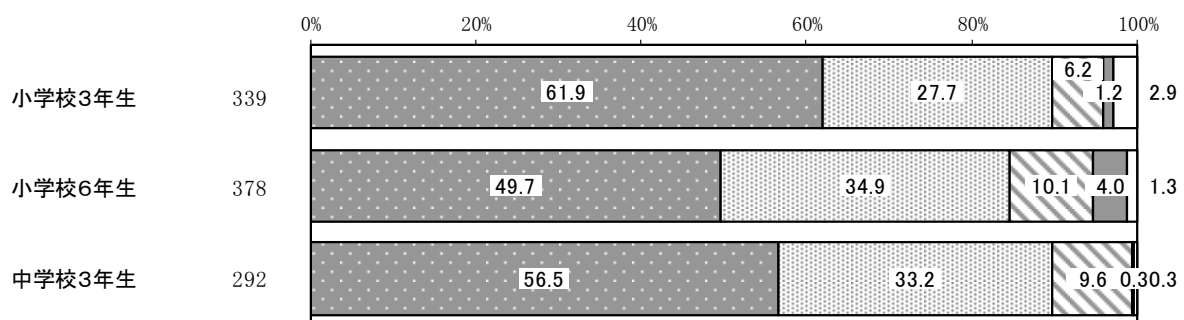
⑬環境についての学習

学年別でみると、学年が上がるにつれ“好きではない”の割合が高くなっており、中学校3年生で2割半ばとなっています。



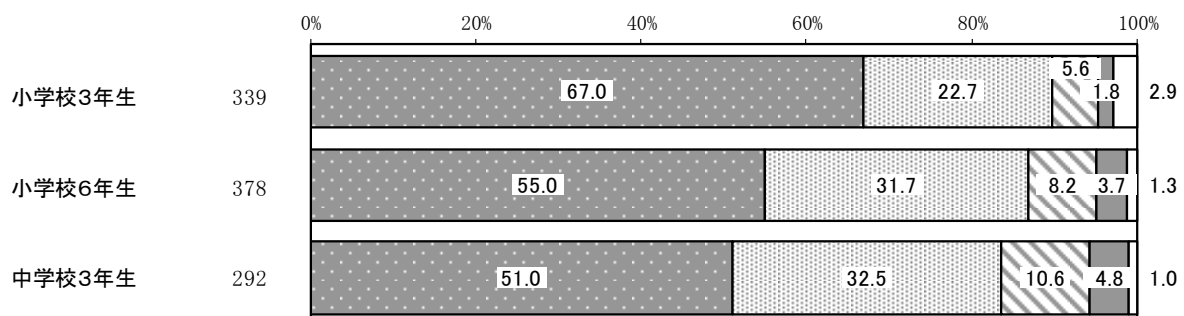
⑭学校の行事

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“好きではない”の割合が高く、1割半ばとなっています。



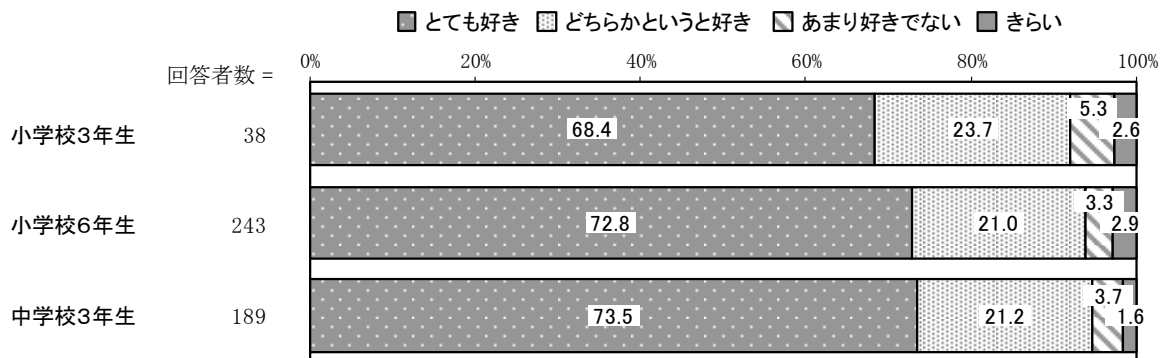
⑮給食

学年別でみると、学年が下がるにつれ“好き”の割合が高くなっており、小学校3年生で約9割となっています。



⑯クラブ活動や部活動（入っている人のみ）

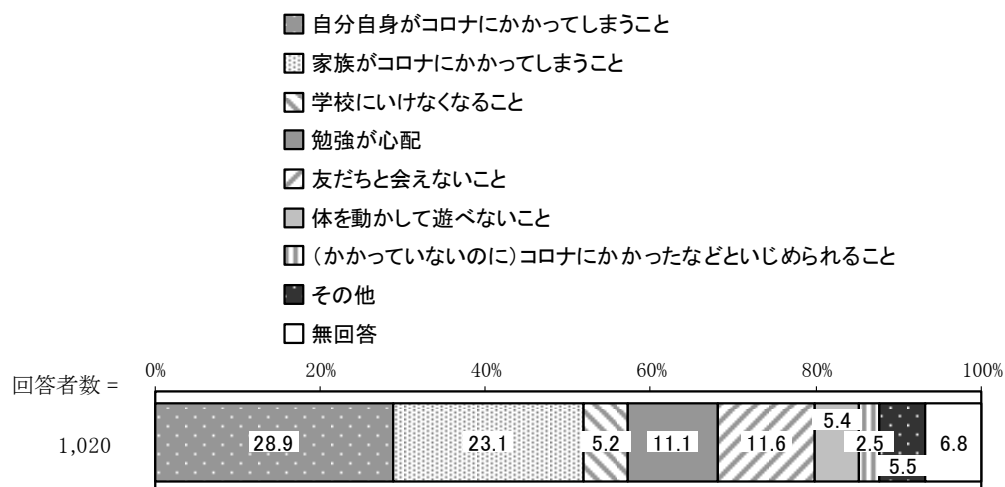
学年別でみると、大きな差異はみられません。



※無回答を除いて集計をしています。

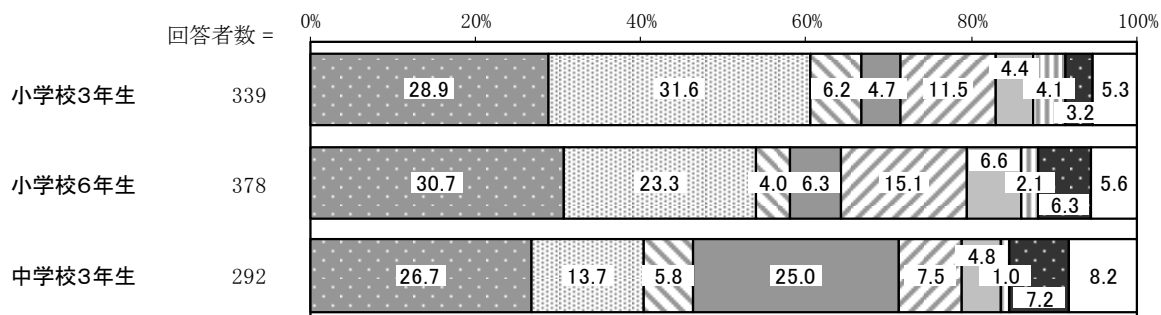
問 12 新型コロナウイルス感染症により不安を感じていることは何ですか。 (最もあてはまるもの1つに○)

「自分自身がコロナにかかってしまうこと」の割合が28.9%と最も高く、次いで「家族がコロナにかかってしまうこと」の割合が23.1%、「友だちと会えないこと」の割合が11.6%となっています。



【学年別】

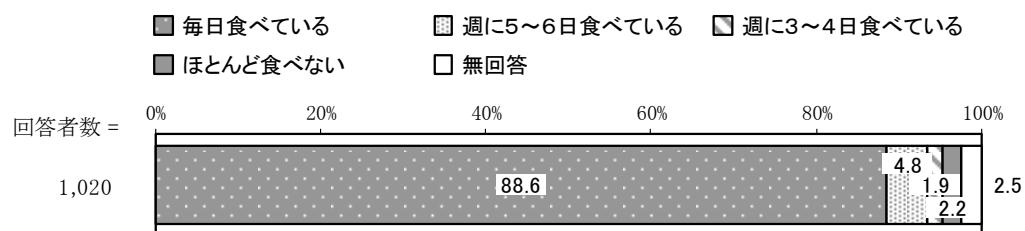
学年別でみると、学年が上がるにつれ「勉強が心配」の割合が、学年が下がるにつれ「家族がコロナにかかってしまうこと」の割合が高くなっています。また、他に比べ、小学校3年生で「(かかっていないのに) コロナにかかったなどといじめられること」の割合が、小学校6年生で「友だちと会えないこと」の割合が高くなっています。



(3) 普段の生活について

問 13 あなたは、朝食を食べていますか。

「毎日食べている」の割合が 88.6%と最も高くなっています。



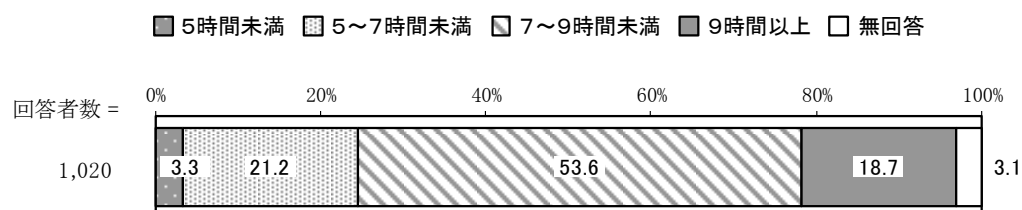
【学年別】

学年別でみると、学年が上がるにつれ「毎日食べている」の割合が低くなっており、中学校3年生で約8割となっています。



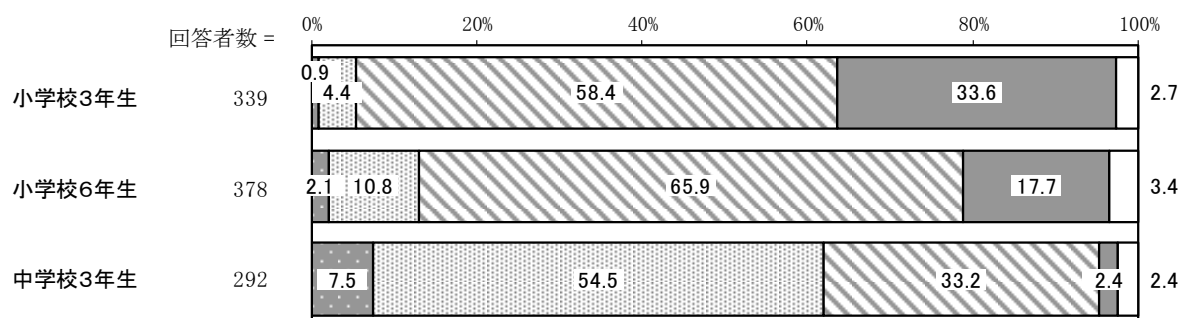
問 14 あなたの睡眠時間は、何時間ですか。

「7～9時間未満」の割合が53.6%と最も高く、次いで「5～7時間未満」の割合が21.2%、「9時間以上」の割合が18.7%となっています。



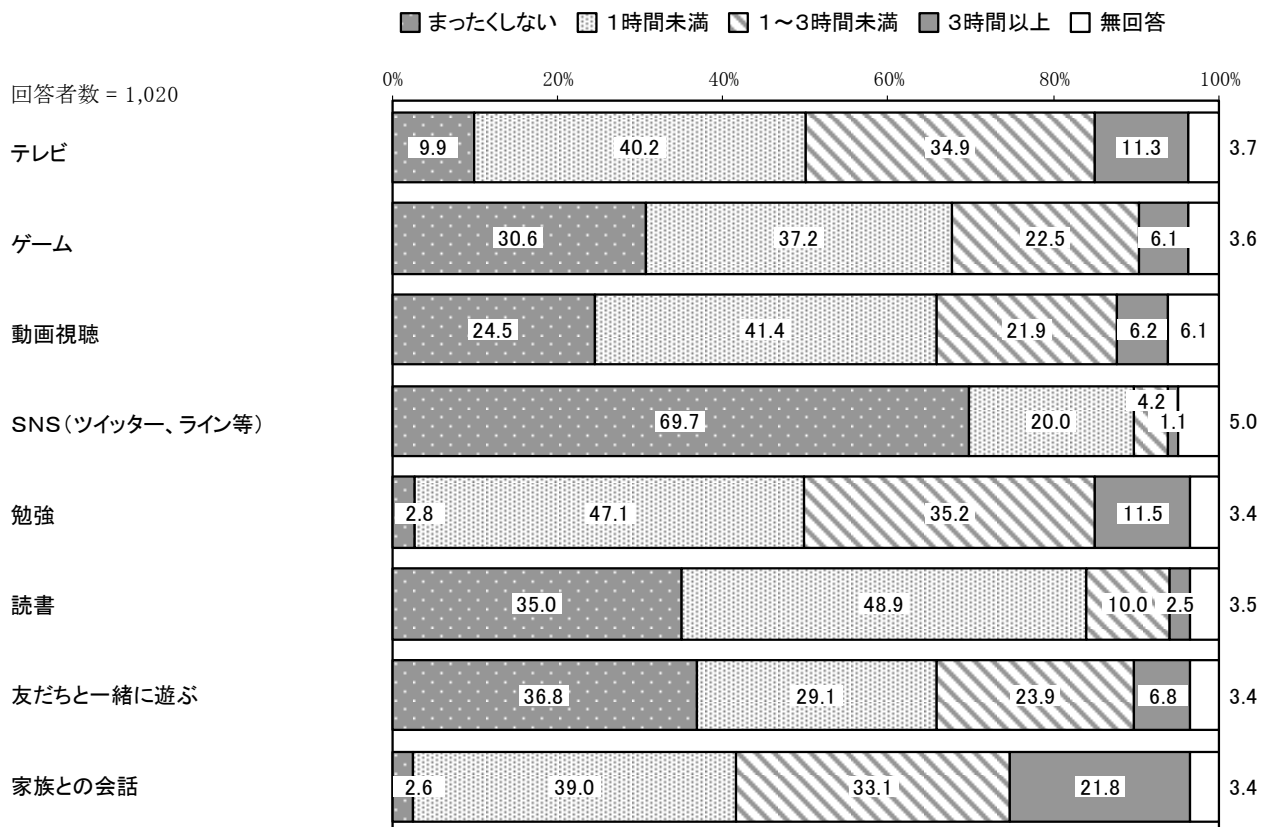
【学年別】

学年別でみると、学年が上がるにつれ「5時間未満」「5～7時間未満」の割合が、学年が下がるにつれ「9時間以上」の割合が高くなっています。また、他に比べ、小学校6年生で「7～9時間未満」の割合が高く、6割半ばとなっています。



問 15 あなたの自宅での過ごし方について、平日の1日あたりどれくらいしていますか。

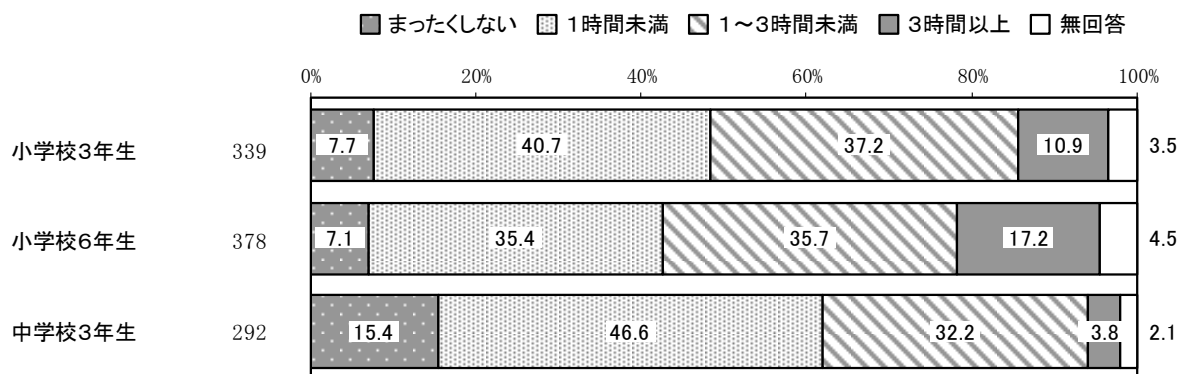
『家族との会話』で「3時間以上」の割合が高く、約2割となっています。また、『SNS（ツイッター、ライン等）』で「まったくしない」の割合が高く、約7割となっています。



【学年別】

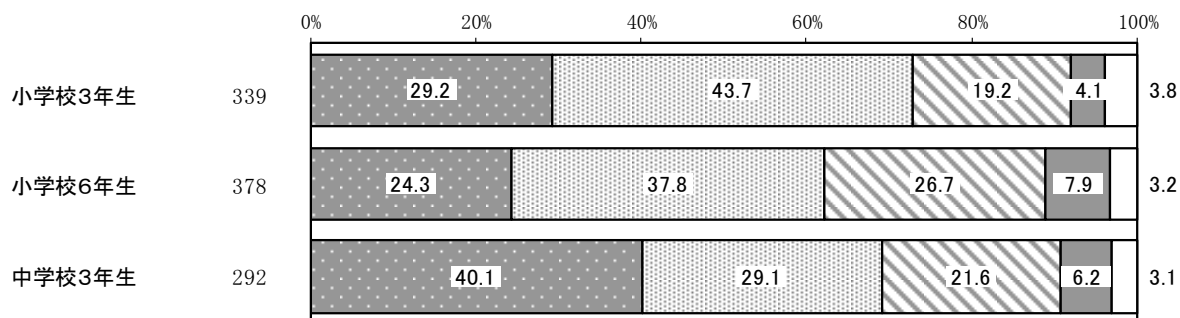
①テレビ

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「まったくしない」「1時間未満」の割合が高くなっています。また、小学校6年生で「3時間以上」の割合が高く、約2割となっています。



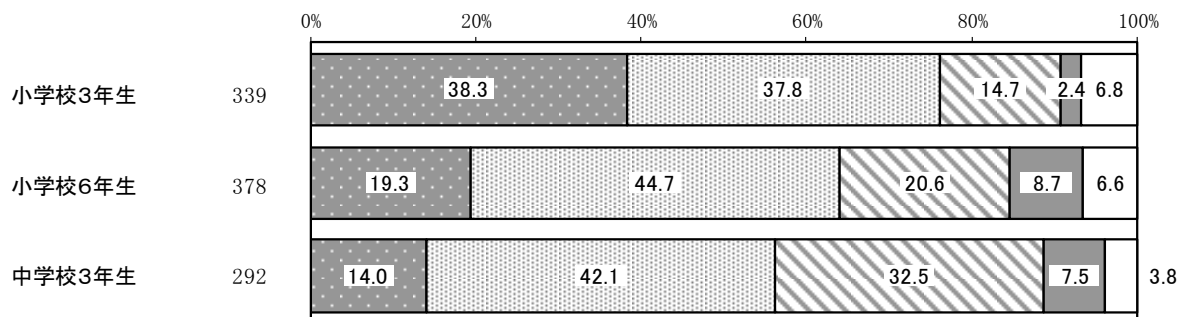
②ゲーム

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「まったくしない」の割合が高く、約4割となっています。また、小学校3年生で「1時間未満」の割合が高く、4割半ばとなっています。



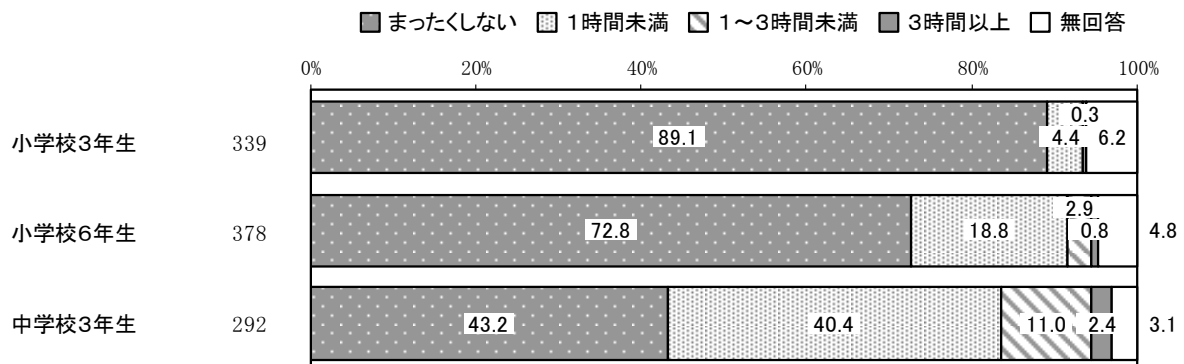
③動画視聴

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「まったくしない」の割合が高く、約4割となっています。また、中学校3年生で「1～3時間未満」の割合が高く、約3割となっています。



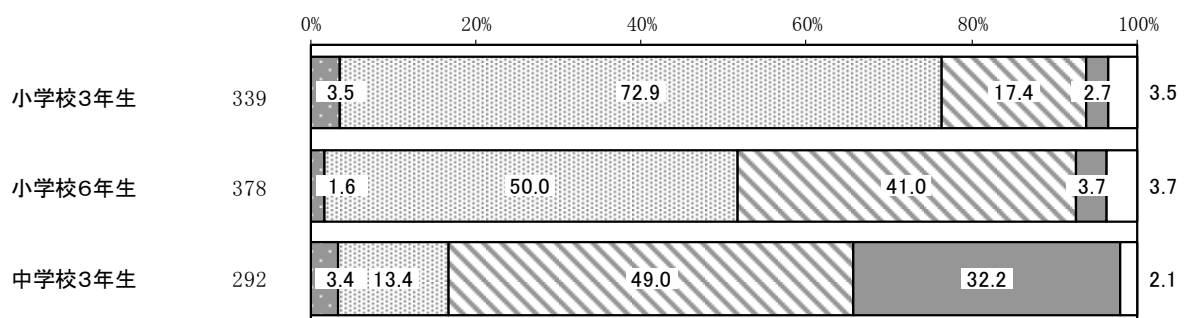
④ SNS（ツイッター、ライン等）

学年別でみると、学年が上がるにつれ「1時間未満」の割合が高くなっており、中学校3年生で約4割となっています。



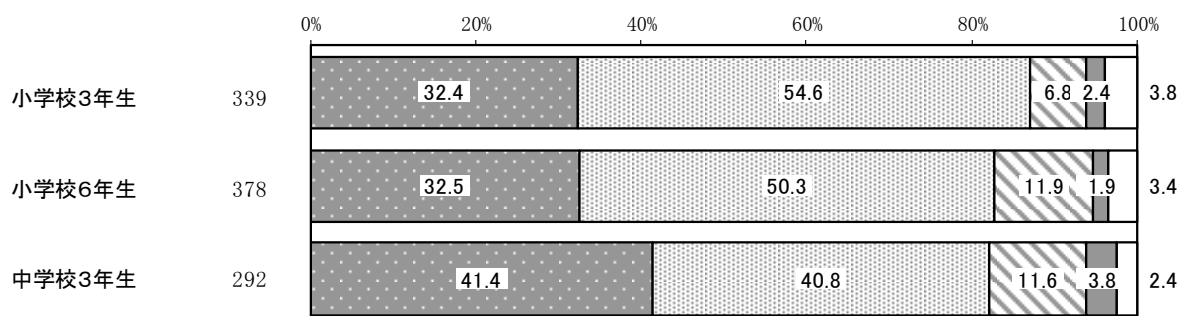
⑤勉強

学年別でみると、学年が上がるにつれ「1～3時間未満」の割合が高くなっており、中学校3年生で約5割となっています。また、他に比べ、中学校3年生で「3時間以上」の割合が高く、約3割となっています。



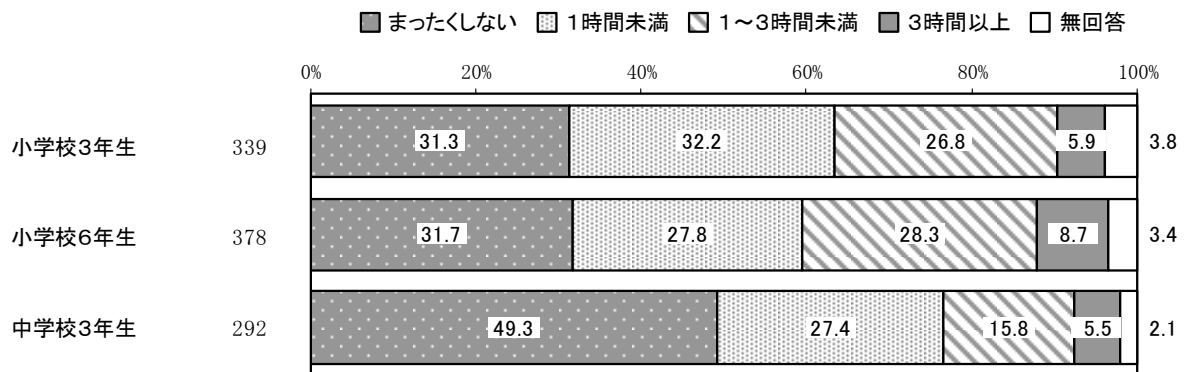
⑥読書

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「まったくしない」の割合が高く、約4割となっています。また、小学校3年生で「1時間未満」の割合が高く、5割半ばとなっています。



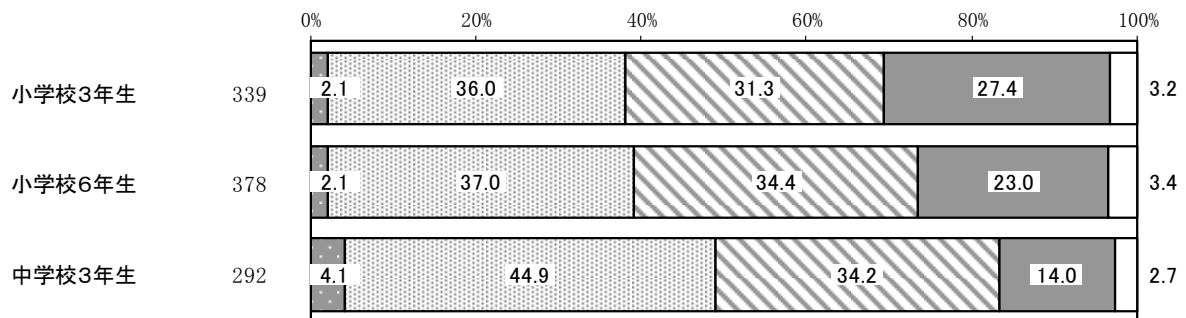
⑦友だちと一緒に遊ぶ

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「まったくしない」の割合が高く、約5割となっています。また、小学校6年生で「1～3時間未満」の割合が高く、約3割となっています。



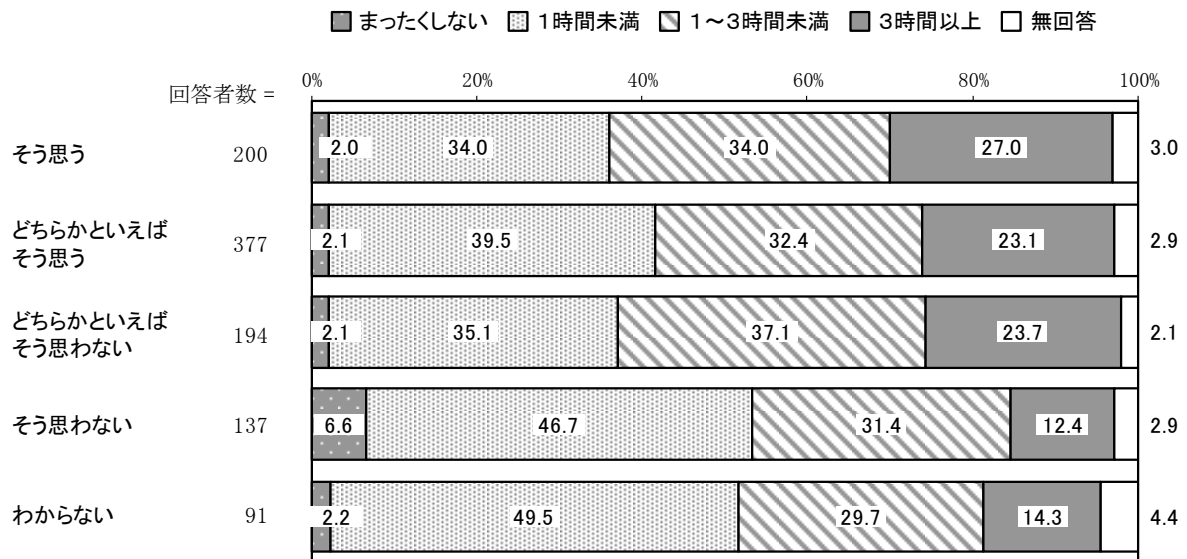
⑧家族との会話

学年別でみると、学年が下がるにつれ「3時間以上」の割合が高くなっており、小学校3年生で約3割となっています。また、中学校3年生で「1時間未満」の割合が高く、4割半ばとなっています。



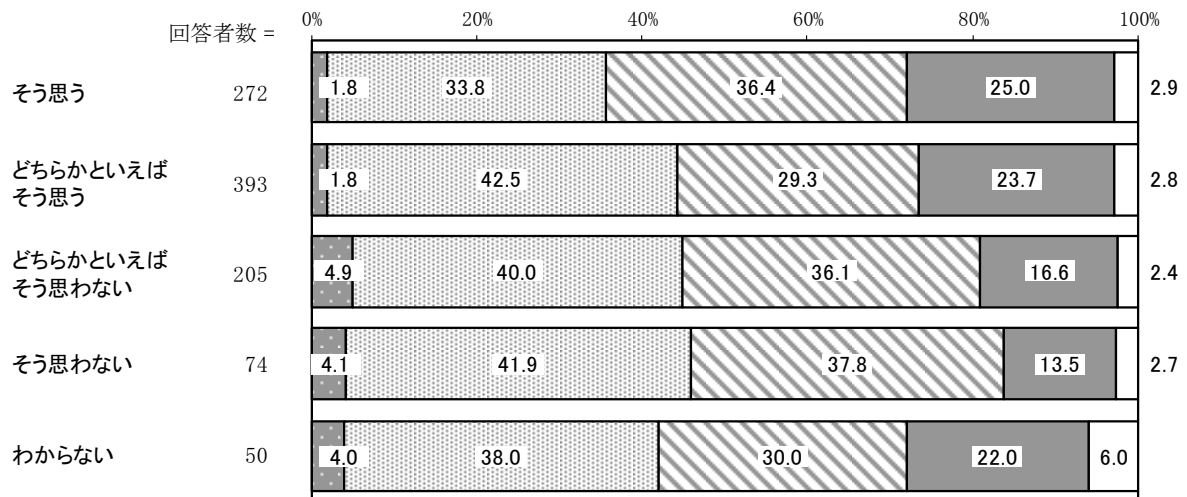
【自分に自信があるか別】

自分に自信があるか別でみると、他に比べ、そう思わないで「3時間以上」の割合が低く、約1割となっています。



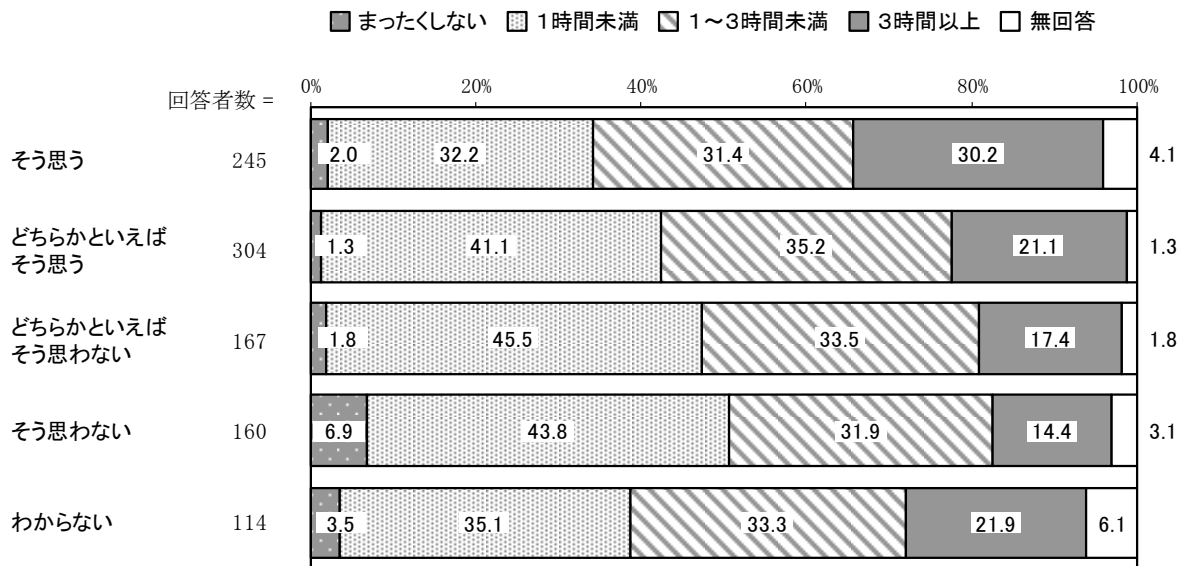
【積極的に挑戦するか別】

積極的に挑戦するか別でみると、他に比べ、どちらかといえばそう思わないで「まったくしない」の割合が高くなっています。



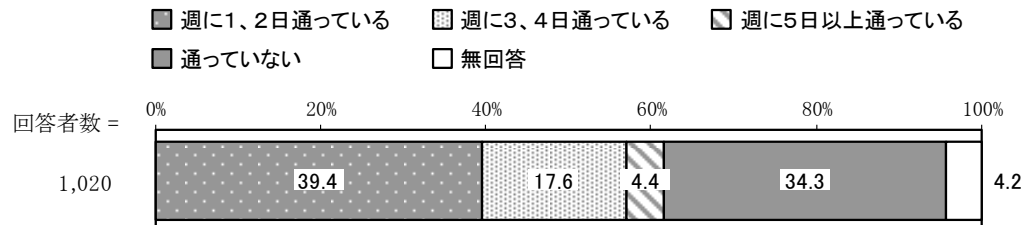
【自分のことが好きか別】

自分のことが好きか別でみると、他に比べ、そう思うで「3時間以上」の割合が高く、約3割となっています。



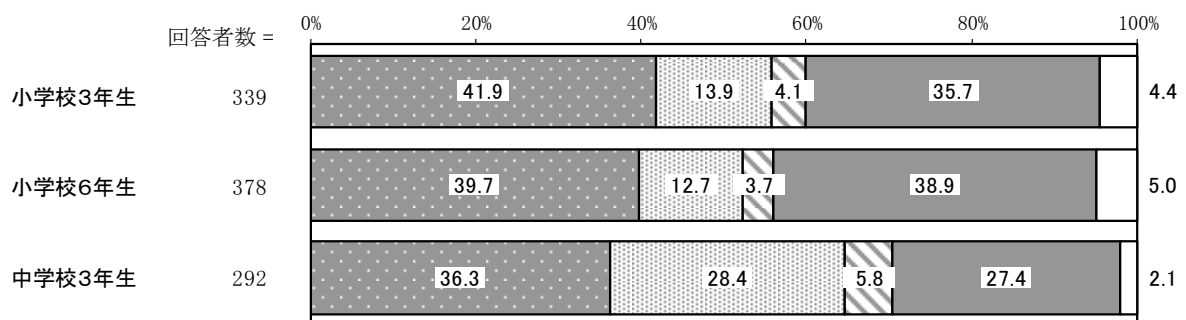
問 16 あなたは、学習塾（家庭教師を含む）や習いごとに通っていますか。

「週に1、2日通っている」の割合が39.4%と最も高く、次いで「通っていない」の割合が34.3%、「週に3、4日通っている」の割合が17.6%となっています。



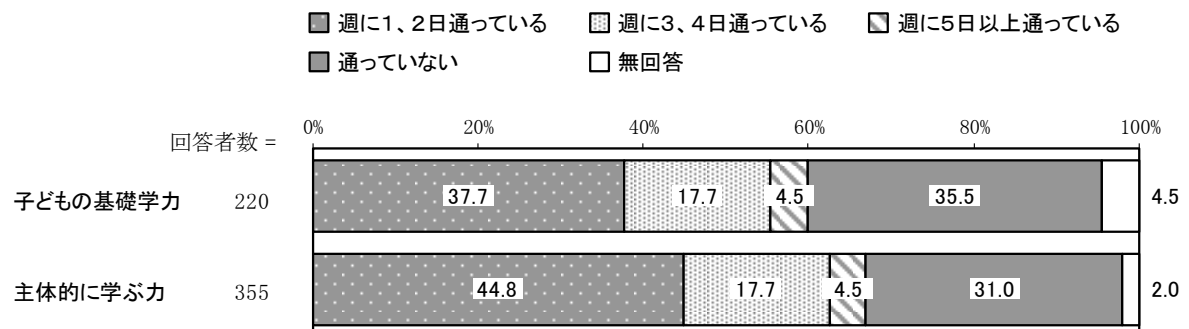
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「週に3、4日通っている」の割合が高く、約3割となっています。



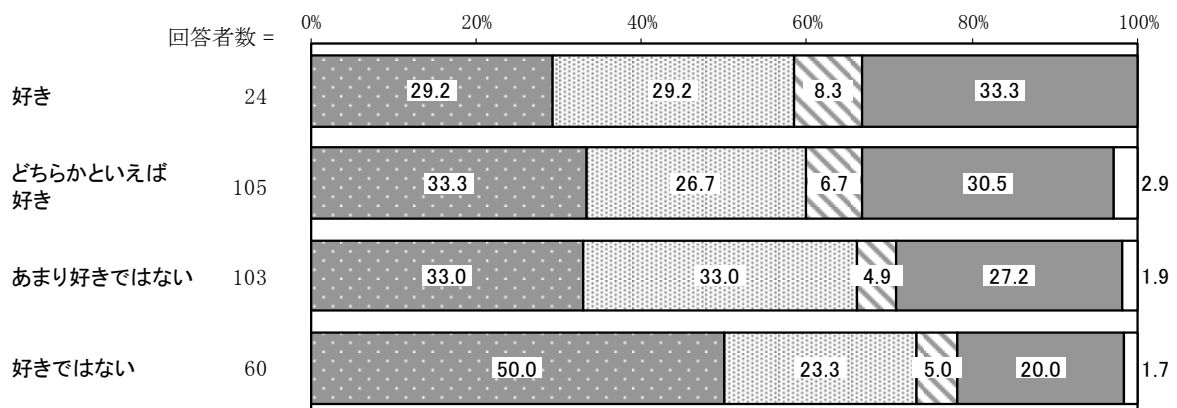
【保護者の子どもの教育について関心のあること別】

保護者の子どもの教育について関心のあること別でみると、子どもの基礎学力に比べ、主体的に学ぶ力で「週に1、2日通っている」の割合が高く、4割半ばとなっています。



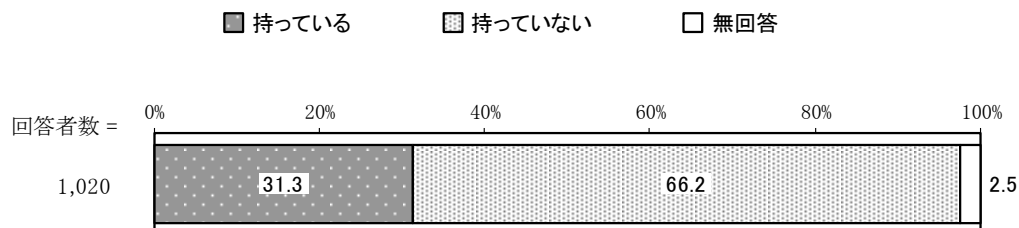
【勉強の好き・嫌い別】

勉強の好き・嫌い別でみると、他に比べ、好きではないで「週に1、2日通っている」の割合が高くなっています。



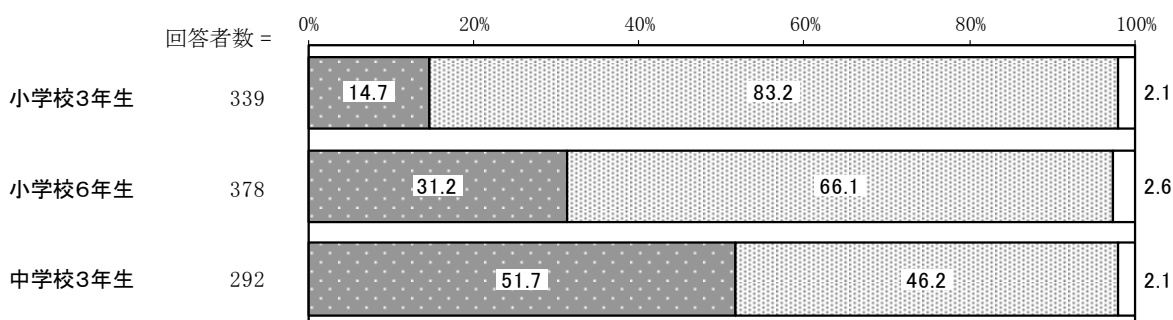
問 17 あなたは、自分の携帯電話やスマホを持っていますか。

「持っている」の割合が 31.3%、「持っていない」の割合が 66.2%となっています。



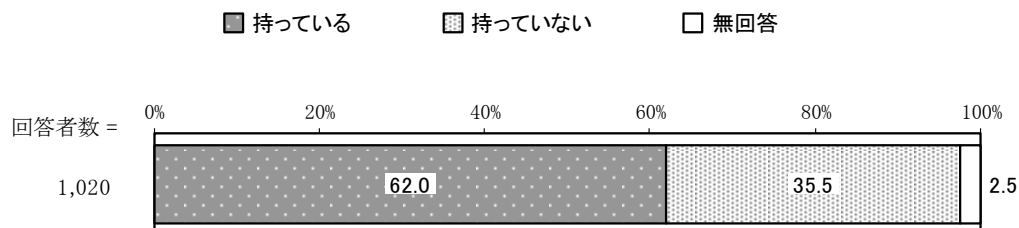
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、学年が上がるにつれ「持っている」の割合が高くなっており、中学校 3 年生で約 5 割となっています。



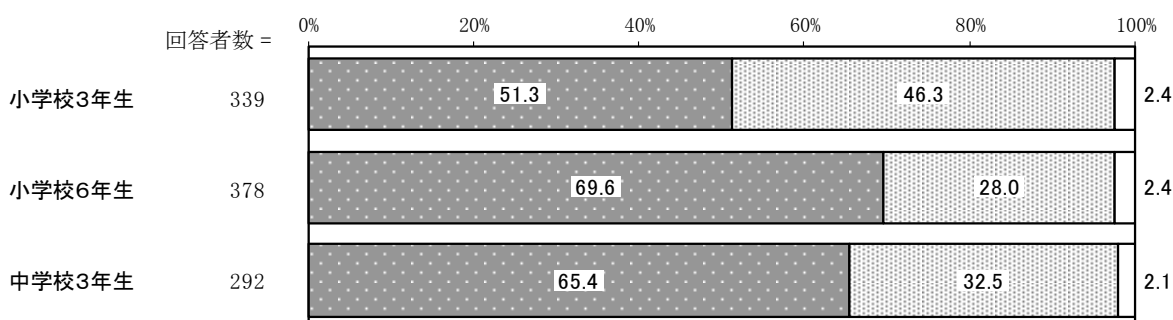
問 18 あなたは、自分のパソコンやタブレット、小型ゲーム機を持っていますか。

「持っている」の割合が 62.0%、「持っていない」の割合が 35.5%となっています。



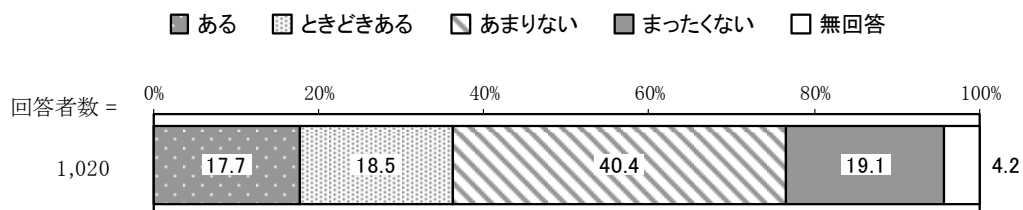
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校 6 年生で「持っている」の割合が高く、約 7 割となっています。また、小学校 3 年生で「持っていない」の割合が高く、4 割半ばとなっています。



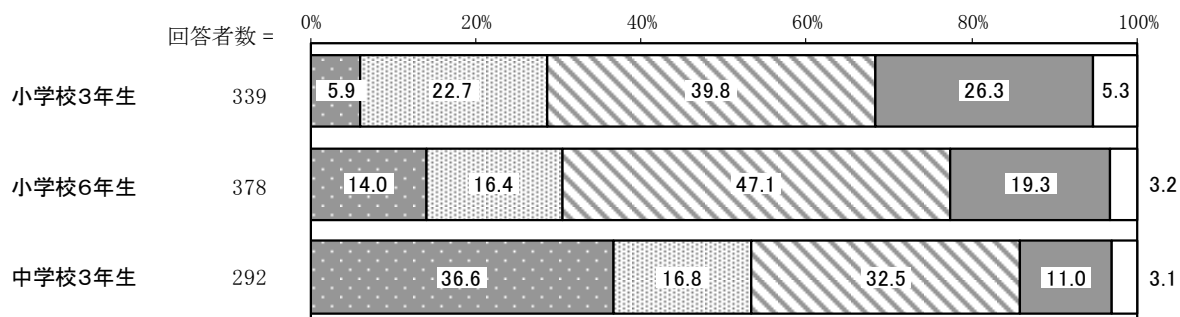
問 19 あなたは、心配ごとがありますか。

「ある」と「ときどきある」をあわせた“ある”の割合が 36.2%、「あまりない」と「まったくない」をあわせた“ない”の割合が 59.5%となっています。



【学年別】

学年別でみると、学年が上がるにつれ“ある”の割合が高くなっており、中学校 3 年生で約 5 割となっています。

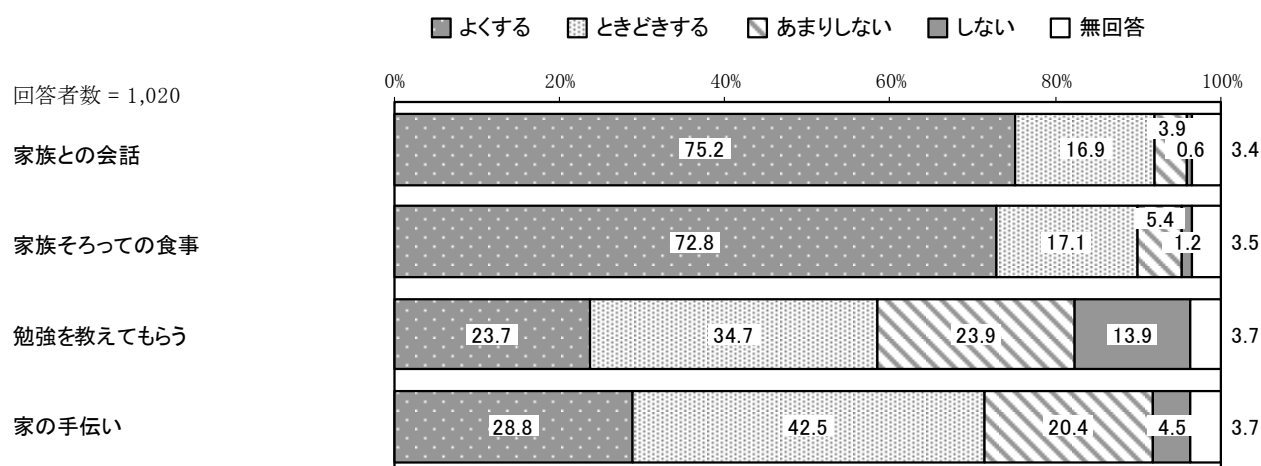


(4) 家庭や地域のことについて

問 21 あなたは、家庭の中で次の項目についてどれくらいしていますか。

『家族との会話』『家族そろっての食事』で「よくする」と「ときどきする」をあわせた“する”の割合が高く、約9割となっています。

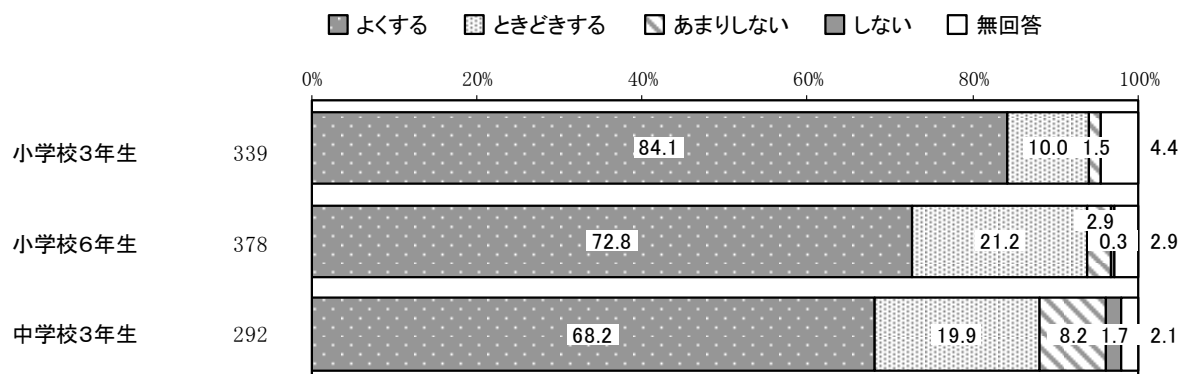
また、『勉強を教えてもらう』で「あまりしない」と「しない」をあわせた“しない”の割合が高く、約4割となっています。



【学年別】

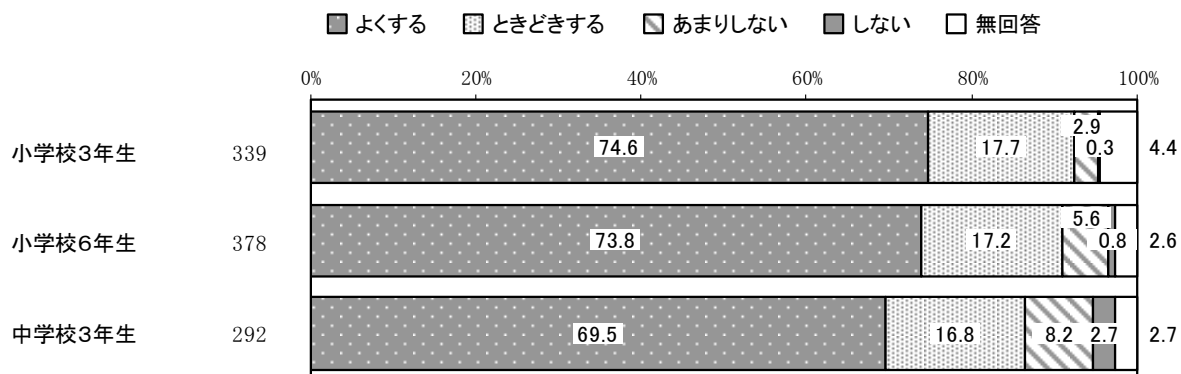
①家族との会話

学年別でみると、学年が下がるにつれ「よくする」の割合が高くなっており、小学校3年生で8割半ばとなっています。また、他に比べ、中学校3年生で“しない”の割合が高く、約1割となっています。



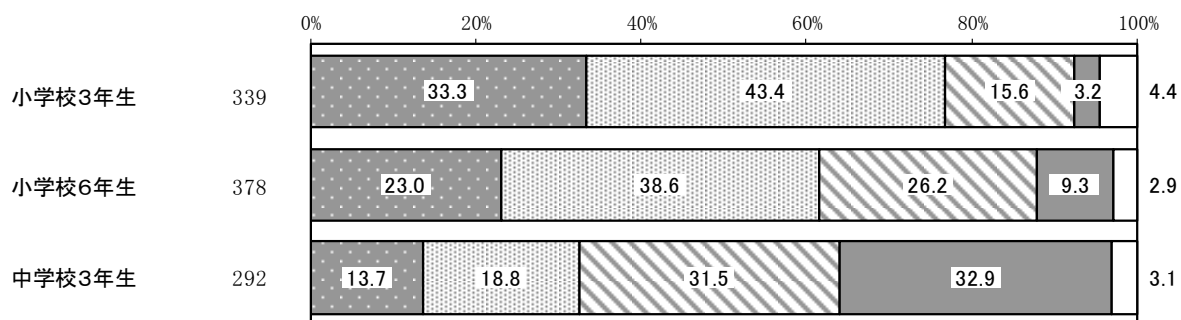
②家族そろっての食事

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で“しない”の割合が高く、約1割となっています。



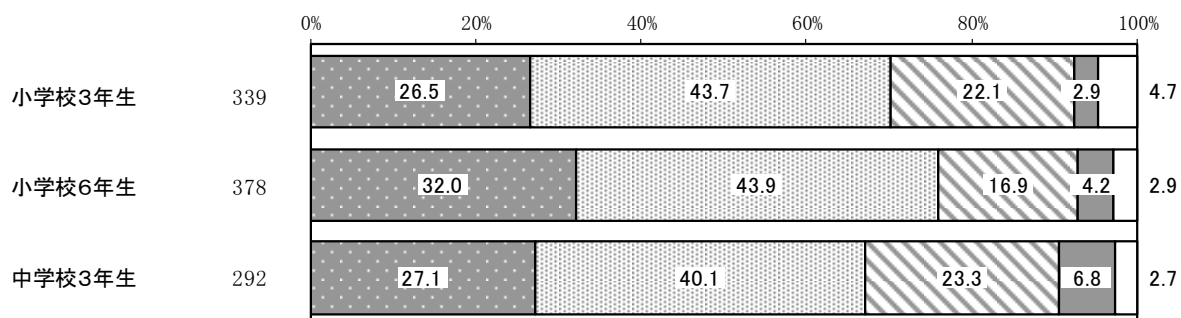
③勉強を教えてもらう

学年別でみると、学年が下がるにつれ“する”の割合が高くなっており、小学校3年生で7割半ばとなっています。



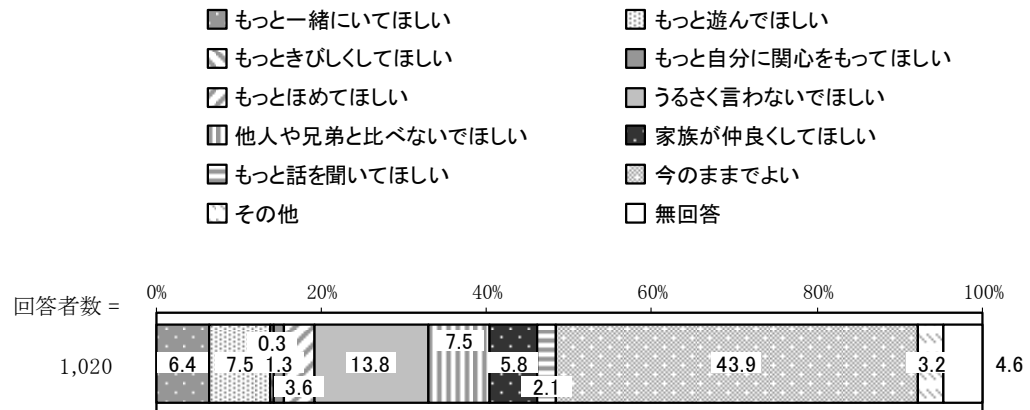
④家の手伝い

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で“しない”の割合が高く、約3割となっています。



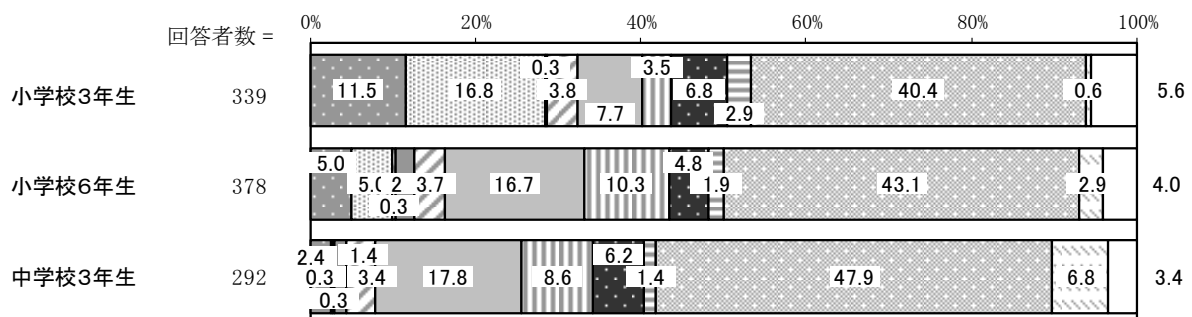
問 22 あなたの親や家族にしてほしいことは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「今のままでよい」の割合が43.9%と最も高く、次いで「うるさく言わないでほしい」の割合が13.8%となっています。



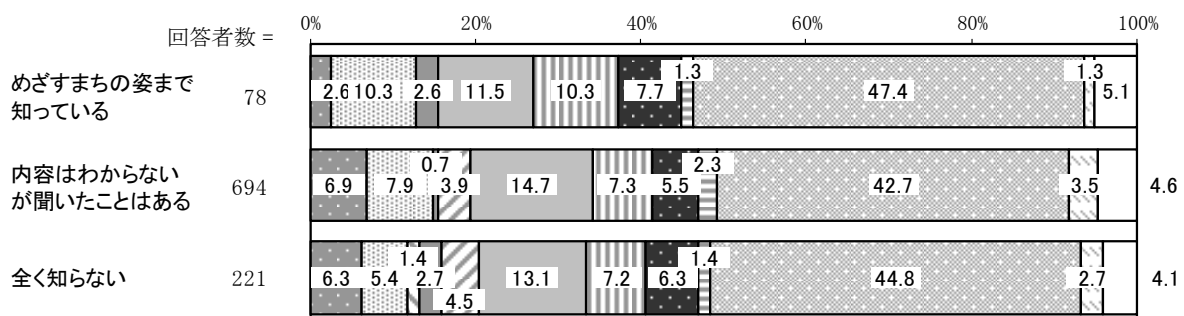
【学年別】

学年別でみると、学年が上がるにつれ「うるさく言わないでほしい」の割合が高くなっています。また、小学校3年生で「もっと一緒にいてほしい」「もっと遊んでほしい」の割合が、小学校6年生で「他人や兄弟と比べないでほしい」の割合が高くなっています。



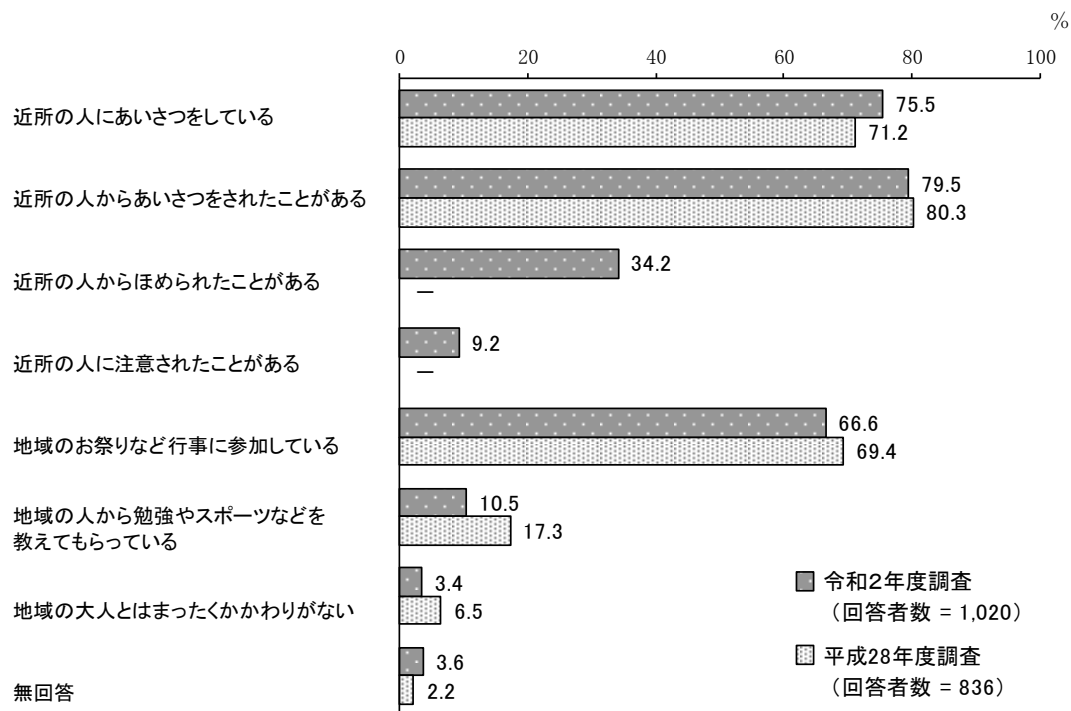
【保護者の「学都松本」の認知度別】

保護者の「学都松本」の認知度別でみると、他に比べ、全く知らないで「もっとときびしくしてほしい」の割合が高くなっています。



問 23 あなたは、地域で次のような経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「近所の人からあいさつをされたことがある」の割合が 79.5%と最も高く、次いで「近所の人にあいさつをしている」の割合が 75.5%、「地域のお祭りなど行事に参加している」の割合が 66.6%となっています。



※平成 28 年度調査では「近所の人からほめられたことがある」「近所の人に注意されたことがある」の選択肢がありません。

【学年別】

学年別でみると、学年が下がるにつれ「地域の人から勉強やスポーツなどを教えてもらっている」の割合が高くなっています。また、小学校 3 年生に比べ、小学校 6 年生、中学校 3 年生で「近所の人にあいさつをしている」の割合が、中学校 3 年生に比べ、小学校 3 年生、小学校 6 年生で「地域のお祭りなど行事に参加している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	近所の人にあいさつをしている	近所の人からあいさつをされたことがある	近所の人からほめられたことがある	近所の人に注意されたことがある	地域のお祭りなど行事に参加している	地域の人から勉強やスポーツなどを教えてもらっている	地域の大人とはまったくかわりがない	無回答
小学校3年生	339	68.7	76.1	32.7	8.3	71.7	14.2	2.9	5.0
小学校6年生	378	79.6	81.5	36.5	11.1	74.3	10.3	2.9	2.9
中学校3年生	292	79.5	82.9	34.2	8.2	51.7	6.5	4.5	2.1

【保護者の「学都松本」の認知度別】

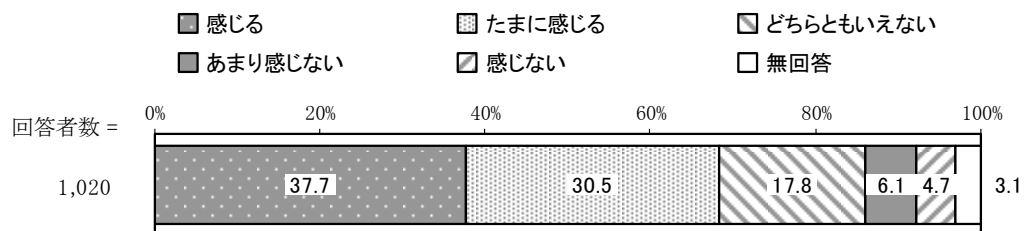
保護者の「学都松本」の認知度別でみると、他に比べ、めざすまちの姿まで知っているで「地域の人から勉強やスポーツなどを教えてもらっている」の割合が、全く知らないで「地域のお祭りなど行事に参加している」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	近所の人にあいさつを している	近所の人からあいさつを されたことがある	近所の人からほめられた ことがある	近所の人に注意された ことがある	地域のお祭りなど行事に 参加している	地域の人から勉強や スポーツなどを教えて もらっている	地域の大人とはまったく かわりがない	無回答
めざすまちの姿まで 知っている	78	71.8	80.8	29.5	5.1	75.6	1.3	5.1	5.1
内容はわからないが 聞いたことはある	694	75.5	80.3	35.4	9.2	68.2	11.8	3.2	3.5
全く知らない	221	76.9	78.3	31.7	10.9	59.3	9.5	3.6	3.2

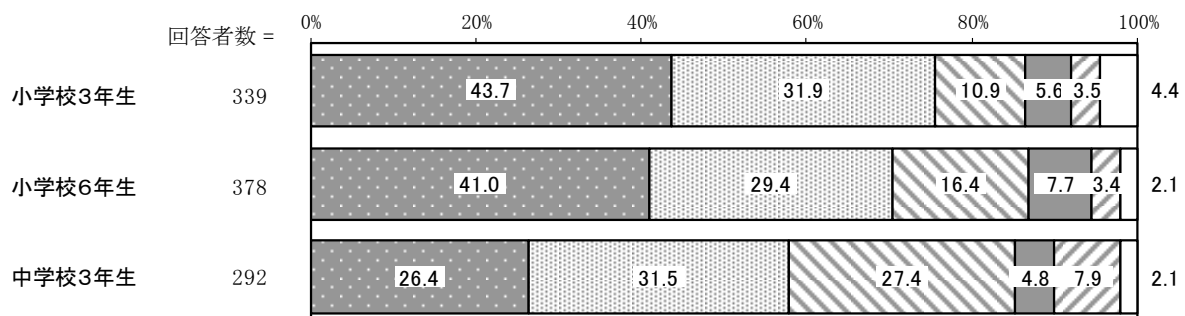
問 24 あなたの住んでいる地域では、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。

「感じる」と「たまに感じる」をあわせた“感じる”の割合が 68.2%、「どちらともいえない」の割合が 17.8%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が 10.8%となっています。



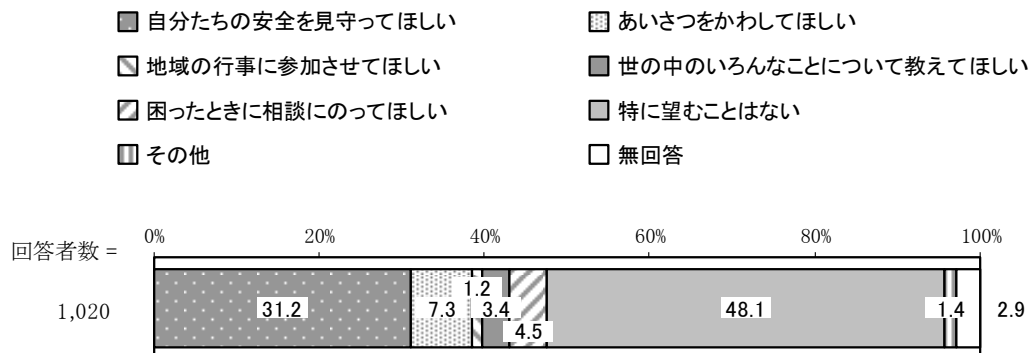
【学年別】

学年別でみると、学年が下がるにつれ“感じる”の割合が高くなっており、小学校3年生で7割半ばとなっています。



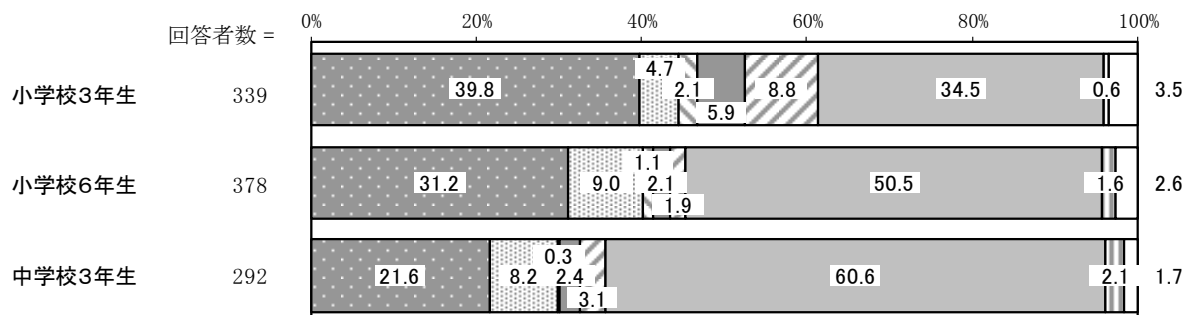
問 25 あなたの住んでいる地域の大人に望むことは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「特に望むことはない」の割合が48.1%と最も高く、次いで「自分たちの安全を見守ってほしい」の割合が31.2%となっています。



【学年別】

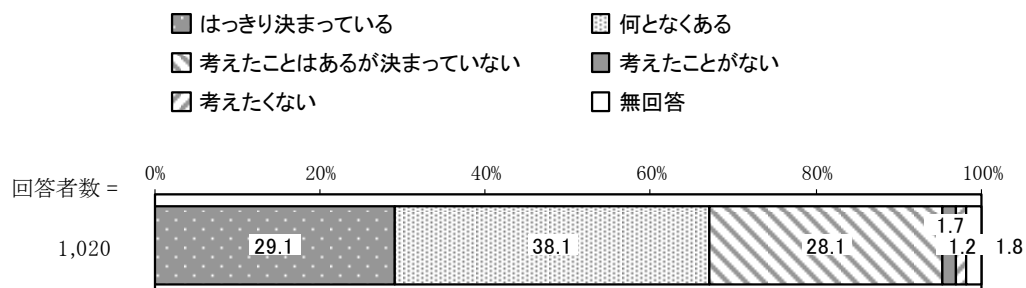
学年別でみると、学年が下がるにつれ「自分たちの安全を見守ってほしい」の割合が高くなっており、小学校3年生で約4割となっています。また、学年が上がるにつれ「特に望むことはない」の割合が高く、約6割となっています。また、他に比べ、小学校3年生で「世の中のいろいろなことについて教えてほしい」「困ったときに相談にのってほしい」の割合が高くなっています。



(5) 将来やその他のことについて

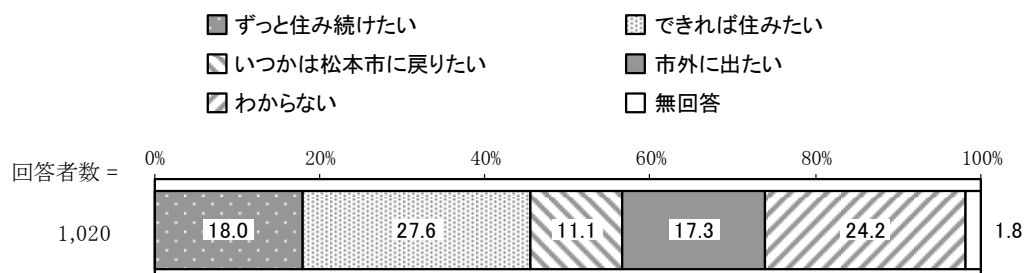
問 26 あなたは、将来なりたい職業がありますか。

「何となくある」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「はっきり決まっている」の割合が 29.1%、「考えたことはあるが決まっていない」の割合が 28.1%となっています。



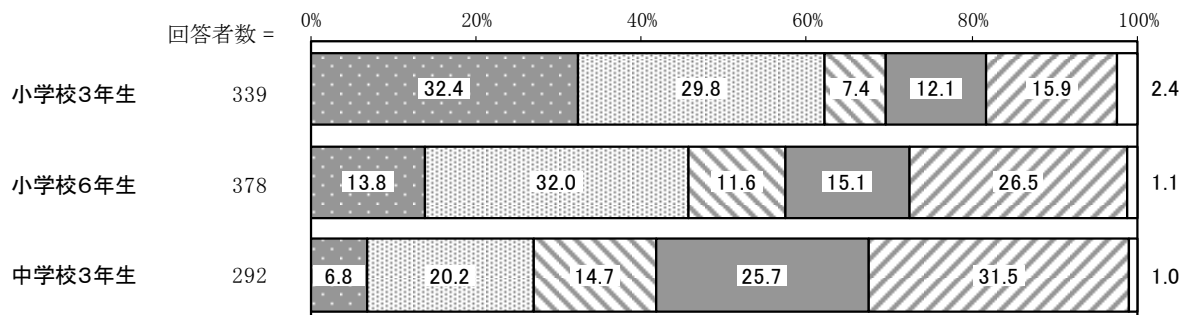
問 27 将来、松本市に住みたいと思いますか。

「できれば住みたい」の割合が 27.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 24.2%、「ずっと住みたい」の割合が 18.0%となっています。



【学年別】

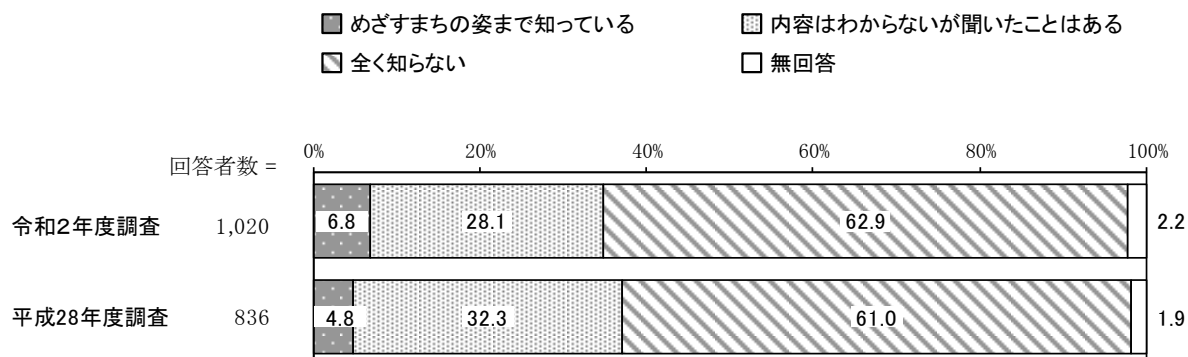
学年別でみると、学年が下がるにつれ「ずっと住みたい」の割合が高くなっており、小学校3年生で約3割となっています。



問 28 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

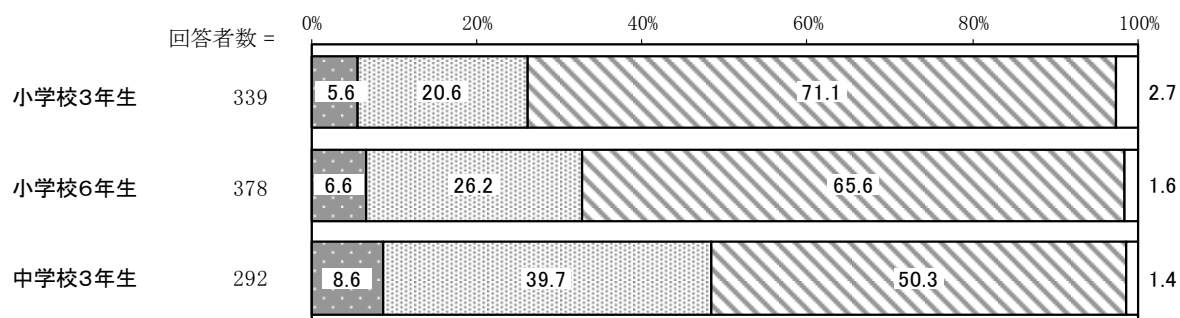
「全く知らない」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 28.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



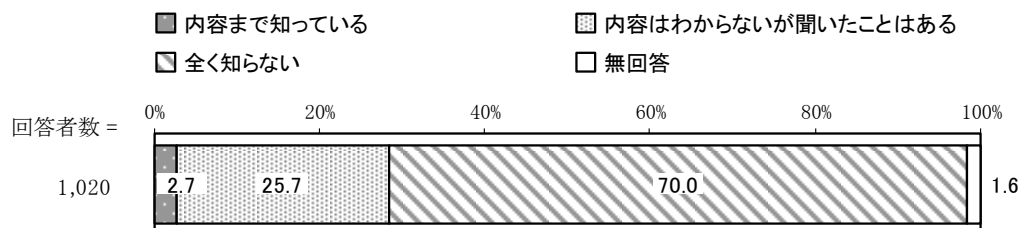
【学年別】

学年別でみると、学年が上がるにつれ「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が高く、中学校3年生で約4割となっています。また、学年が下がるにつれ「全く知らない」の割合が高くなっており、小学校3年生で約7割となっています。



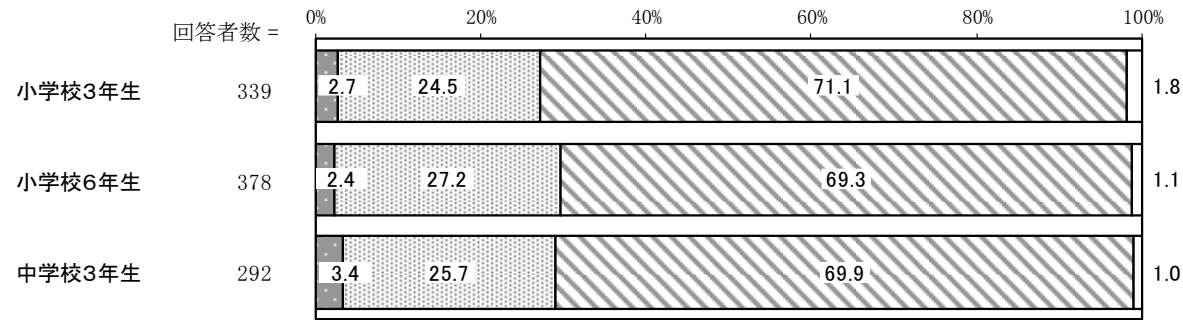
問 29 あなたは、「まつもと市民生きいき活動」を知っていますか。

「全く知らない」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 25.7%となっています。



【学年別】

学年別でみると、大きな差異はみられません。

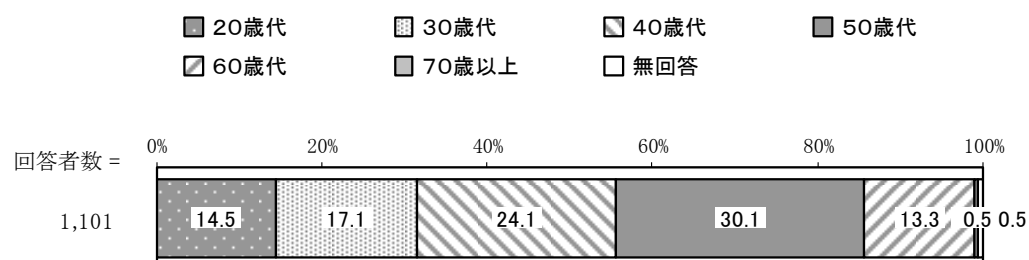


4 教職員・保育士・幼稚園教諭

(1) 回答者属性

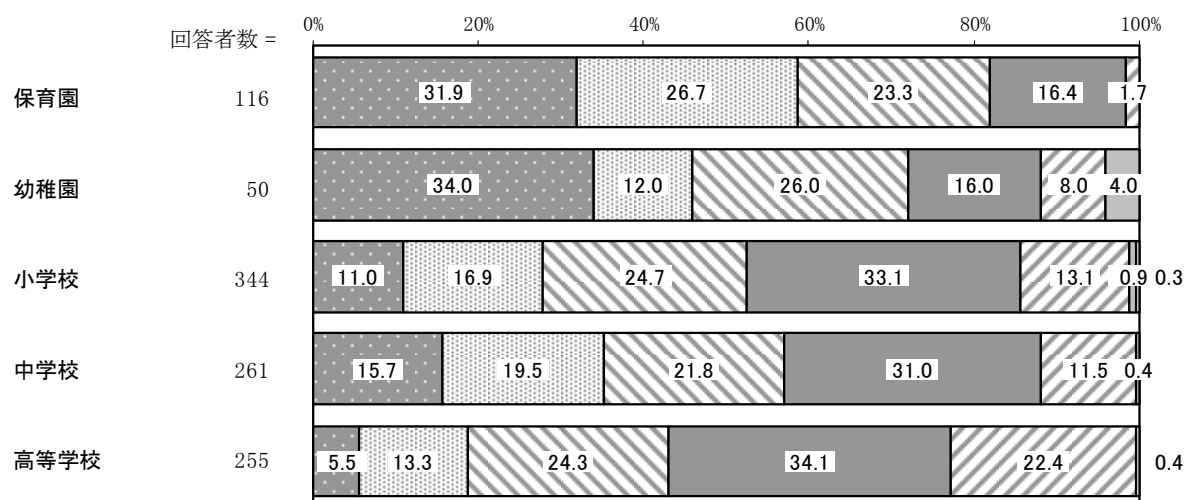
問1 あなたは何歳ですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



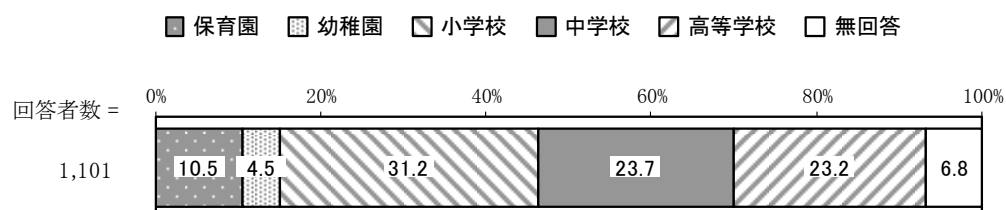
【学校種別】

回答結果は、以下の通りとなっています。



問2 あなたの勤務先は次のうちどれですか。

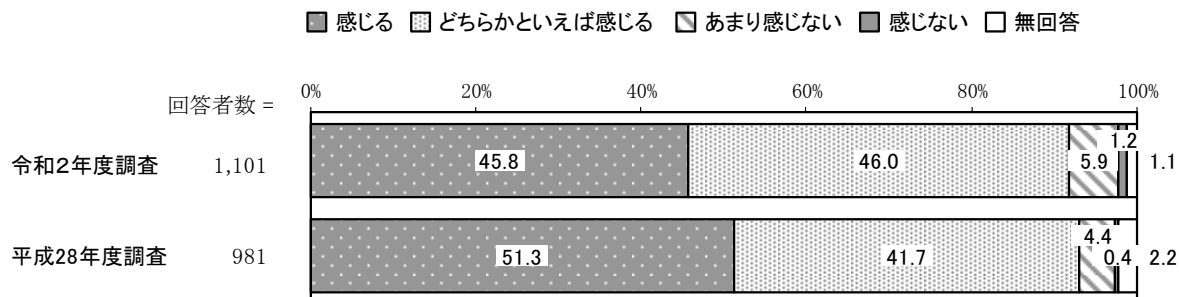
回答結果は、以下の通りとなっています。



問3 あなたは、ご自身の職務に「生きがい」、「やりがい」を感じますか。

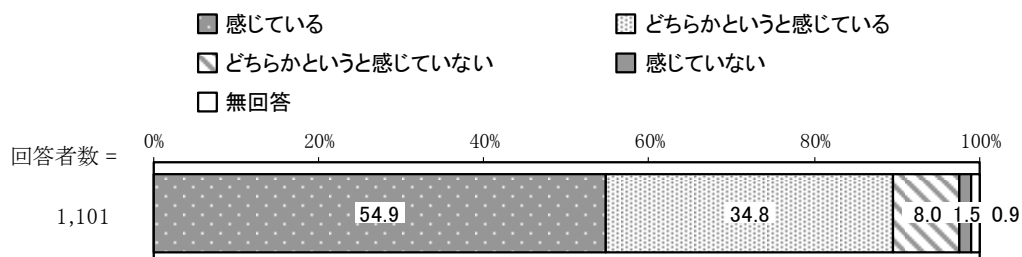
「感じる」と「どちらかといえば感じる」をあわせた“感じる”の割合が91.8%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が7.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「感じる」の割合が減少しています。



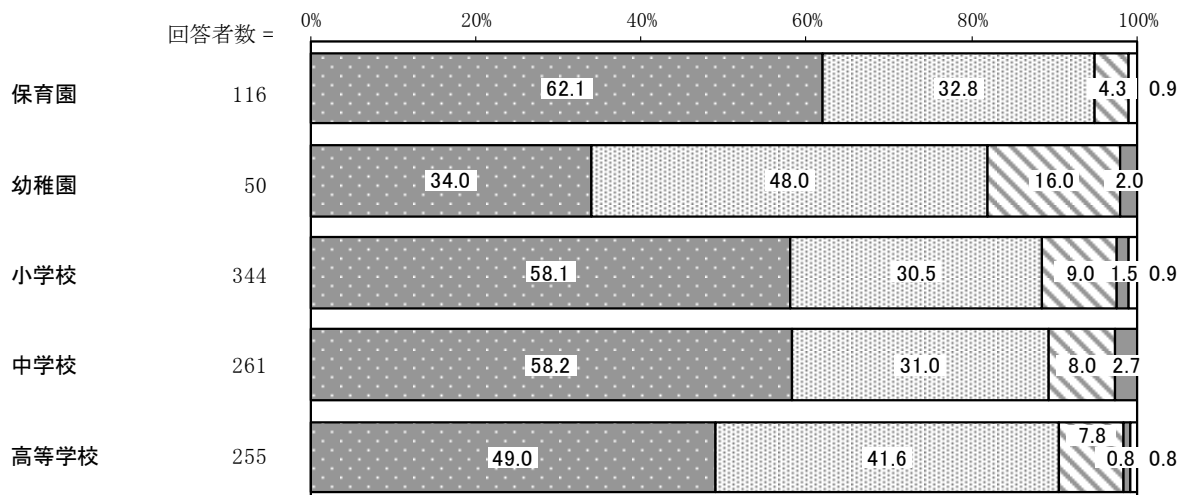
問4 あなたはご自身の職務について忙しいと感じていますか。

「感じている」と「どちらかというと感じている」をあわせた“感じている”の割合が89.7%、「どちらかというと感じていない」と「感じていない」をあわせた“感じていない”の割合が9.5%となっています。



【学校種別】

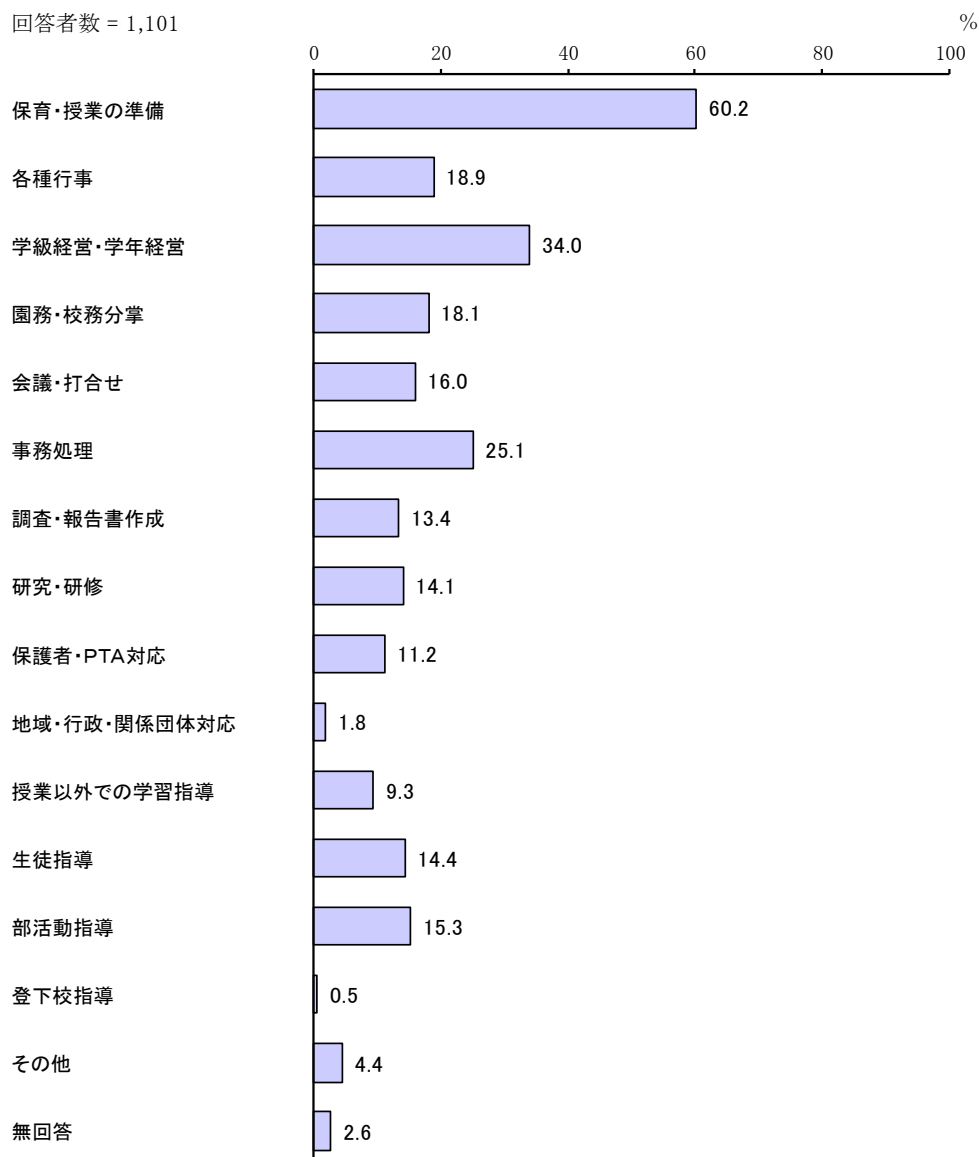
学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で“感じていない”の割合が高く、約2割となっています。



問5 仕事をするうえで、あなたが、①時間をかけている業務、②負担感を感じている業務は、どのような業務ですか。（3つ以内の番号を記入）
（①と②の回答は重複しても構いません）

1. 時間をかけている業務

「保育・授業の準備」の割合が60.2%と最も高く、次いで「学級経営・学年経営」の割合が34.0%、「事務処理」の割合が25.1%となっています。



【学校種別】

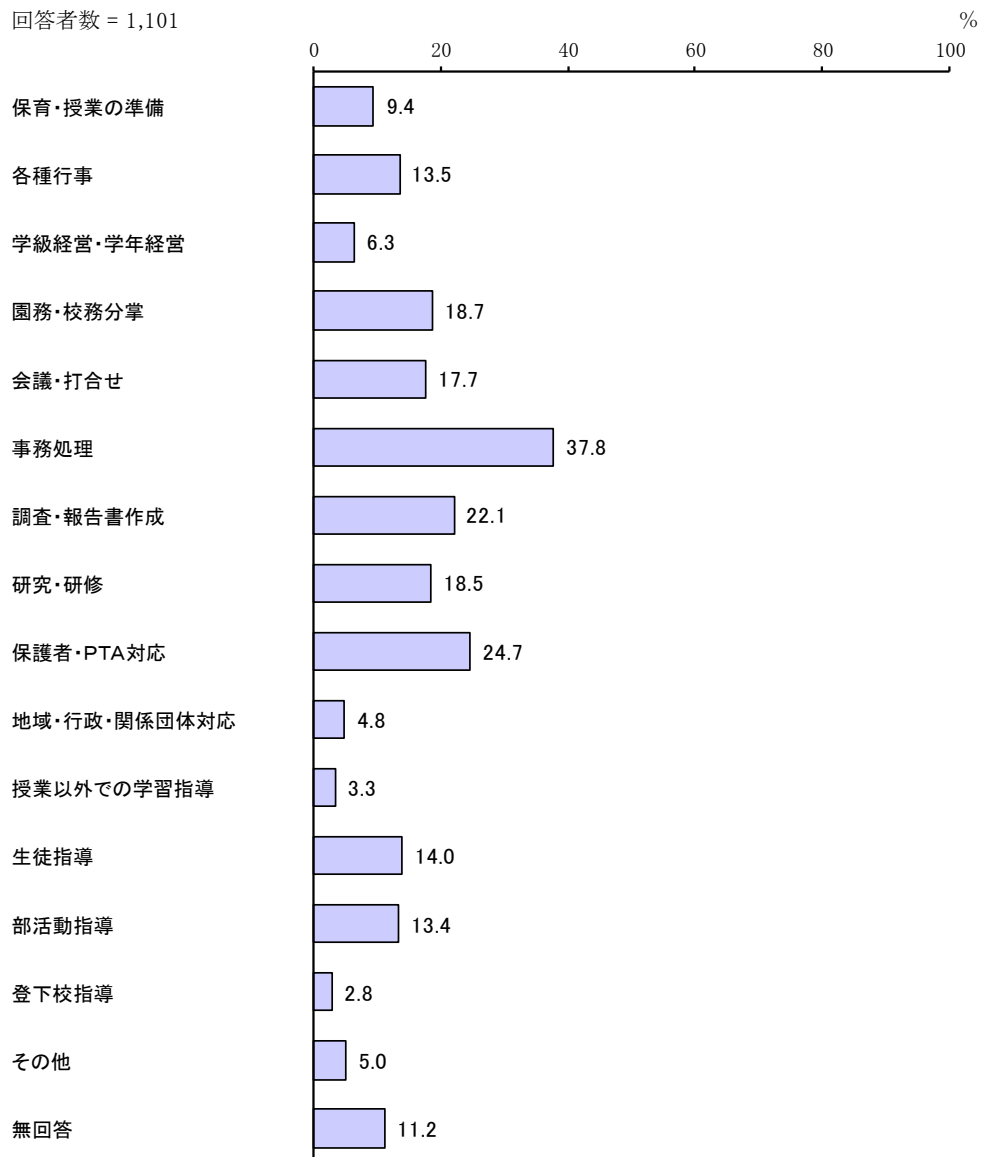
学校種別でみると、他に比べ、保育園で「保育・授業の準備」「各種行事」の割合が高くなっています。また、小学校で「学級経営・学年経営」の割合が、中学校、高等学校で「部活動指導」の割合が高くなっています

単位：％

区分	回答者数(件)	保育・授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	園務・校務分掌	会議・打合せ	事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体対応	授業以外での学習指導	生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他	無回答
保育園	116	69.8	47.4	25.0	8.6	18.1	43.1	13.8	11.2	8.6	—	—	1.7	—	—	6.9	4.3
幼稚園	50	64.0	22.0	20.0	16.0	36.0	16.0	8.0	22.0	12.0	—	—	4.0	—	—	6.0	6.0
小学校	344	56.7	17.4	42.7	16.0	15.7	26.5	14.0	15.7	16.9	1.7	5.2	16.3	3.5	1.2	4.9	2.9
中学校	261	55.6	18.4	32.2	20.7	11.9	23.8	13.8	16.9	9.6	2.7	8.4	18.0	27.2	0.8	4.6	1.5
高等学校	255	61.6	5.9	32.5	23.1	12.5	19.6	12.5	11.0	7.1	2.4	21.6	16.9	32.5	—	2.4	0.4

2. 負担感を感じている業務

「事務処理」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「保護者・PTA対応」の割合が 24.7%、「調査・報告書作成」の割合が 22.1%となっています。



【学校種別】

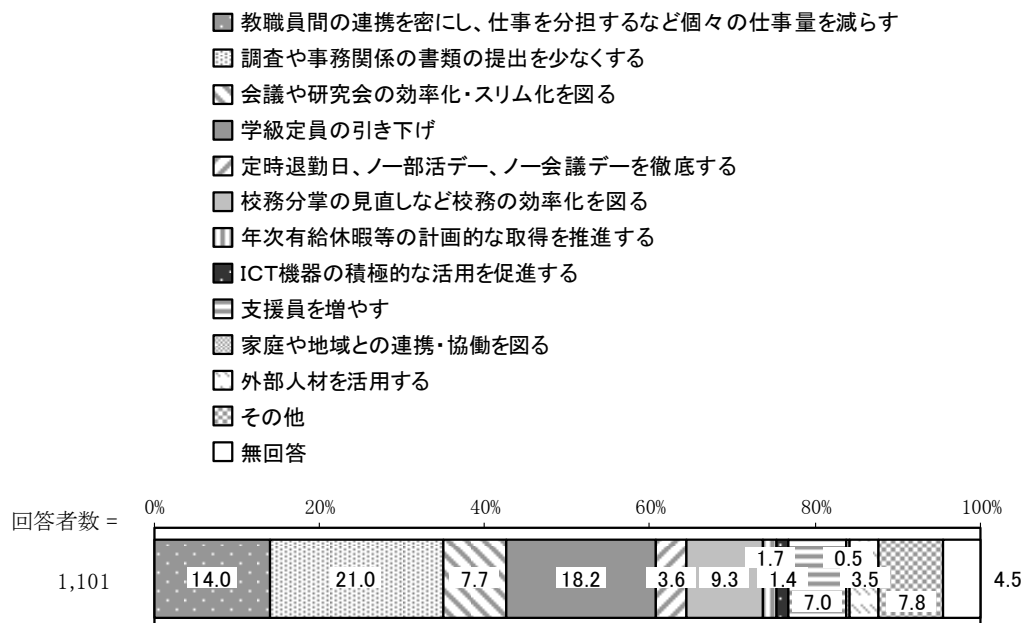
学校種別でみると、他に比べ、保育園で「各種行事」「研究・研修」の割合が、中学校、高等学校で「部活動指導」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	保育・授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	園務・校務分掌	会議・打合せ	事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体対応	授業以外での学習指導	生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他	無回答
保育園	116	16.4	31.9	6.0	8.6	10.3	48.3	20.7	30.2	24.1	1.7	—	2.6	—	—	7.8	12.9
幼稚園	50	22.0	18.0	4.0	6.0	20.0	26.0	8.0	20.0	34.0	—	2.0	6.0	—	—	6.0	18.0
小学校	344	7.0	9.6	3.8	19.8	16.6	38.4	23.0	23.5	28.8	5.5	3.2	15.1	2.3	5.5	4.9	12.8
中学校	261	7.7	13.4	6.9	21.8	16.1	30.3	23.0	22.2	26.4	4.6	3.4	15.7	28.4	3.4	4.2	8.0
高等学校	255	8.6	8.2	10.6	23.9	22.7	40.4	22.0	4.7	18.0	6.3	5.5	20.4	25.1	1.2	3.5	7.8

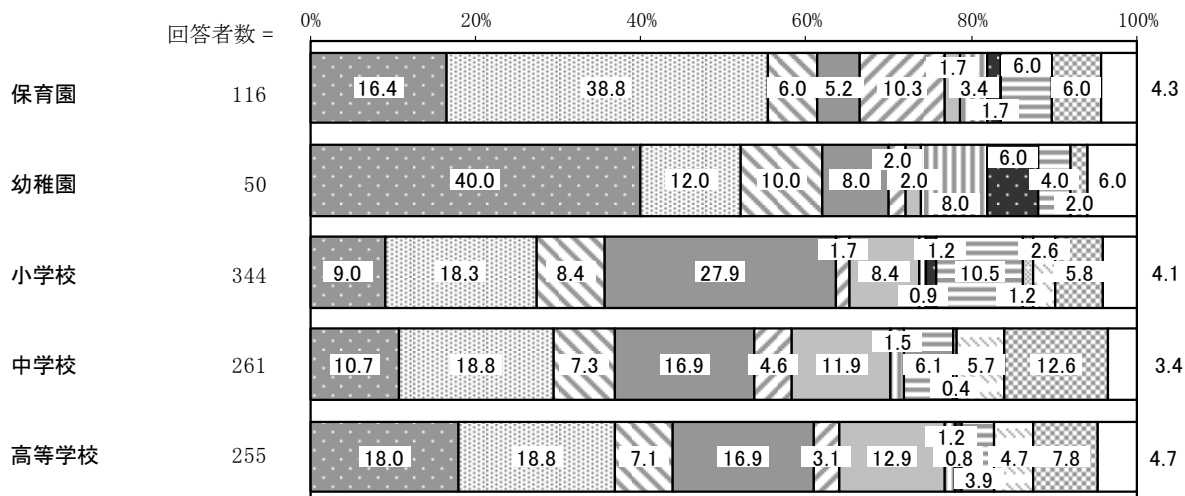
問6 多忙を解消するために必要なことは何だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」の割合が21.0%と最も高く、次いで「学級定員の引き下げ」の割合が18.2%、「教職員間の連携を密にし、仕事を分担するなど個々の仕事を減らす」の割合が14.0%となっています。



【学校種別】

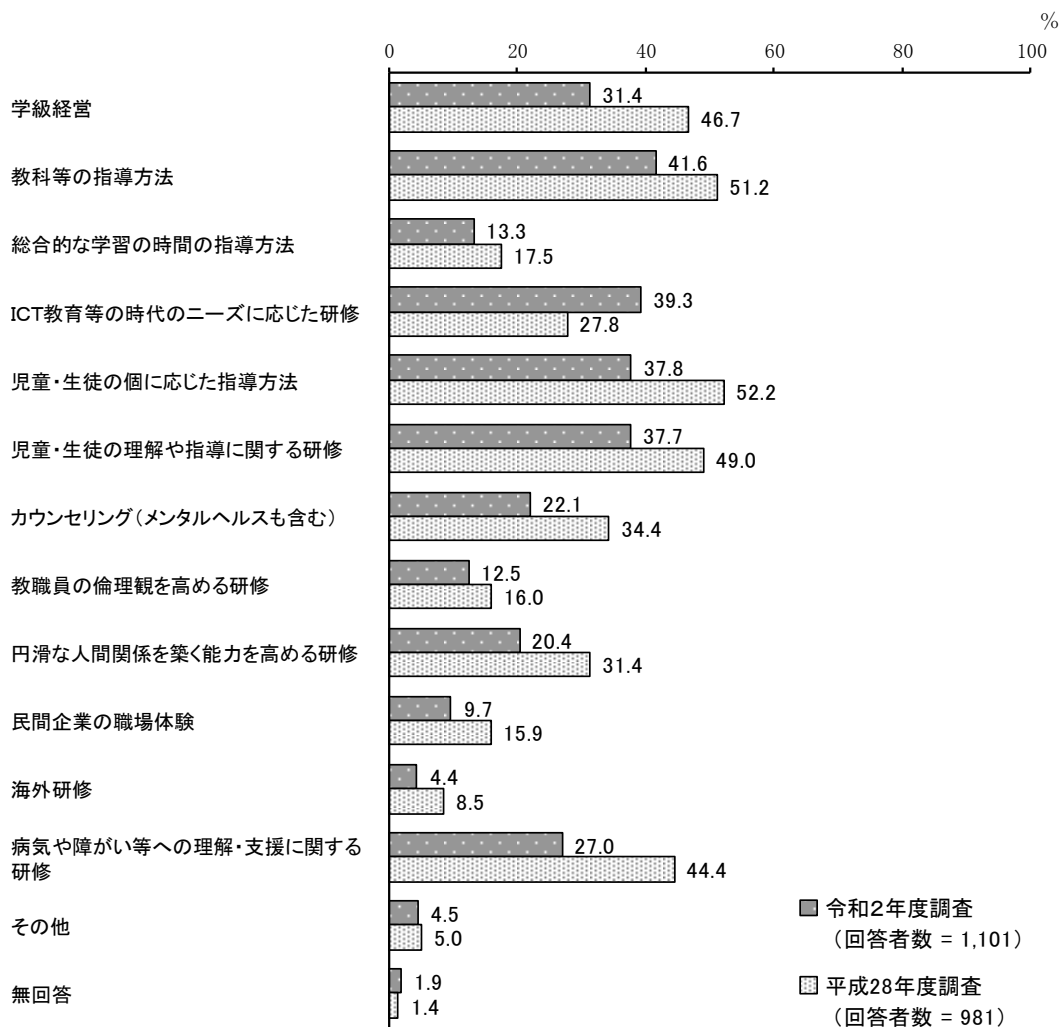
学校種別でみると、他に比べ、保育園で「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」の割合が、幼稚園で「教職員間の連携を密にし、仕事を分担するなど個々の仕事を減らす」の割合が高く、約4割となっています。また、小学校で「学級定員の引き下げ」の割合が高く、約3割となっています。



問7 教職員の資質向上のためにどのような研修が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「教科等の指導方法」の割合が41.6%と最も高く、次いで「ICT教育等の時代のニーズに応じた研修」の割合が39.3%、「児童・生徒の個に応じた指導方法」の割合が37.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「ICT教育等の時代のニーズに応じた研修」の割合が増加しています。一方、「学級経営」「教科等の指導方法」「児童・生徒の個に応じた指導方法」「児童・生徒の理解や指導に関する研修」「カウンセリング(メンタルヘルスも含む)」「円滑な人間関係を築く能力を高める研修」「民間企業の職場体験」「病気や障がい等への理解・支援に関する研修」の割合が減少しています。



【学校種別】

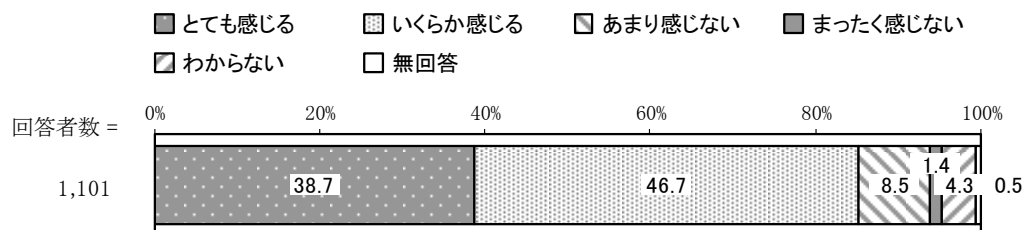
学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で「児童・生徒の個に応じた指導方法」「児童・生徒の理解や指導に関する研修」「カウンセリング(メンタルヘルスも含む)」の割合が高くなっています。また、小学校、中学校で「教科等の指導方法」の割合が高く、約5割となっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	学級経営	教科等の指導方法	総合的な学習の時間の指導方法	ICT教育等の時代のニーズに応じた研修	児童・生徒の個に応じた指導方法	児童・生徒の理解や指導に関する研修	カウンセリング(メンタルヘルスも含む)	教職員の倫理観を高める研修	円滑な人間関係を築く能力を高める研修	民間企業の職場体験	海外研修	病気や障がい等への理解・支援に関する研修	その他	無回答
保育園	116	30.2	6.9	0.9	16.4	44.8	37.1	24.1	10.3	25.9	5.2	1.7	31.0	0.9	1.7
幼稚園	50	40.0	16.0	10.0	18.0	56.0	64.0	38.0	14.0	26.0	10.0	2.0	38.0	4.0	—
小学校	344	39.0	50.0	15.4	43.9	41.6	39.2	16.9	11.3	19.8	9.6	4.1	26.5	4.1	1.5
中学校	261	28.7	52.1	14.9	46.7	36.4	40.2	20.3	14.9	20.7	11.5	5.0	23.4	7.3	1.1
高等学校	255	23.9	43.5	16.9	43.5	27.1	26.7	27.5	12.5	20.0	9.4	7.1	21.6	3.5	2.0

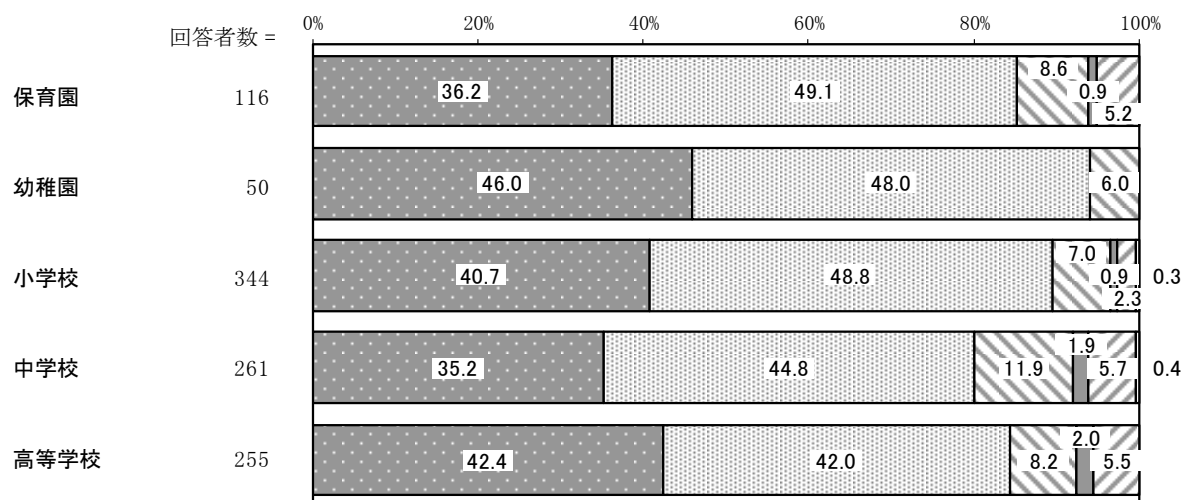
問8 あなたは松本市に親しみや愛着を感じますか。

「とても感じる」と「いくらか感じる」をあわせた“感じる”の割合が85.4%、「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“感じない”の割合が9.9%となっています。



【学校種別】

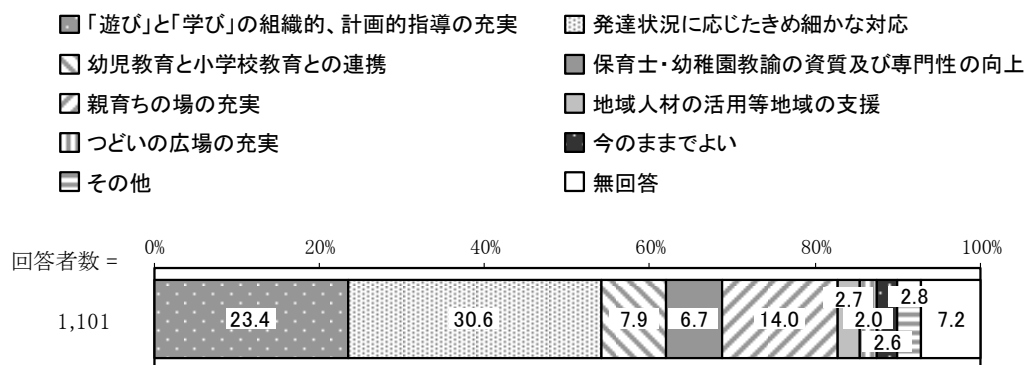
学校種別でみると、他に比べ、中学校で“感じる”の割合が低く、約8割となっています。



（２）子どもの教育について

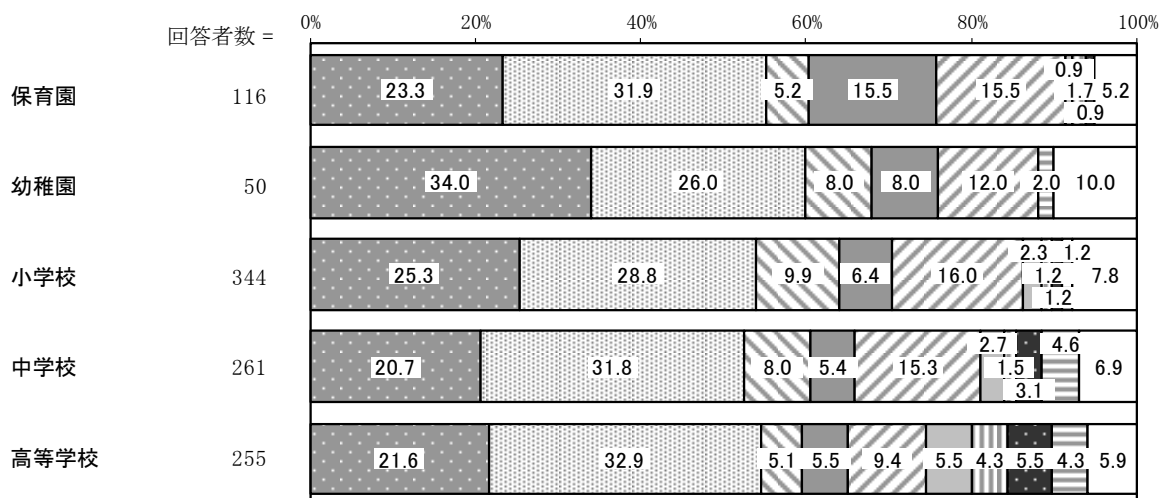
問9 幼児教育の充実には、どのような取り組みが必要だと思いますか。

「発達状況に応じたきめ細かな対応」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「遊び」と「学び」の組織的、計画的指導の充実」の割合が 23.4%、「親育ちの場の充実」の割合が 14.0%となっています。



【学校種別】

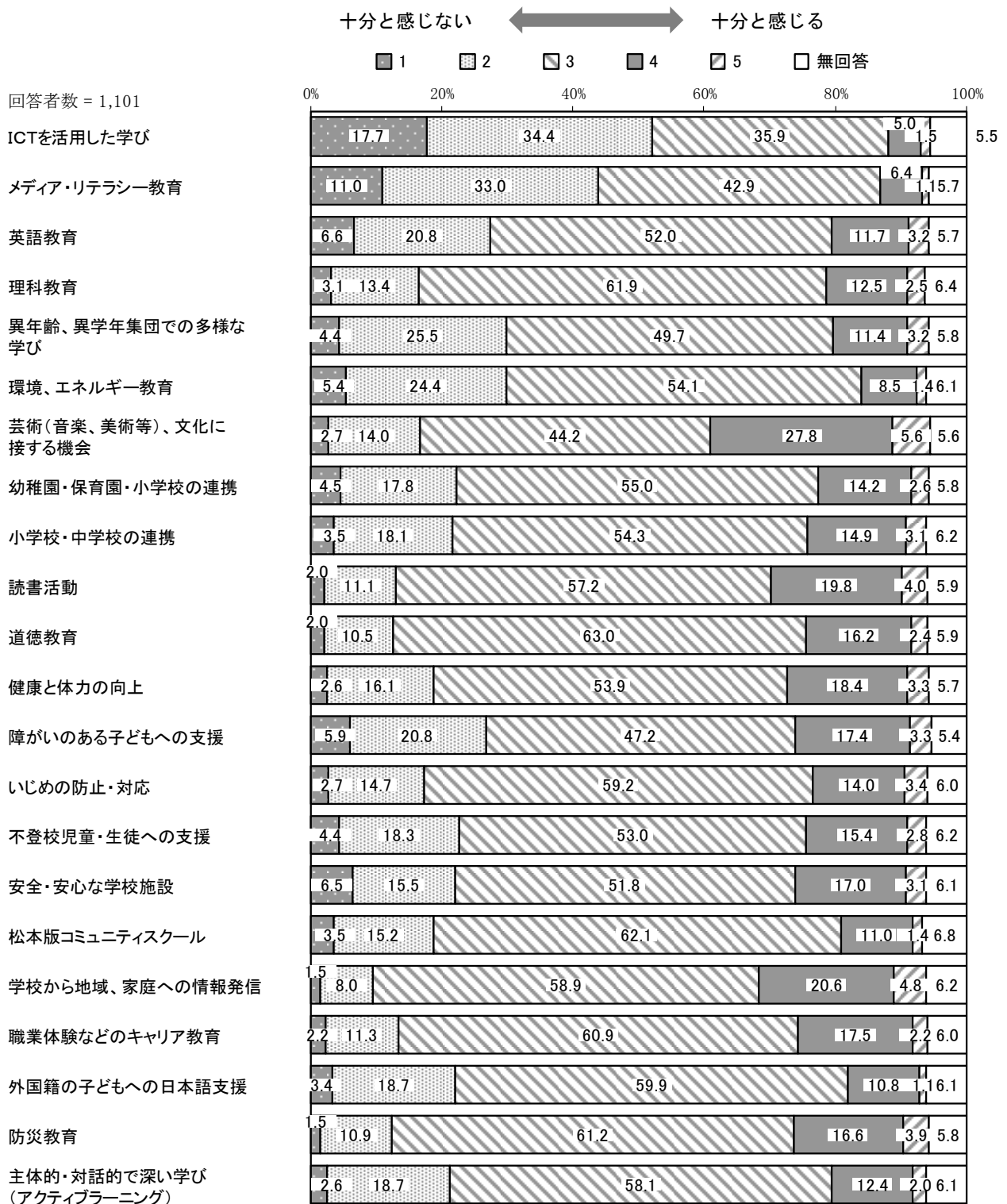
学校種別でみると、他に比べ、保育園で「保育士・幼稚園教諭の資質及び専門性の向上」の割合が高く、1割半ばとなっています。



問 10 松本市の教育について「現在の状況」と「今後の重要度」について、それぞれ5段階であなたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで○をつけてください。

1. 現在の状況

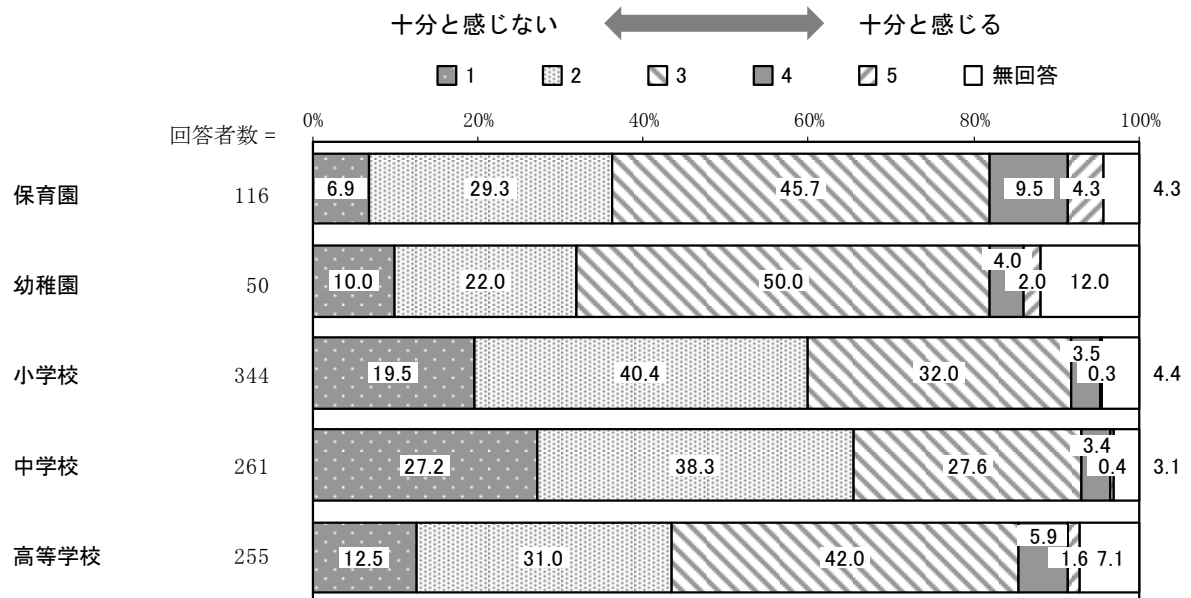
『ICTを活用した学び』で、「1」と「2」をあわせた“十分と感じない”の割合が高く、約5割となっています。また、『芸術（音楽、美術等）、文化に接する機会』で「4」と「5」をあわせた“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。



【学校種別】

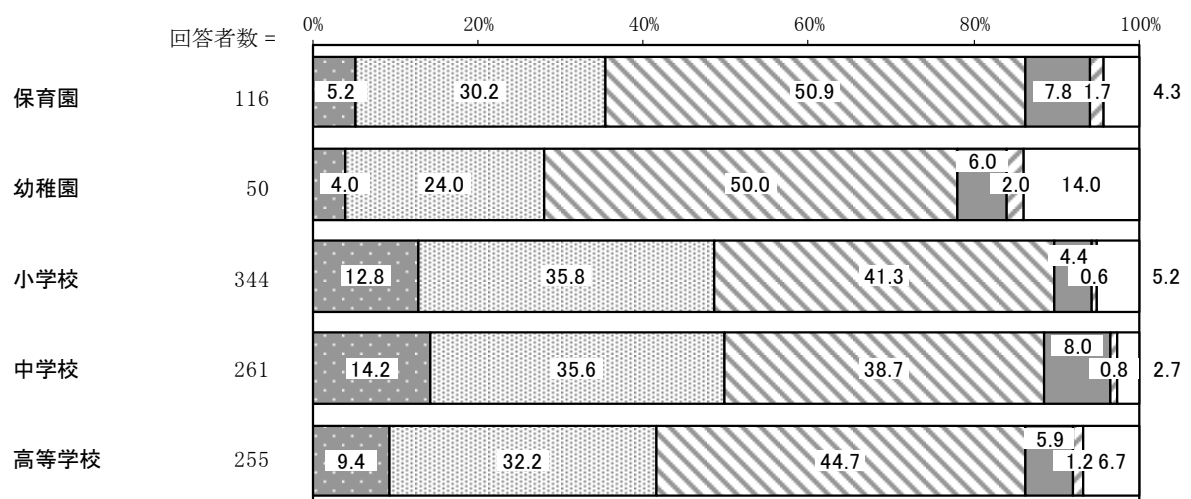
① ICTを活用した学び

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“十分と感じない”の割合が高く、6割半ばとなっています。また、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、1割を超えています。



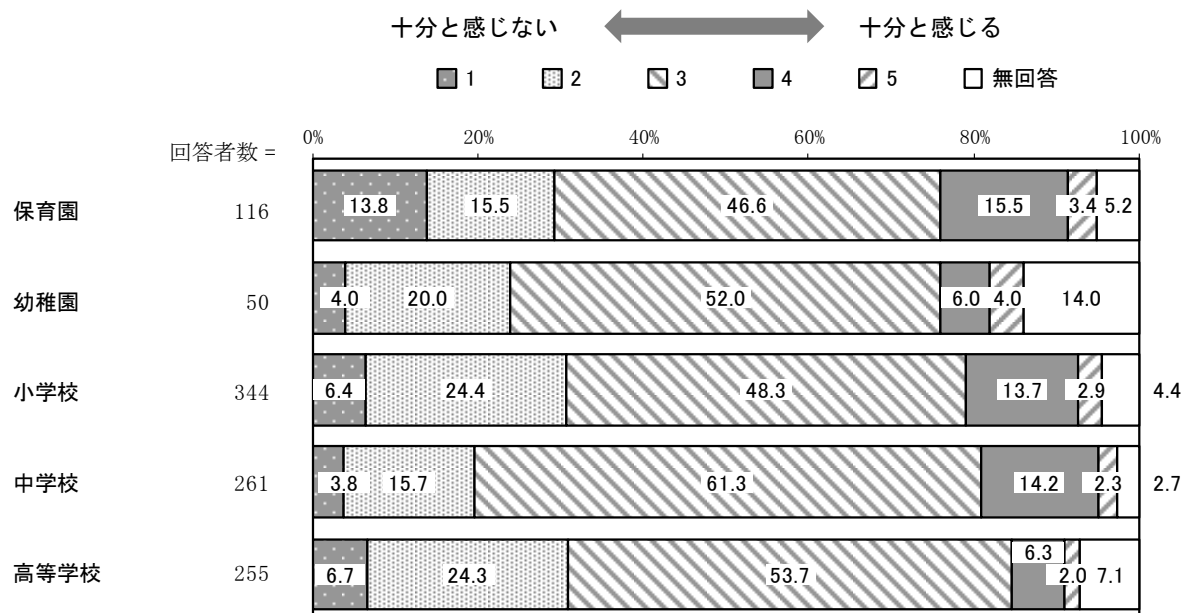
② メディア・リテラシー教育

学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で“十分と感じない”の割合が低く、約3割となっています。



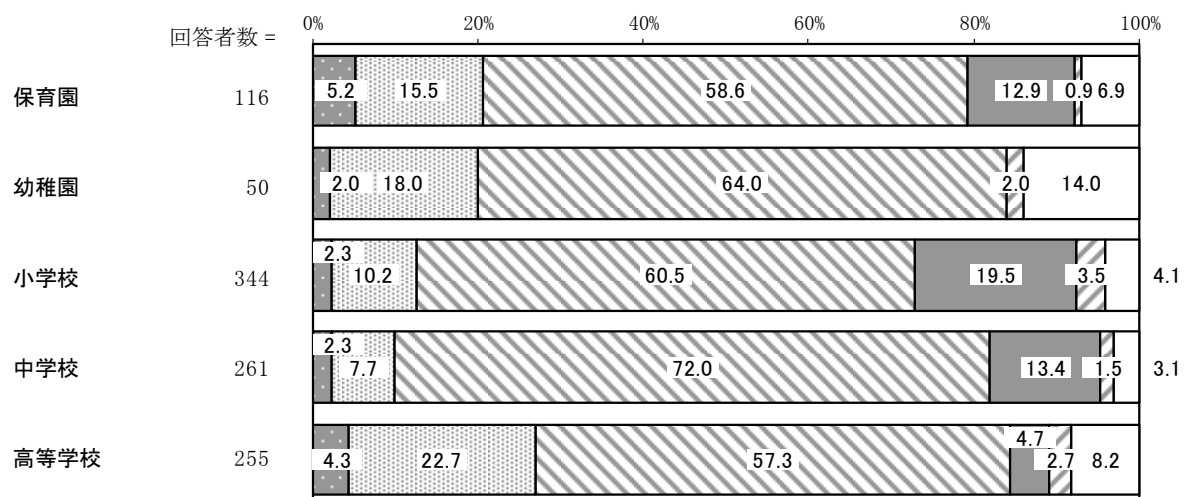
③英語教育

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“十分と感じない”の割合が低く、約2割となっています。



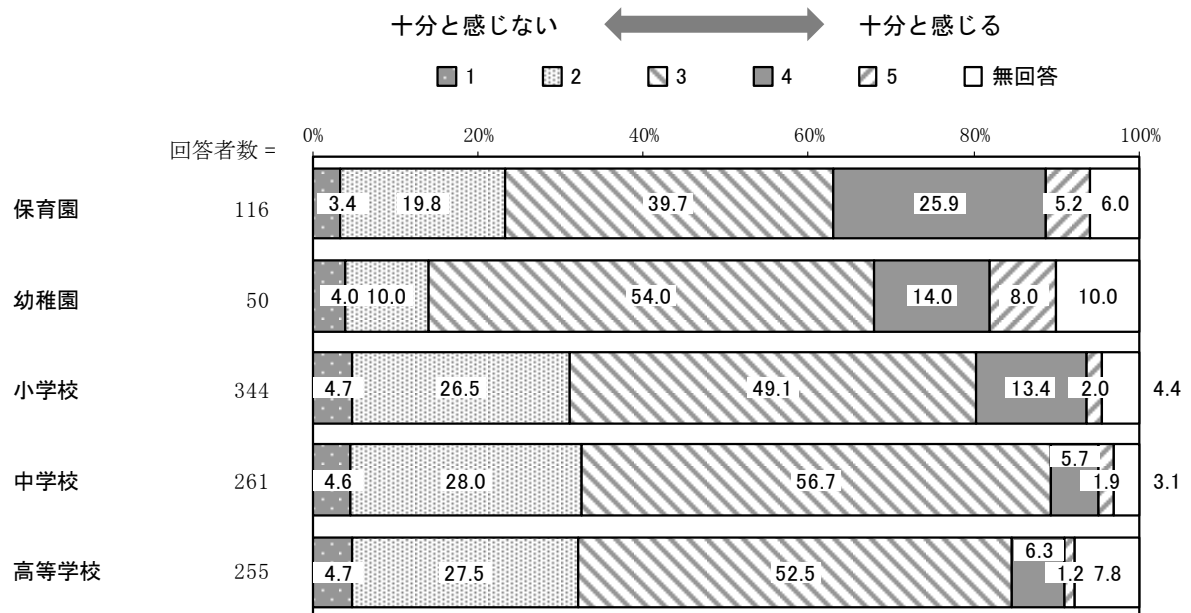
④理科教育

学校種別でみると、他に比べ、高等学校で“十分と感じない”の割合が高く、約3割となっています。また、小学校で“十分と感じる”の割合が高く、約2割となっています。



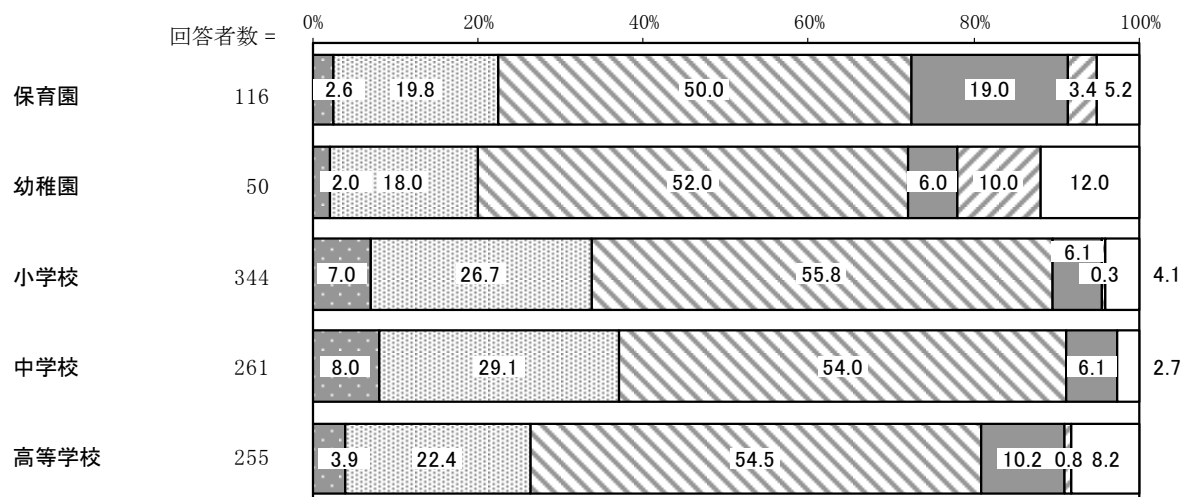
⑤異年齢、異学年集団での多様な学び

学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で“十分と感じない”の割合が低く、1割半ばとなっています。また、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。



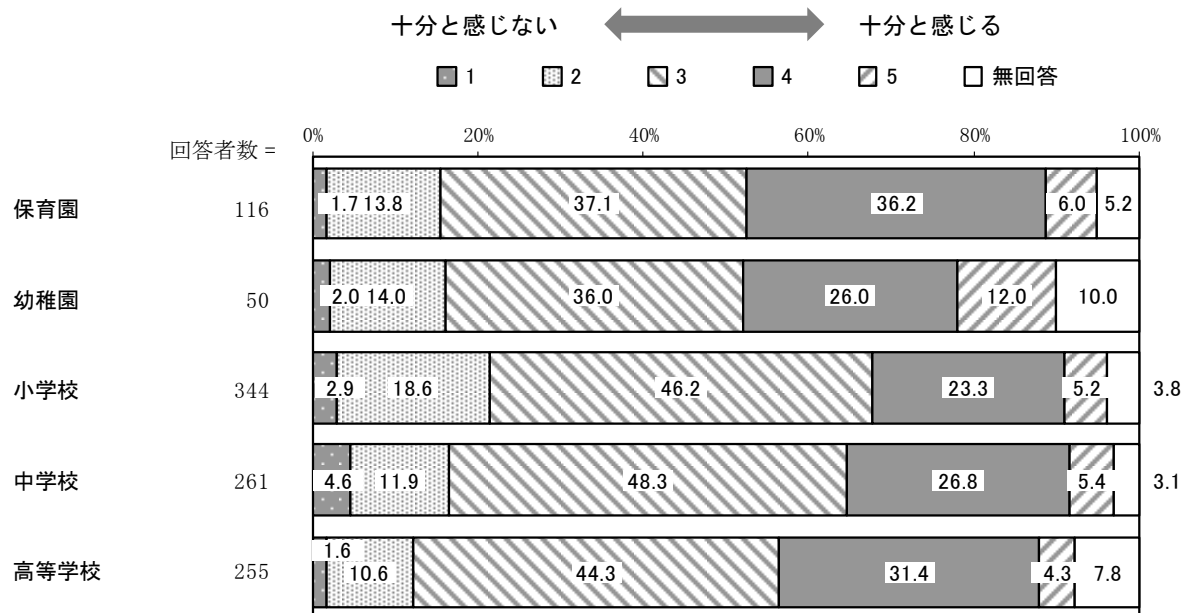
⑥環境、エネルギー教育

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“十分と感じない”の割合が高く、約4割となっています。また、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、約2割となっています。



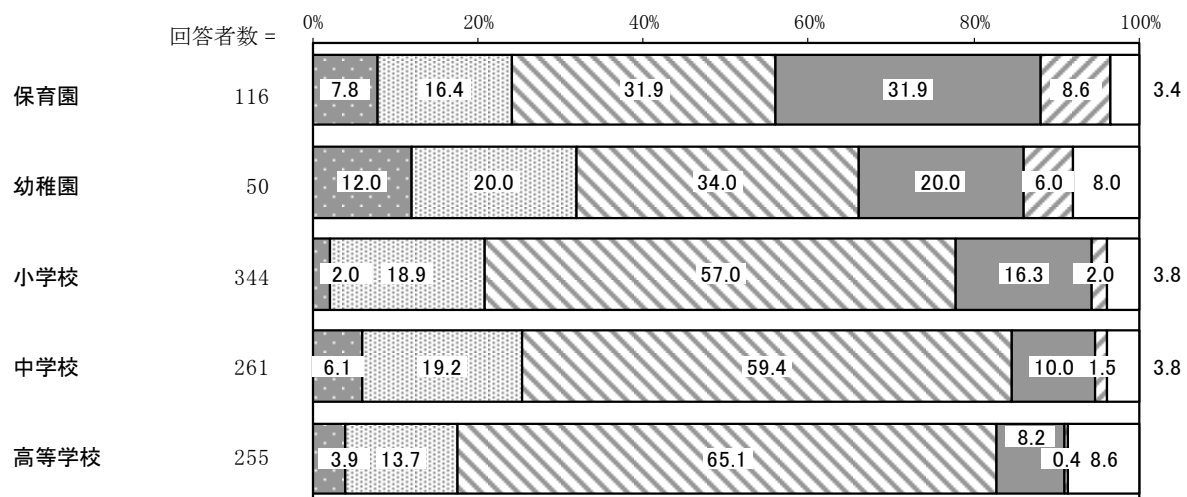
⑦芸術（音楽、美術等）、文化に接する機会

学校種別でみると、他に比べ、小学校で“十分と感じない”の割合が高く、約2割となっています。また、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、約4割となっています。



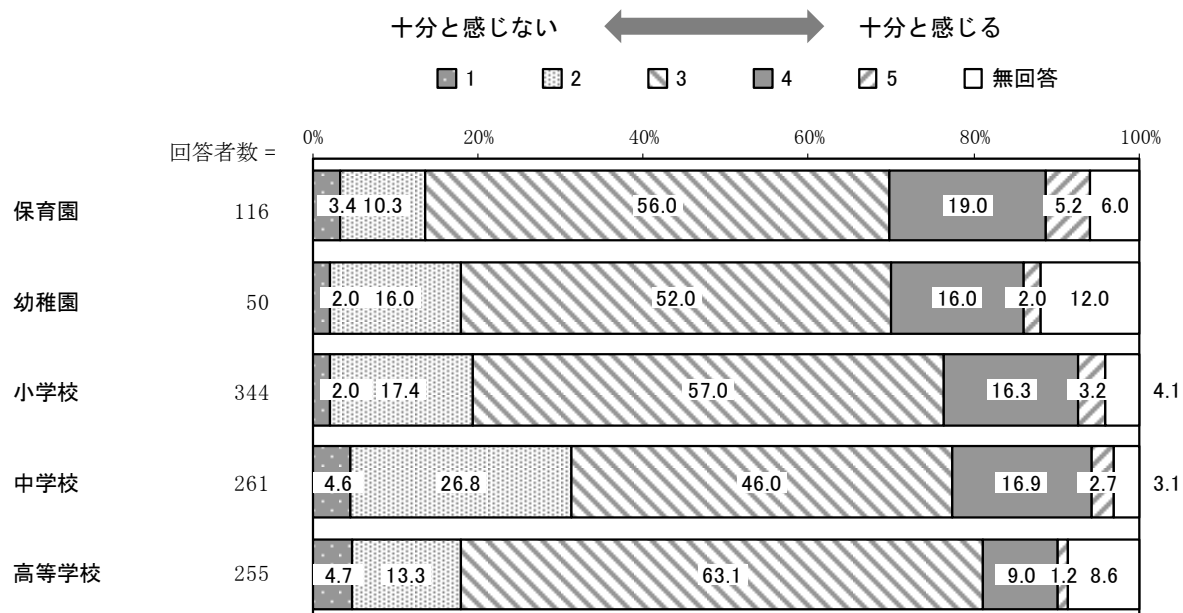
⑧幼稚園・保育園・小学校の連携

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、約4割となっています。



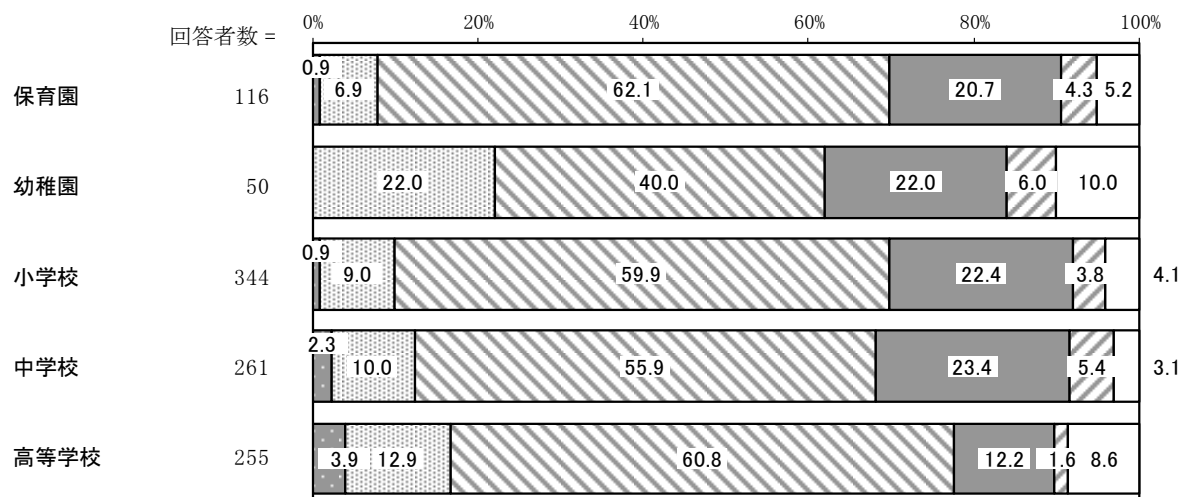
⑨小学校・中学校の連携

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“十分と感じない”の割合が高く、約3割となっています。



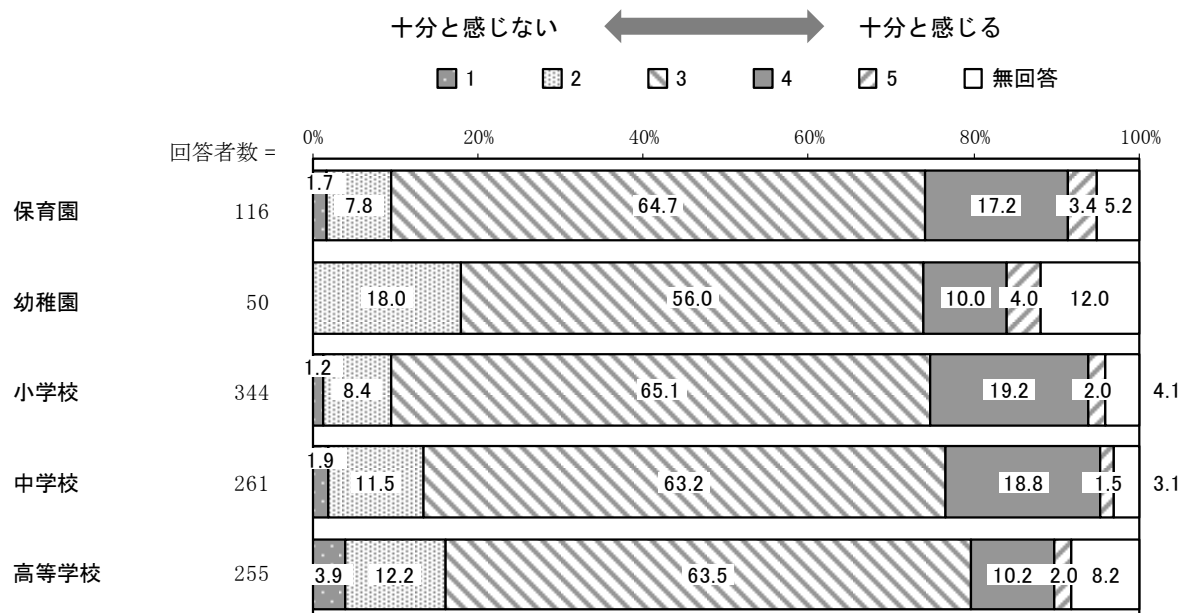
⑩読書活動

学校種別でみると、他に比べ、高等学校で“十分と感じる”の割合が低く、1割半ばとなっています。



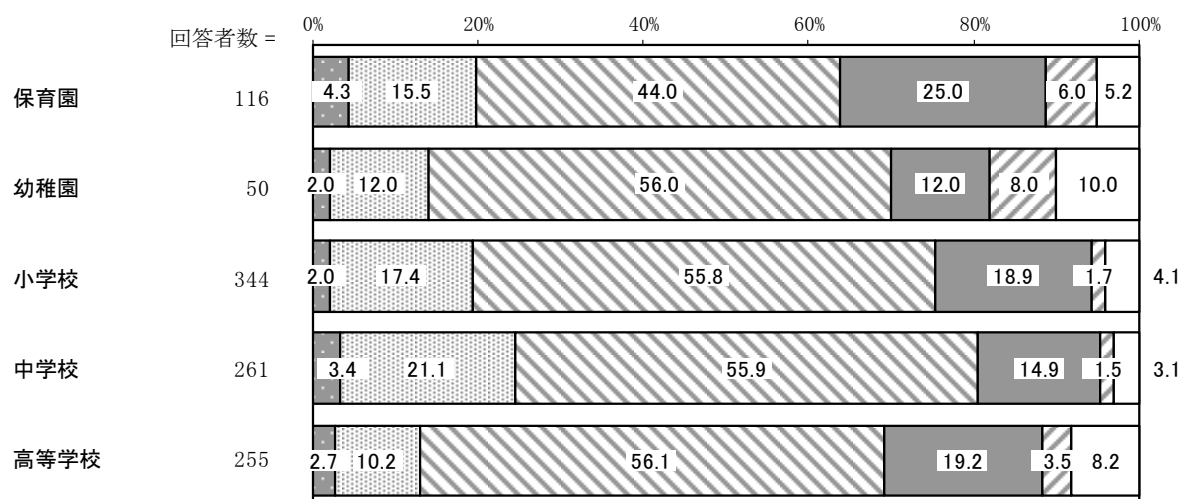
⑪道徳教育

学校種別でみると、他に比べ、高等学校で“十分と感じる”の割合が低く、約1割となっています。



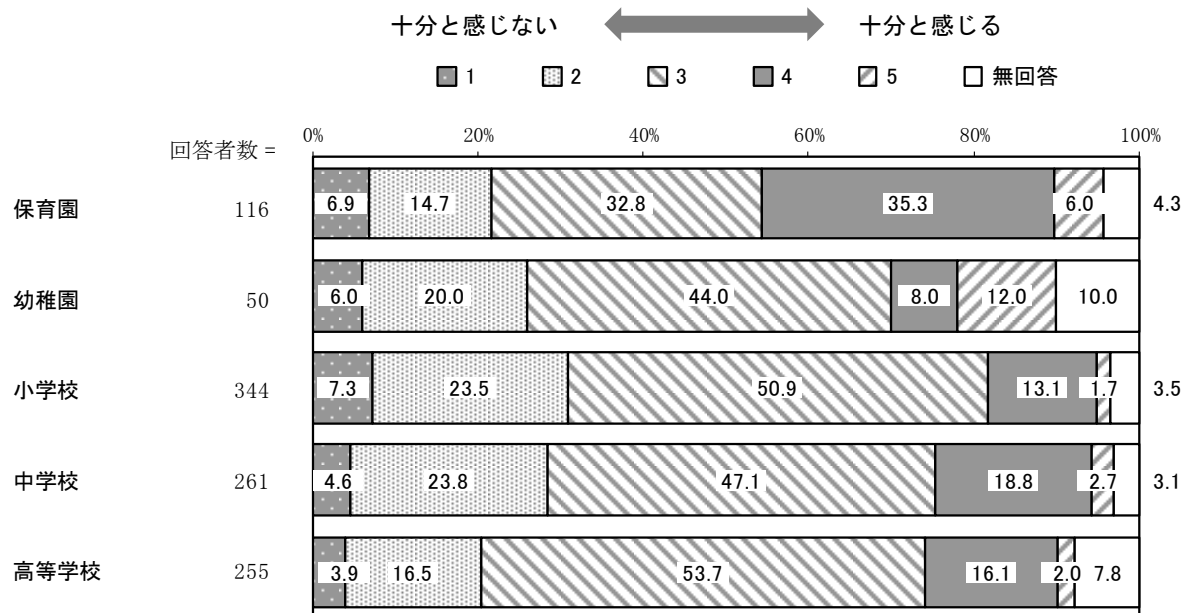
⑫健康と体力の向上

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“十分と感じない”の割合が高く、2割半ばとなっています。また、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。



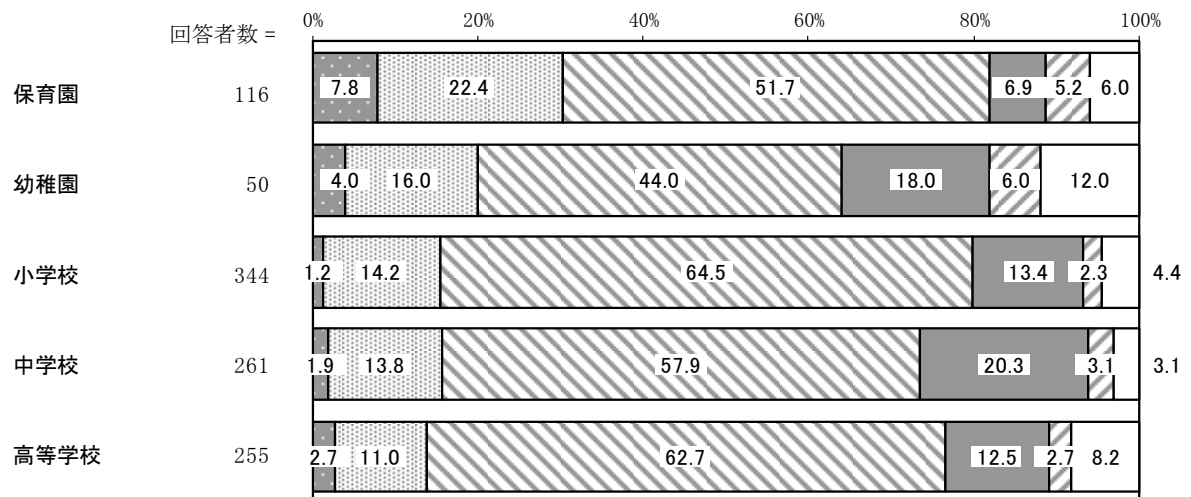
⑬障がいのある子どもへの支援

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、約４割となっています。



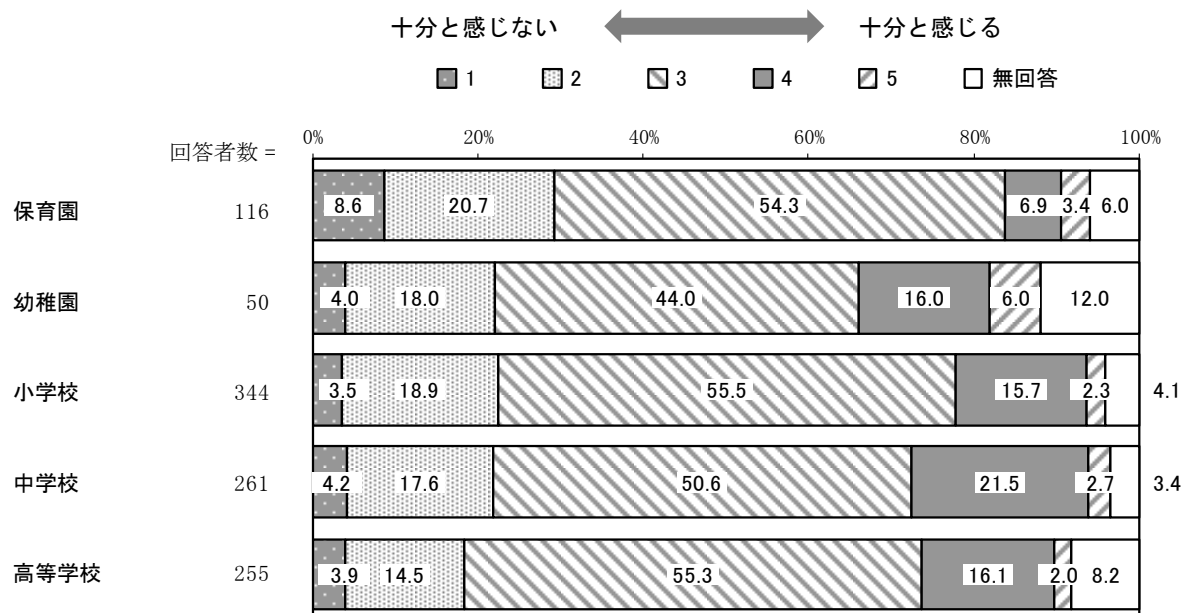
⑭いじめの防止・対応

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“十分と感じない”の割合が高く、約３割となっています。



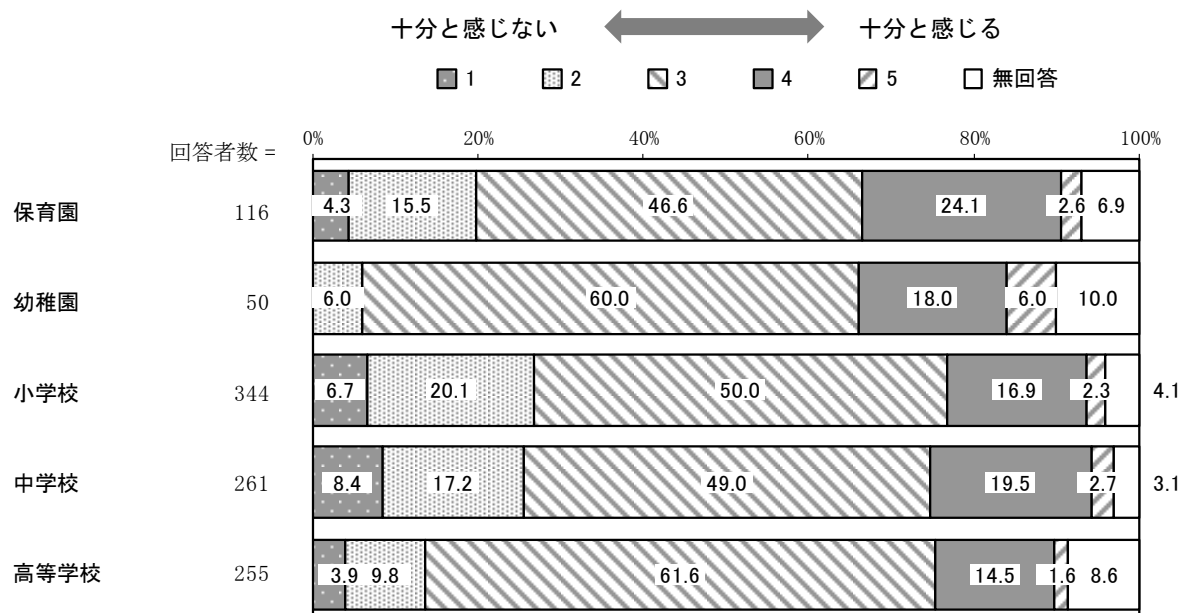
⑮不登校児童・生徒への支援

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“十分と感じる”の割合が高く、2割半ばとなっています。



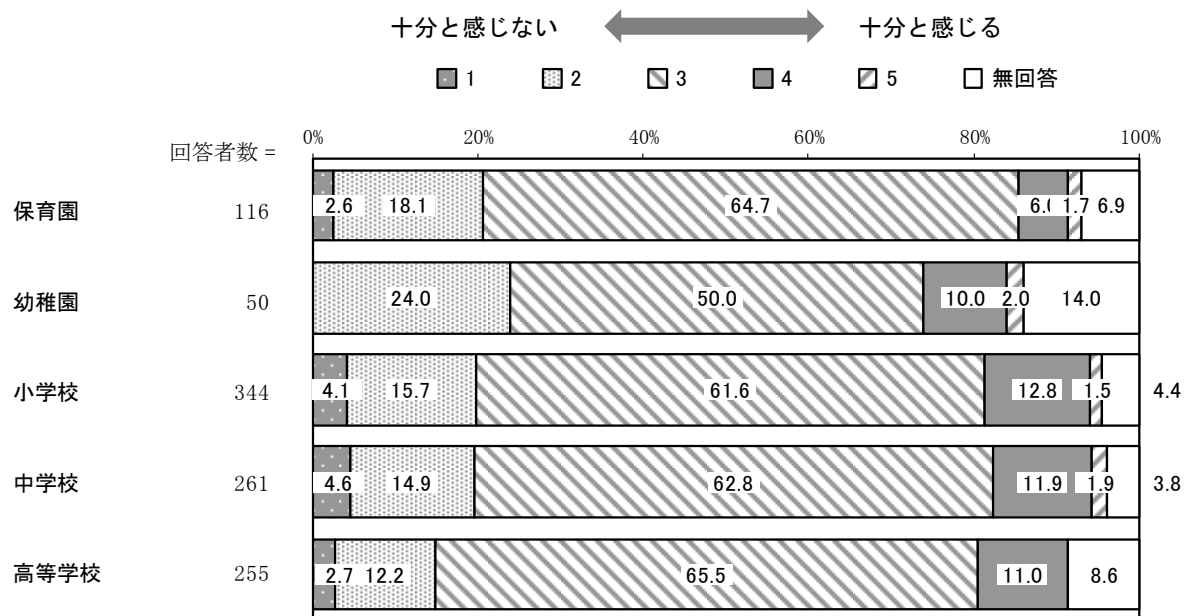
⑯安全・安心な学校施設

学校種別でみると、他に比べ、小学校で“十分と感じない”の割合が高く、2割半ばとなっています。



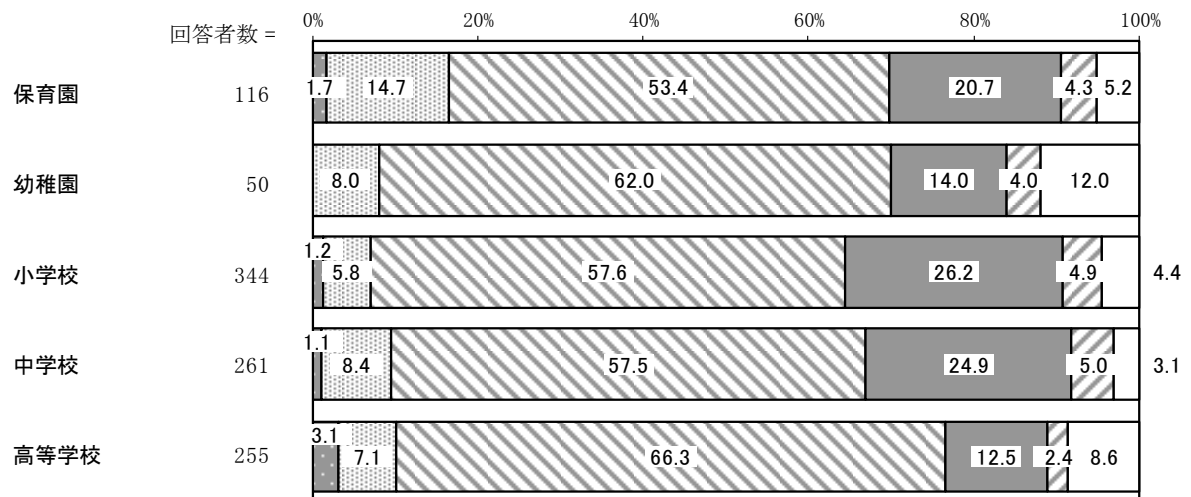
⑰松本版コミュニティスクール

学校種別でみると、大きな差異はみられません。



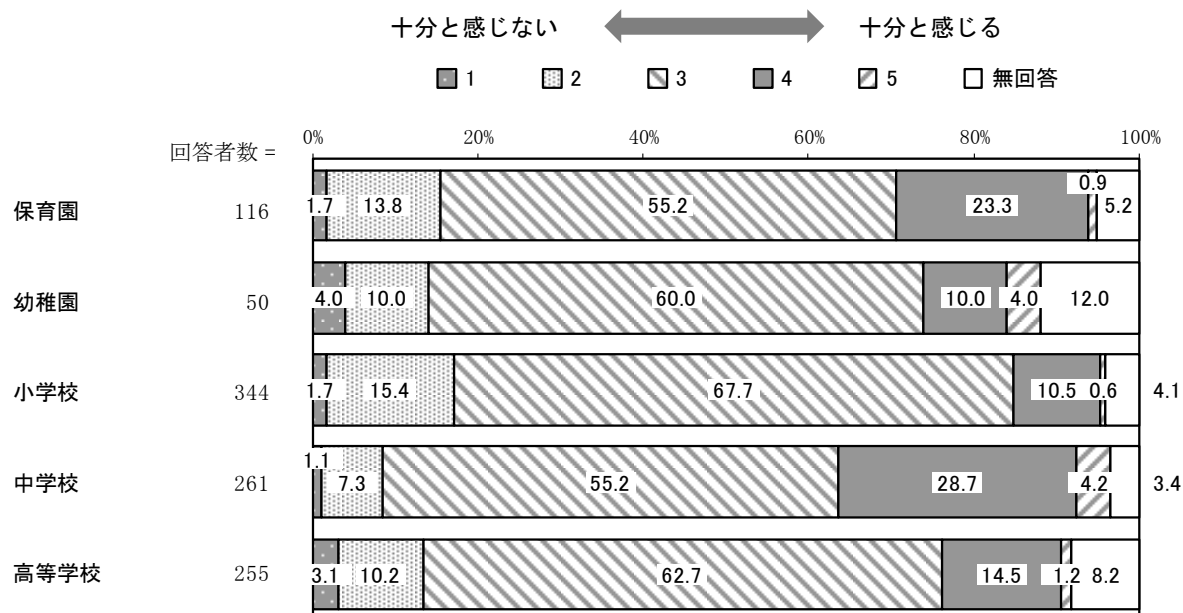
⑱学校から地域、家庭への情報発信

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“十分と感じない”の割合が高く、1割半ばとなっています。また、小学校で“十分と感じる”の割合が高く、3割を超えています。



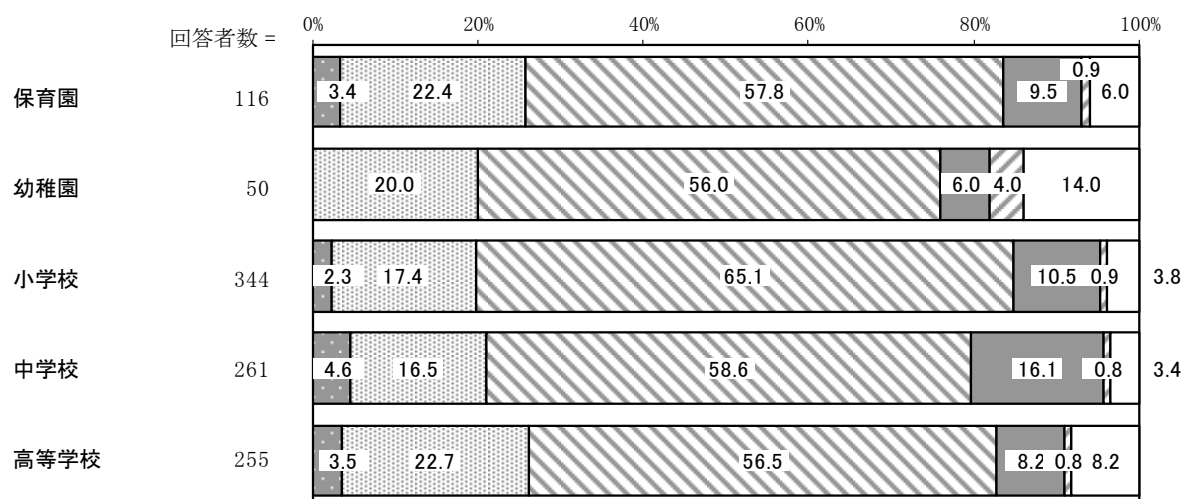
⑱職業体験などのキャリア教育

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。



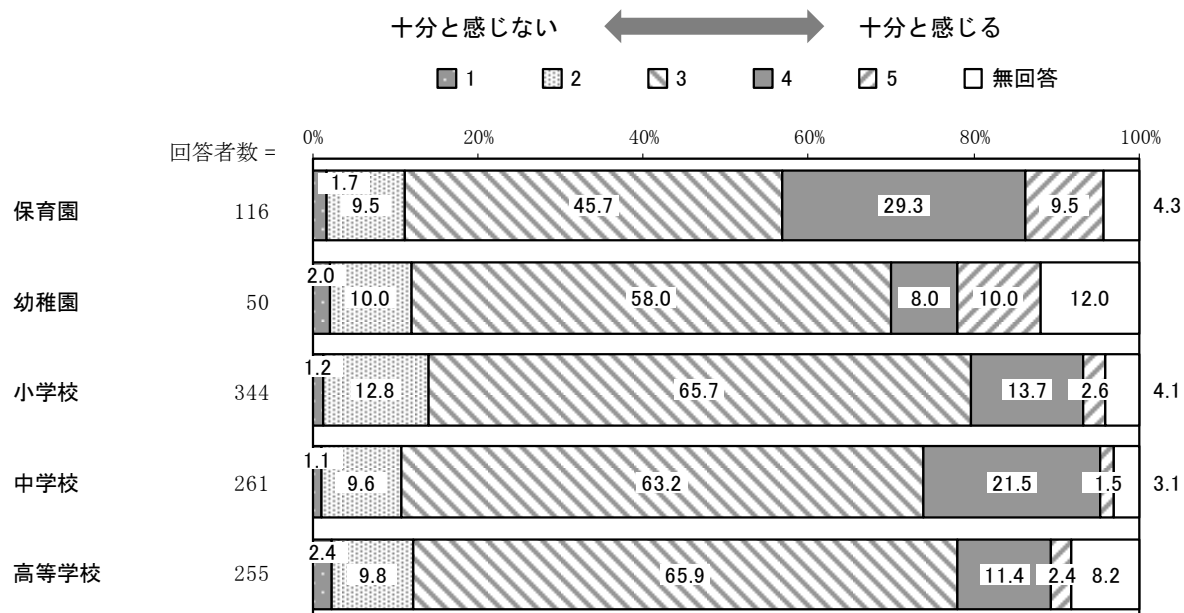
⑳外国籍の子どもへの日本語支援

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“十分と感じる”の割合が高く、1割半ばとなっています。



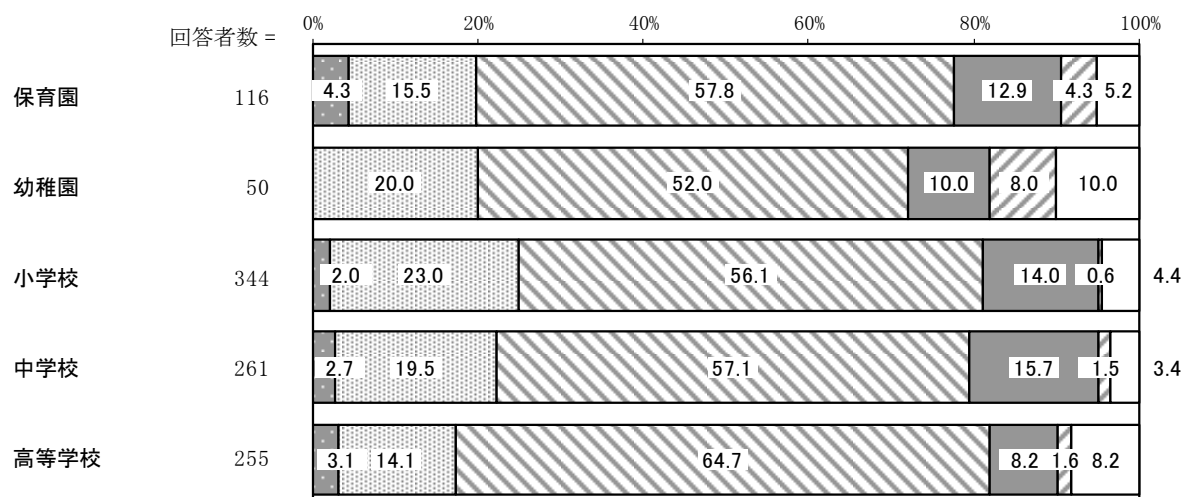
⑪防災教育

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“十分と感じる”の割合が高く、約4割となっています。



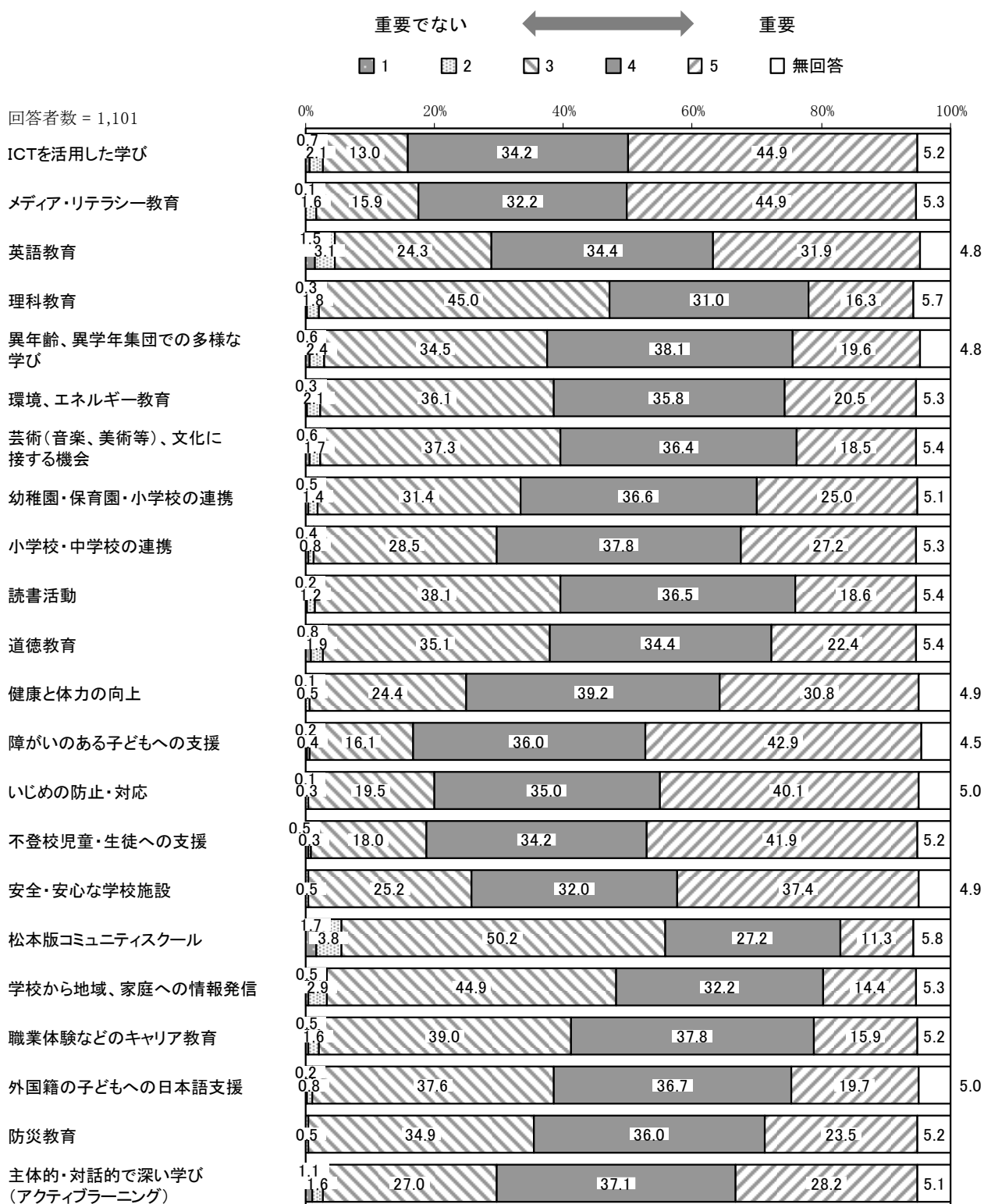
⑫主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）

学校種別でみると、他に比べ、高等学校で“十分と感じる”の割合が低く、約1割となっています。



2. 今後の重要度

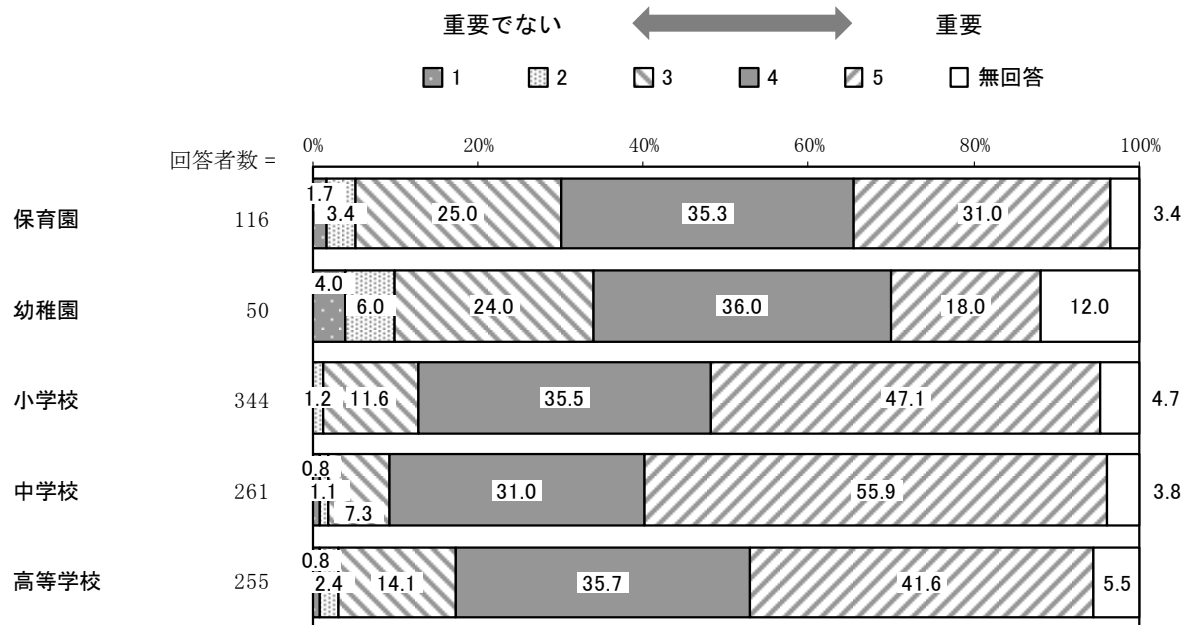
『ICTを活用した学び』『メディア・リテラシー教育』『障がいのある子どもへの支援』で「4」と「5」をあわせた“重要”の割合が高く、約8割となっています。また、『松本版コミュニティスクール』で“重要”の割合が低く、約4割となっています。



【学校種別】

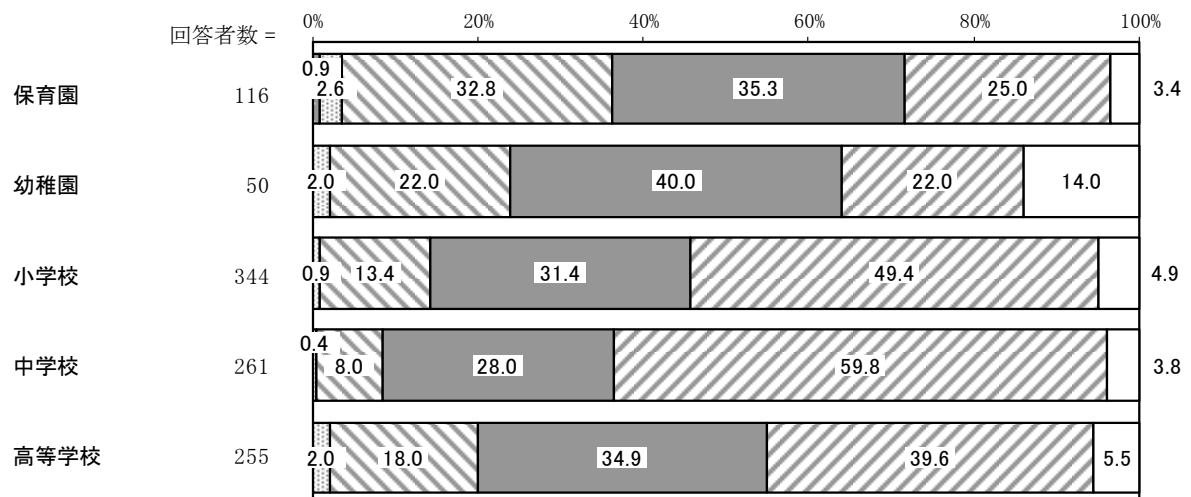
① ICTを活用した学び

学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で“重要でない”の割合が高く、1割となっています。また、中学校で“重要”の割合が高く、8割半ばとなっています。



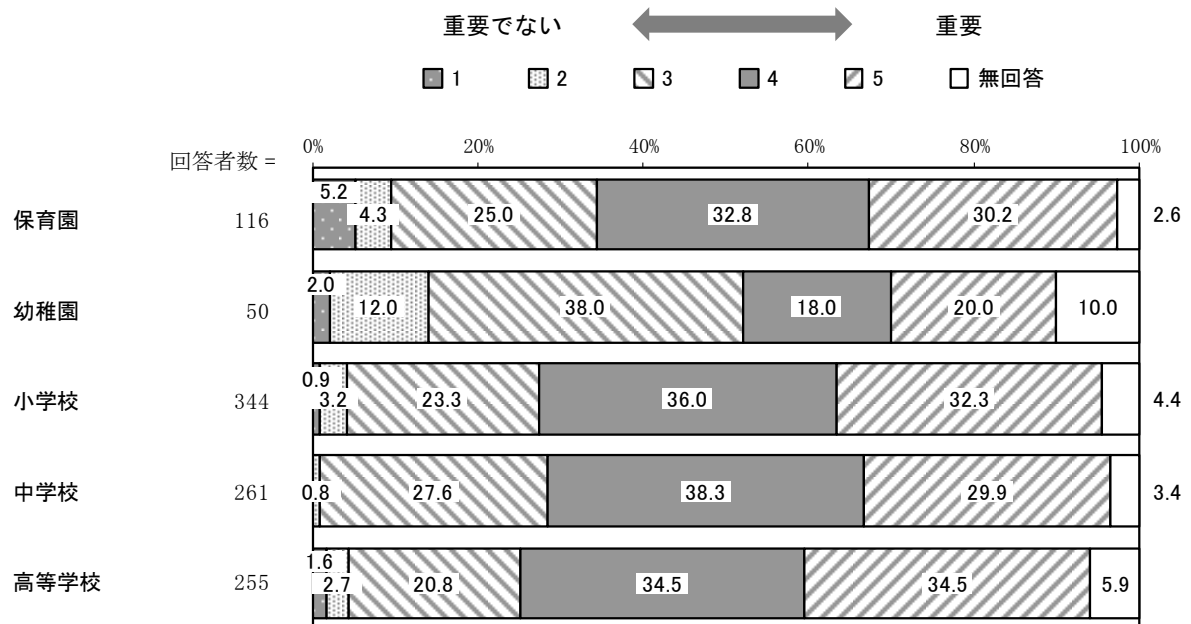
② メディア・リテラシー教育

学校種別でみると、他に比べ、中学校で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



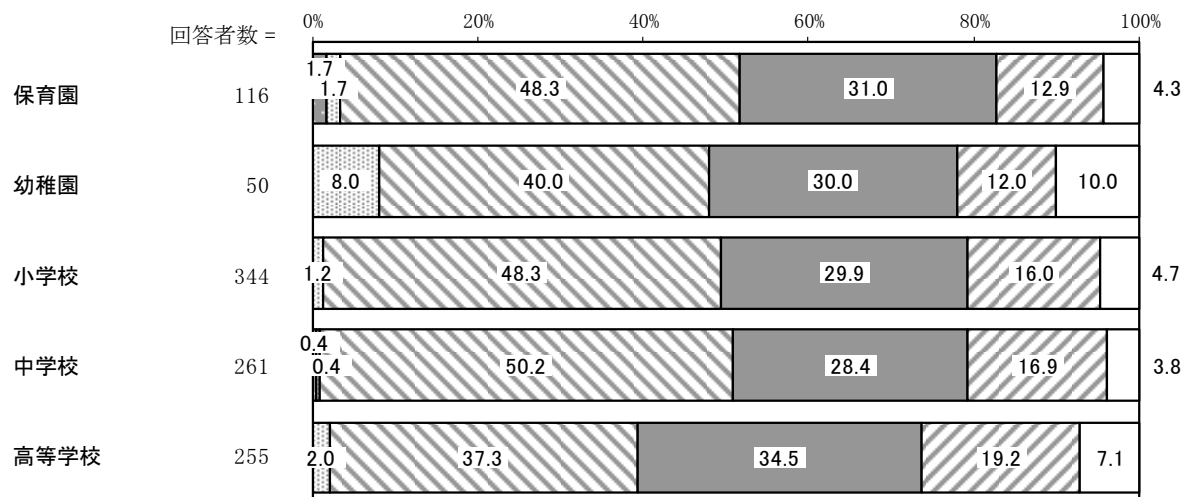
③英語教育

学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で“重要でない”の割合が高く、1割半ばとなっています。



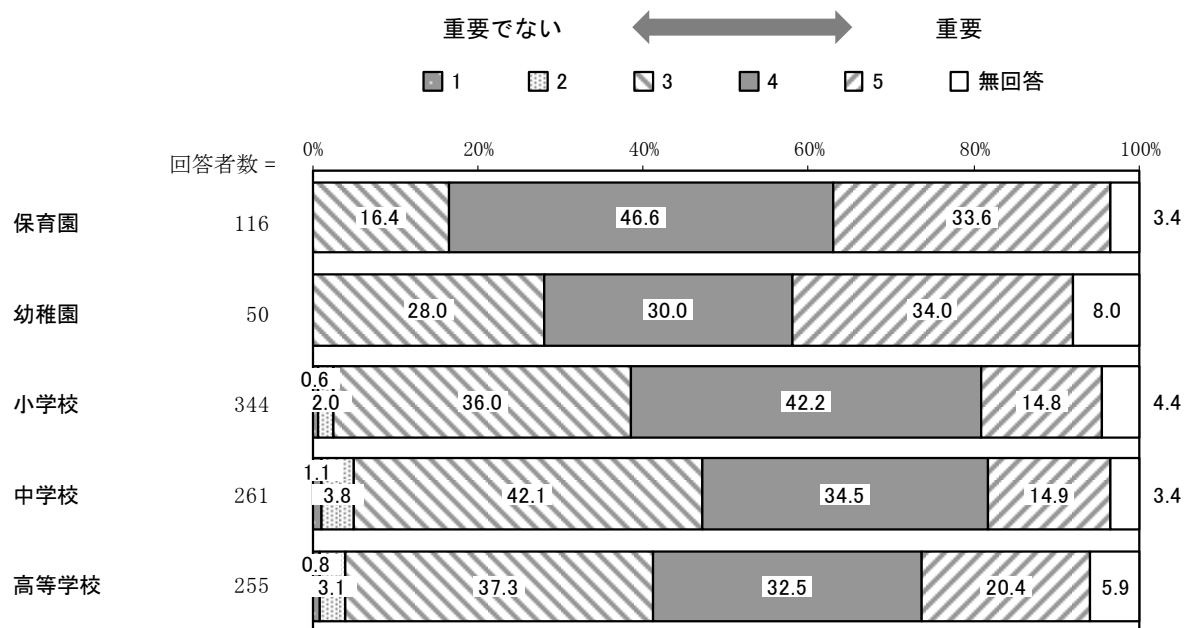
④理科教育

学校種別でみると、他に比べ、高等学校で“重要”の割合が高く、約5割となっています。



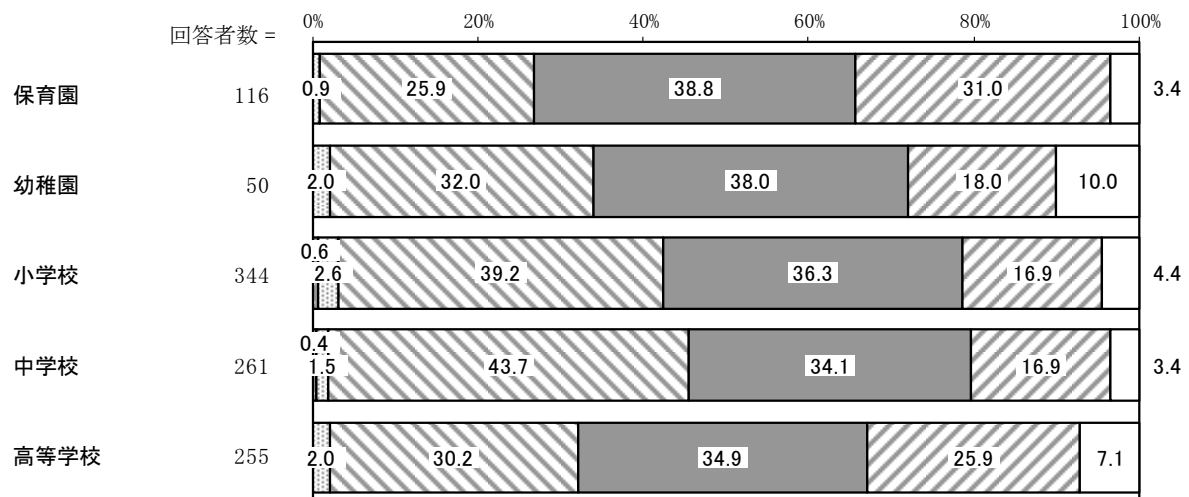
⑤異年齢、異学年集団での多様な学び

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



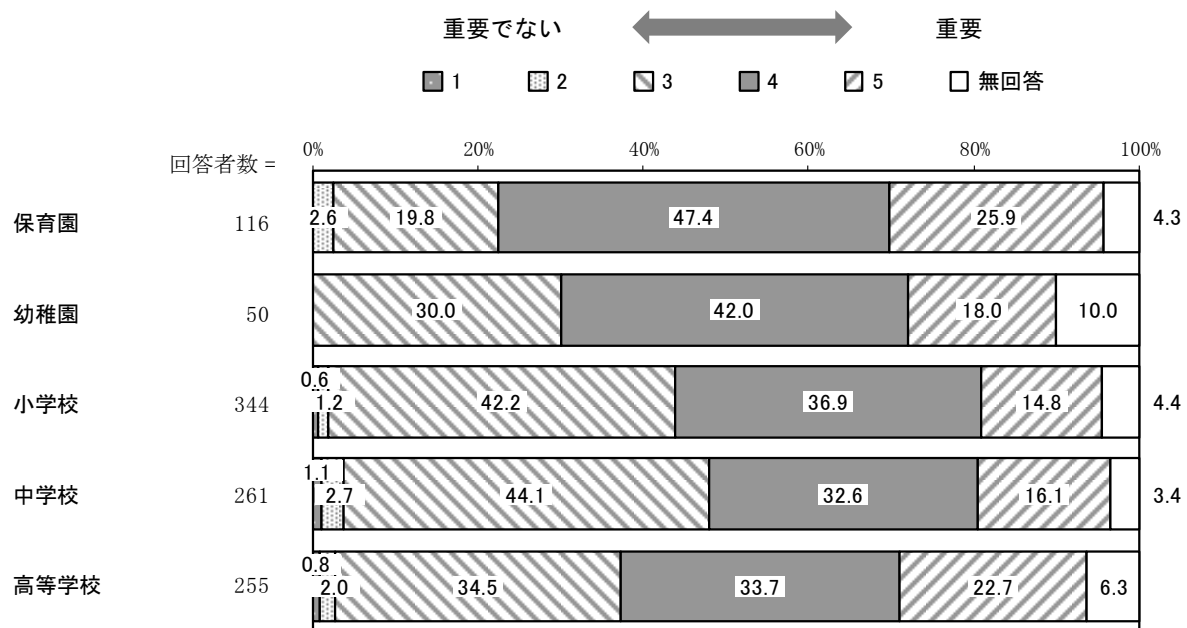
⑥環境、エネルギー教育

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



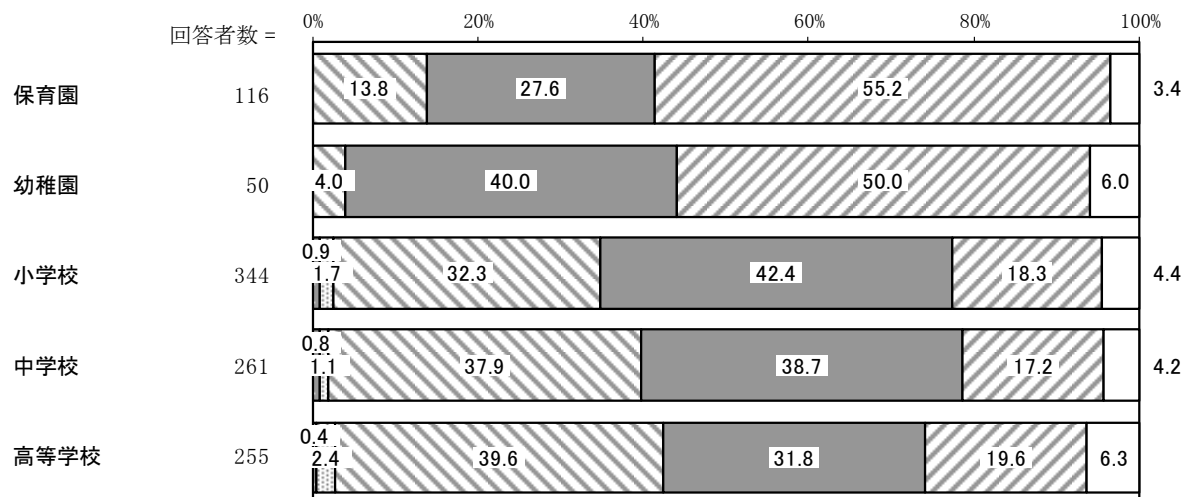
⑦芸術（音楽、美術等）、文化に接する機会

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



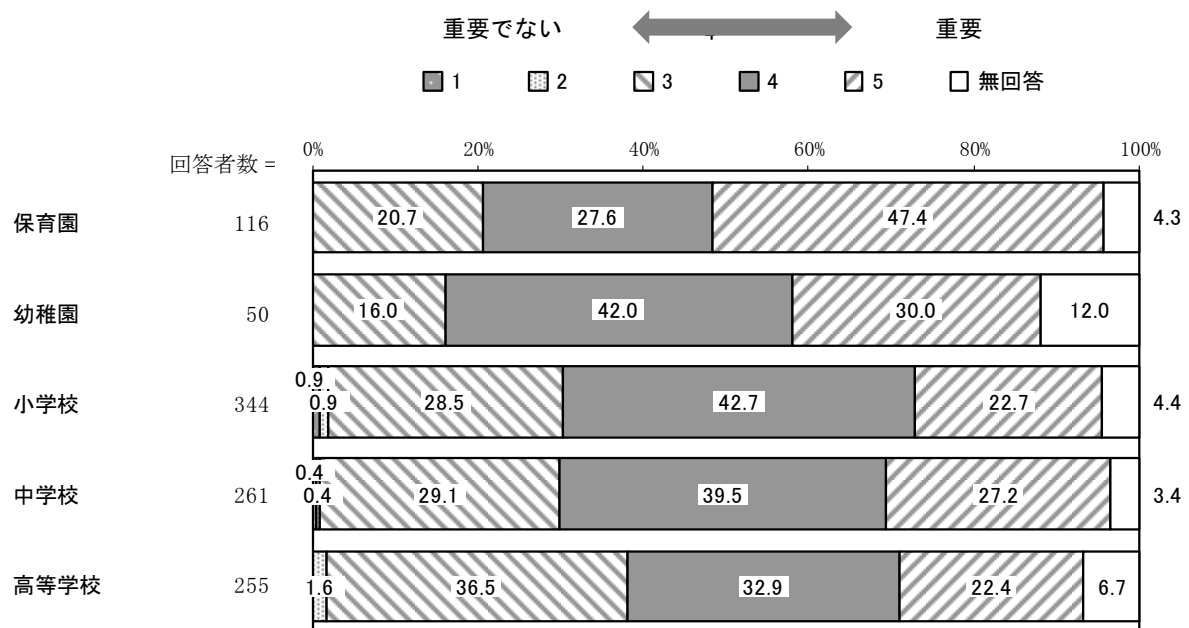
⑧幼稚園・保育園・小学校の連携

学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で“重要”の割合が高く、9割となっています。



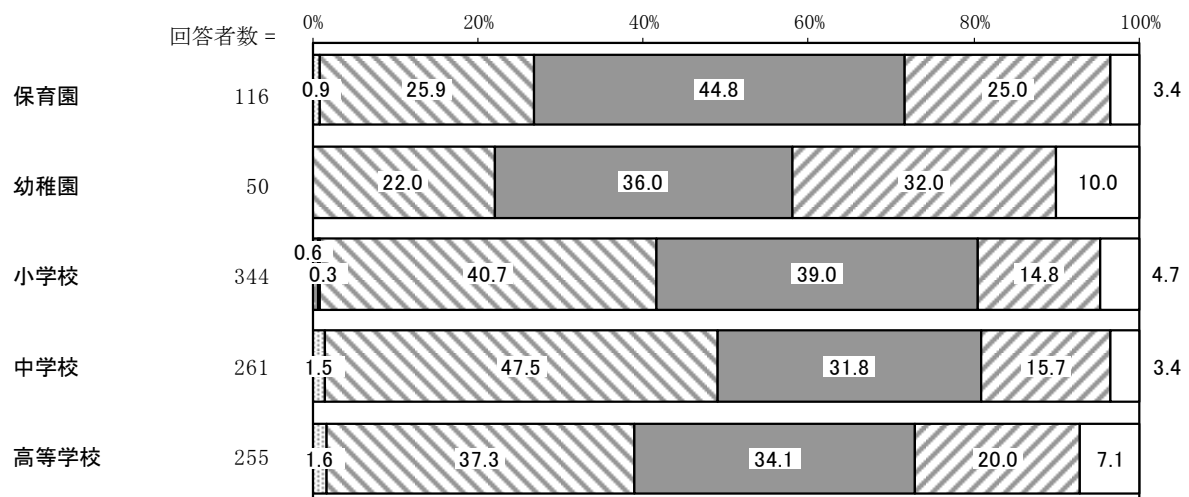
⑨小学校・中学校の連携

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、7割半ばとなっています。



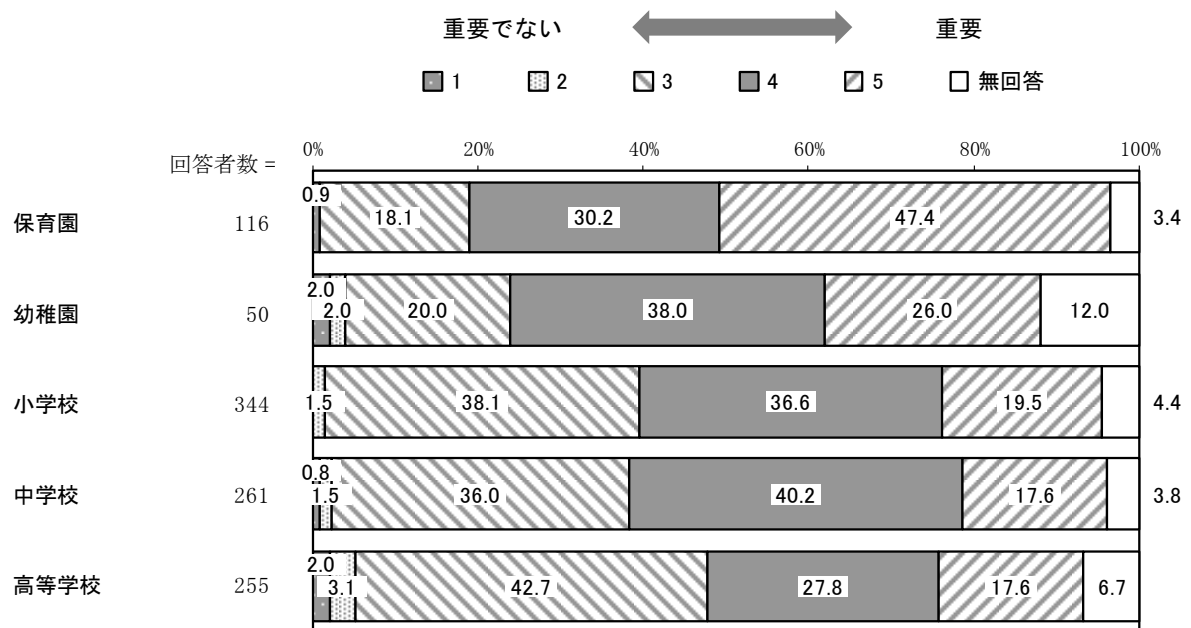
⑩読書活動

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



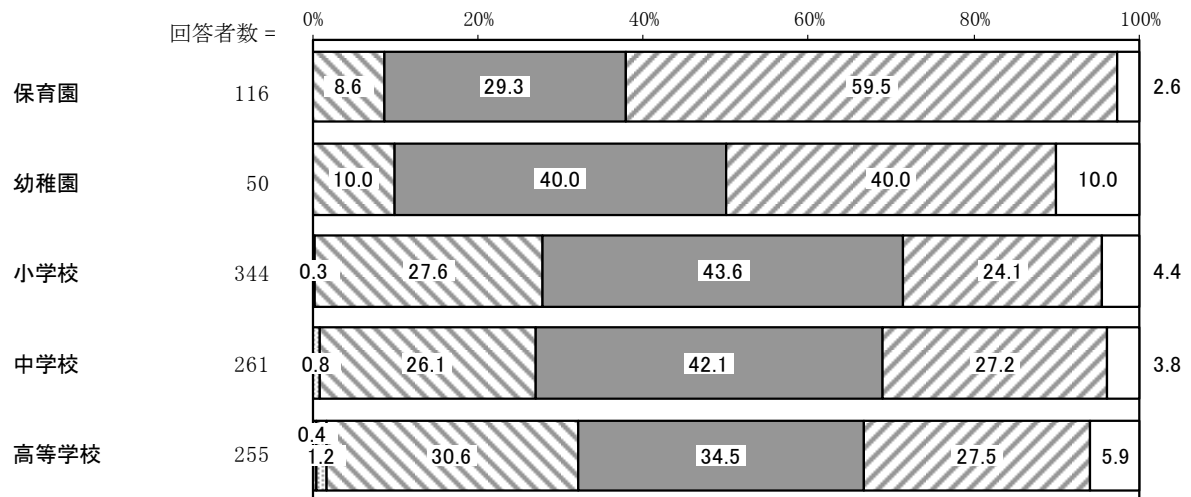
⑪道徳教育

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



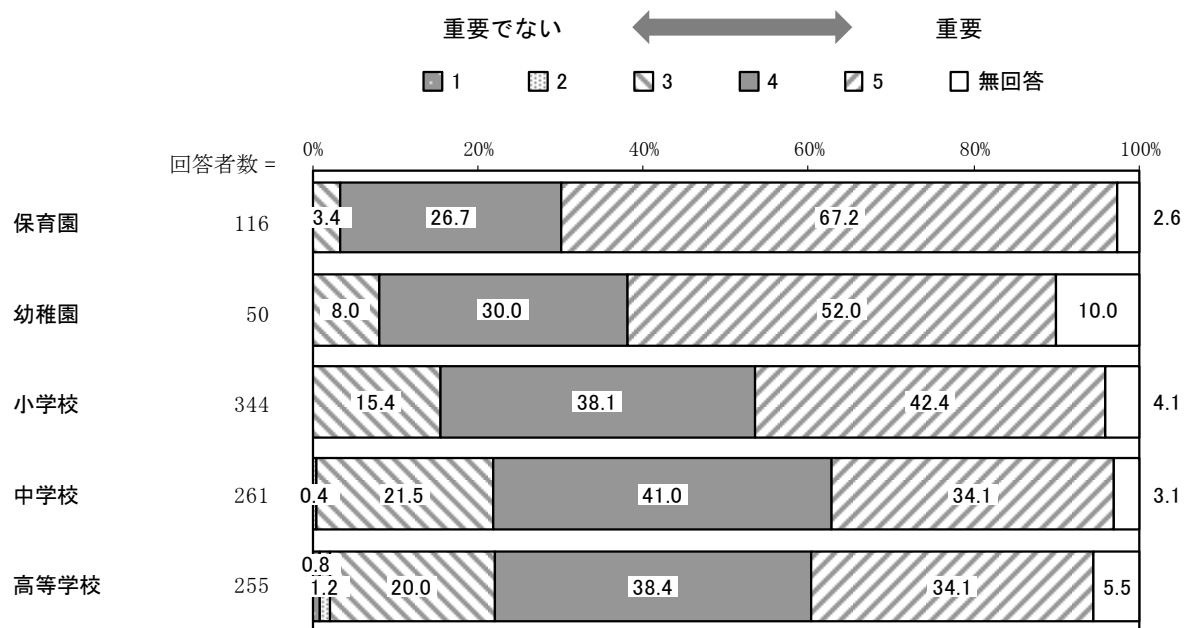
⑫健康と体力の向上

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



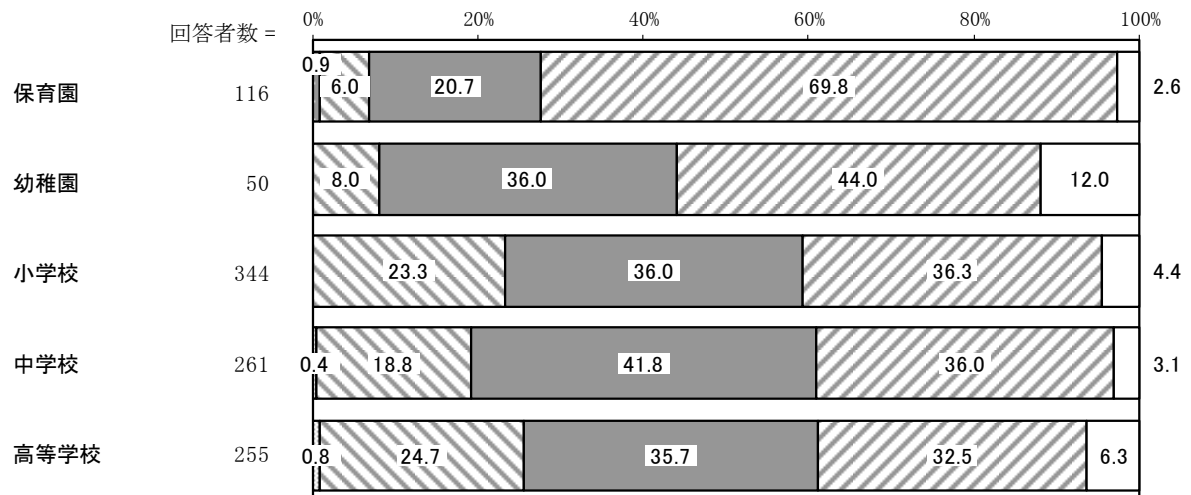
⑬障がいのある子どもへの支援

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



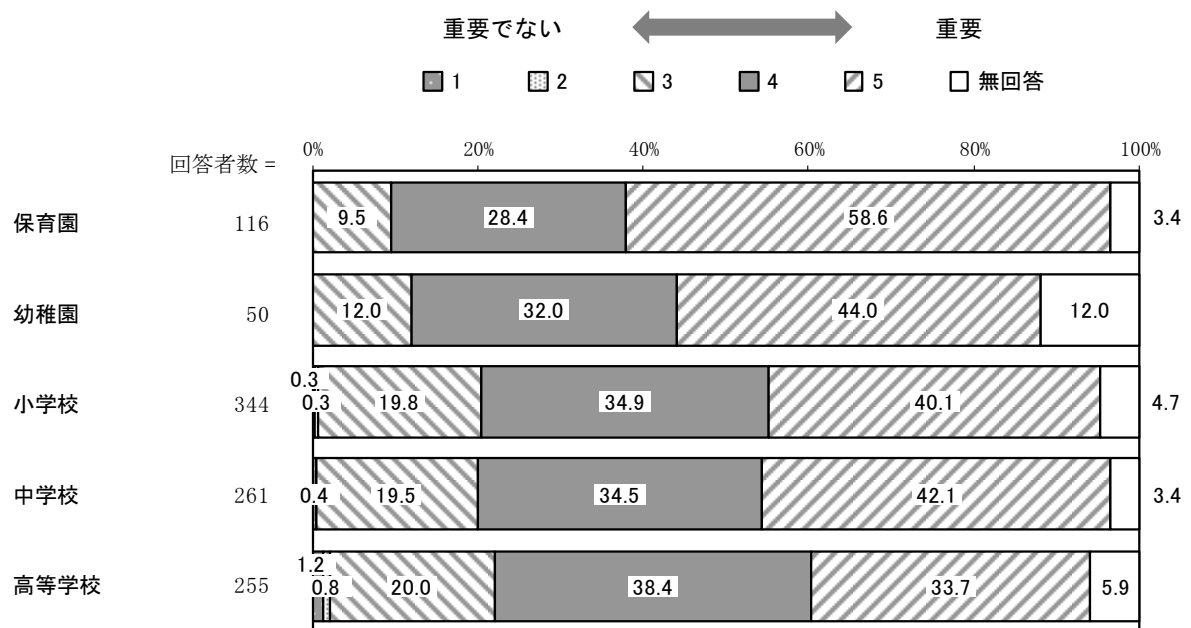
⑭いじめの防止・対応

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



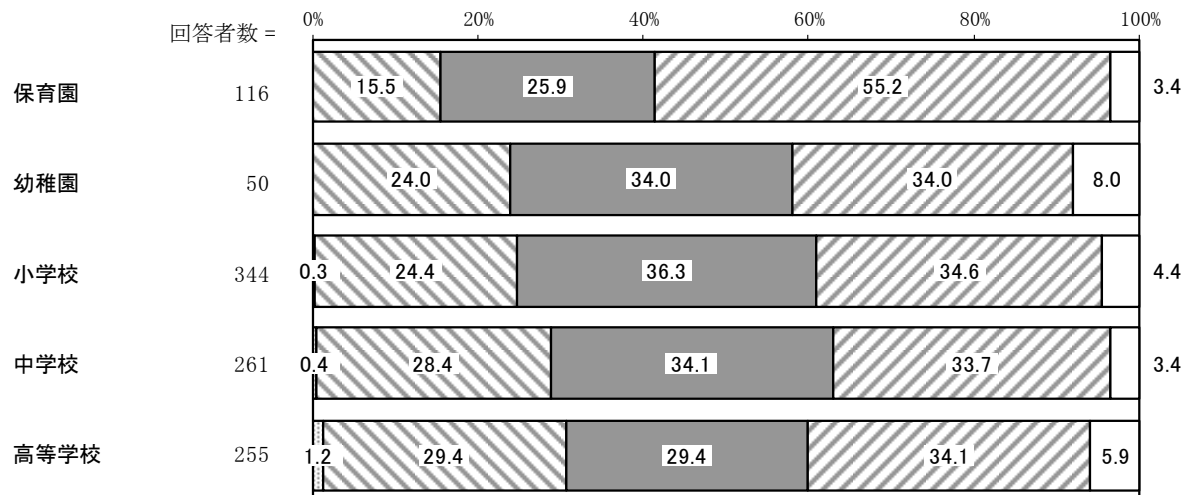
⑮不登校児童・生徒への支援

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



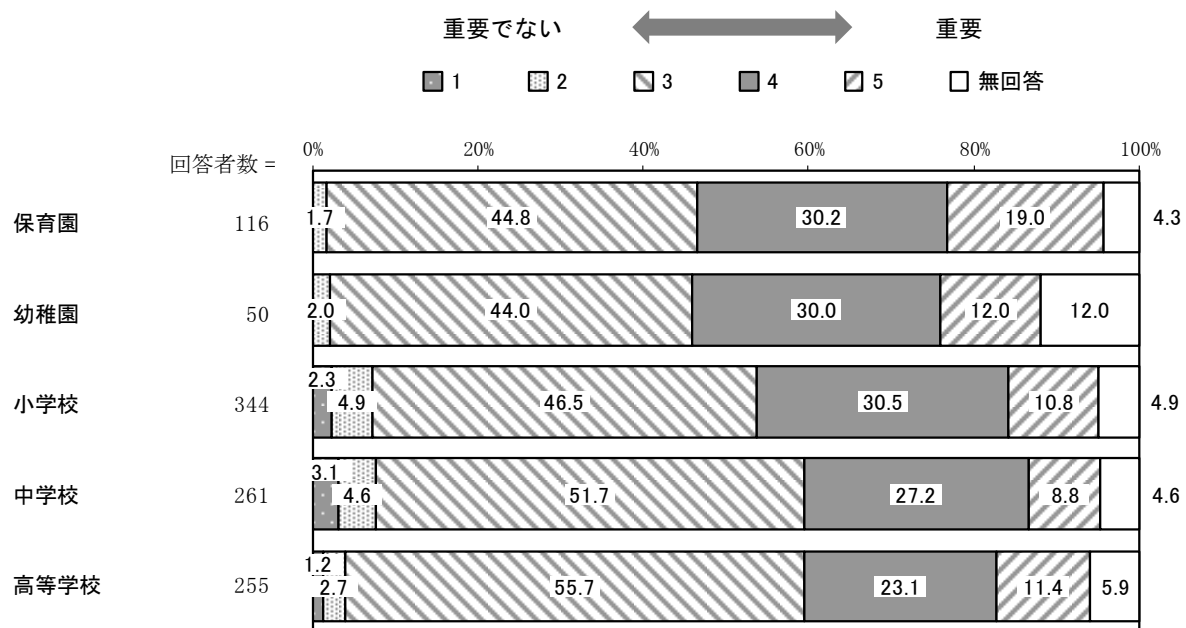
⑯安全・安心な学校施設

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



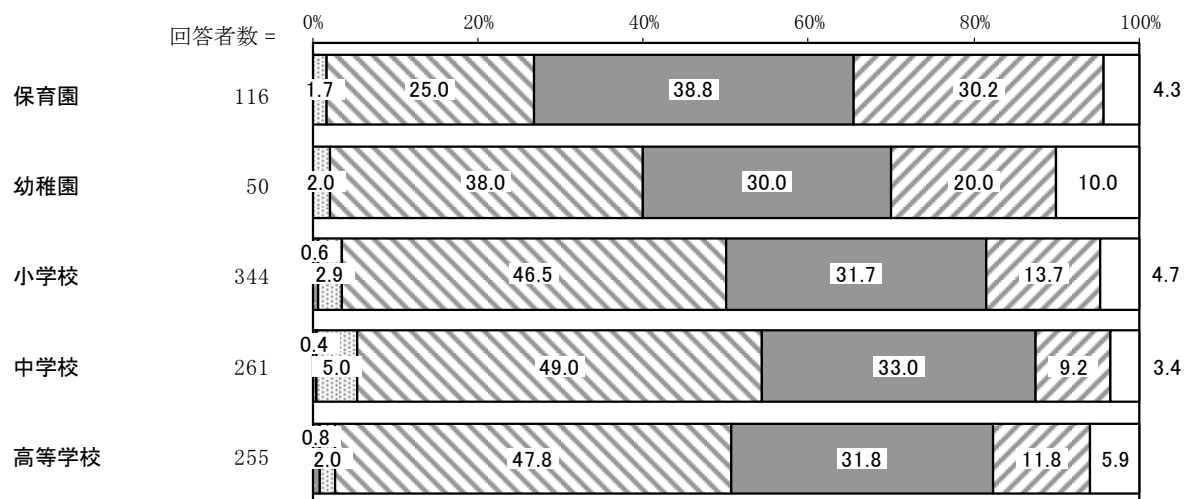
⑰松本版コミュニティスクール

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約5割となっています。



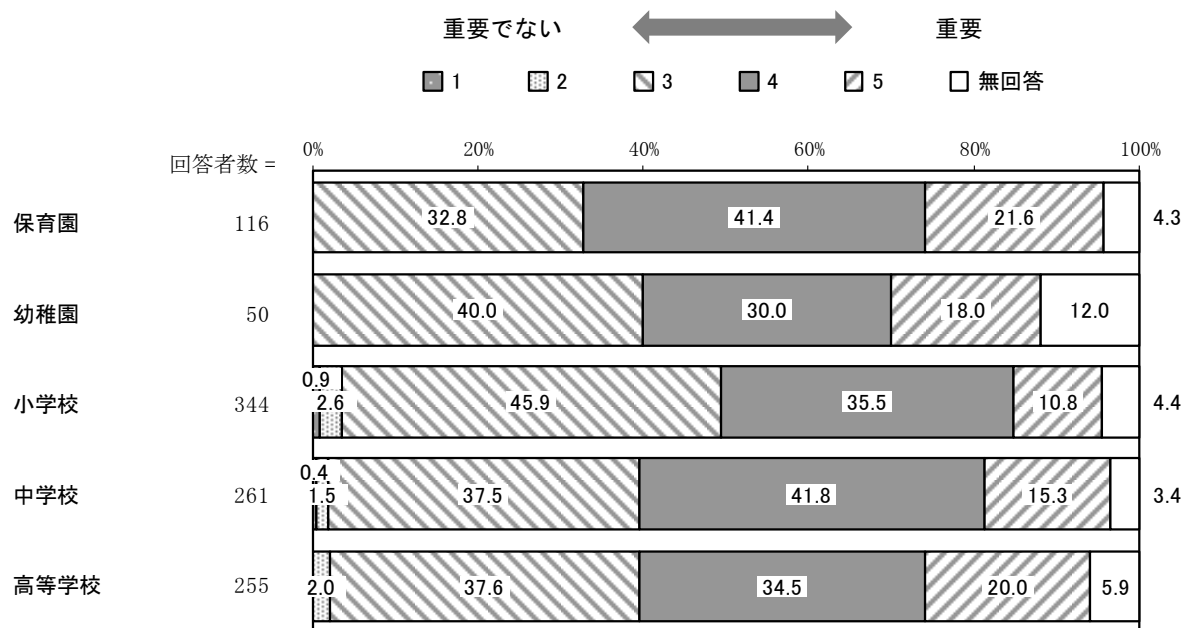
⑱学校から地域、家庭への情報発信

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



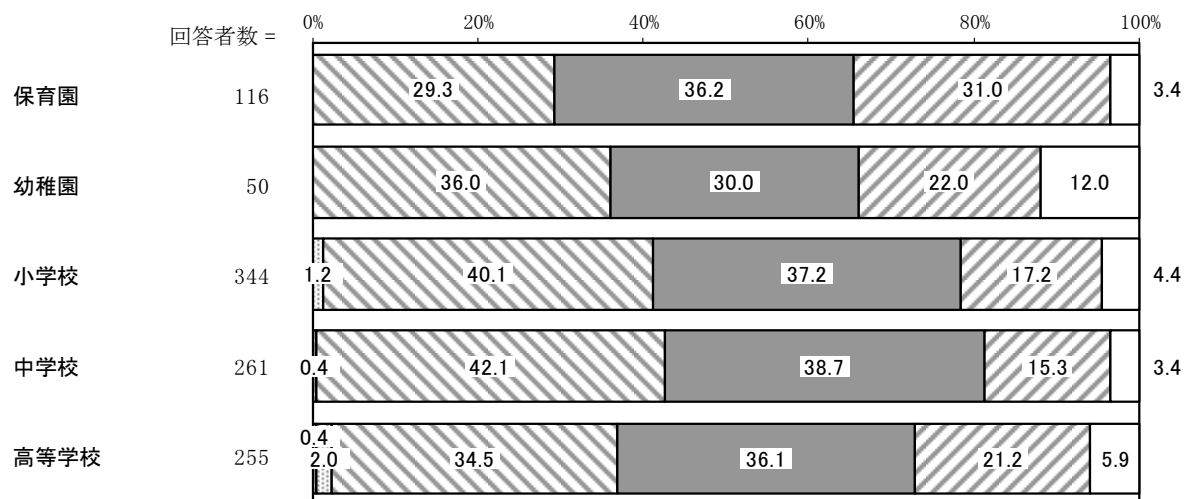
⑱職業体験などのキャリア教育

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約6割となっています。



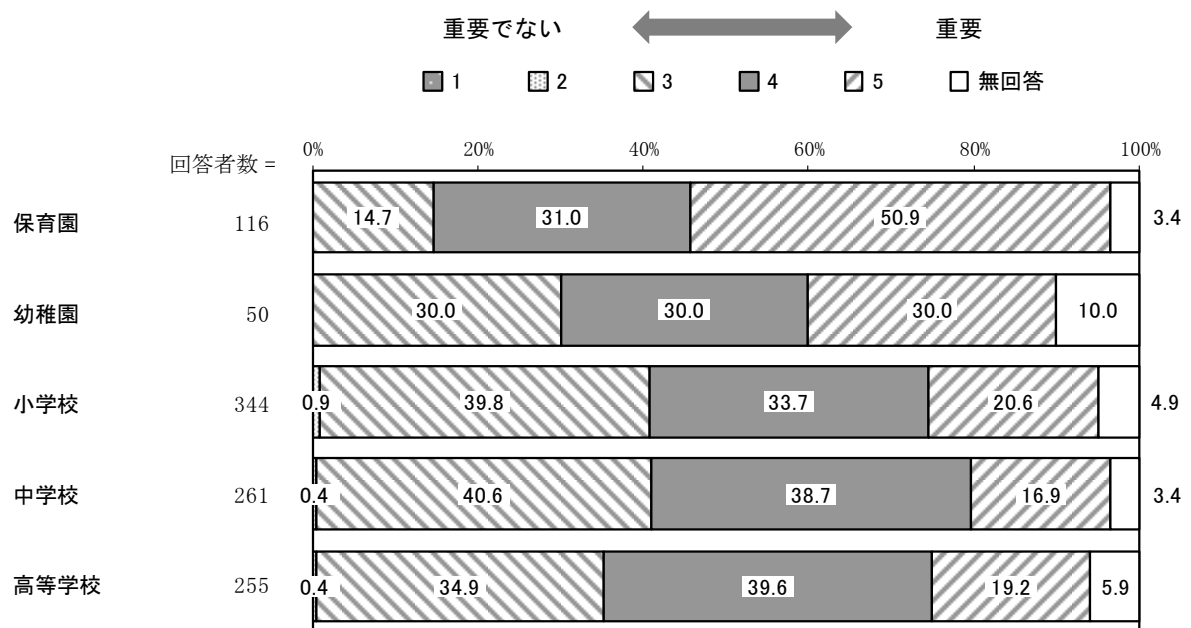
⑳外国籍の子どもへの日本語支援

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



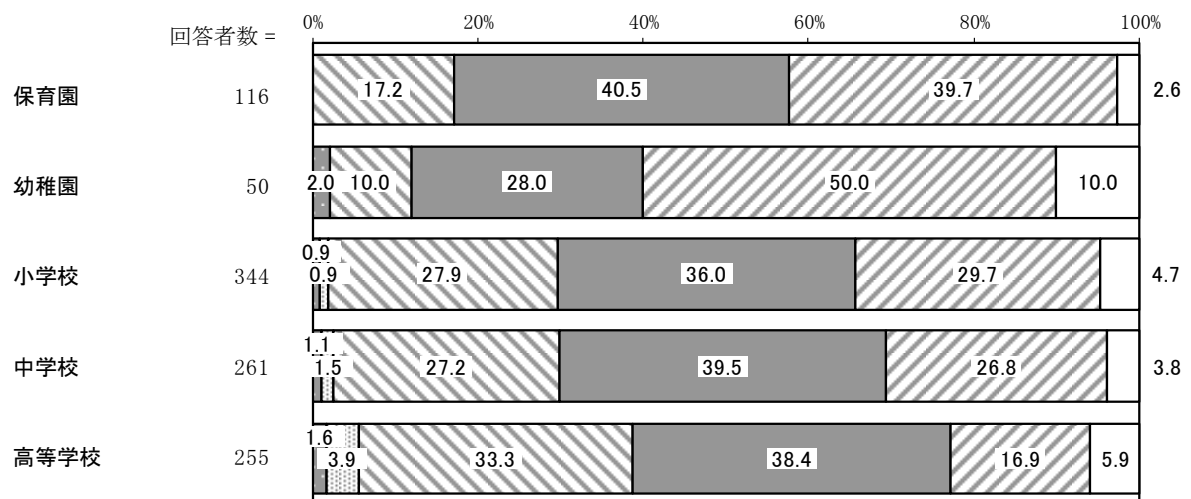
⑪防災教育

学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



⑫主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）

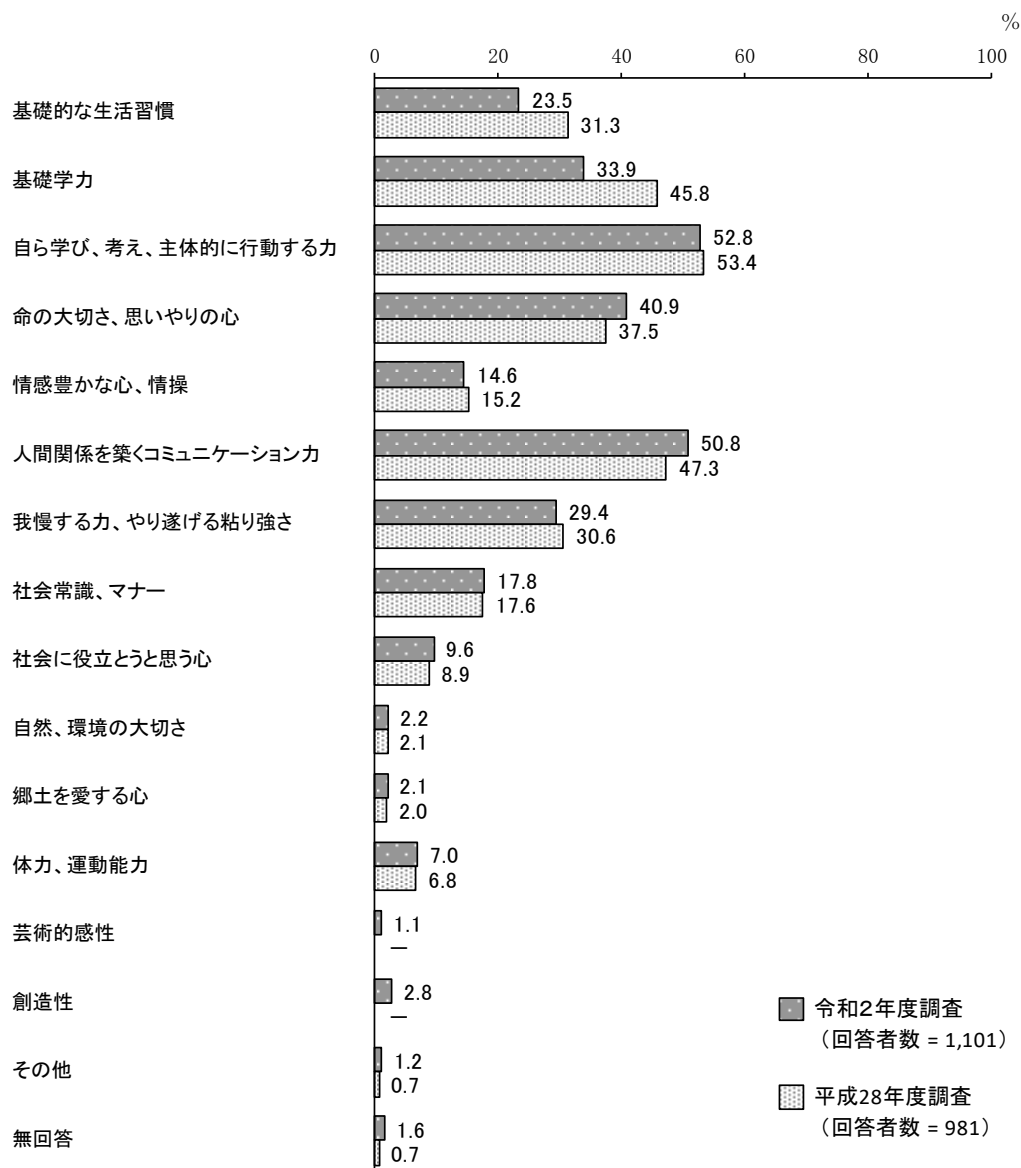
学校種別でみると、他に比べ、保育園で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



問 11 あなたが、学校教育等で特に子どもたちに学んでほしいこと 3 つ以内を選んでください。

「自ら学び、考え、主体的に行動する力」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「人間関係を築くコミュニケーション力」の割合が 50.8%、「命の大切さ、思いやりの心」の割合が 40.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「基礎的な生活習慣」「基礎学力」の割合が減少しています。



※平成 28 年度調査では「芸術的感性」「創造性」の選択肢がありません。

【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で「自ら学び、考え、主体的に行動する力」の割合が高く、約9割となっています。

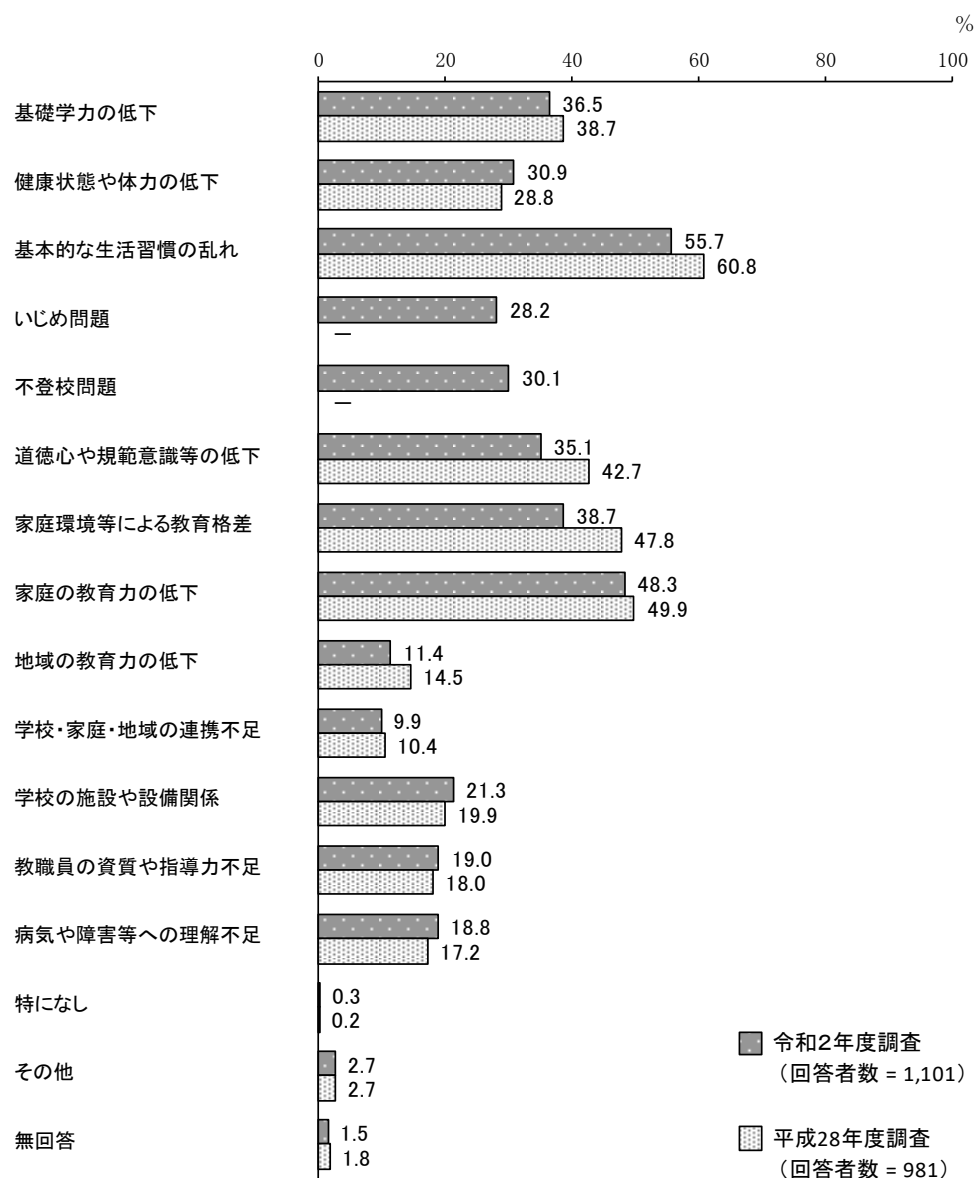
単位：％

区分	回答者数(件)	基礎的な生活習慣	基礎学力	自ら学び、考え、主体的に行動する力	命の大切さ、思いやりの心	情感豊かな心、情操	人間関係を築くコミュニケーション力	我慢する力、やり遂げる粘り強さ	社会常識、マナー	社会に役立つと思う心	自然、環境の大切さ	郷土を愛する心	体力、運動能力	芸術的感性	創造性	その他	無回答
保育園	116	24.1	25.0	59.5	53.4	12.9	48.3	31.9	24.1	1.7	2.6	1.7	7.8	—	3.4	—	—
幼稚園	50	24.0	12.0	88.0	30.0	36.0	56.0	24.0	6.0	—	2.0	4.0	10.0	—	—	2.0	—
小学校	344	21.2	36.9	52.9	41.9	15.7	54.4	31.1	15.4	10.5	0.9	2.3	4.9	0.6	2.0	1.5	1.2
中学校	261	20.3	31.4	51.0	41.0	12.6	55.2	34.1	16.9	10.0	1.5	1.5	7.3	0.8	3.1	1.1	1.9
高等学校	255	30.2	42.4	43.5	37.6	11.0	42.0	22.7	22.4	12.5	4.7	2.7	7.1	2.4	4.3	1.6	2.0

問 12 子どもの教育に関して課題は何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「基本的な生活習慣の乱れ」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「家庭の教育力の低下」の割合が 48.3%、「家庭環境等による教育格差」の割合が 38.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「基本的な生活習慣の乱れ」「道徳心や規範意識等の低下」「家庭環境等による教育格差」の割合が減少しています。



※平成 28 年度調査では「いじめ問題」「不登校問題」の選択肢がありません。

【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、中学校で「家庭の教育力の低下」の割合が高く、5割半ばとなっています。また、保育園で「いじめ問題」の割合が、中学校、高等学校で「基礎学力の低下」の割合が高くなっています。

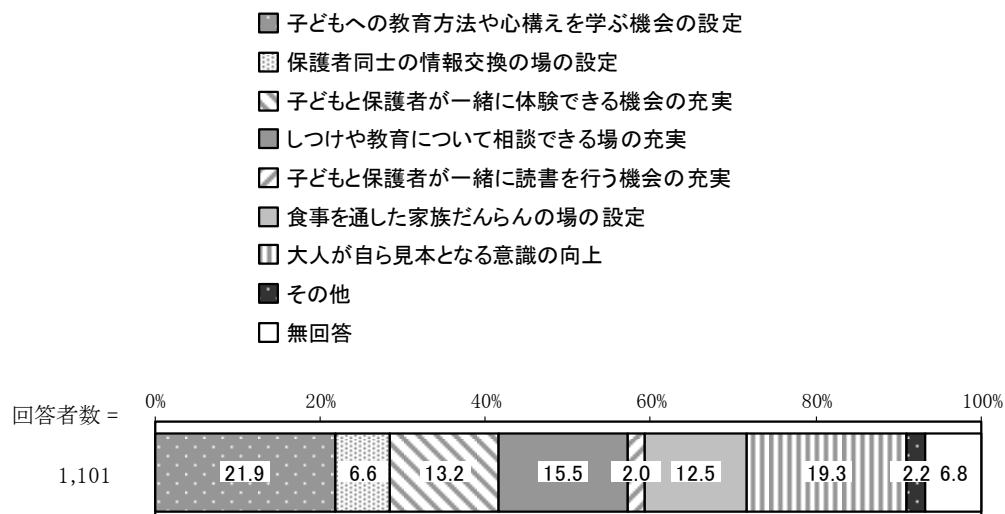
単位：％

区分	回答者数（件）	基礎学力の低下	健康状態や体力の低下	基本的な生活習慣の乱れ	いじめ問題	不登校問題	道徳心や規範意識等の低下	家庭環境等による教育格差	家庭の教育力の低下	地域の教育力の低下	学校・家庭・地域の連携不足	学校の施設や設備関係	教職員の資質や指導力不足	病気や障害等への理解不足	特になし	その他	無回答
保育園	116	27.6	40.5	61.2	50.0	24.1	33.6	34.5	33.6	6.0	12.9	6.0	18.1	21.6	0.9	1.7	—
幼稚園	50	16.0	32.0	68.0	34.0	20.0	40.0	28.0	40.0	18.0	16.0	4.0	18.0	22.0	—	4.0	2.0
小学校	344	32.0	32.8	58.7	23.0	28.8	39.5	41.0	52.0	11.6	8.7	25.6	18.3	16.3	—	3.2	1.2
中学校	261	42.5	27.6	51.7	28.0	37.2	35.6	37.5	56.3	10.7	7.3	27.2	17.2	17.6	0.4	3.8	1.1
高等学校	255	46.3	27.5	49.8	25.5	31.4	27.1	40.4	47.5	13.7	11.4	20.8	20.8	16.9	0.4	2.0	1.6

(3) 家庭や地域の教育について

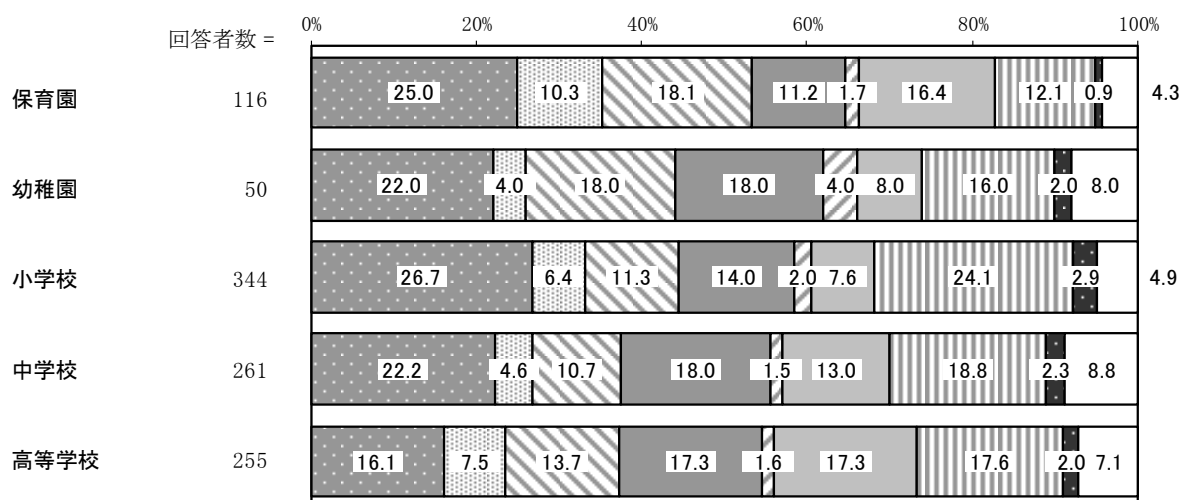
問 13 あなたは、家庭での教育力向上にどのような取り組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が21.9%と最も高く、次いで「大人が自ら見本となる意識の向上」の割合が19.3%、「しつけや教育について相談できる場の充実」の割合が15.5%となっています。



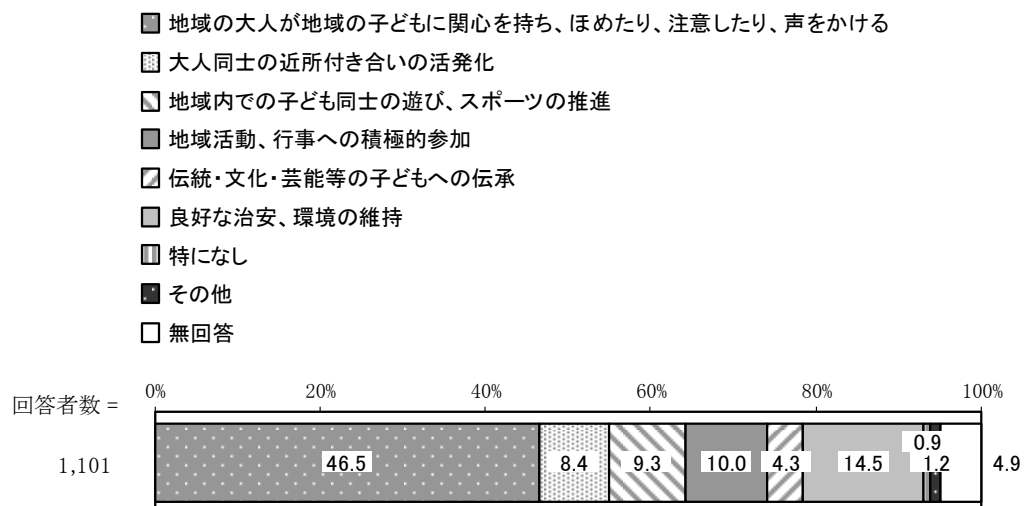
【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、小学校で「大人が自ら見本となる意識の向上」の割合が高く、2割半ばとなっています。



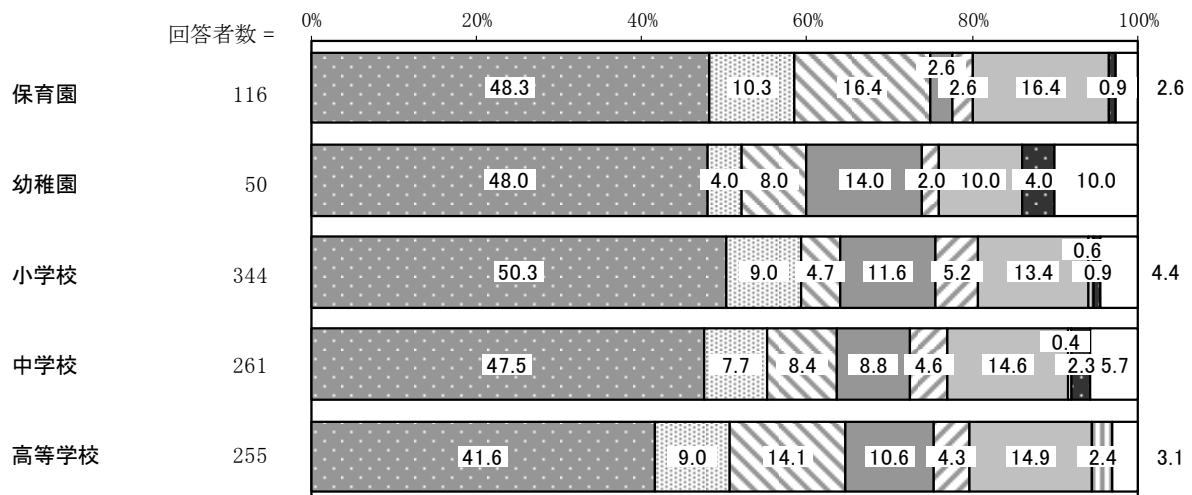
問 14 あなたは、地域で子どもを育てるためにはどのような取組みが必要だと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

「地域の大人が地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」の割合が46.5%と最も高く、次いで「良好な治安、環境の維持」の割合が14.5%、「地域活動、行事への積極的参加」の割合が10.0%となっています。



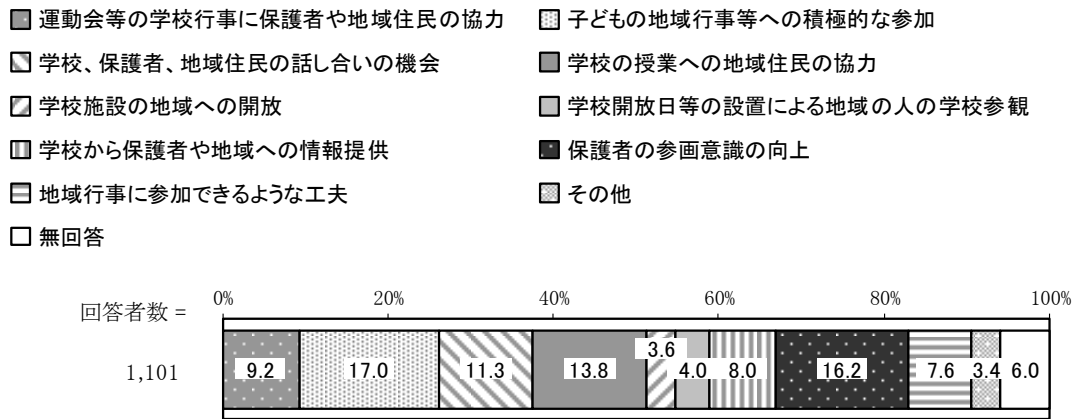
【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、保育園、高等学校で「地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進」の割合が高く、1割半ばとなっています。



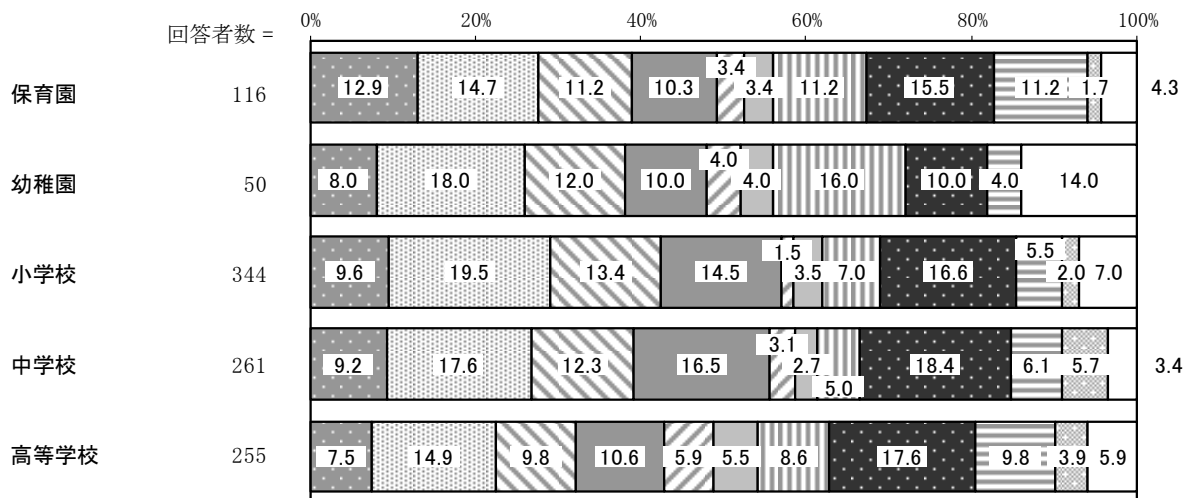
問 15 あなたは、学校、家庭、地域が連携協力するためには何が必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの 1 つに○)

「子どもの地域行事等への積極的な参加」の割合が 17.0%と最も高く、次いで「保護者の参画意識の向上」の割合が 16.2%、「学校の授業への地域住民の協力」の割合が 13.8%となっています。



【学校種別】

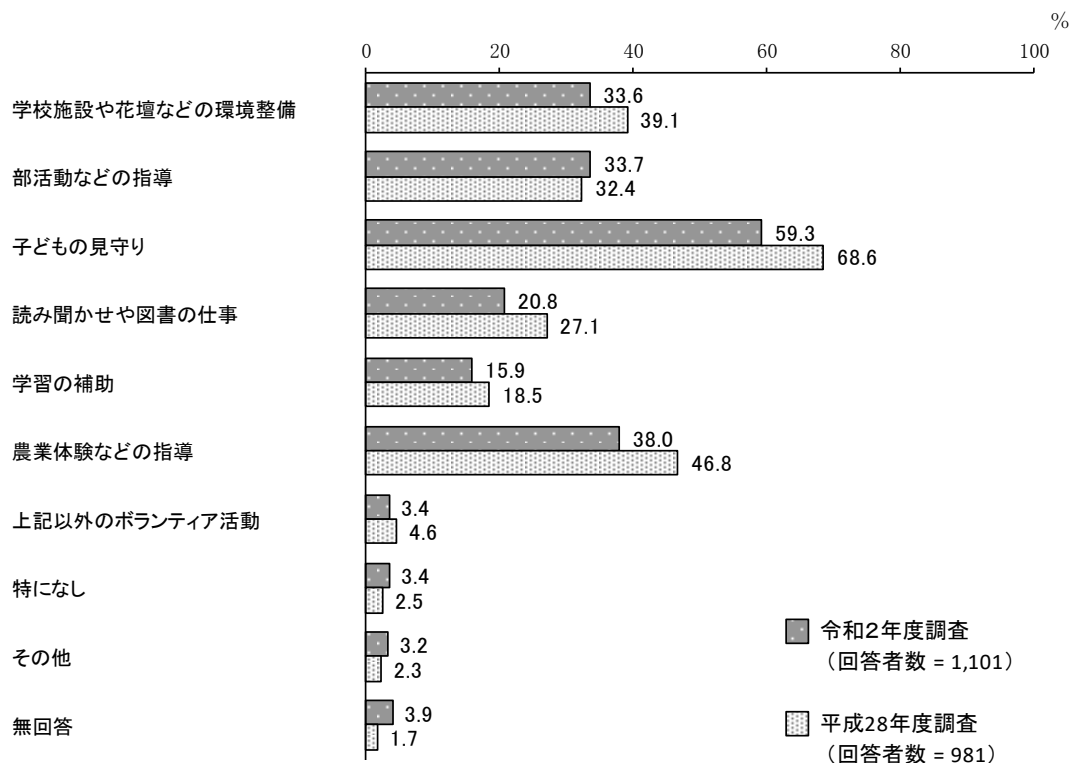
学校種別でみると、他に比べ、幼稚園で「学校から保護者や地域への情報提供」の割合が高く、1割半ばとなっています。



問 16 学校等が、地域に協力してもらいたいことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「子どもの見守り」の割合が59.3%と最も高く、次いで「農業体験などの指導」の割合が38.0%、「部活動などの指導」の割合が33.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「学校施設や花壇などの環境整備」「子どもの見守り」「読み聞かせや図書の仕事」「農業体験などの指導」の割合が減少しています。



【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、保育園で「子どもの見守り」の割合が高く、7割半ばとなっています。また、幼稚園で「農業体験などの指導」の割合が、中学校で「部活動などの指導」の割合が高く、5割半ばとなっています。

単位：％

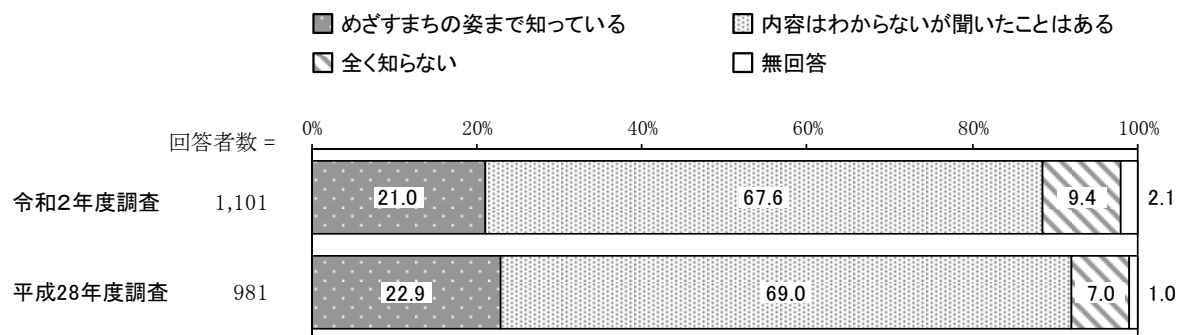
区分	回答者数(件)	学校施設や花壇などの環境整備	部活動などの指導	子どもの見守り	読み聞かせや図書の仕事	学習の補助	農業体験などの指導	上記以外のボランティア活動	特になし	その他	無回答
保育園	116	34.5	9.5	73.3	17.2	4.3	46.6	1.7	2.6	—	1.7
幼稚園	50	22.0	8.0	58.0	18.0	8.0	56.0	2.0	—	2.0	12.0
小学校	344	43.0	27.6	71.2	33.4	20.3	48.0	4.7	2.0	2.3	3.2
中学校	261	41.0	55.2	55.2	19.9	24.9	32.2	3.1	2.3	4.6	2.7
高等学校	255	14.5	37.6	45.5	6.3	8.2	21.6	2.7	7.1	5.1	4.7

(4) その他

問 17 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

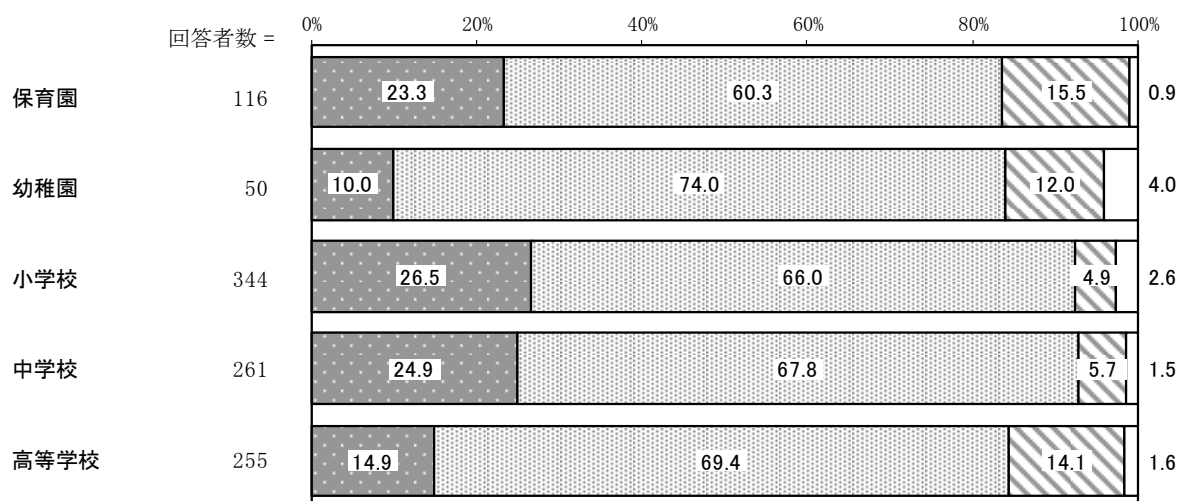
「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「めざすまちの姿まで知っている」の割合が 21.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



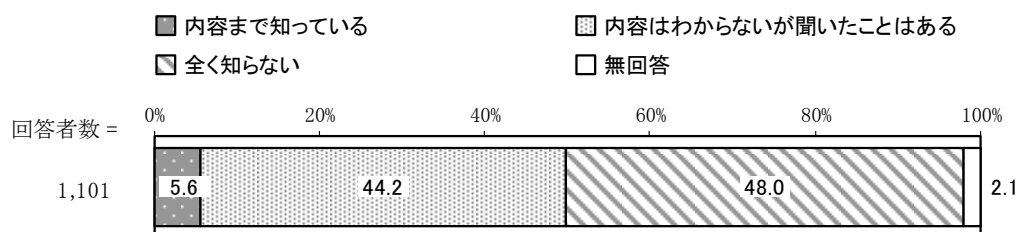
【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、保育園、高等学校で「全く知らない」の割合が高く、1割半ばとなっています。



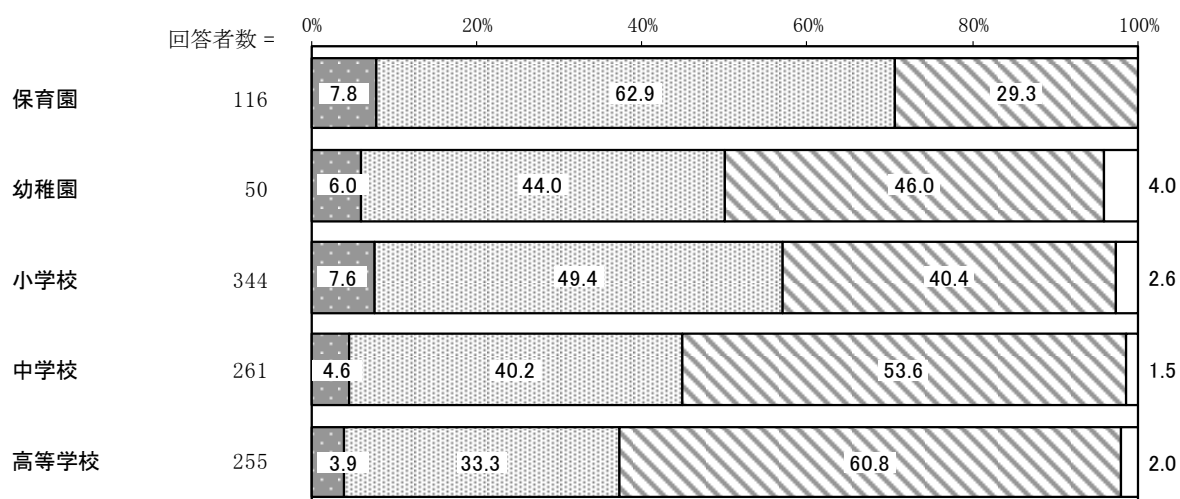
問 18 あなたは、「まつもと市民生きいき活動」を知っていますか。

「全く知らない」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 44.2%となっています。



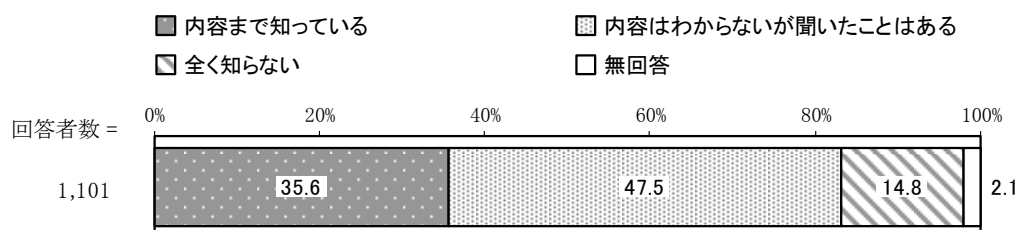
【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、保育園で「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が、高等学校で「全く知らない」の割合が高く、約6割となっています。



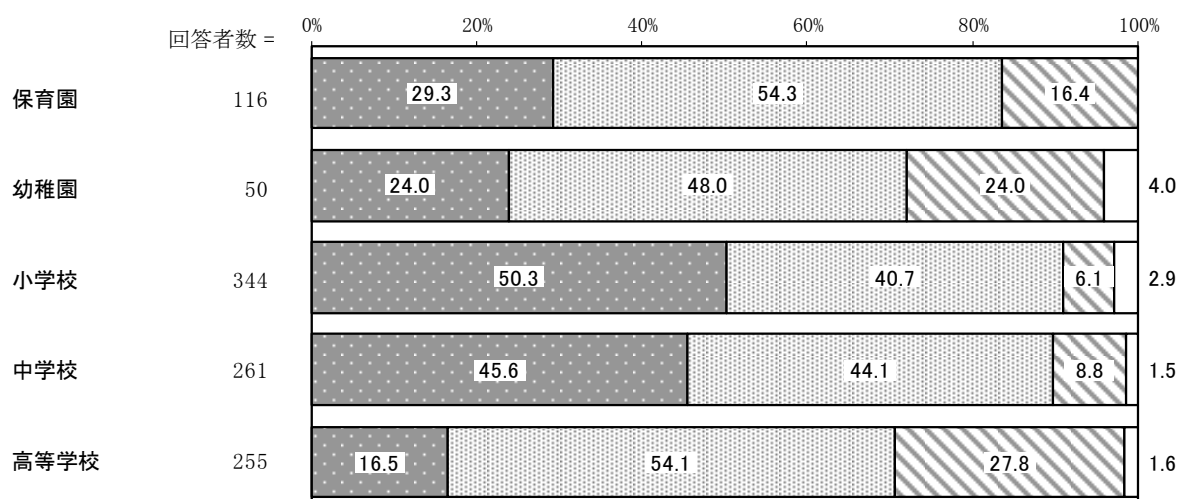
問 19 あなたは、「松本市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。

「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「内容まで知っている」の割合が 35.6%、「全く知らない」の割合が 14.8%となっています。



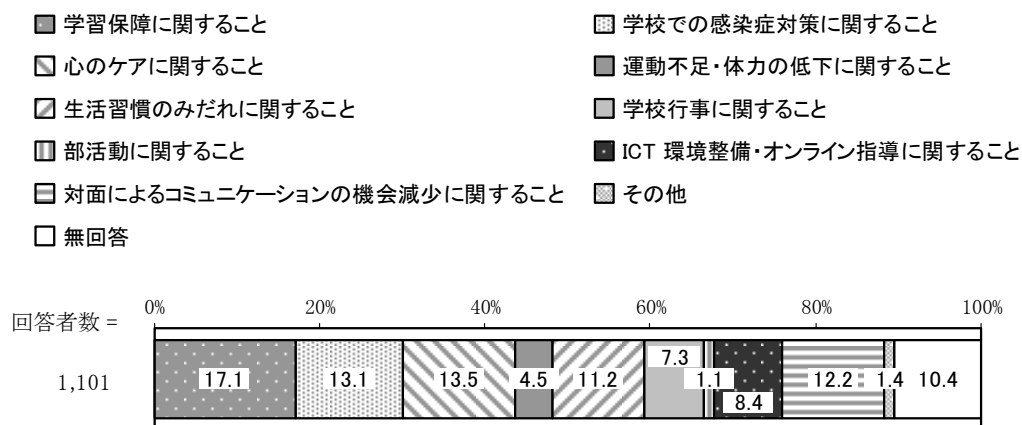
【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、小学校で「内容まで知っている」の割合が高く、約5割となっています。また、高等学校で「全く知らない」の割合が高く、約3割となっています。



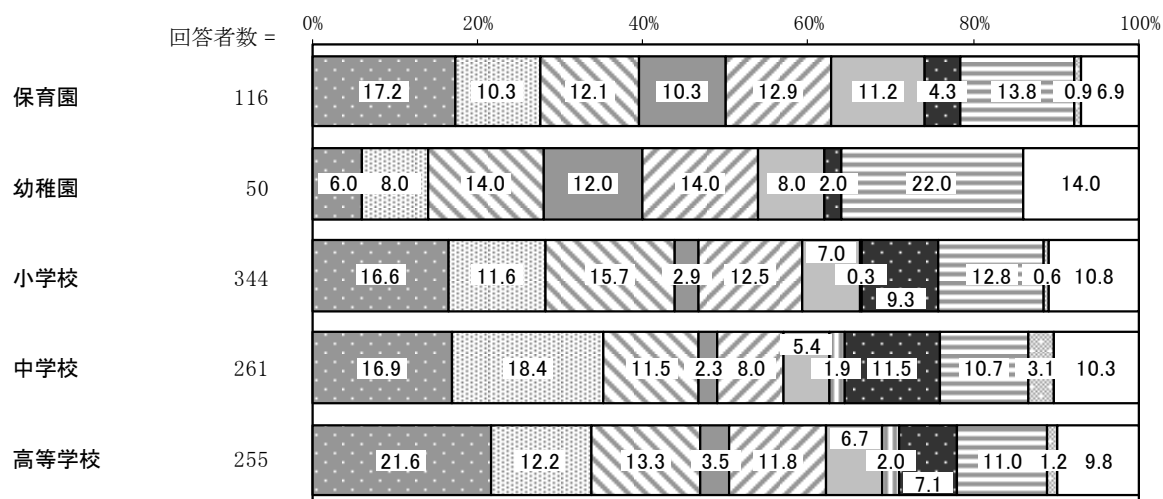
問 20 新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。現在の状況下における松本市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。（最もあてはまるもの1つに○）

「学習保障に関すること」の割合が17.1%と最も高く、次いで「心のケアに関すること」の割合が13.5%、「学校での感染症対策に関すること」の割合が13.1%となっています。



【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、高等学校で「学習保障に関すること」の割合が、中学校で「学校での感染症対策に関すること」の割合が、幼稚園で「対面によるコミュニケーションの機会減少に関すること」の割合が高く、約2割となっています。



問 21 松本市の学校教育について、ご意見があればお書きください。

今回の調査で自由な意見・要望を聞いたところ、延べ 309 件の意見が得られました。内訳は以下のとおりになっています。

項 目	件数
1. 子どもの学び、育ちについて	41
2. 教職員、教育環境等について	124
3. 子どもの教育について	35
4. 親の責務について	3
5. コミュニケーションについて	3
6. モラルについて	1
7. 安全対策について	6
8. 文化活動や地域行事などについて	4
9. 教育施設等について	5
10. その他	87
合 計	309

問 22 松本市の生涯学習、社会教育について、ご意見があればお書きください。

今回の調査で自由な意見・要望を聞いたところ、延べ 91 件の意見が得られました。内訳は以下のとおりになっています。

項 目	件数
1. 生涯学習活動について	18
2. 市が実施している生涯学習事業について	4
3. 人材について	4
4. 知能や技能の活用について	1
5. 家庭環境について	3
6. 参加したい生涯学習教室の内容について	16
7. 情報について	6
8. 学び直しについて	1
9. 公民館活動について	4
10. その他の施設について	4
11. その他	30
合 計	91

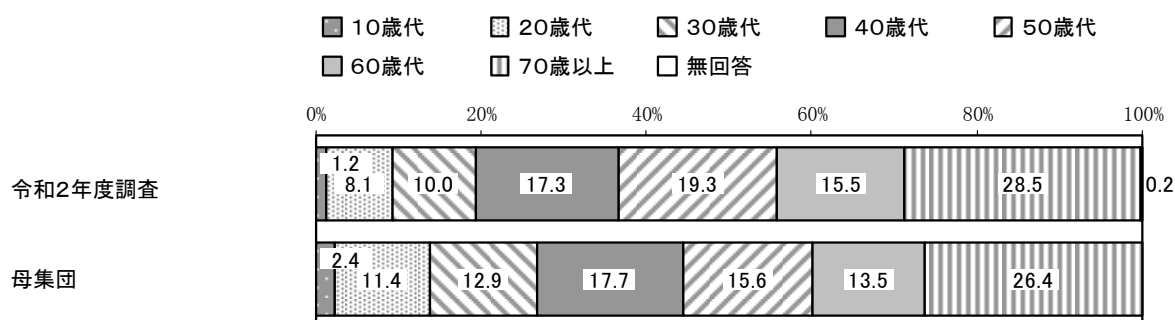
5 一般調査

(1) 回答者属性

問1 あなたは何歳ですか。

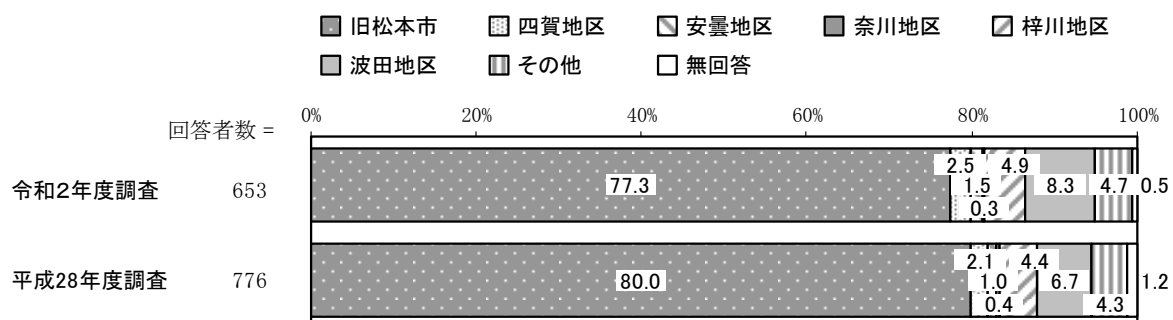
回答結果は、以下の通りとなっています。

母集団と比較すると、「20歳代」「30歳代」の割合が低く、「50歳代」「60歳代」「70歳以上」の割合が高くなっています。



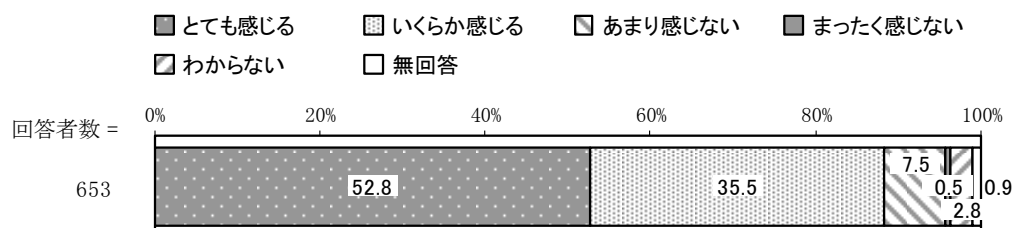
問2 あなたがお住まいの地区はどこですか。

回答結果は、以下の通りとなっています。



問3 あなたは松本市に親しみや愛着を感じますか。

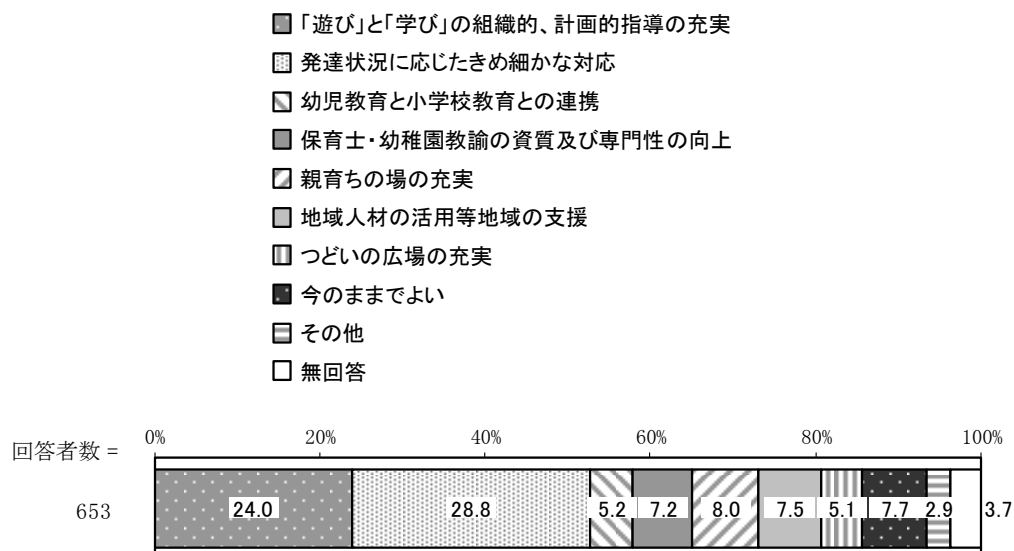
「とても感じる」と「いくらか感じる」をあわせた“愛着を感じる”の割合が88.3%、「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“愛着を感じない”の割合が8.0%となっています。



(2) 子どもの教育について

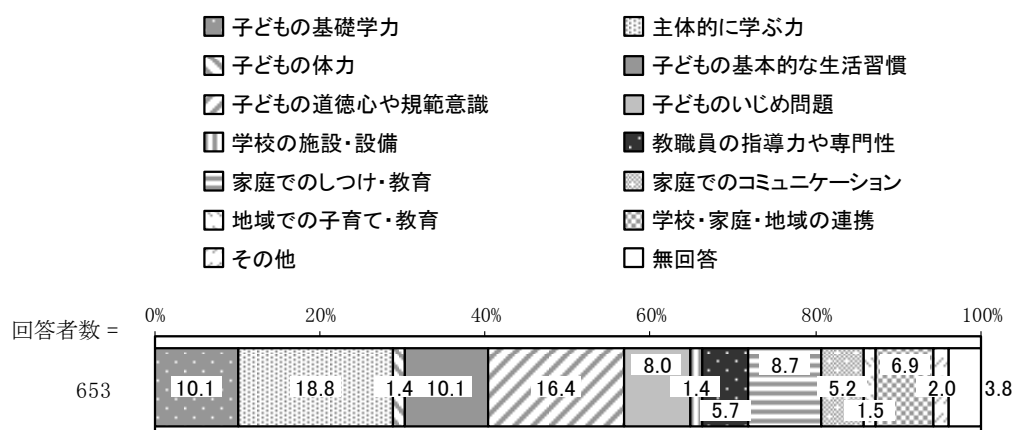
問4 幼児教育の充実には、どのような取り組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「発達状況に応じたきめ細かな対応」の割合が28.8%と最も高く、次いで「遊び」と「学び」の組織的、計画的指導の充実」の割合が24.0%となっています。



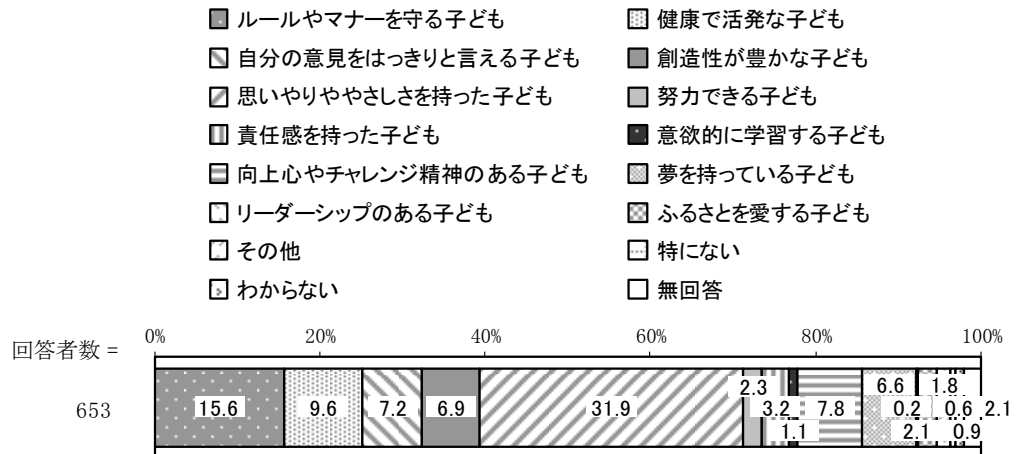
問5 子どもの教育について、あなたが関心のあることは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「主体的に学ぶ力」の割合が18.8%と最も高く、次いで「子どもの道徳心や規範意識」の割合が16.4%、「子どもの基礎学力」の割合が10.1%となっています。



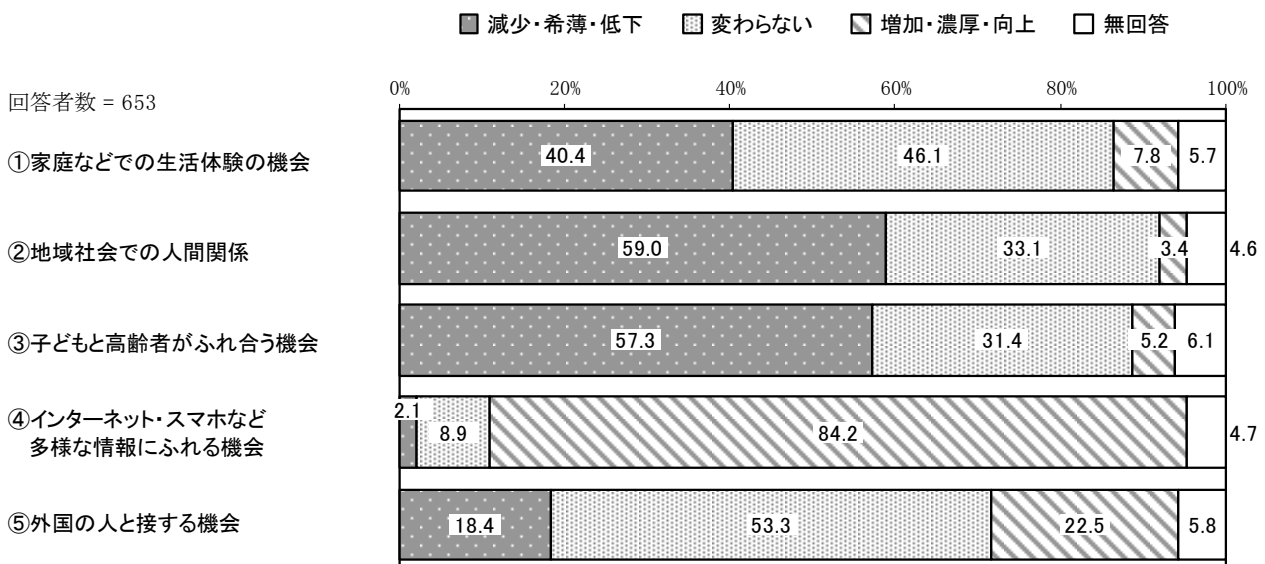
問6 あなたは、松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

「思いやりやさしさを持った子ども」の割合が31.9%と最も高く、次いで「ルールやマナーを守る子ども」の割合が15.6%となっています。



問7 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。(○は①～⑤ごとに1つ)

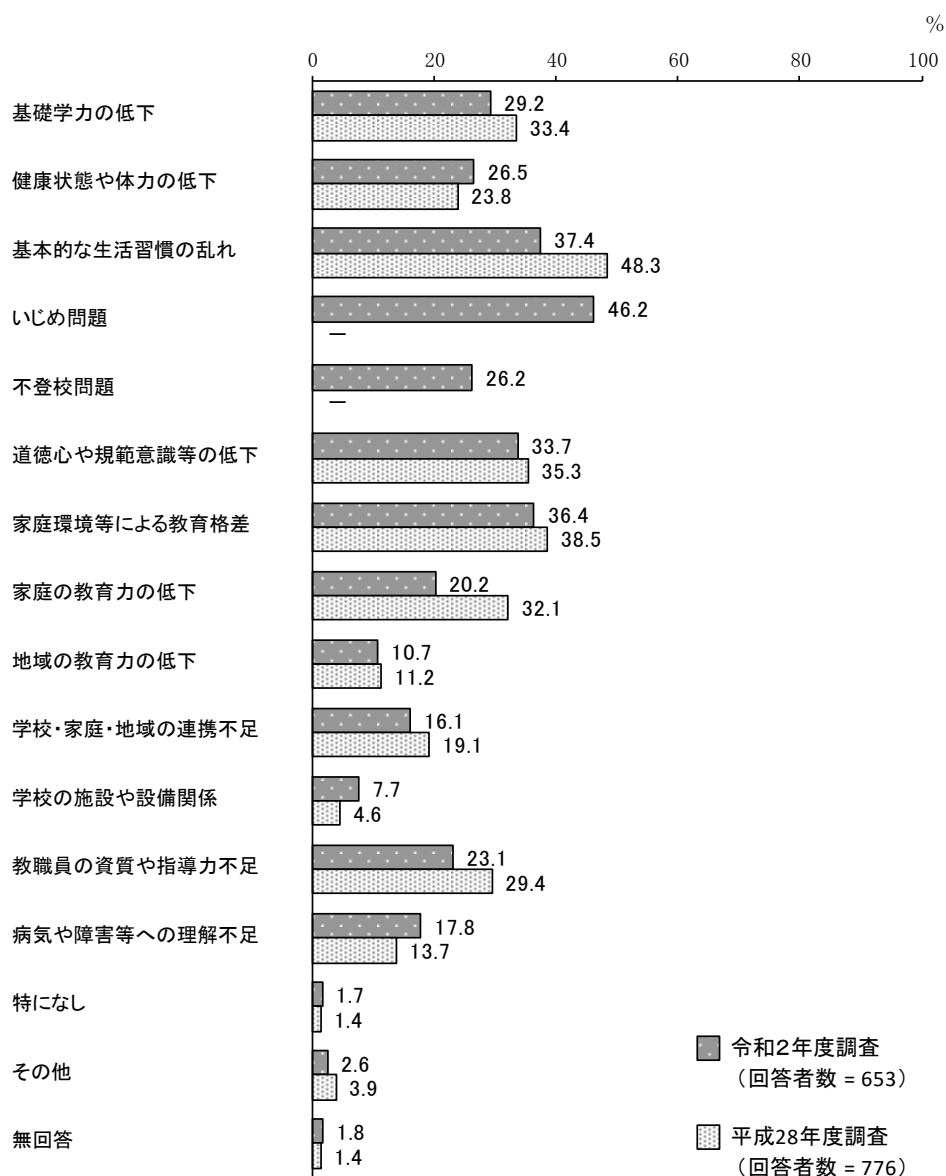
『②地域社会での人間関係』『③子どもと高齢者がふれ合う機会』で「減少・希薄・低下」の割合が高く、約6割となっています。また、『④インターネット・スマホなど多様な情報にふれる機会』で「増加・濃厚・向上」の割合が高く、8割半ばとなっています。



問8 子どもの教育に関して課題は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「いじめ問題」の割合が46.2%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣の乱れ」の割合が37.4%、「家庭環境等による教育格差」の割合が36.4%となっています。

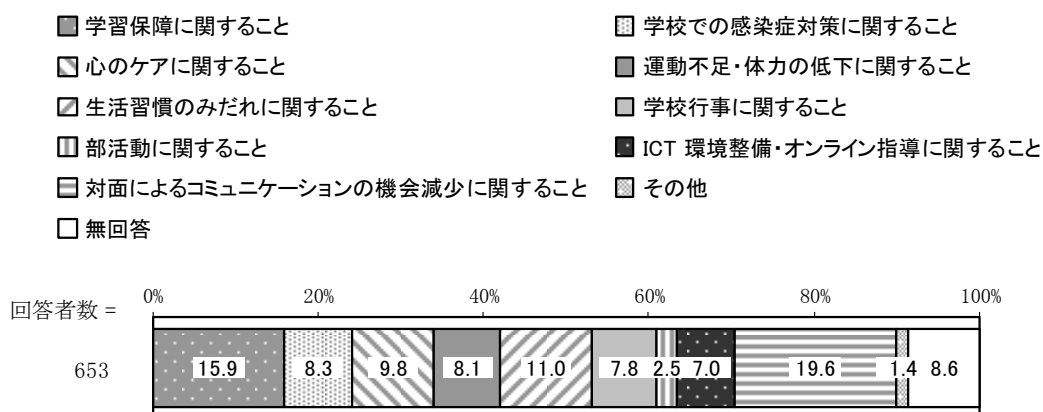
平成28年度調査と比較すると、「基本的な生活習慣の乱れ」「家庭の教育力の低下」「教職員の資質や指導力不足」の割合が減少しています。



※※平成28年度調査では「いじめ問題」「不登校問題」の選択肢がありません。

問 9 新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。現在の状況下における松本市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。（最もあてはまるもの 1 つに○）

「対面によるコミュニケーションの機会減少に関すること」の割合が 19.6%と最も高く、次いで「学習保障に関すること」の割合が 15.9%、「生活習慣のみだれに関すること」の割合が 11.0%となっています。



問 10 松本市の教育について「現在の状況」と「今後の重要度」について、それぞれ 5 段階であなたの考えに最も近い番号を 1 つずつ選んで○をつけてください。

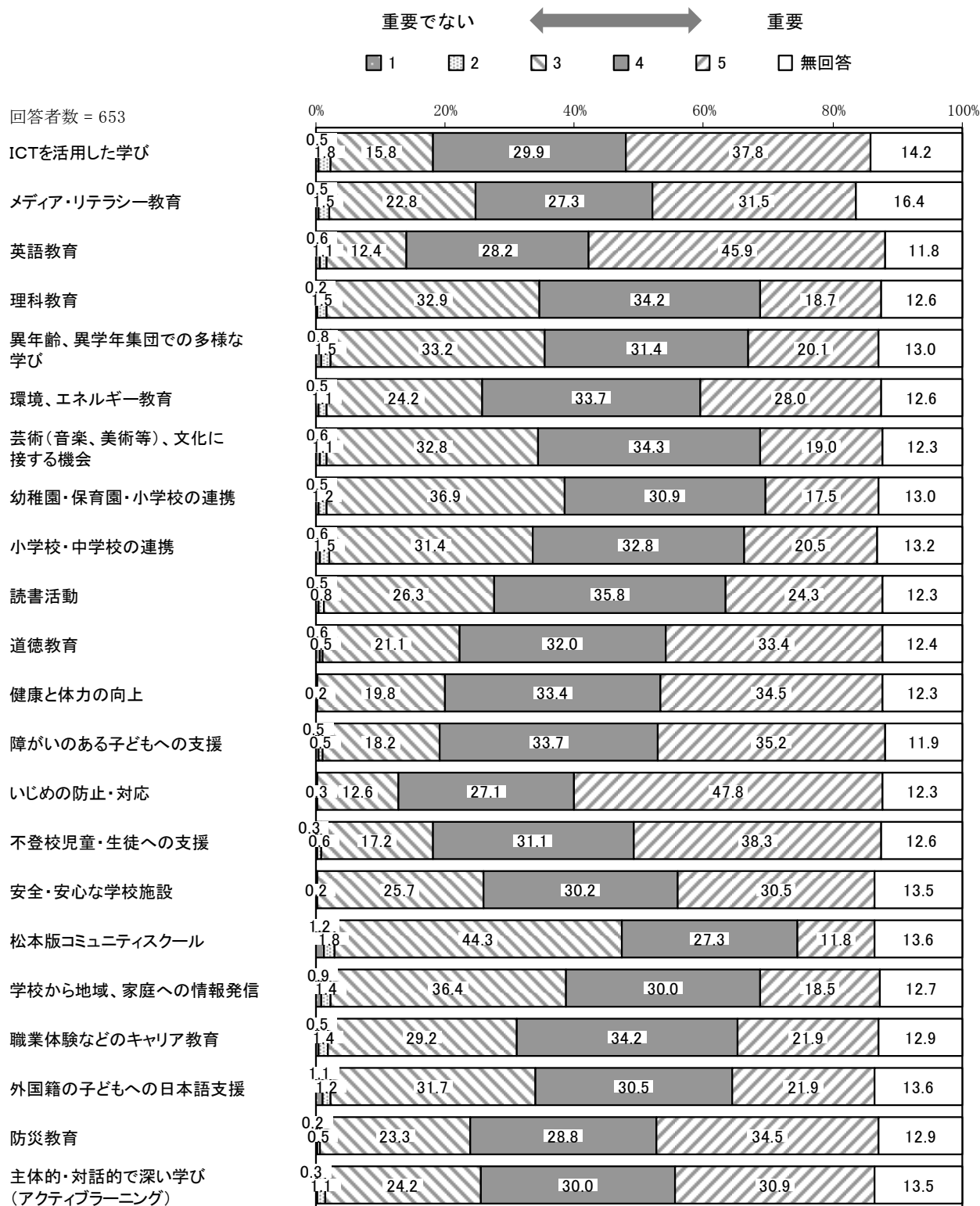
1. 現在の状況

『ICTを活用した学び』『英語教育』『いじめの防止・対応』で「1」と「2」をあわせた“十分と感じない”の割合が高く、約4割となっています。また、『芸術（音楽、美術等）、文化に接する機会』『安全・安心な学校施設』で「4」と「5」をあわせた“十分と感じる”の割合が高く、約2割となっています。



2. 今後の重要度

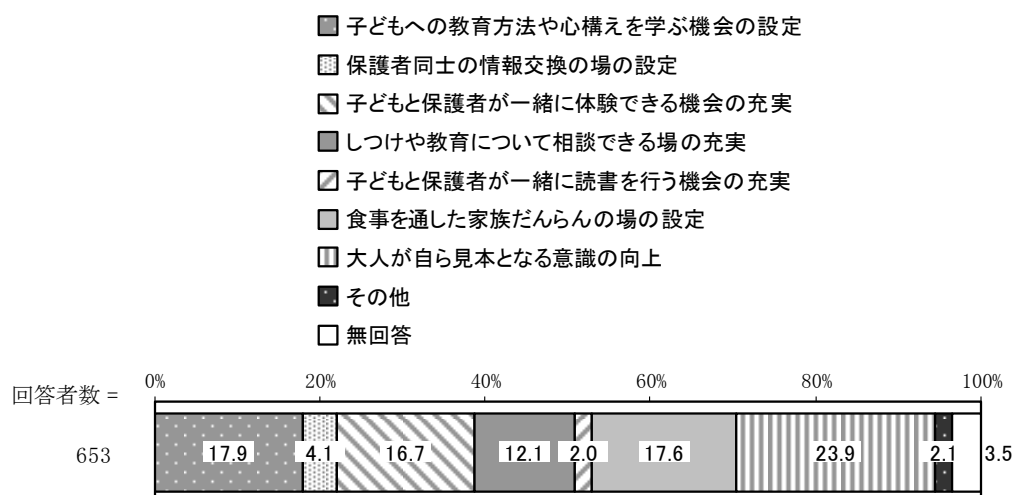
『英語教育』『いじめの防止・対応』で「4」と「5」をあわせた“重要”の割合が高く、7割半ばとなっています。



(3) 家庭や地域での教育について

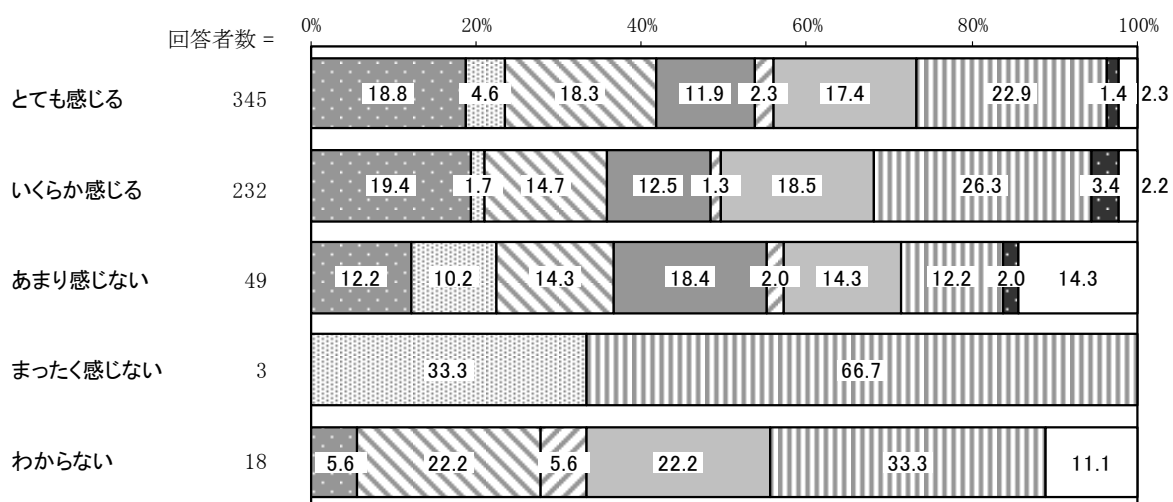
問 11 あなたは、家庭での教育力向上にどのような取り組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「大人が自ら見本となる意識の向上」の割合が 23.9%と最も高く、次いで「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が 17.9%、「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が 17.9%、「食事を通した家族だんらんの場の設定」の割合が 17.6%となっています。



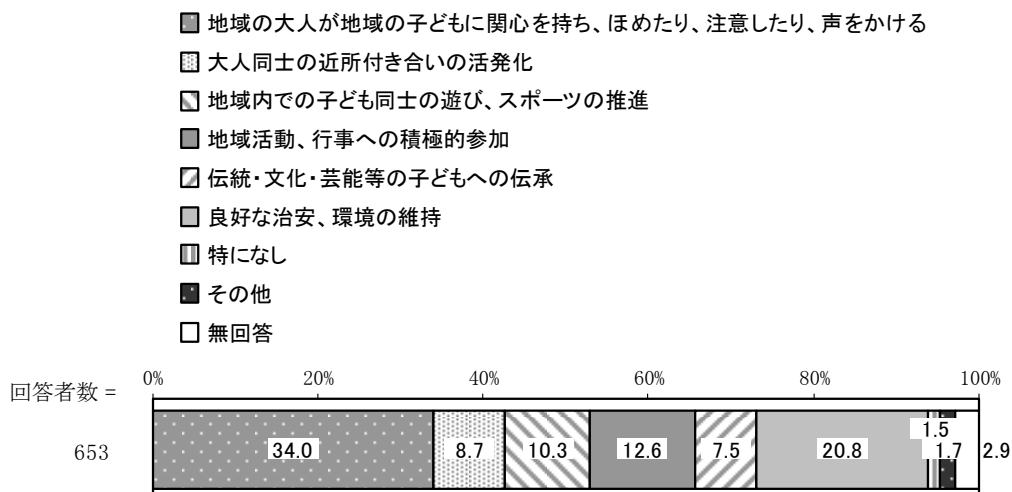
【愛着の有無別】

愛着の有無別でみると、他に比べ、あまり感じないで「保護者同士の情報交換の場の設定」の割合が高くなっています。



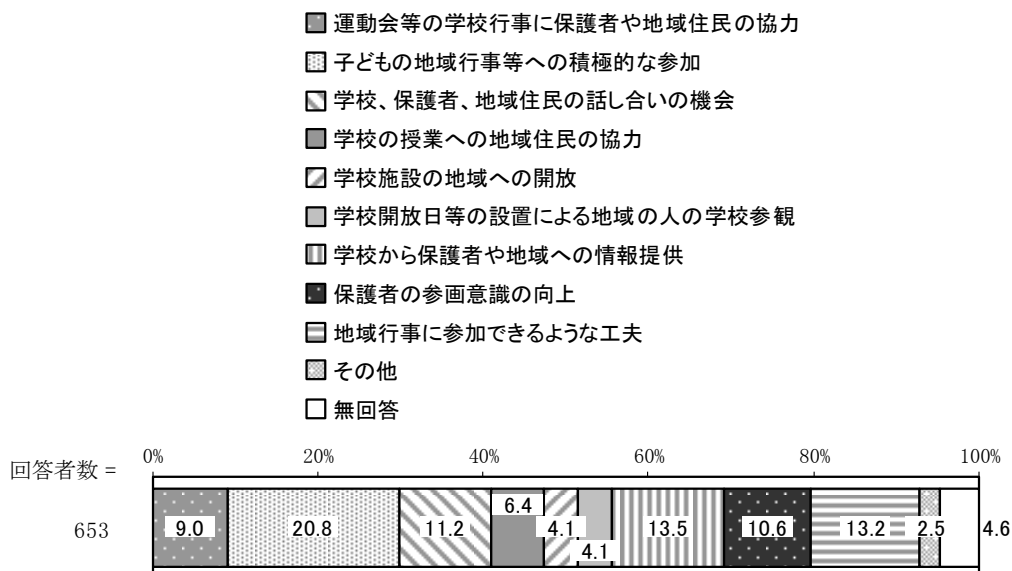
問 12 あなたは、地域で子どもを育てるためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。（最もあてはまるもの1つに○）

「地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」の割合が34.0%と最も高く、次いで「良好な治安、環境の維持」の割合が20.8%、「地域活動、行事への積極的参加」の割合が12.6%となっています。



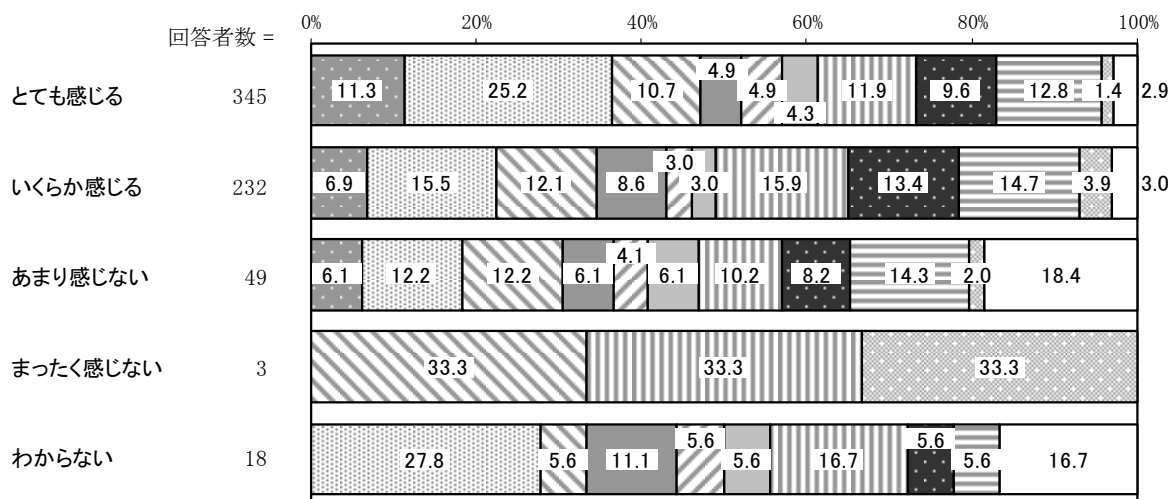
問 13 あなたは、学校、家庭、地域が連携協力するためには何が必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「子どもの地域行事等への積極的な参加」の割合が20.8%と最も高く、次いで「学校から保護者や地域への情報提供」の割合が13.5%、「地域行事に参加できるような工夫」の割合が13.2%となっています。



【愛着の有無別】

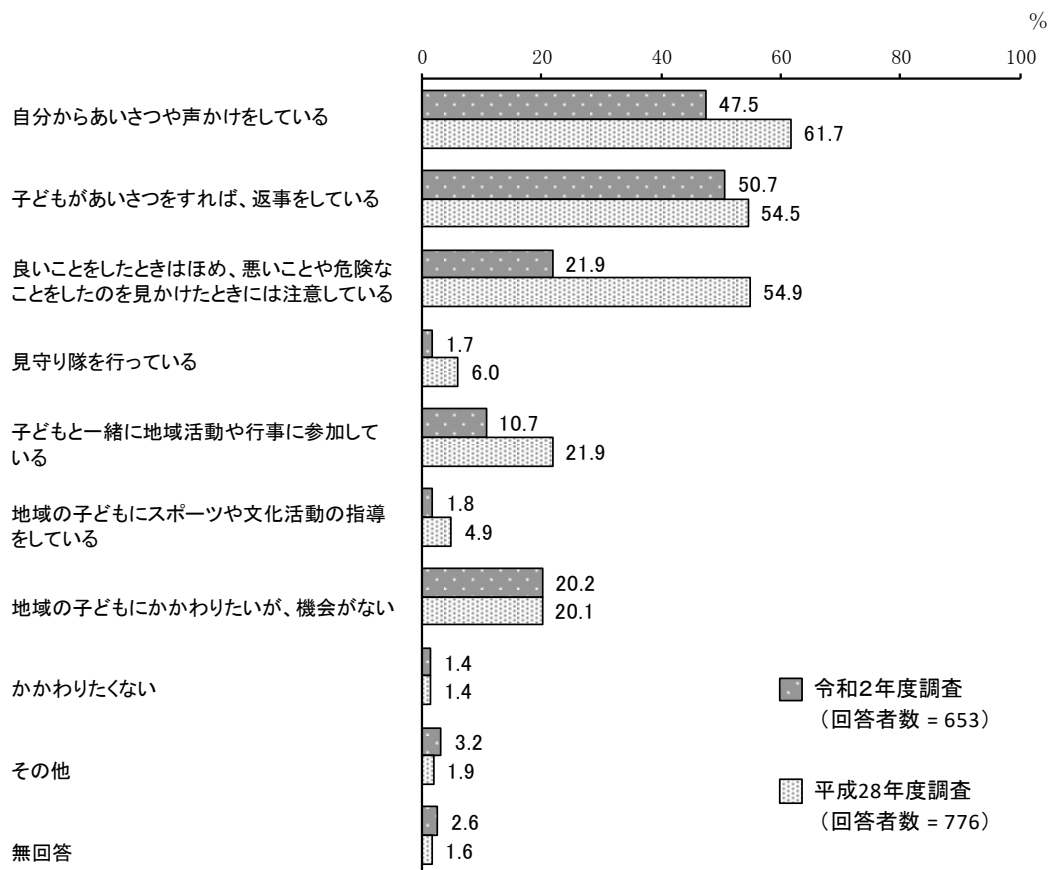
愛着の有無別でみると、他に比べ、とても感じるで「子どもの地域行事等への積極的な参加」の割合が高くなっています。



問 14 あなたは、ふだん、地域でどのように子どもに接していますか。
(あてはまるものすべてに○)

「子どもがあいさつをすれば、返事をしている」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「自分からあいさつや声かけをしている」の割合が 47.5%、「良いことをしたときはほめ、悪いことや危険なことをしたのを見かけたときには注意している」の割合が 21.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「自分からあいさつや声かけをしている」「良いことをしたときはほめ、悪いことや危険なことをしたのを見かけたときには注意している」「子どもと一緒に地域活動や行事に参加している」の割合が減少しています。



【愛着の有無別】

愛着の有無別でみると、他に比べ、とても感じるで「子どもがあいさつをすれば、返事をしている」の割合が高くなっています。

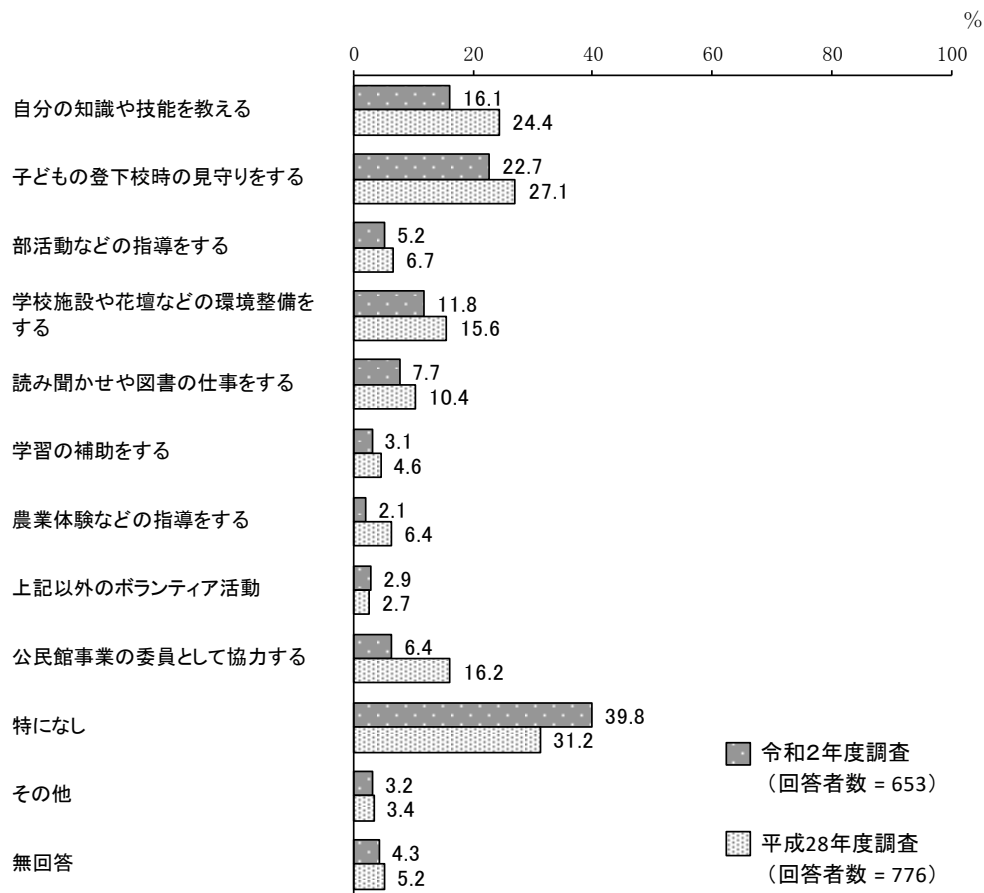
単位：％

区分	有効回答数 (件)	自分からあいさつや声かけを している	子どもがあいさつをすれば、返 事をしている	良いことをしたときはほめ、悪 いことや危険なことをしたのを 見かけたときには注意している	見守り隊を行っている	子どもと一緒に地域活動や行事 に参加している	地域の子どもにスポーツや文化 活動の指導をしている	地域の子どもにかかわりたい が、機会がない	かかわりたくない	その他	無回 答
とても感じる	345	50.7	56.5	29.0	2.0	13.0	2.3	19.1	0.6	2.9	1.7
いづらか感じる	232	42.2	43.5	13.4	1.3	8.2	1.7	22.4	2.2	3.9	2.2
あまり感じない	49	55.1	42.9	16.3	—	10.2	—	16.3	4.1	2.0	4.1
まったく感じない	3	66.7	66.7	—	33.3	—	—	33.3	—	—	—
わからない	18	22.2	61.1	5.6	—	—	—	22.2	—	—	16.7

問 15 あなたは、地域や学校に協力できることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「特になし」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「子どもの登下校時の見守りをする」の割合が 22.7%、「自分の知識や技能を教える」の割合が 16.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「特になし」の割合が増加しています。一方、「自分の知識や技能を教える」「公民館事業の委員として協力する」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30歳代で「自分の知識や技能を教える」の割合が、40歳代で「学校施設や花壇などの環境整備をする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	自分の知識や技能を 教える	子どもの登下校時の 見守りをする	部活動などの指導を する	学校施設や花壇など の環境整備をする	読み聞かせや図書の 仕事をする	学習の補助をする	農業体験などの指導 をする	上記以外のボランテ ィア活動	公民館事業の委員と して協力する	特になし	その他	無回答
10歳代	8	25.0	25.0	—	—	12.5	—	—	—	—	50.0	—	—
20歳代	53	17.0	17.0	11.3	1.9	7.5	9.4	3.8	1.9	—	39.6	3.8	5.7
30歳代	65	26.2	13.8	7.7	4.6	7.7	3.1	—	—	1.5	41.5	6.2	3.1
40歳代	113	15.9	23.0	7.1	18.6	10.6	2.7	1.8	6.2	7.1	38.9	0.9	0.9
50歳代	126	12.7	23.0	4.8	15.1	9.5	3.2	0.8	2.4	5.6	43.7	2.4	—
60歳代	101	19.8	23.8	2.0	14.9	4.0	2.0	5.0	1.0	6.9	39.6	2.0	5.9
70歳以上	186	12.4	26.3	3.8	9.7	6.5	2.2	2.2	3.8	10.2	36.6	4.8	8.6

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、四賀地区で「学校施設や花壇などの環境整備をする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	自分の知識や技能を 教える	子どもの登下校時の 見守りをする	部活動などの指導を する	学校施設や花壇など の環境整備をする	読み聞かせや図書の 仕事をする	学習の補助をする	農業体験などの指導 をする	上記以外のボランテ ィア活動	公民館事業の委員と して協力する	特になし	その他	無回答
旧松本市	505	16.6	23.2	5.0	10.7	7.1	3.2	2.0	2.2	6.3	40.0	3.2	4.2
四賀地区	16	6.3	25.0	—	31.3	—	—	6.3	—	—	43.8	6.3	—
安曇地区	10	20.0	10.0	—	30.0	—	—	—	10.0	20.0	30.0	—	10.0
奈川地区	2	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	50.0	—	—
梓川地区	32	9.4	18.8	6.3	9.4	15.6	6.3	6.3	6.3	9.4	40.6	3.1	3.1
波田地区	54	11.1	29.6	7.4	16.7	7.4	3.7	—	7.4	7.4	35.2	5.6	5.6
その他	31	29.0	12.9	9.7	9.7	16.1	—	3.2	3.2	—	38.7	—	6.5

【愛着の有無別】

愛着の有無別でみると、他に比べ、とても感じるで「自分の知識や技能を教える」の割合が高くなっています。

単位：％

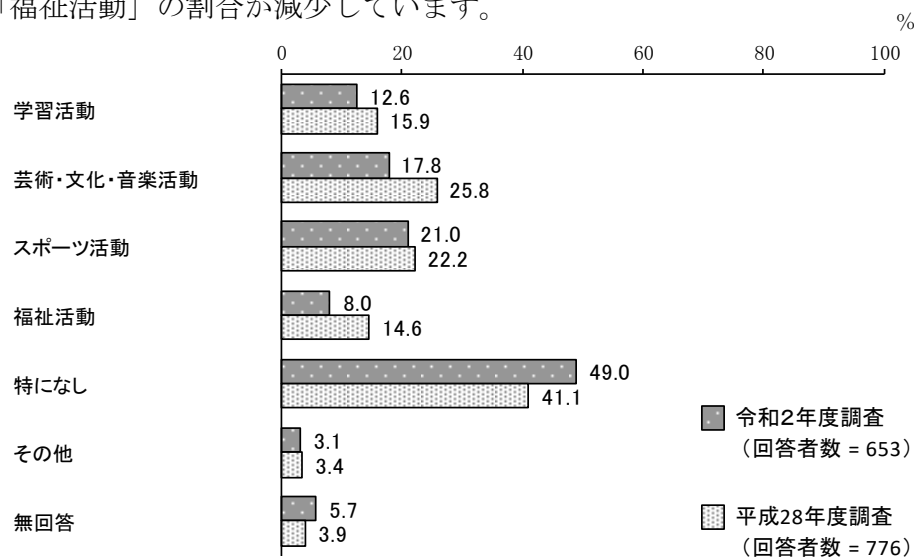
区分	有効回答数 (件)	自分の知識や技能を 教える	子どもの登下校時の 見守りをする	部活動などの指導を する	学校施設や花壇など の環境整備をする	読み聞かせや図書の 仕事をする	学習の補助をする	農業体験などの指導 をする	上記以外のボラン ティア活動	公民館事業の委員と して協力する	特になし	その他	無回答
とても感じる	345	20.0	25.5	6.7	12.5	8.1	3.8	1.2	2.9	6.4	36.8	2.6	3.5
いづらか感じる	232	11.2	19.0	3.9	10.3	6.5	2.6	3.9	3.0	6.9	43.1	3.9	3.9
あまり感じない	49	16.3	20.4	2.0	10.2	8.2	2.0	2.0	2.0	4.1	46.9	2.0	6.1
まったく感じない	3	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	66.7	—
わからない	18	11.1	16.7	5.6	22.2	5.6	—	—	—	11.1	44.4	—	16.7

(4) 生涯学習について

問 16 あなたは、どんな生涯学習活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「特になし」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「スポーツ活動」の割合が 21.0%、「芸術・文化・音楽活動」の割合が 17.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「特になし」の割合が増加しています。一方、「芸術・文化・音楽活動」「福祉活動」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代で「学習活動」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「福祉活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	学習活動	芸術・文化・音楽活動	スポーツ活動	福祉活動	特になし	その他	無回答
10歳代	8	25.0	12.5	12.5	—	50.0	—	—
20歳代	53	24.5	22.6	17.0	3.8	45.3	3.8	5.7
30歳代	65	20.0	7.7	20.0	3.1	56.9	4.6	3.1
40歳代	113	9.7	13.3	20.4	5.3	65.5	0.9	—
50歳代	126	11.1	18.3	23.8	5.6	51.6	3.2	1.6
60歳代	101	13.9	22.8	21.8	8.9	46.5	2.0	5.9
70歳以上	186	8.1	19.9	21.0	14.0	36.6	4.3	12.9

【愛着の有無別】

愛着の有無別でみると、他に比べ、とても感じるで「芸術・文化・音楽活動」の割合が高くなっています。

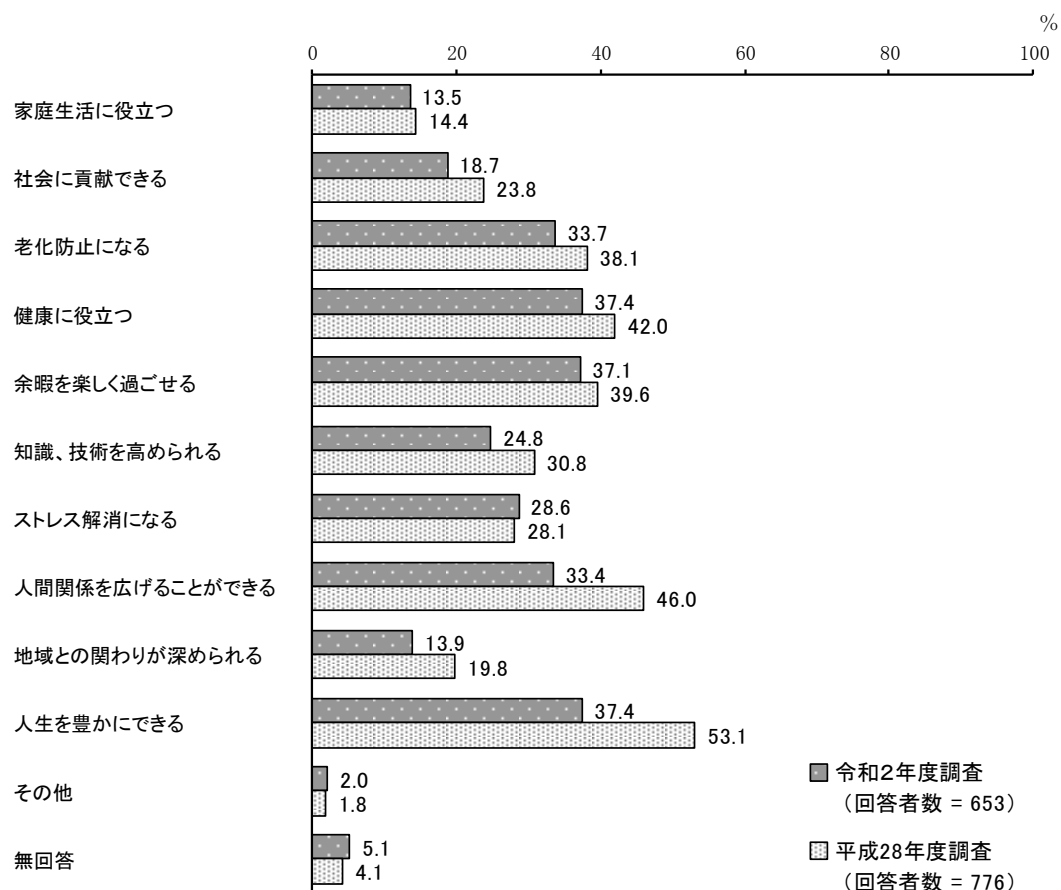
単位：％

区分	有効回答数 (件)	学習活動	芸術・文化・ 音楽活動	スポーツ活動	福祉活動	特になし	その他	無回答
とても感じる	345	14.5	23.5	23.2	7.2	43.2	3.2	5.5
いづらか感じる	232	10.8	10.8	20.7	8.2	55.2	2.6	4.3
あまり感じない	49	8.2	12.2	14.3	8.2	63.3	2.0	4.1
まったく感じない	3	—	—	—	—	33.3	66.7	—
わからない	18	5.6	16.7	11.1	11.1	55.6	—	22.2

問 17 あなたは生涯学習活動をする場合、どんな理由から始めますか。
(あてはまるものすべてに○)

「健康に役立つ」、「人生を豊かにできる」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「余暇を楽しく過ごせる」の割合が 37.1%となっています。

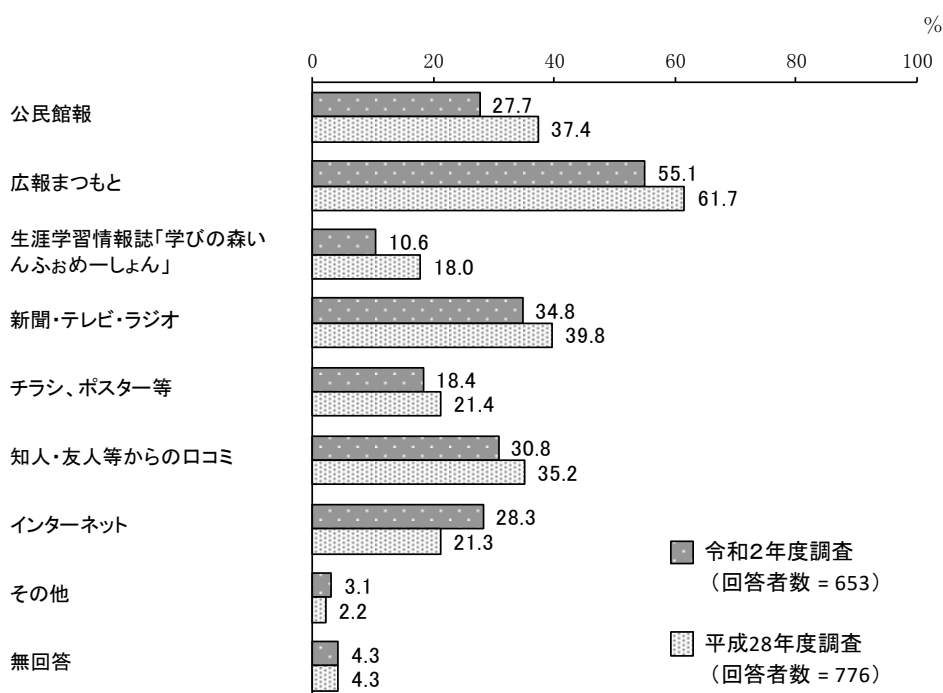
平成 28 年度調査と比較すると、「社会に貢献できる」「知識、技術を高められる」「人間関係を広げることができる」「地域との関わりが深められる」「人生を豊かにできる」の割合が減少しています。



問 18 あなたは、学習情報やサークル情報をどのように知りますか。
(あてはまるものすべてに○)

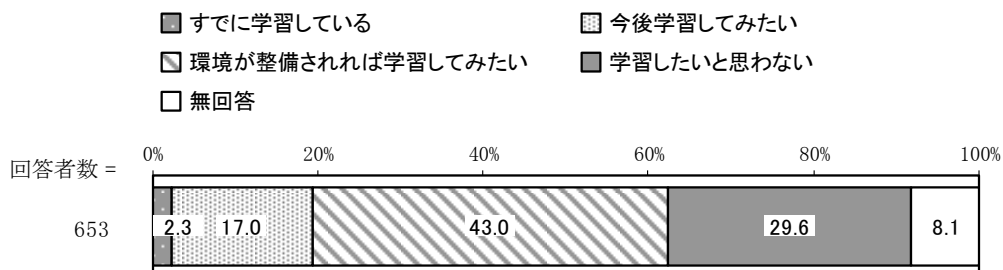
「広報まつもと」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「新聞・テレビ・ラジオ」の割合が 34.8%、「知人・友人等からの口コミ」の割合が 30.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「インターネット」の割合が増加しています。一方、「公民館報」「広報まつもと」「生涯学習情報誌「学びの森いんふおめーしょん」」の割合が減少しています。



問 19 リカレント教育や社会人の学び直しが注目されていますが、あなたは今後、教育機関等で学習したいと思いますか。

「環境が整備されれば学習してみたい」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「学習したいと思わない」の割合が 29.6%、「今後学習してみたい」の割合が 17.0%となっています。



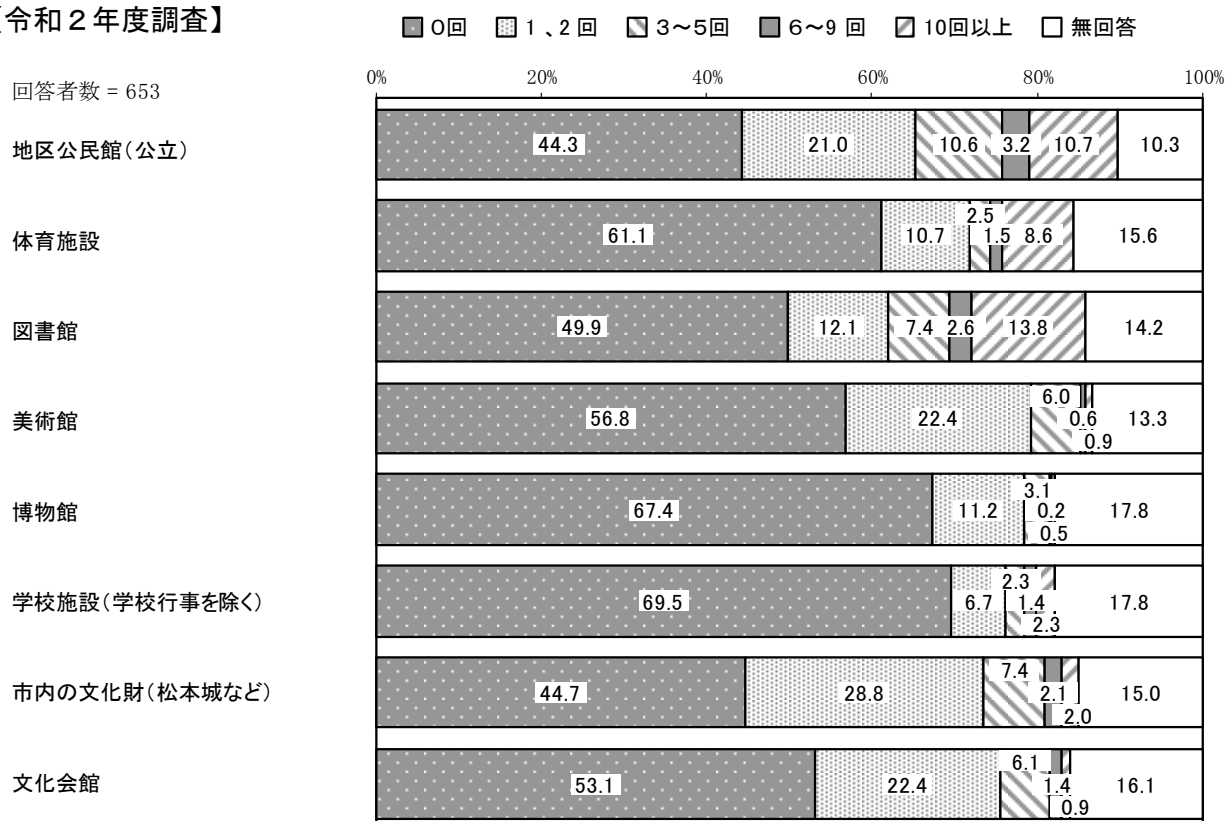
問 20 あなたは、昨年 1 年間に市内の次の施設をどのくらい利用しましたか。

『博物館』『学校施設（学校行事を除く）』で「0 回」の割合が高く、約 7 割となっています。また、『地区公民館（公立）』『体育施設』『図書館』で「10 回以上」の割合が高く、約 1 割となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、すべての項目で「0 回」の割合が増加しています。一方、『地区公民館（公立）』で「10 回以上」の割合が、『市内の文化財（松本城など）』『文化会館』で「3 ～ 5 回」の割合が減少しています。

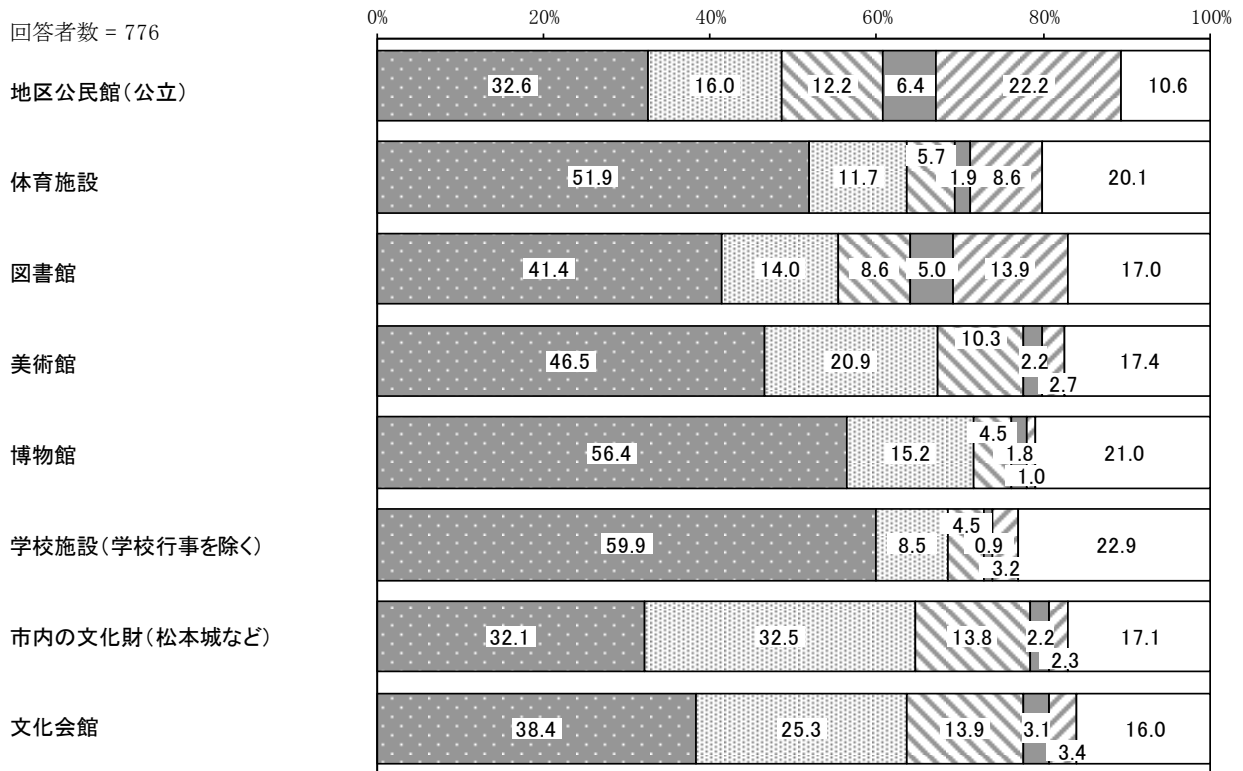
【令和 2 年度調査】

回答者数 = 653



【平成 28 年度調査】

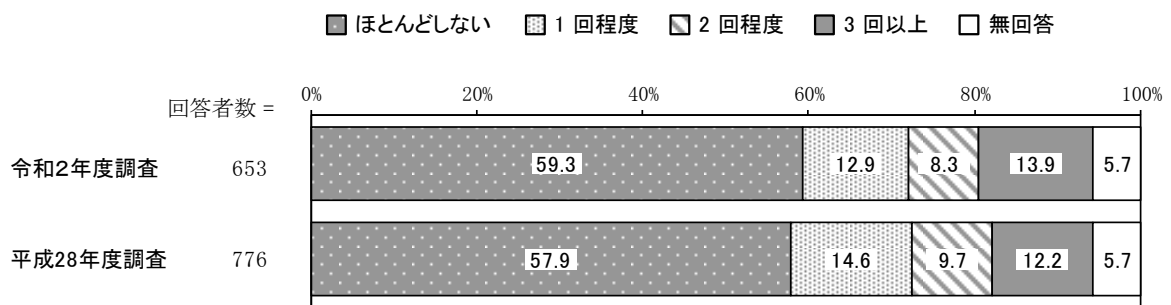
回答者数 = 776



問 21 あなたは、週に何回、どんなスポーツを行っていますか。

「ほとんどしない」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「3 回以上」の割合が 13.9%、「1 回程度」の割合が 12.9%となっています。

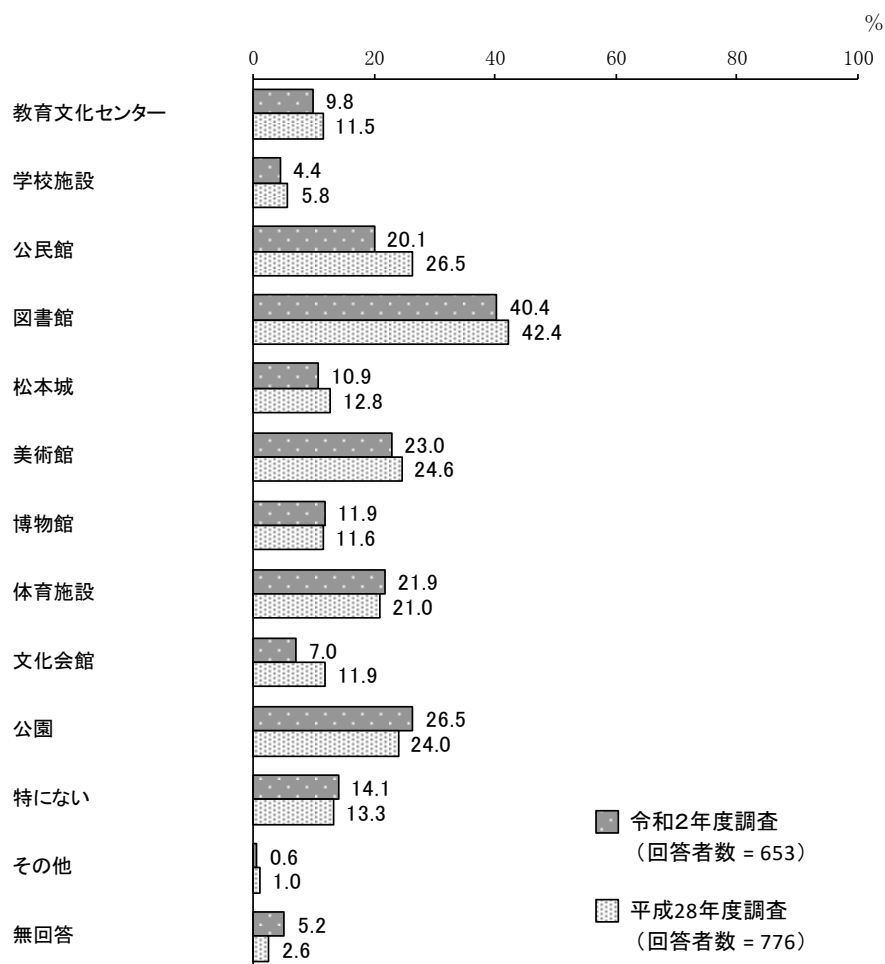
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 22 あなたがもっと活用したい又は皆に活用してほしいと思う施設はどれですか。
(3つ以内に○)

「図書館」の割合が40.4%と最も高く、次いで「公園」の割合が26.5%、「美術館」の割合が23.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「公民館」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代で「博物館」の割合が、70歳以上で「公民館」の割合が高くなっています。

単位：％

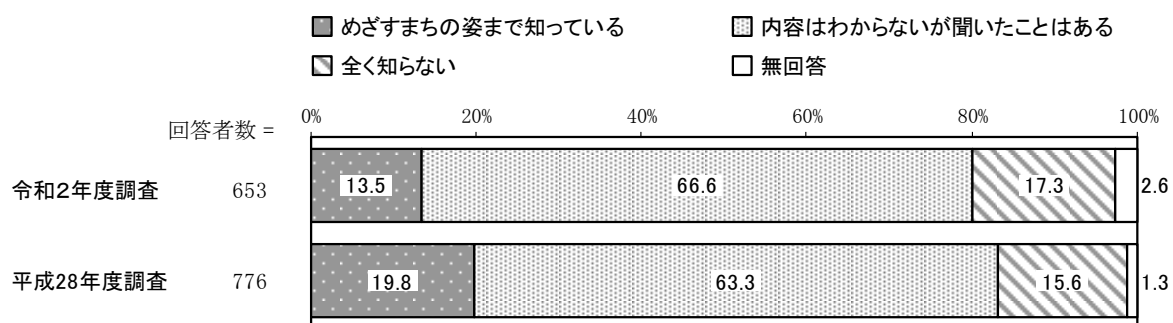
区分	有効回答数 (件)	教育文化センター	学校施設	公民館	図書館	松本城	美術館	博物館	体育施設	文化会館	公園	特にない	その他	無回答
10歳代	8	—	—	—	37.5	—	—	—	25.0	—	12.5	25.0	—	12.5
20歳代	53	5.7	5.7	7.5	47.2	11.3	26.4	26.4	20.8	3.8	35.8	5.7	3.8	1.9
30歳代	65	13.8	4.6	15.4	47.7	12.3	23.1	9.2	26.2	3.1	30.8	12.3	—	10.8
40歳代	113	9.7	3.5	13.3	46.9	16.8	23.0	19.5	27.4	6.2	29.2	10.6	0.9	1.8
50歳代	126	9.5	6.3	16.7	43.7	11.1	27.0	13.5	24.6	8.7	20.6	11.9	—	3.2
60歳代	101	10.9	4.0	17.8	37.6	12.9	22.8	6.9	14.9	11.9	30.7	16.8	1.0	3.0
70歳以上	186	9.7	3.8	33.9	31.7	5.9	20.4	6.5	19.4	6.5	23.1	18.3	—	8.6

(5) その他

問 24 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

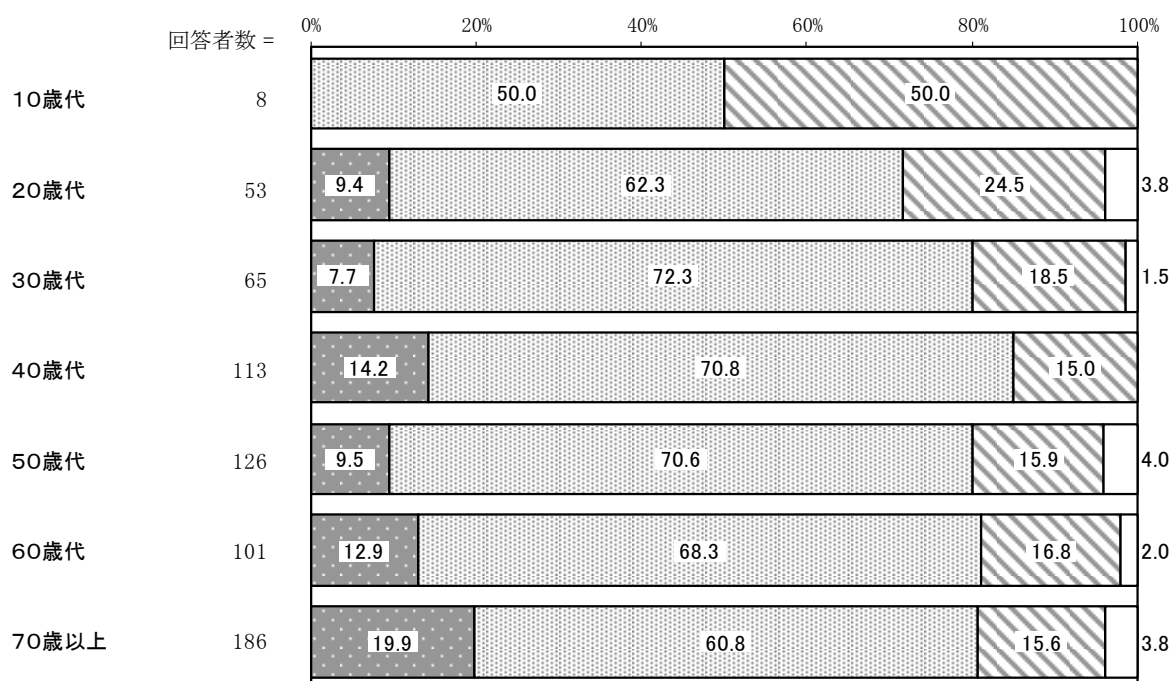
「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 66.6%と最も高く、次いで「全く知らない」の割合が 17.3%、「めざすまちの姿まで知っている」の割合が 13.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「めざすまちの姿まで知っている」の割合が減少しています。



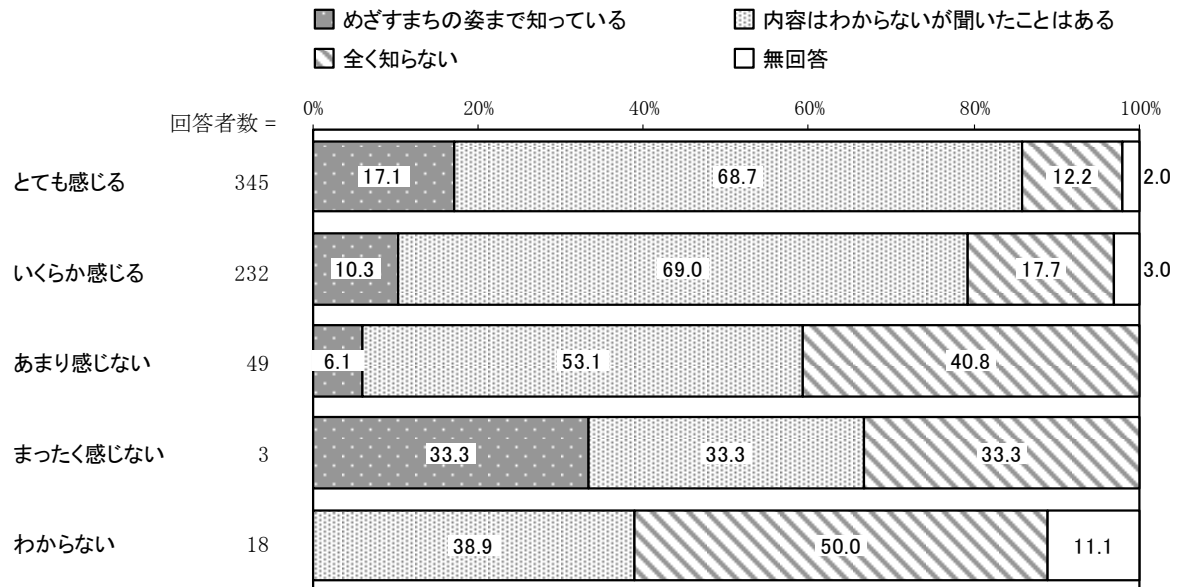
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、70歳以上で「めざすまちの姿まで知っている」の割合が高くなっています。



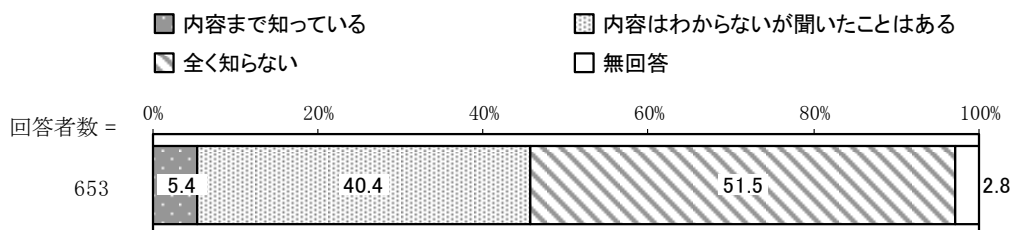
【愛着の有無別】

愛着の有無別でみると、愛着を感じている人ほど「めざすまちの姿まで知っている」の割合が高くなっています。また、あまり感じないで「全く知らない」の割合が高くなっています。



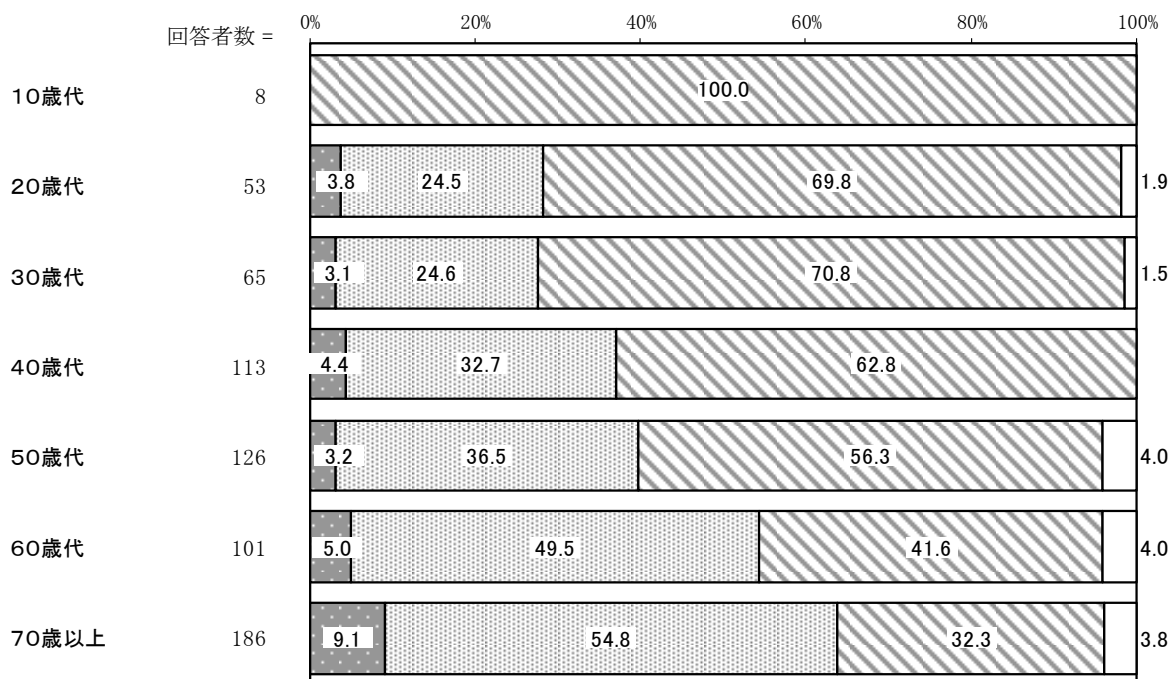
問 25 あなたは、「まつもと市民生きいき活動」を知っていますか。

「全く知らない」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 40.4%となっています。



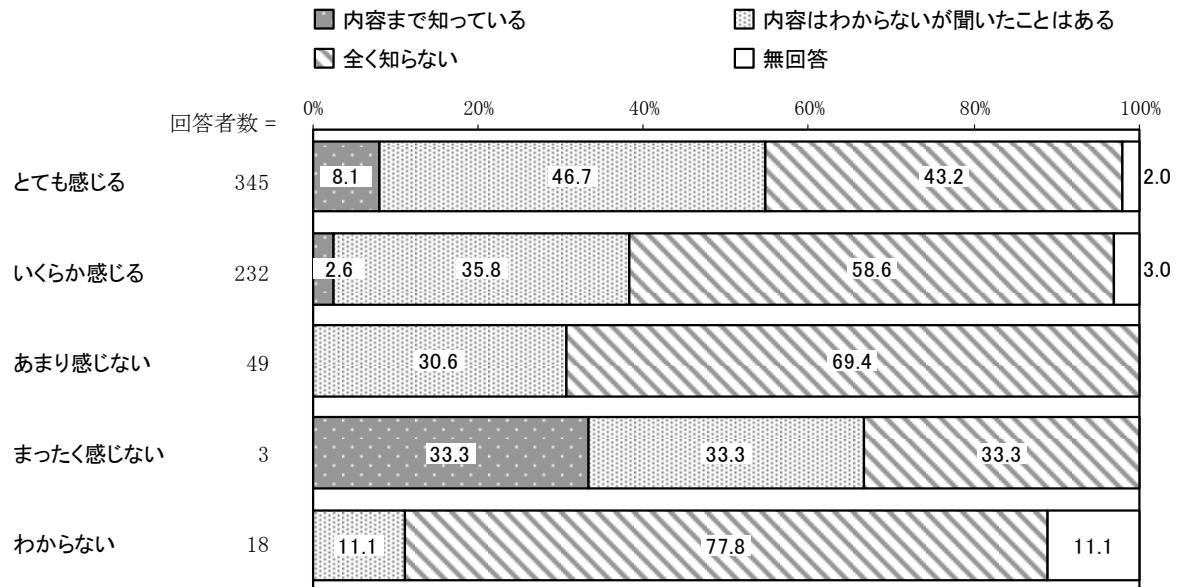
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代、30歳代で「全く知らない」の割合が高くなっています。



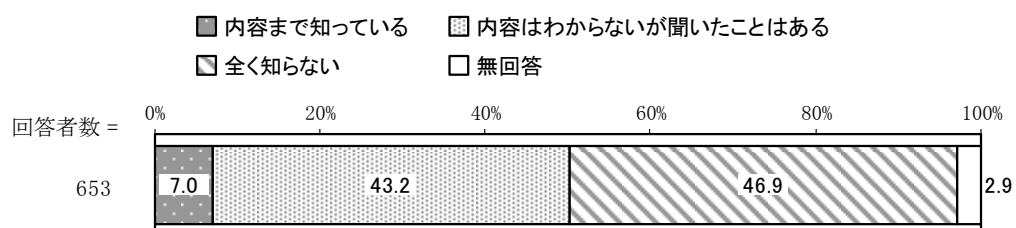
【愛着の有無別】

愛着の有無別でみると、愛着を感じていない人ほど「全く知らない」の割合が高くなっています。



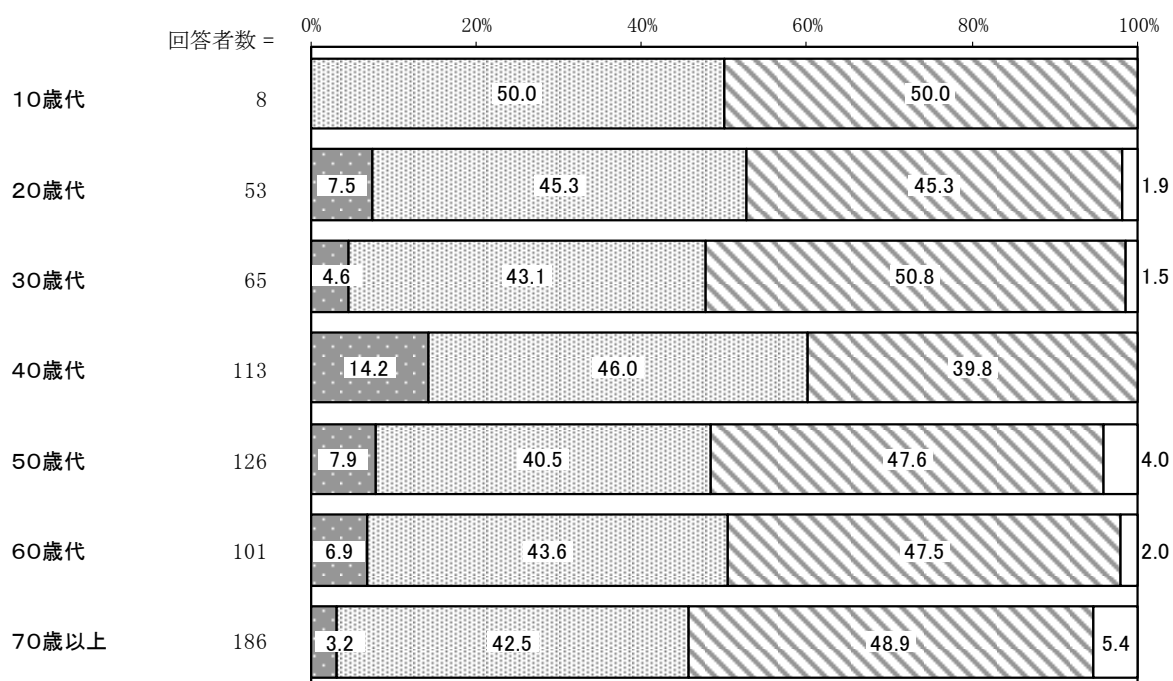
問 26 あなたは、「松本市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。

「全く知らない」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 43.2%となっています。



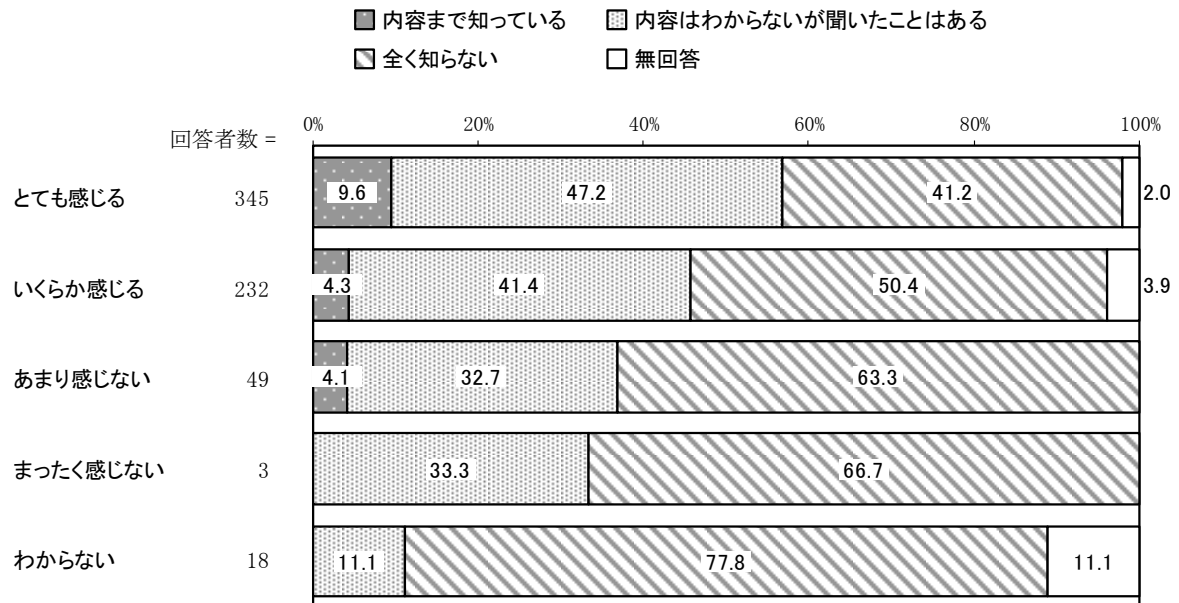
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、40歳代で「内容まで知っている」の割合が高くなっています。



【愛着の有無別】

愛着の有無別でみると、愛着を感じていない人ほど「全く知らない」の割合が高くなっています。



問 27 松本市の学校教育について、ご意見があればお書きください。

今回の調査で自由な意見・要望を聞いたところ、延べ 199 件の意見が得られました。内訳は以下のとおりになっています。

項 目	件数
1. 子どもの学び、育ちについて	34
2. 教職員、教育環境等について	30
3. 子どもの教育について	61
4. 親の責務について	6
5. コミュニケーションについて	5
6. モラルについて	5
7. 安全対策について	3
8. 文化活動や地域行事などについて	6
9. 教育施設等について	1
10. その他	48
合 計	199

問 28 松本市の生涯学習、社会教育について、ご意見があればお書きください。

今回の調査で自由な意見・要望を聞いたところ、延べ 114 件の意見が得られました。内訳は以下のとおりになっています。

項 目	件数
1. 余暇時間について	2
2. 生涯学習活動について	22
3. 市が実施している生涯学習事業について	6
4. 人材について	5
5. 知能や技能の活用について	5
6. 家庭環境について	2
7. 参加したい生涯学習教室の内容について	14
8. 情報について	16
9. 学び直しについて	4
10. 公民館活動について	3
11. その他の施設について	7
12. その他	28
合 計	114